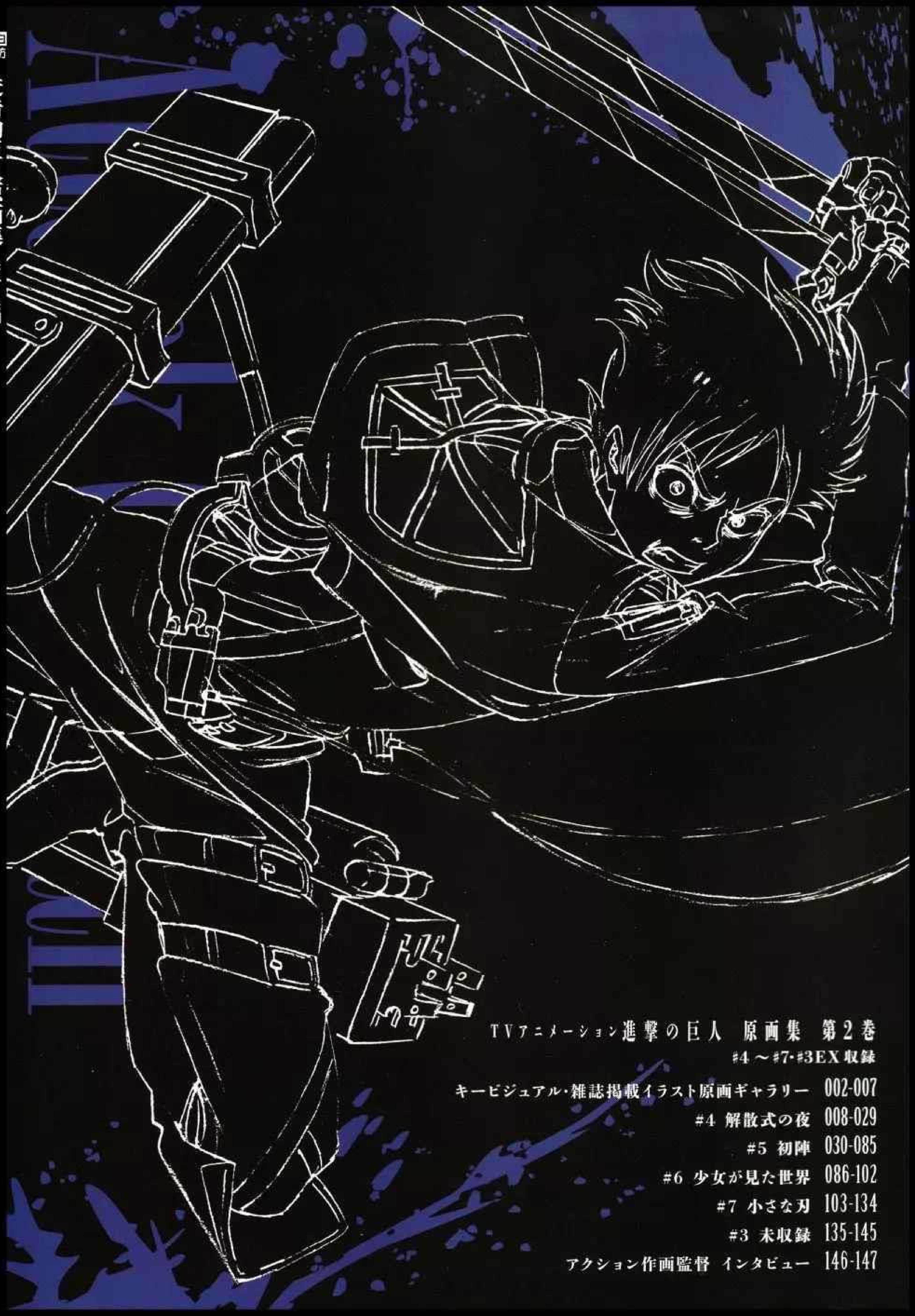
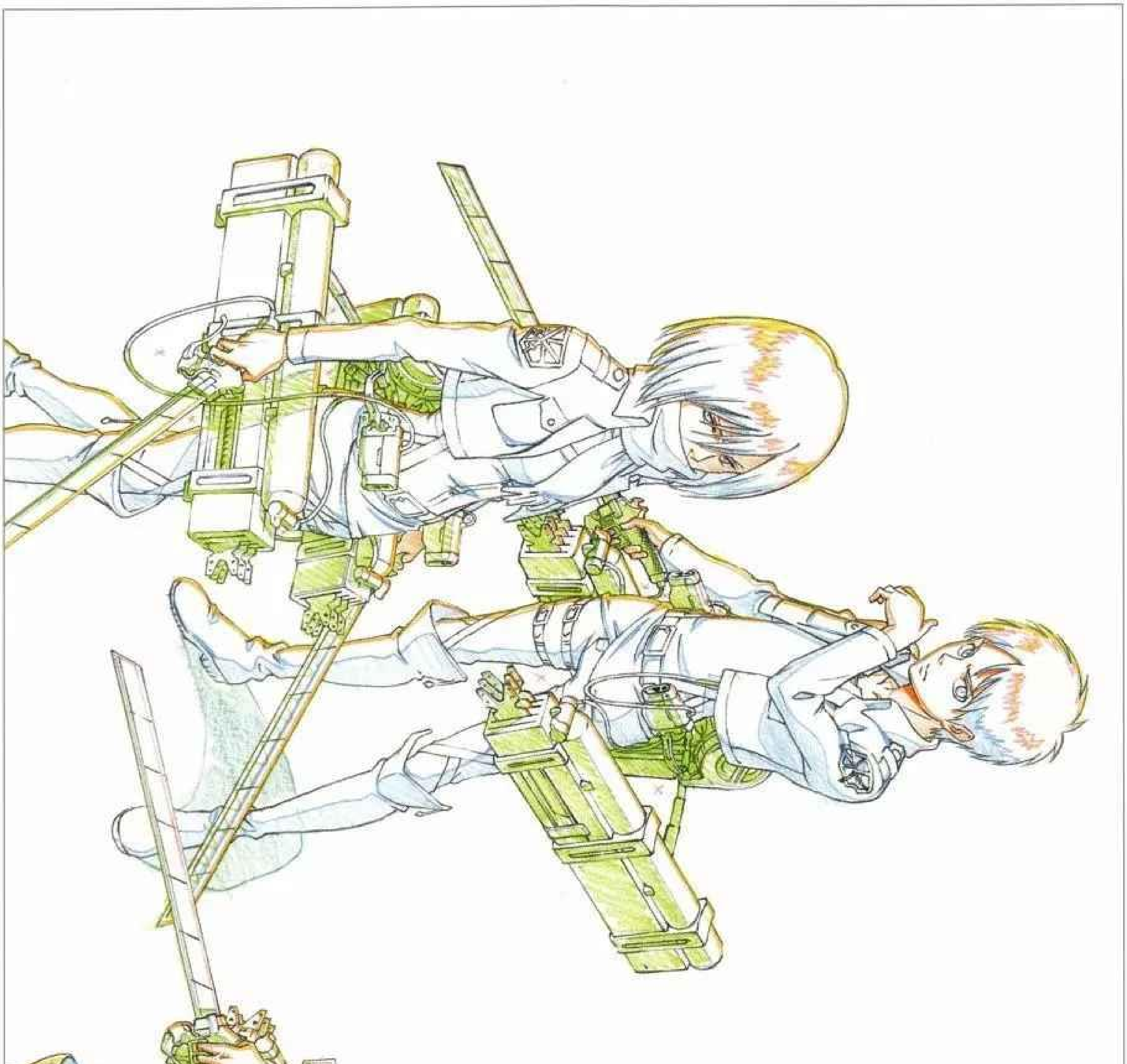

TVアニメーション 進撃の巨人
原画集 第2巻
#4〜#7収録
drawing for animation from
Attack On Titan
Included Story4-7
2
[zwei]
Attack on Titan



TVアニメーション進撃の巨人 原画集 第2巻

#4 ～#7・#3EX 収録

キービジュアル・雑誌掲載イラスト原画ギャラリー 002-007
#4 解散式の夜 008-029
#5 初陣 030-085
#6 少女が見た世界 086-102
#7 小さな刃 103-134
#3 未収録 135-145
アクション作画監督 インタビュー 146-147



原画

きゃらびぃTV 2013年3月号掲載

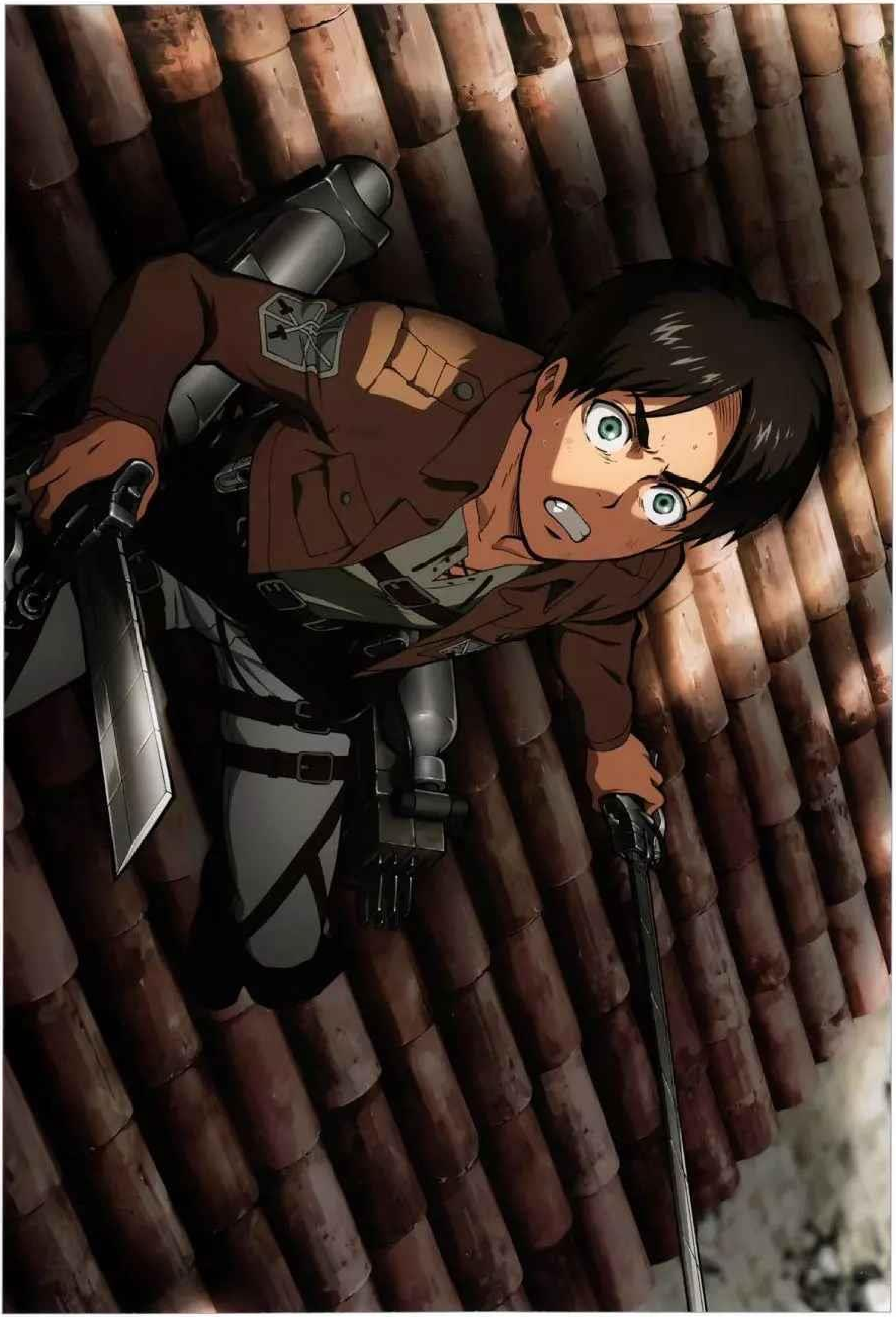


完成

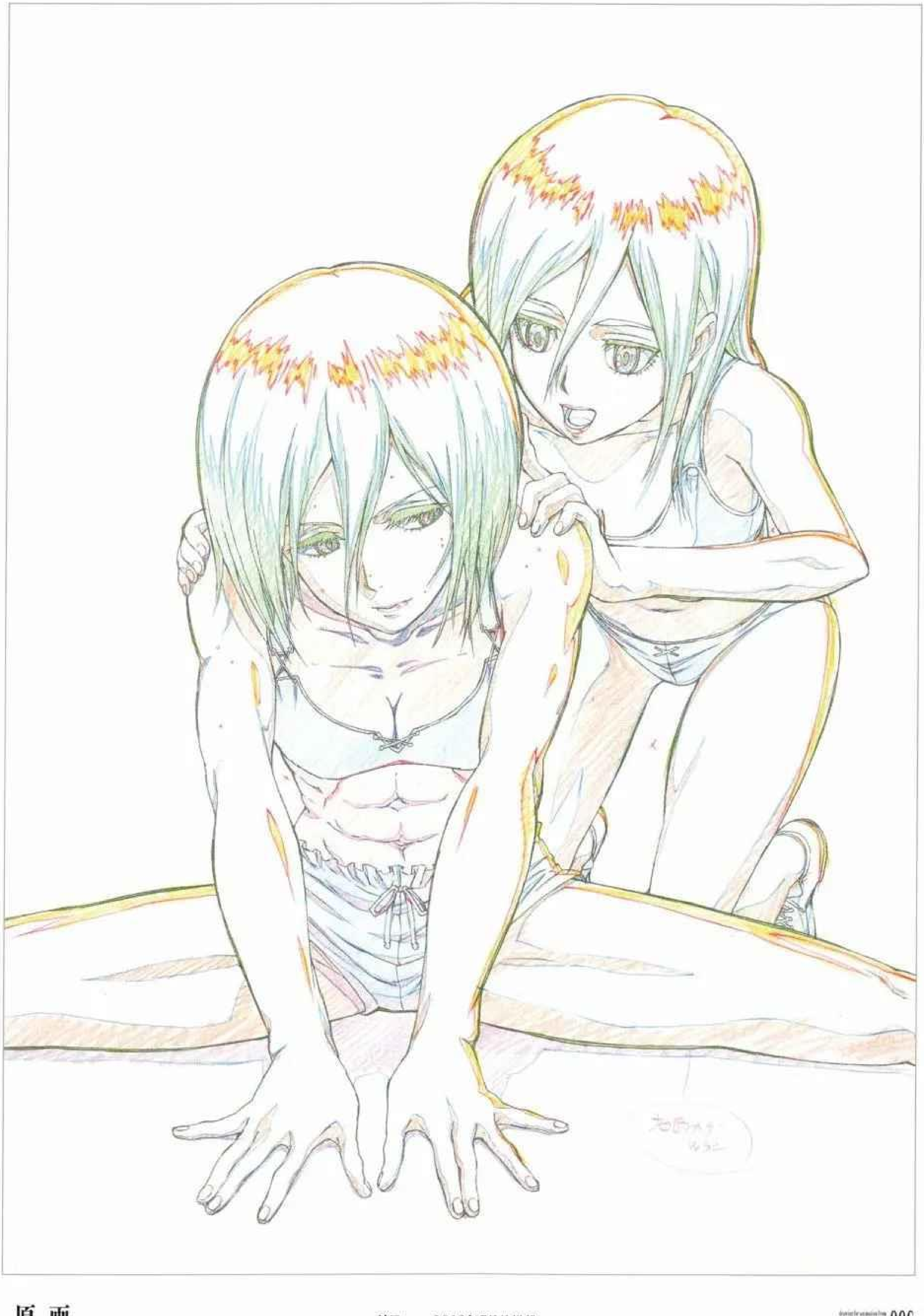


原画

Newtype 2013年6月号掲載



完成



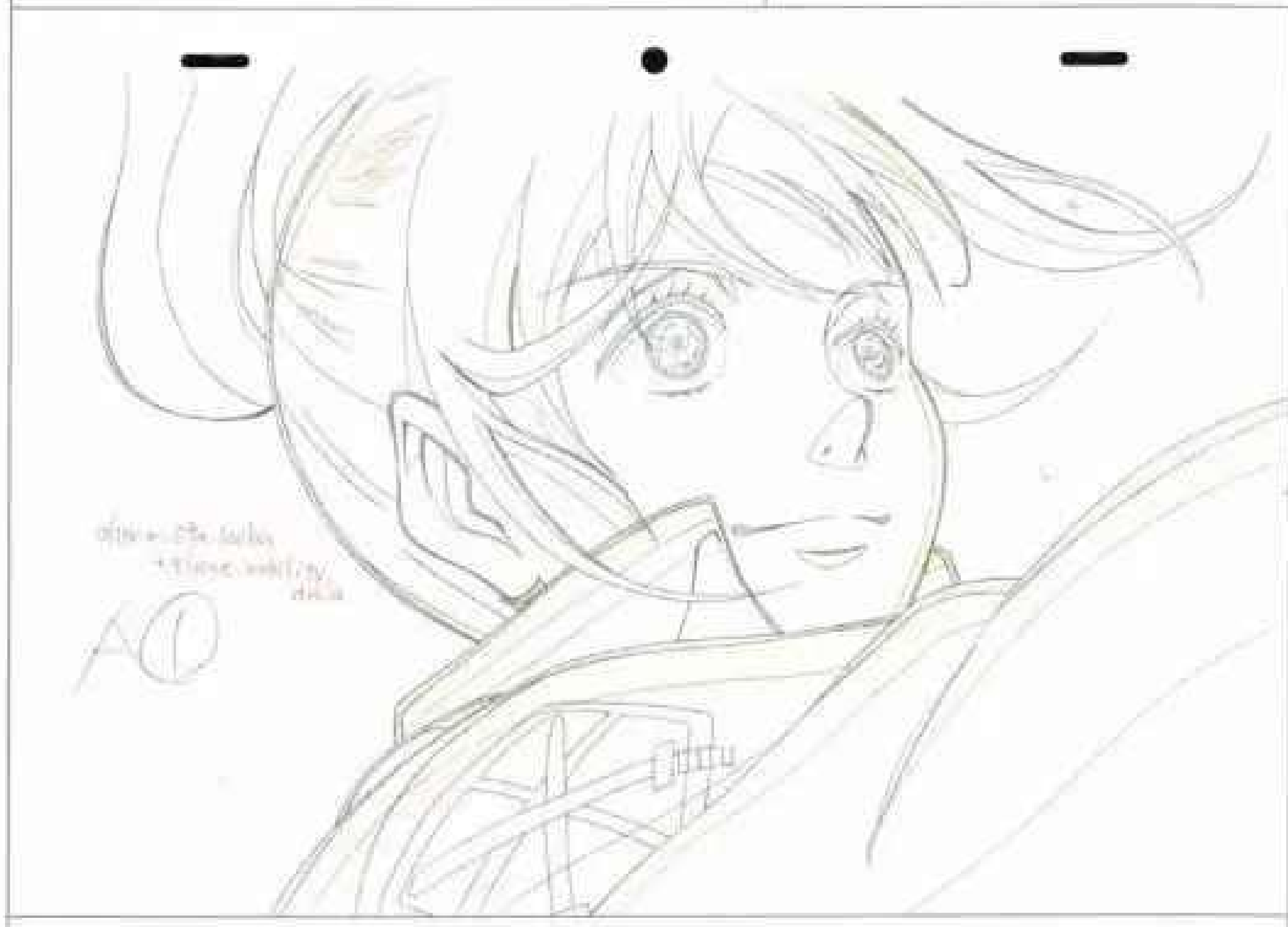
原画

娘Type 2013年7月号掲載

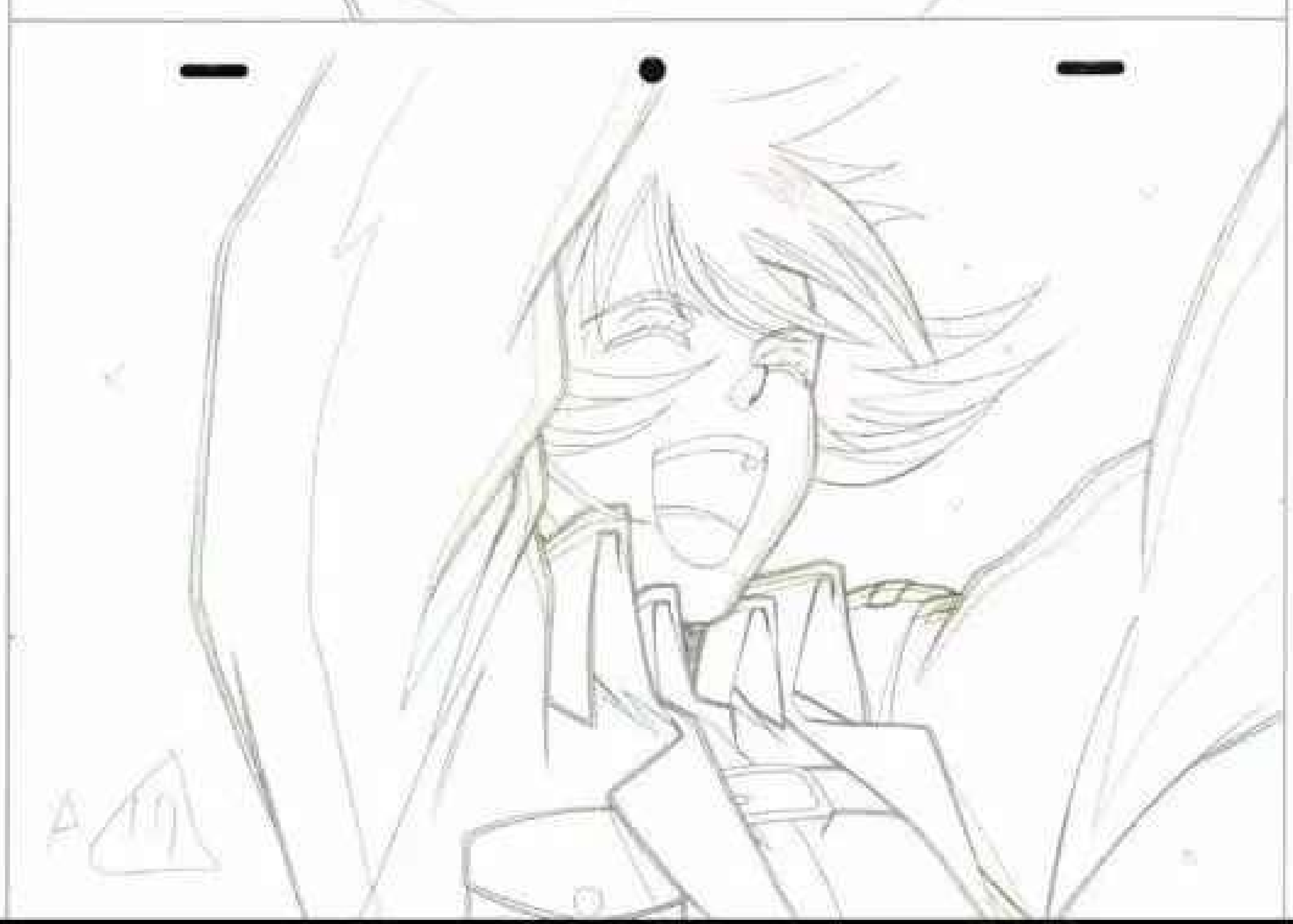


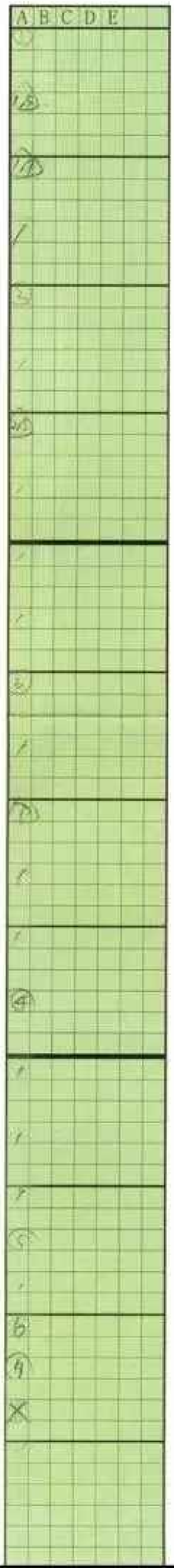
完成

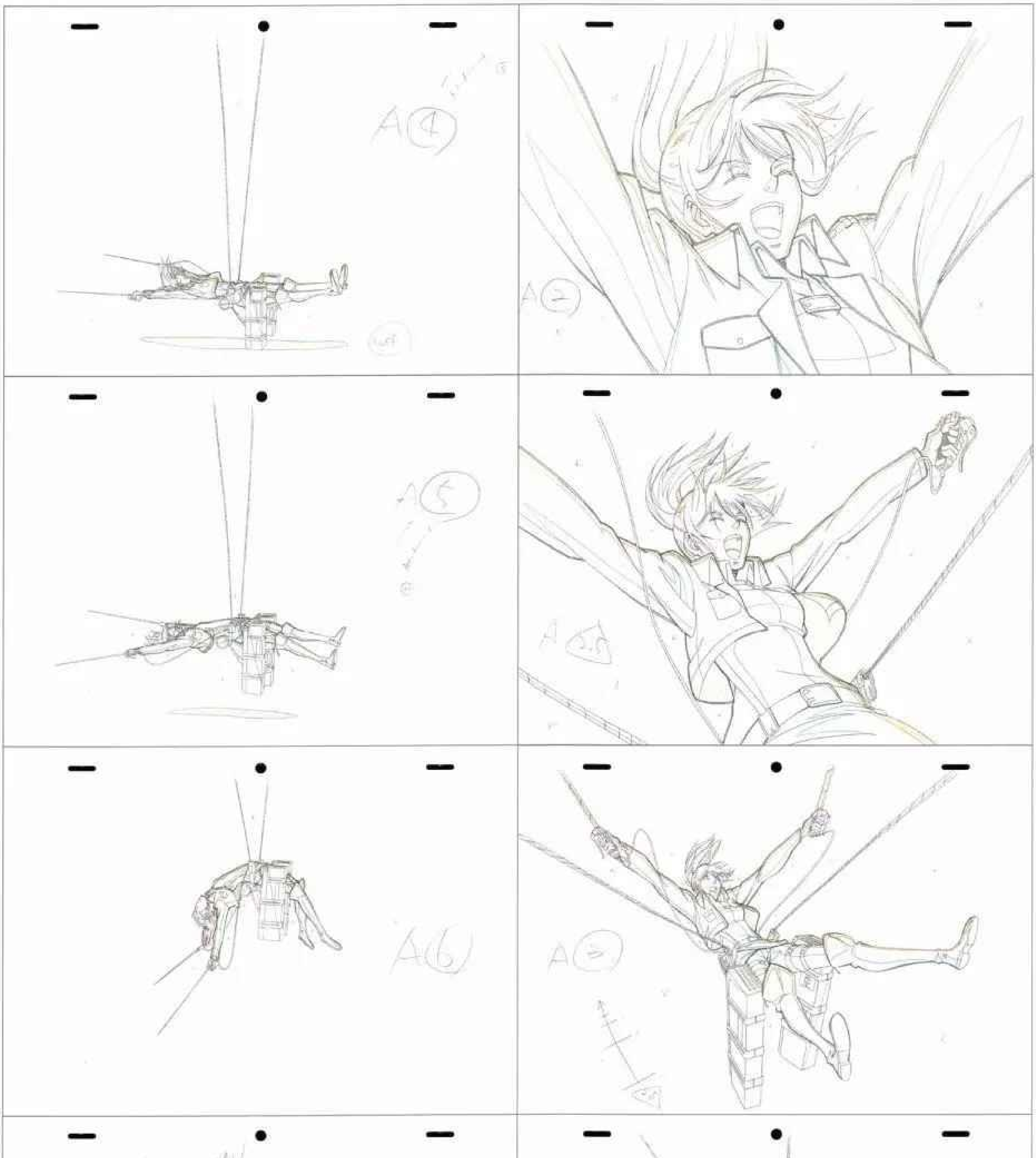






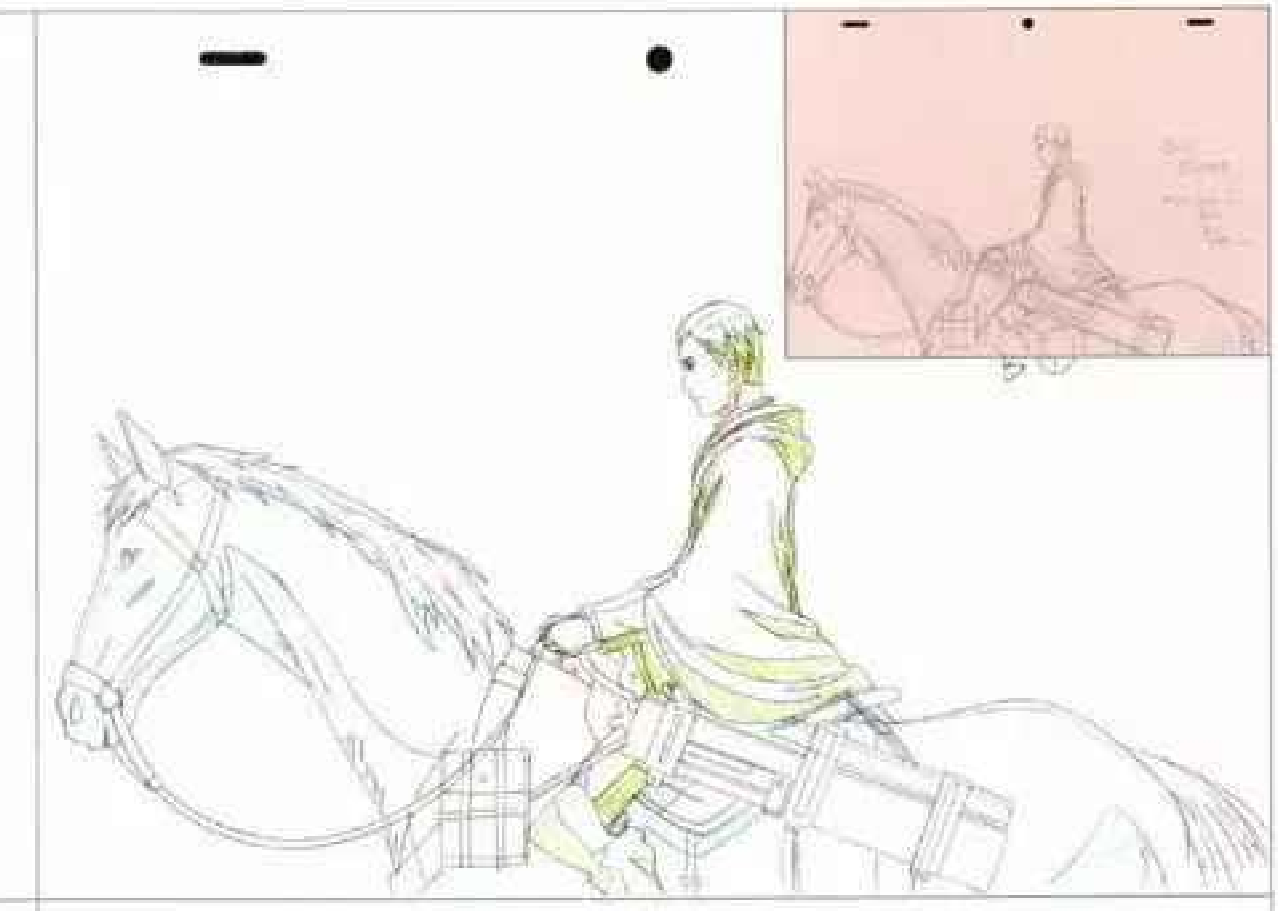



A B C D E

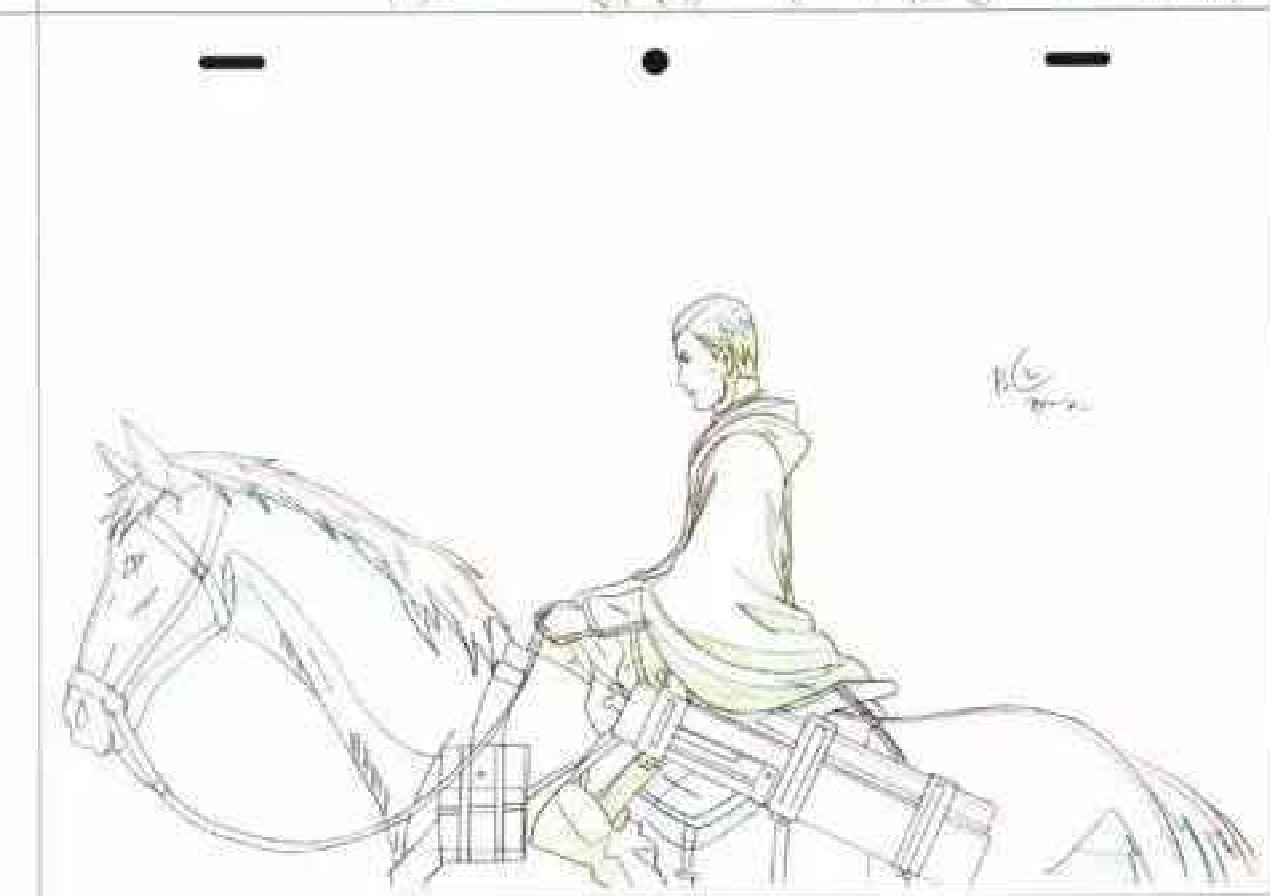


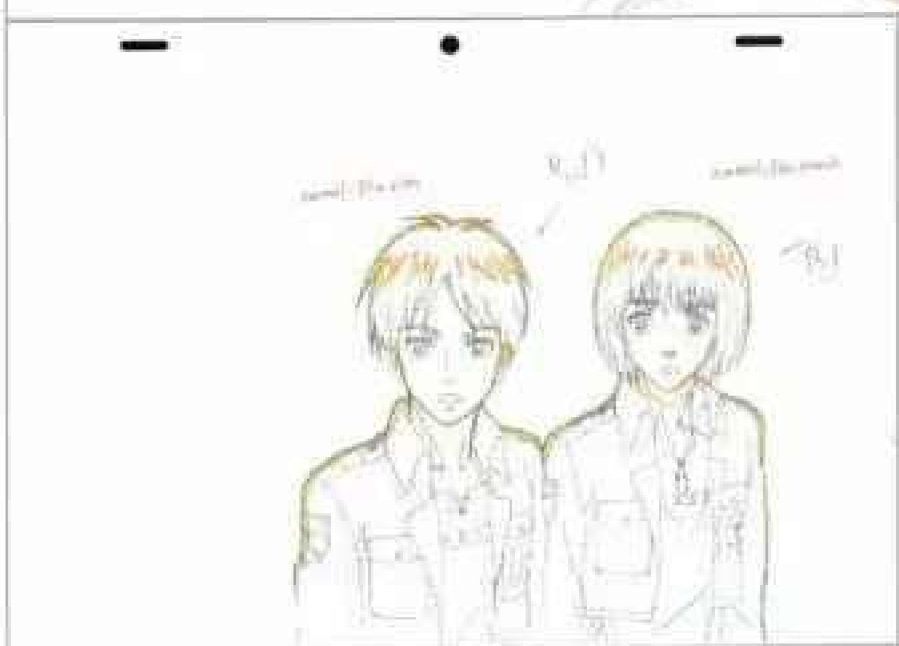
|田中洋之コメント| 1カットでサシャの性格が解るいいカット。最後のビヨーンが気持ちいい。
アクション作監江原くんの一味違った立体機動アクションのひとつ。





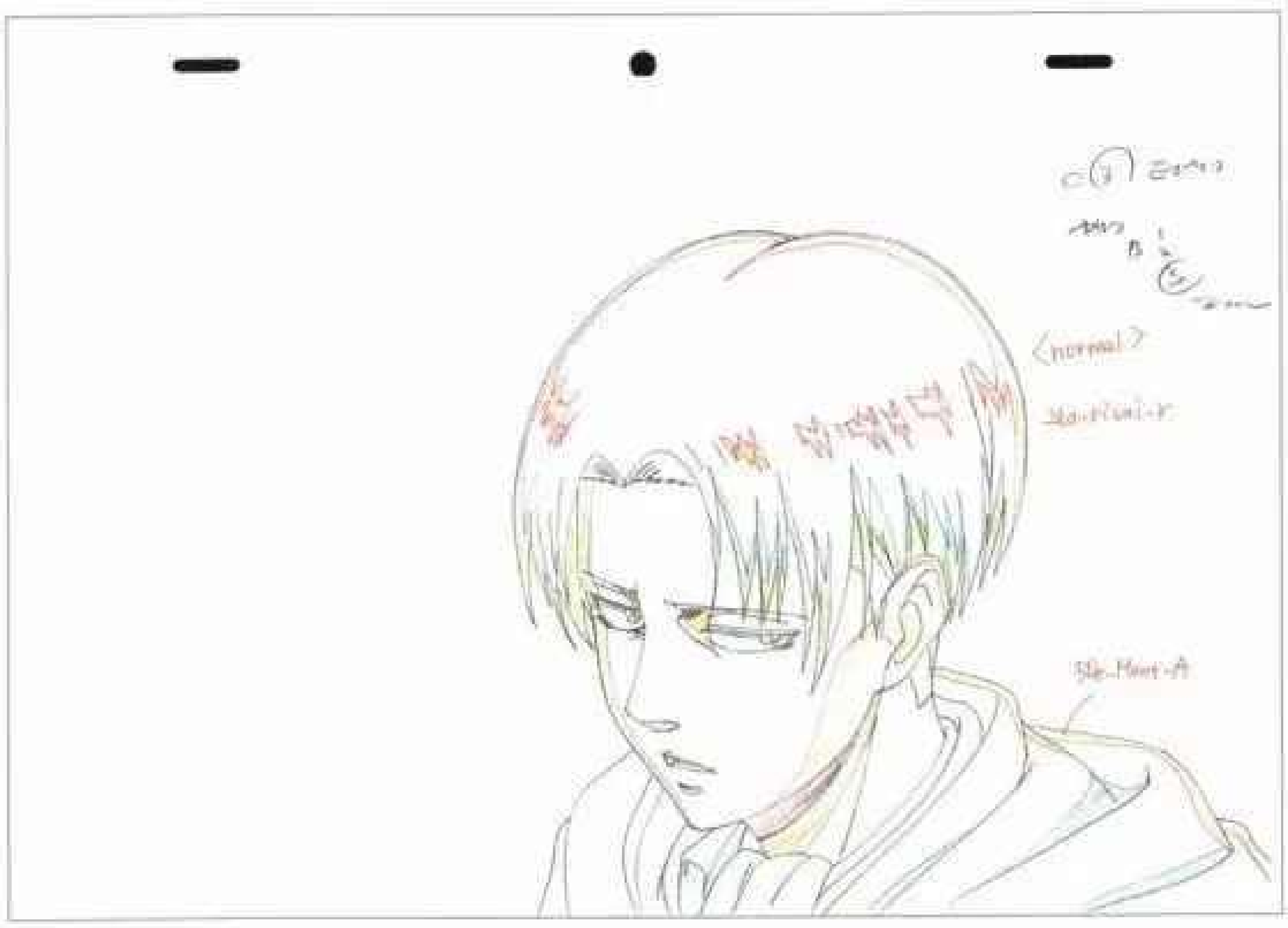


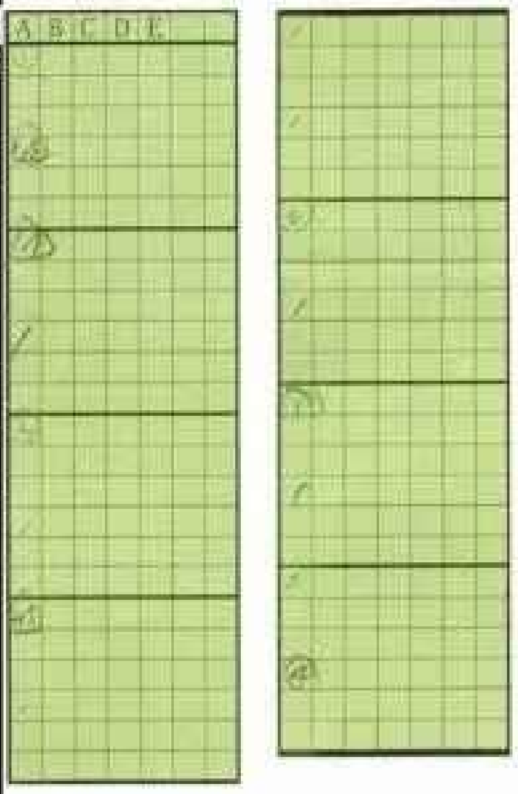


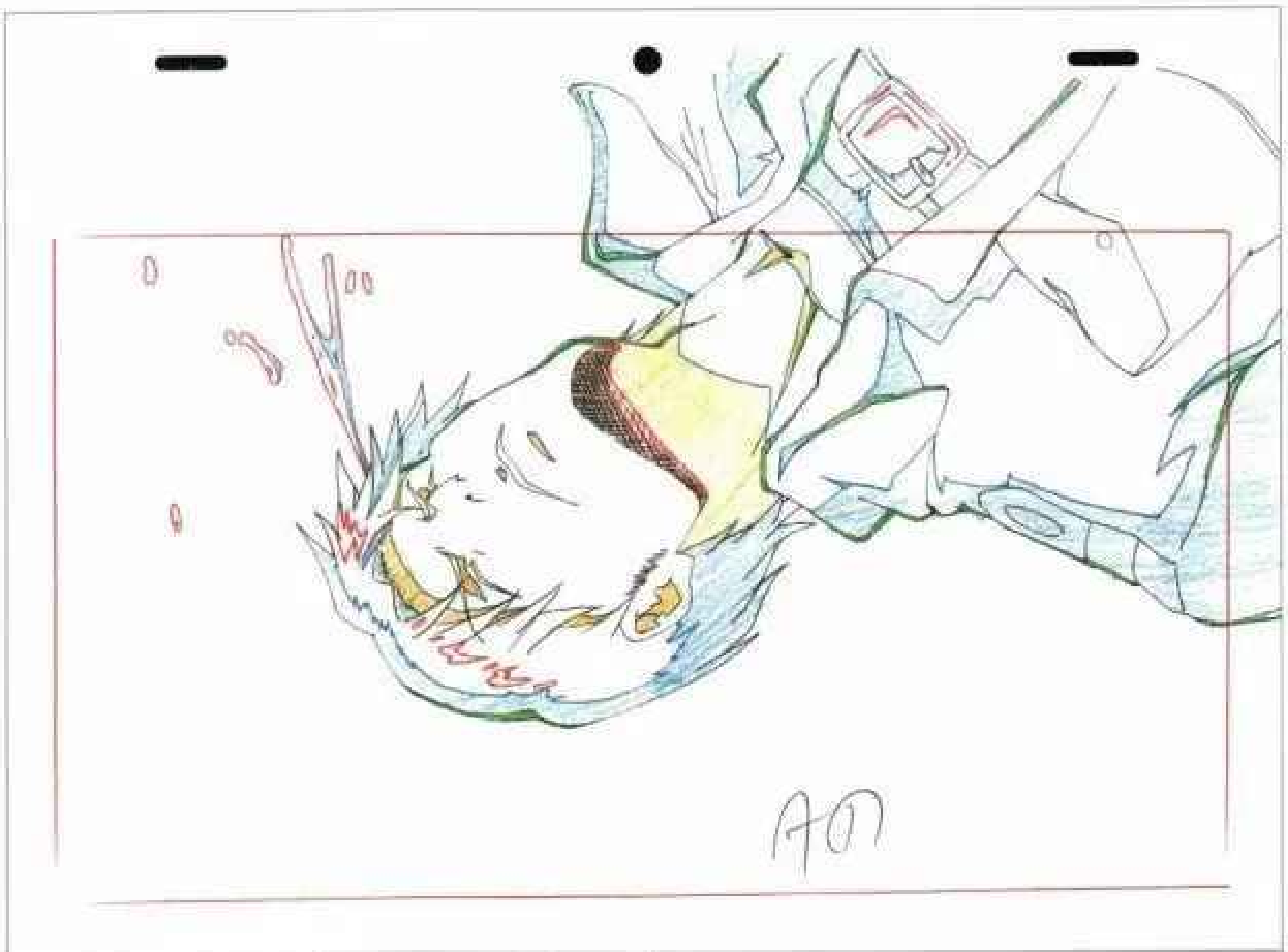


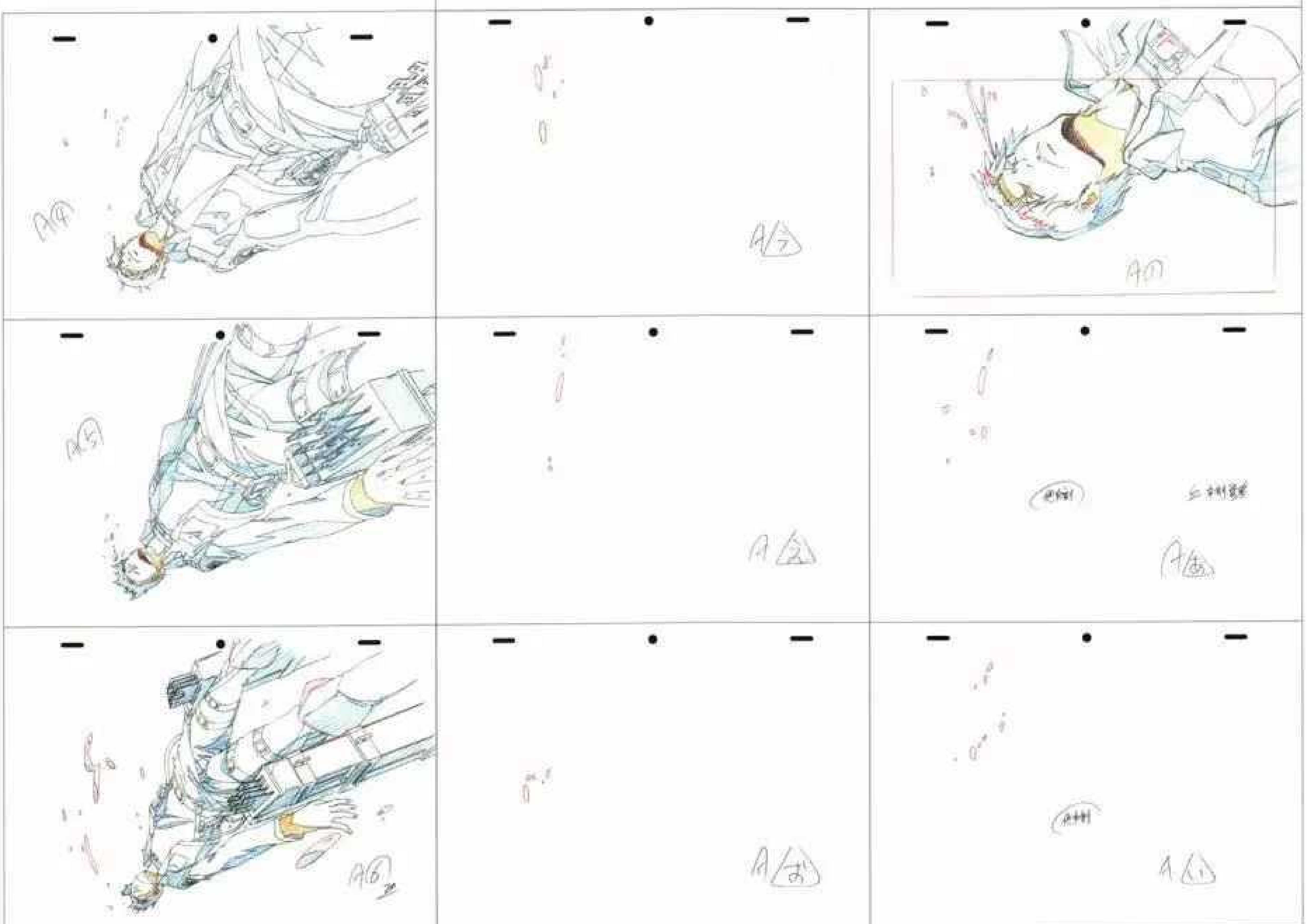






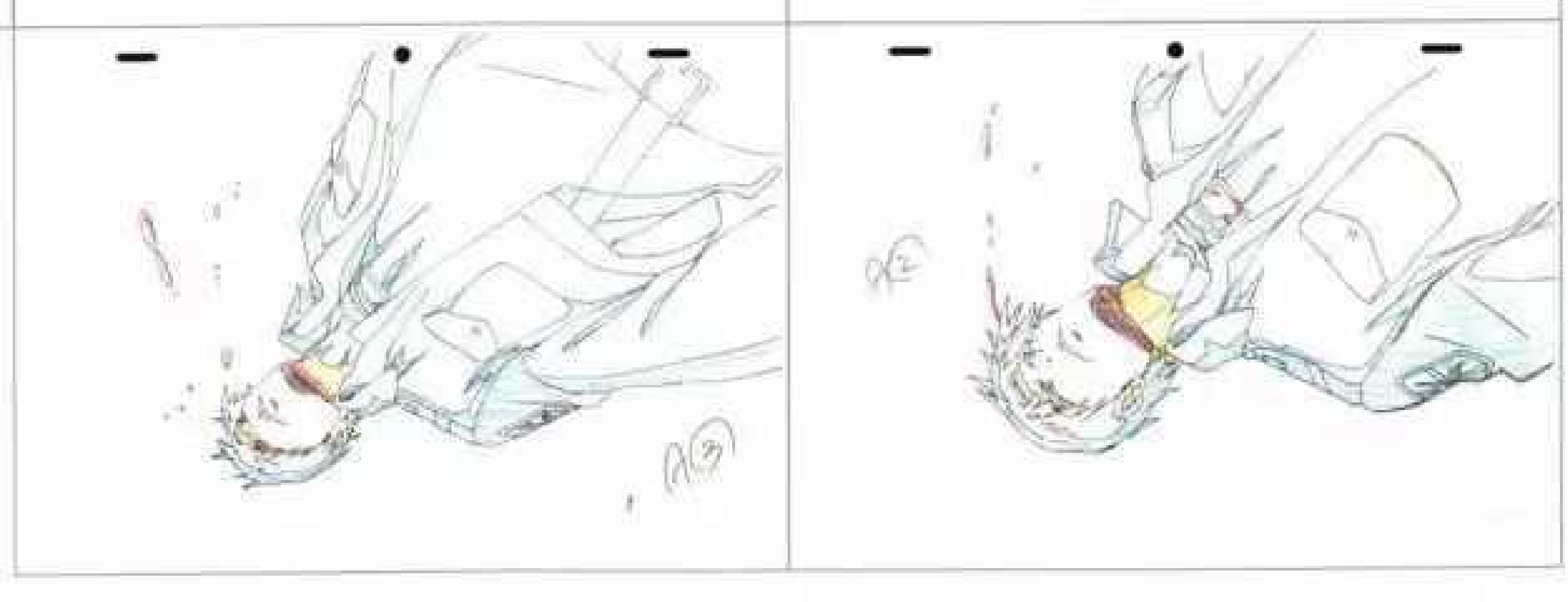


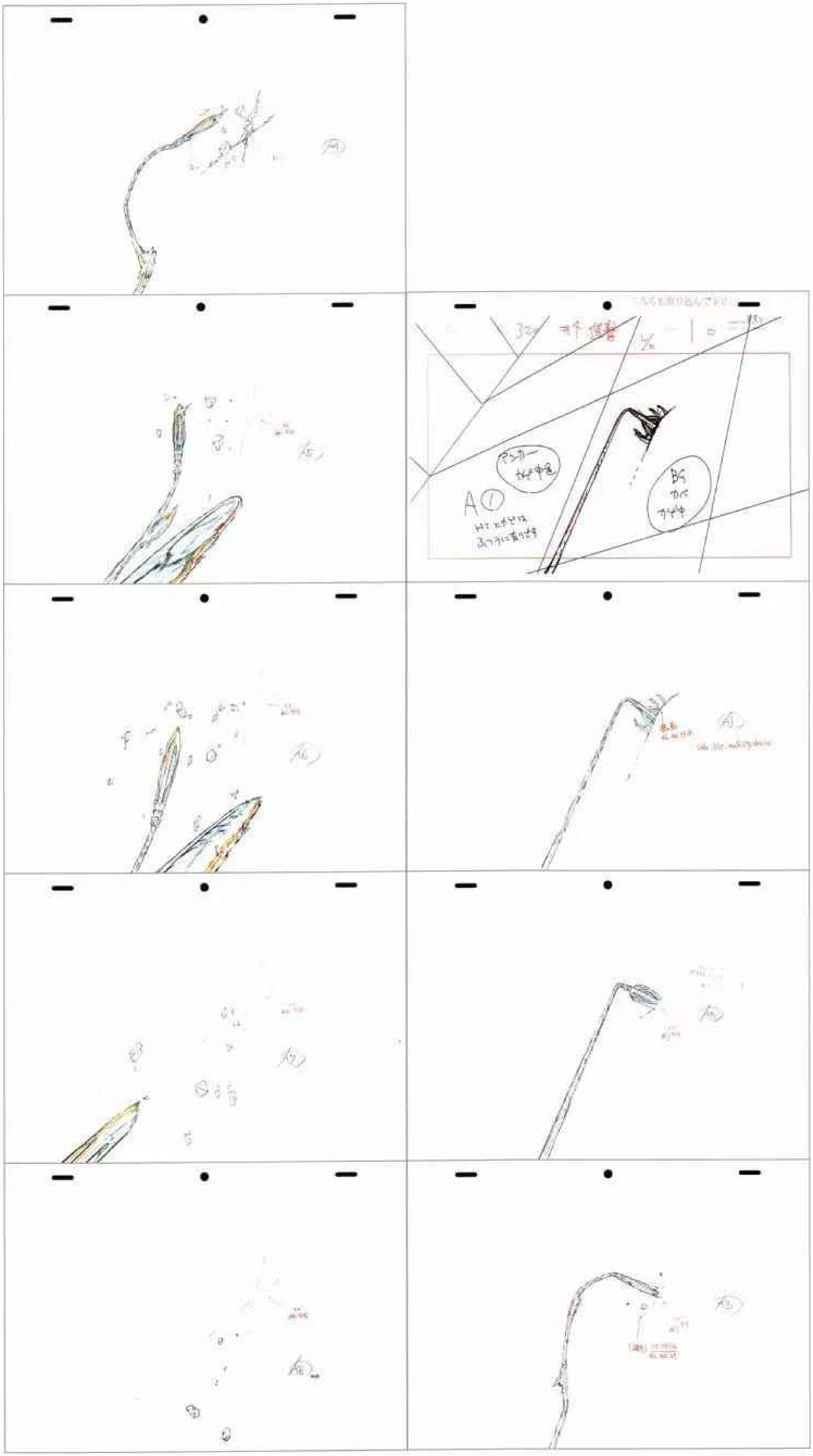


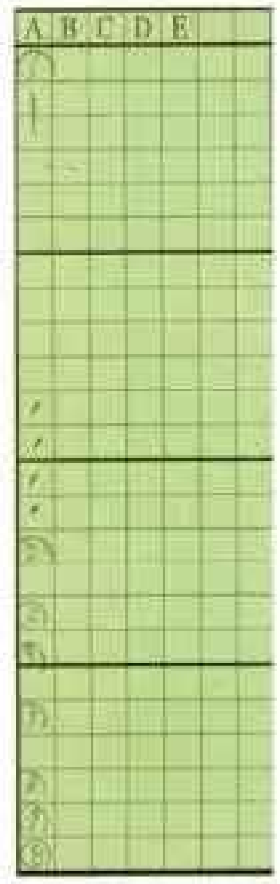


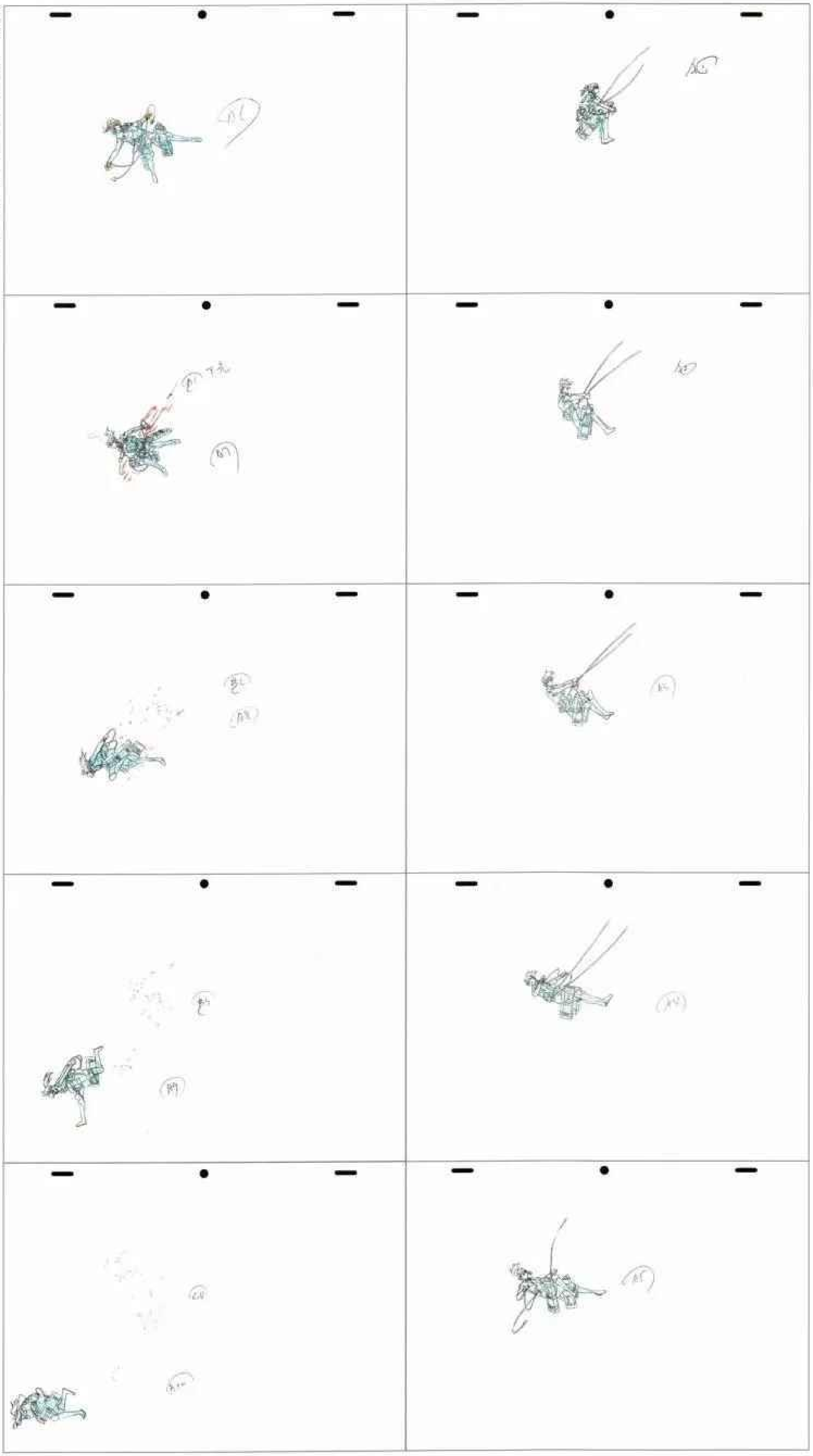
田中洋之コメント

サムエルの気絶感と落下の浮遊感が上手く表現できているカット。これより少し前の壁に穴が開く辺りからラストまでアクション作監江原くんの担当。一段上がる感じがいい。

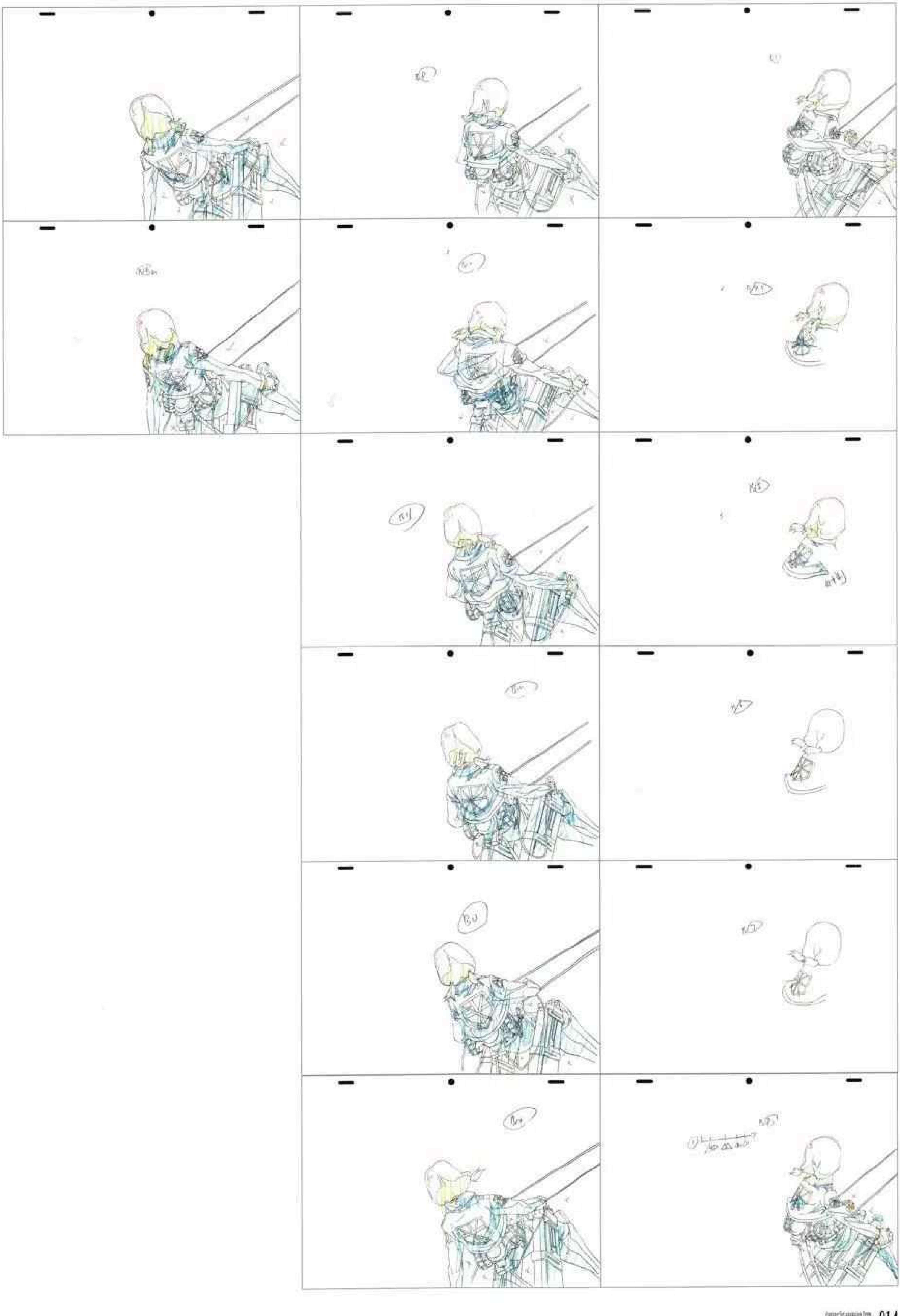


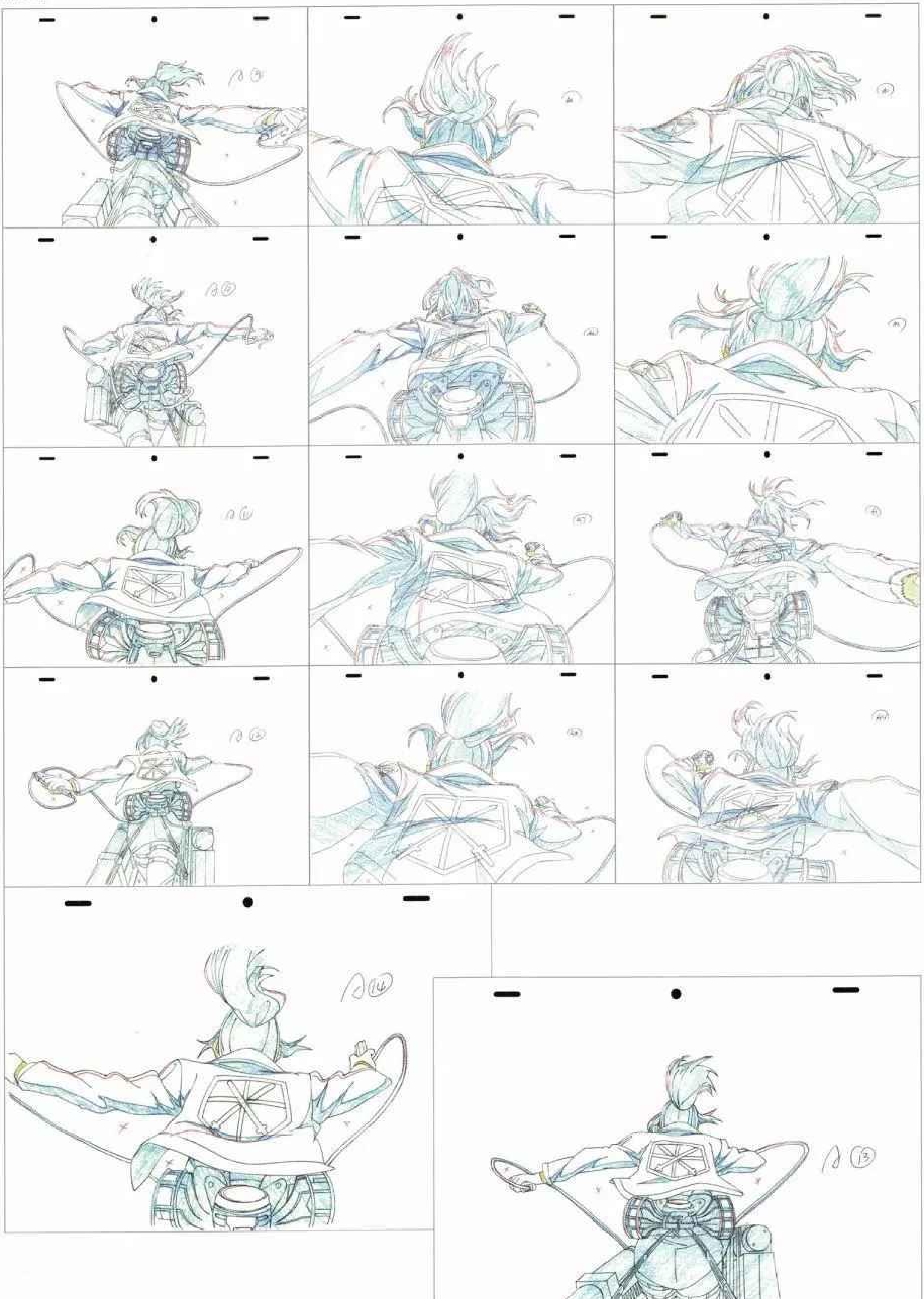


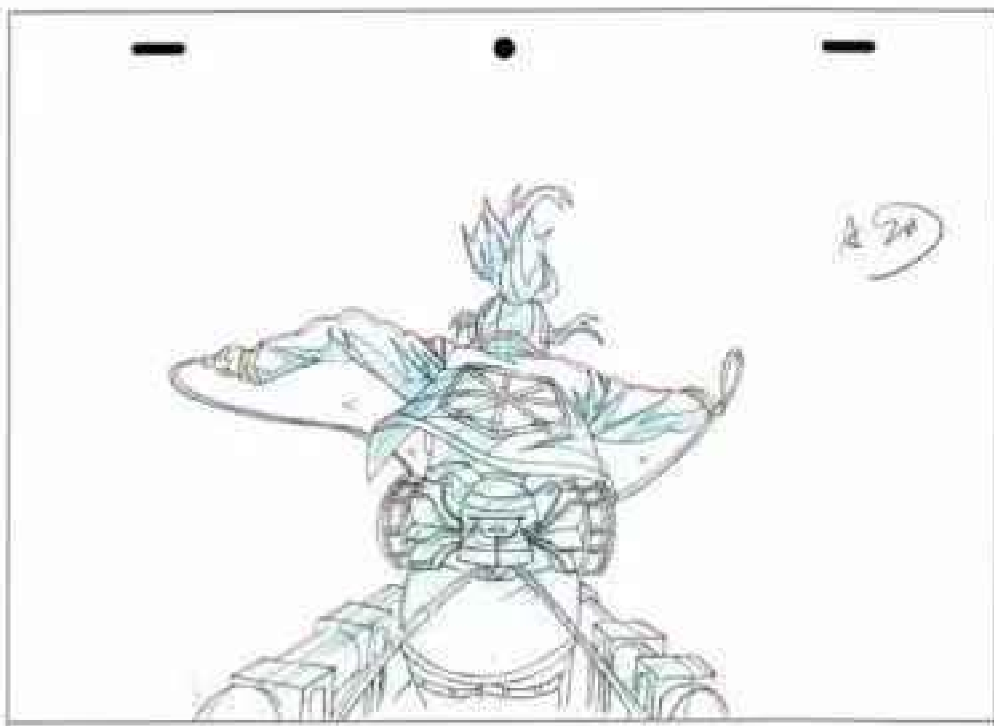


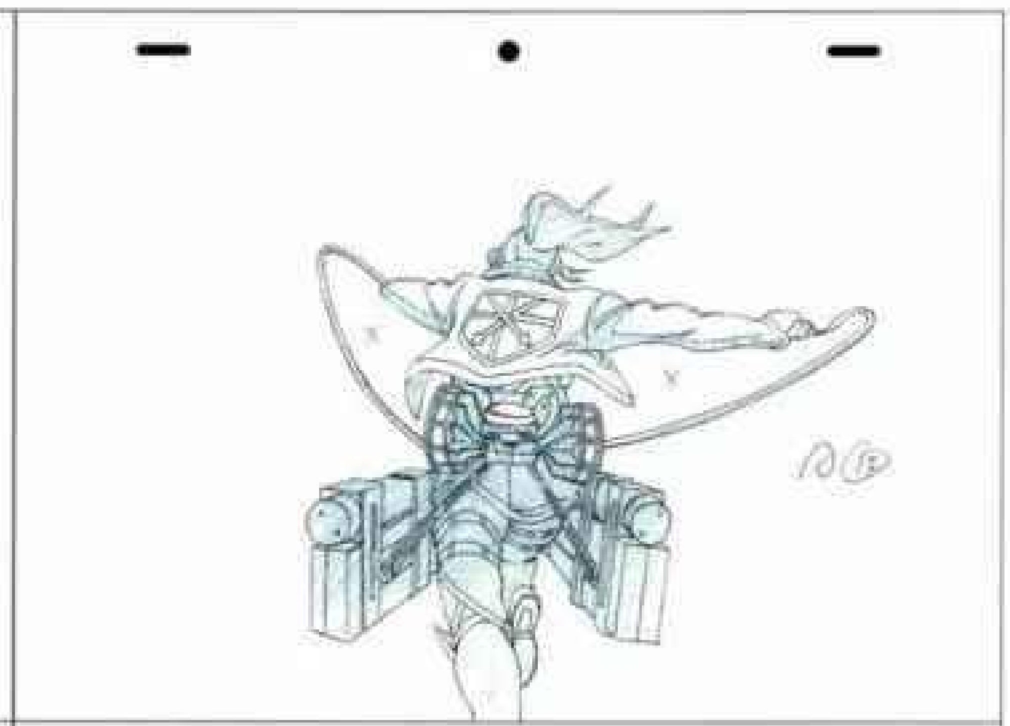


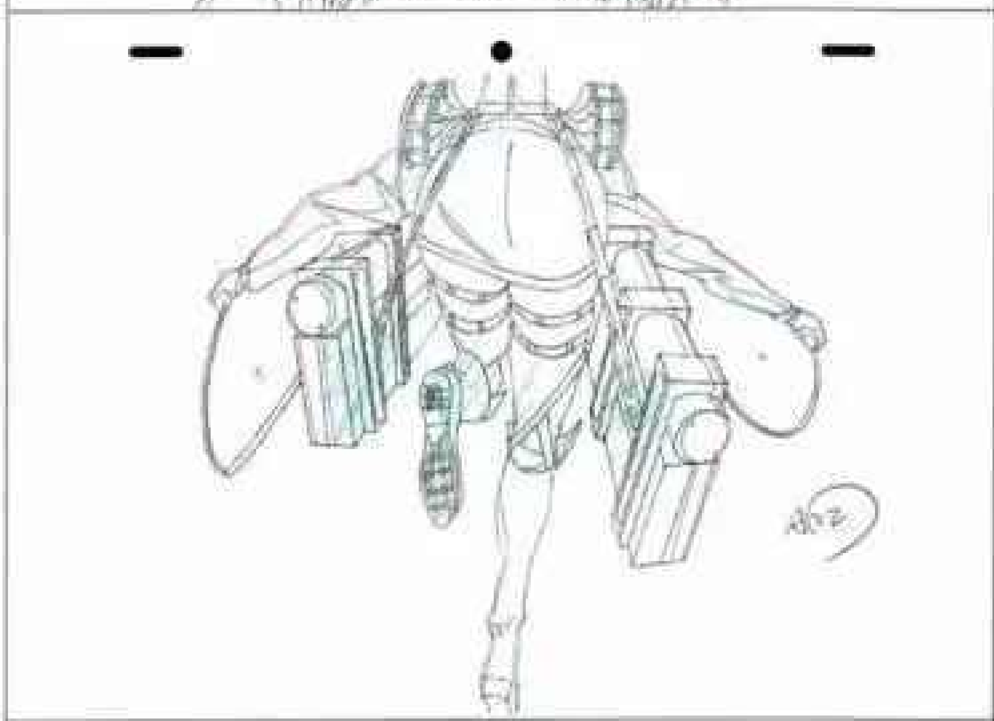


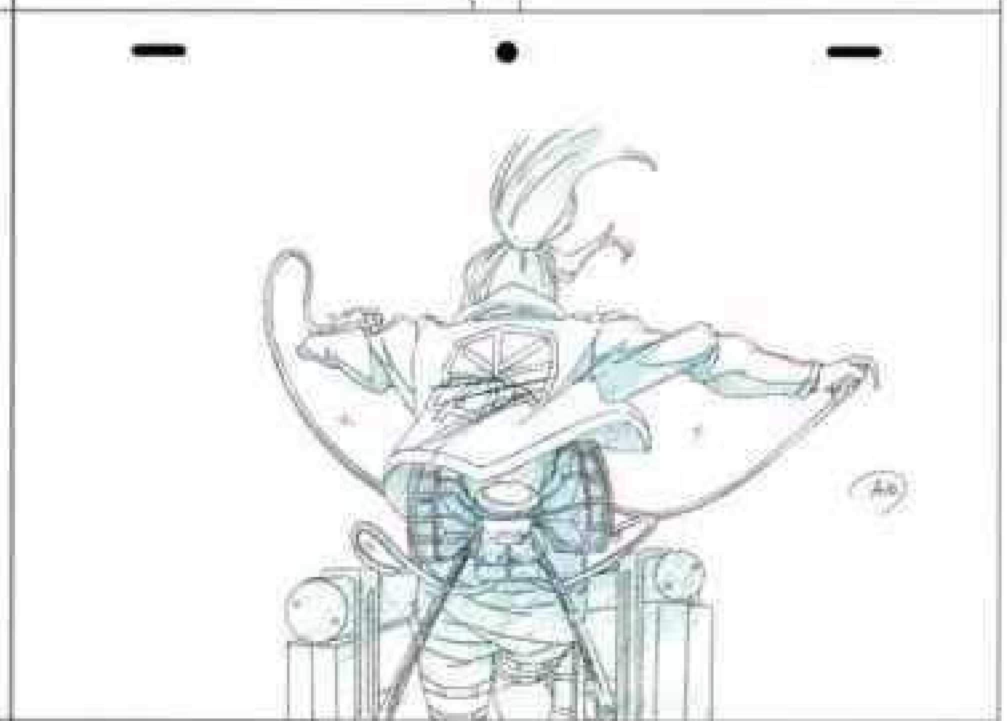


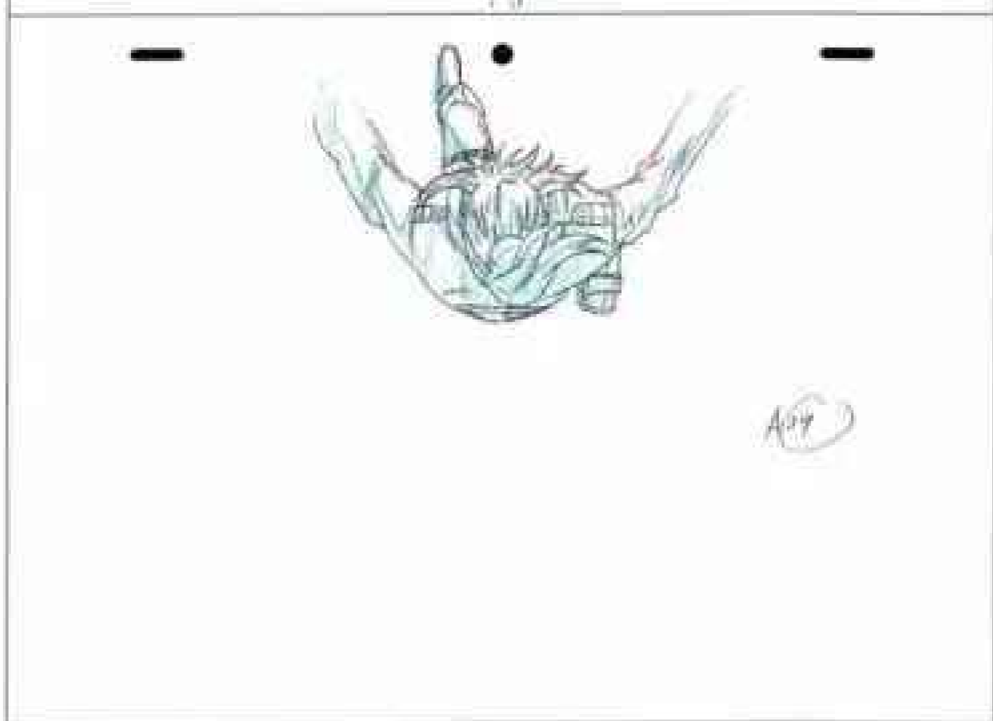




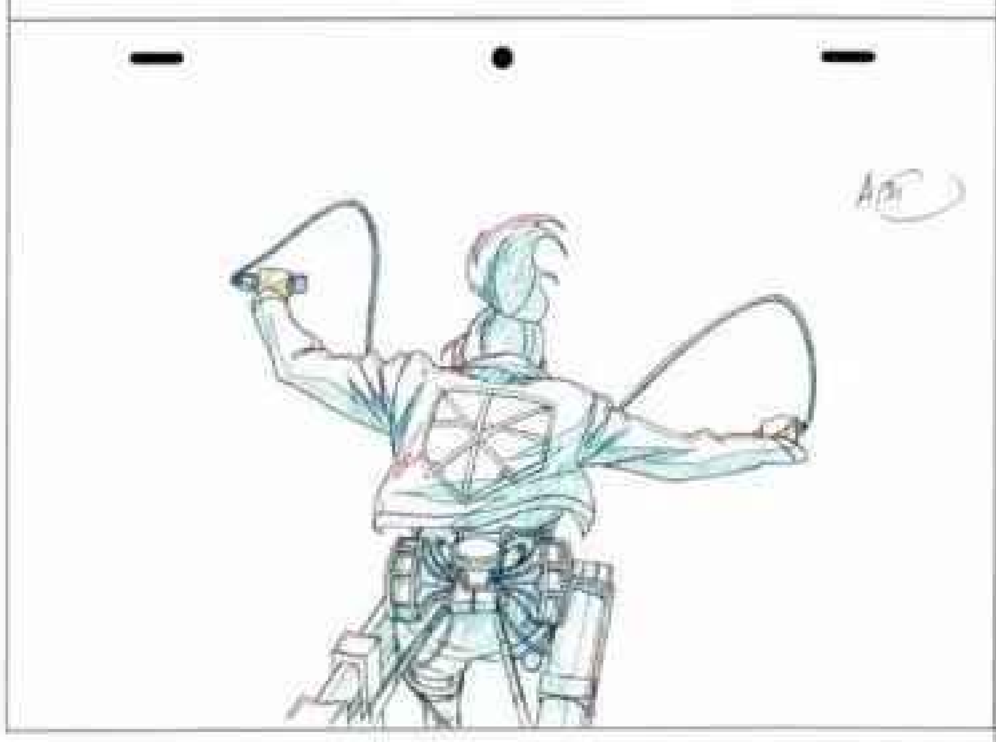


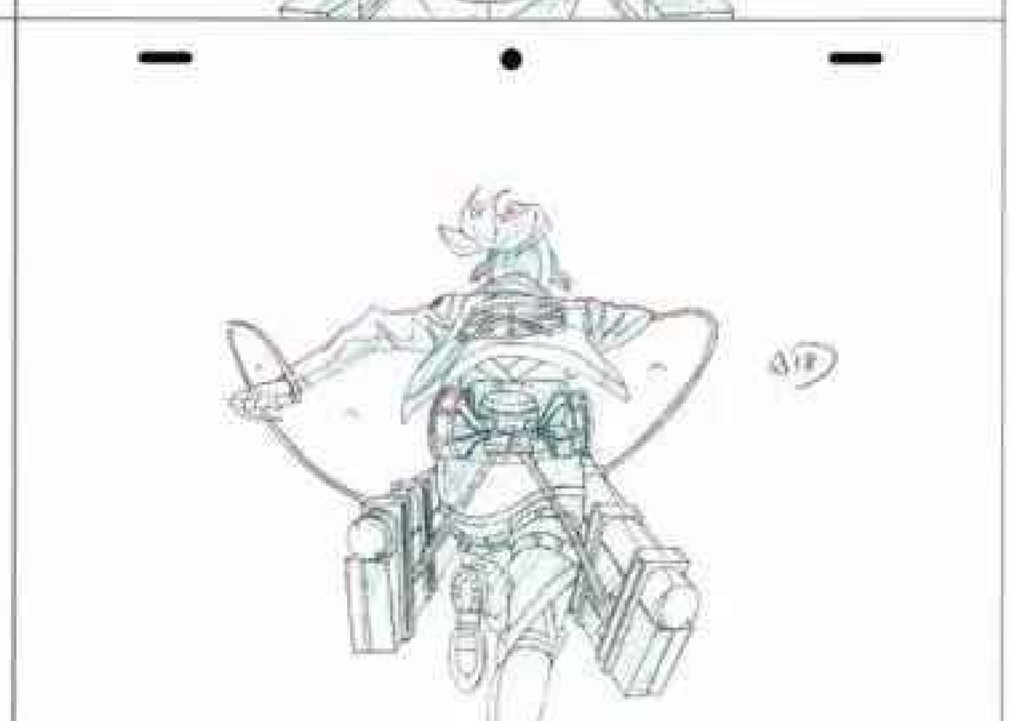






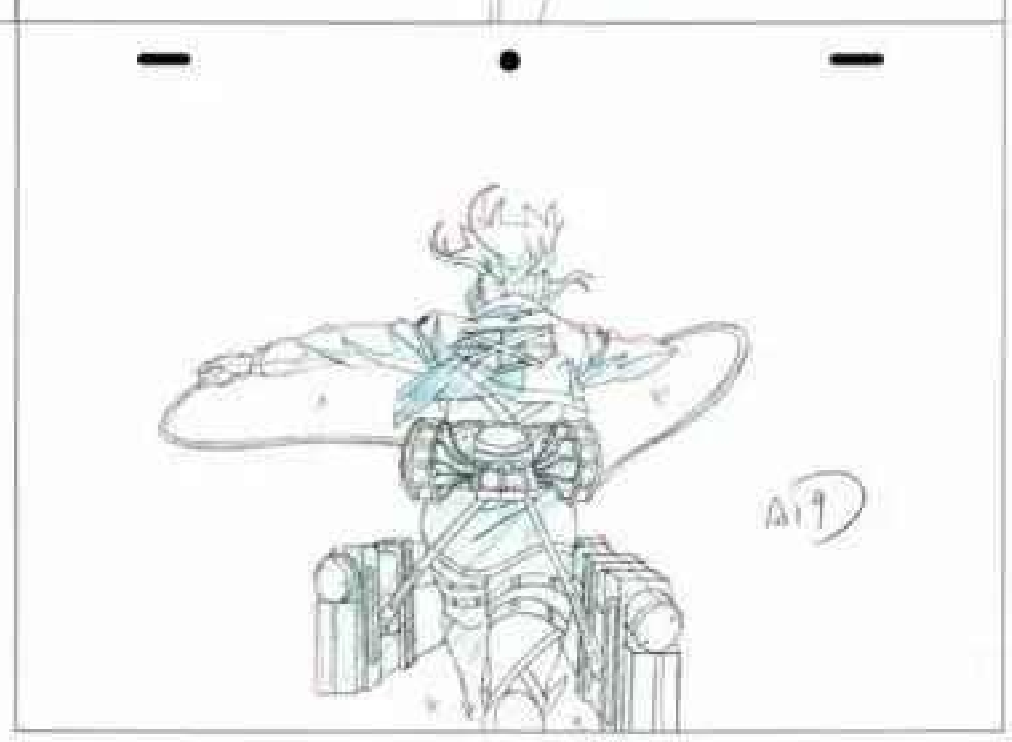






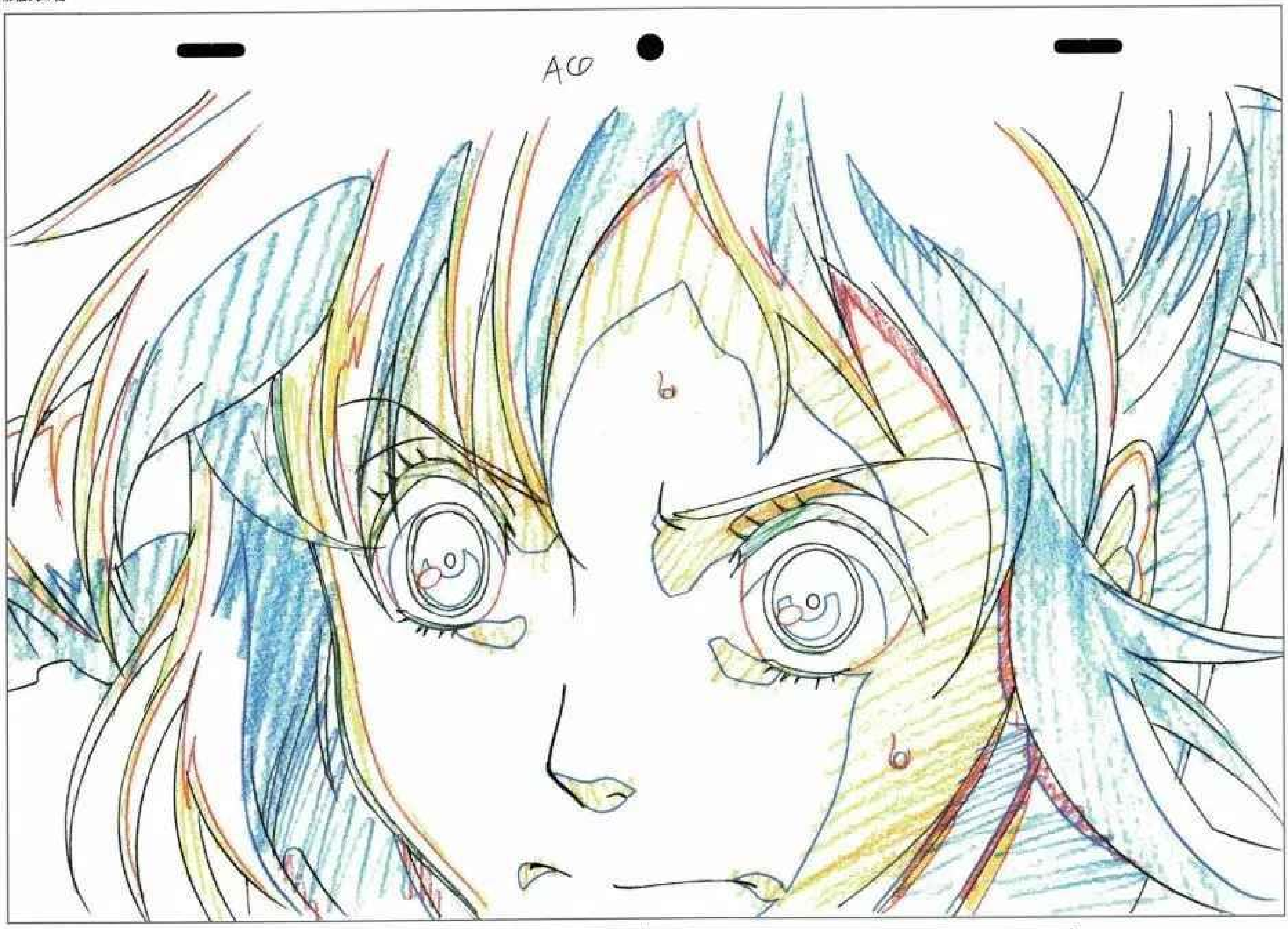
田中洋之コメント

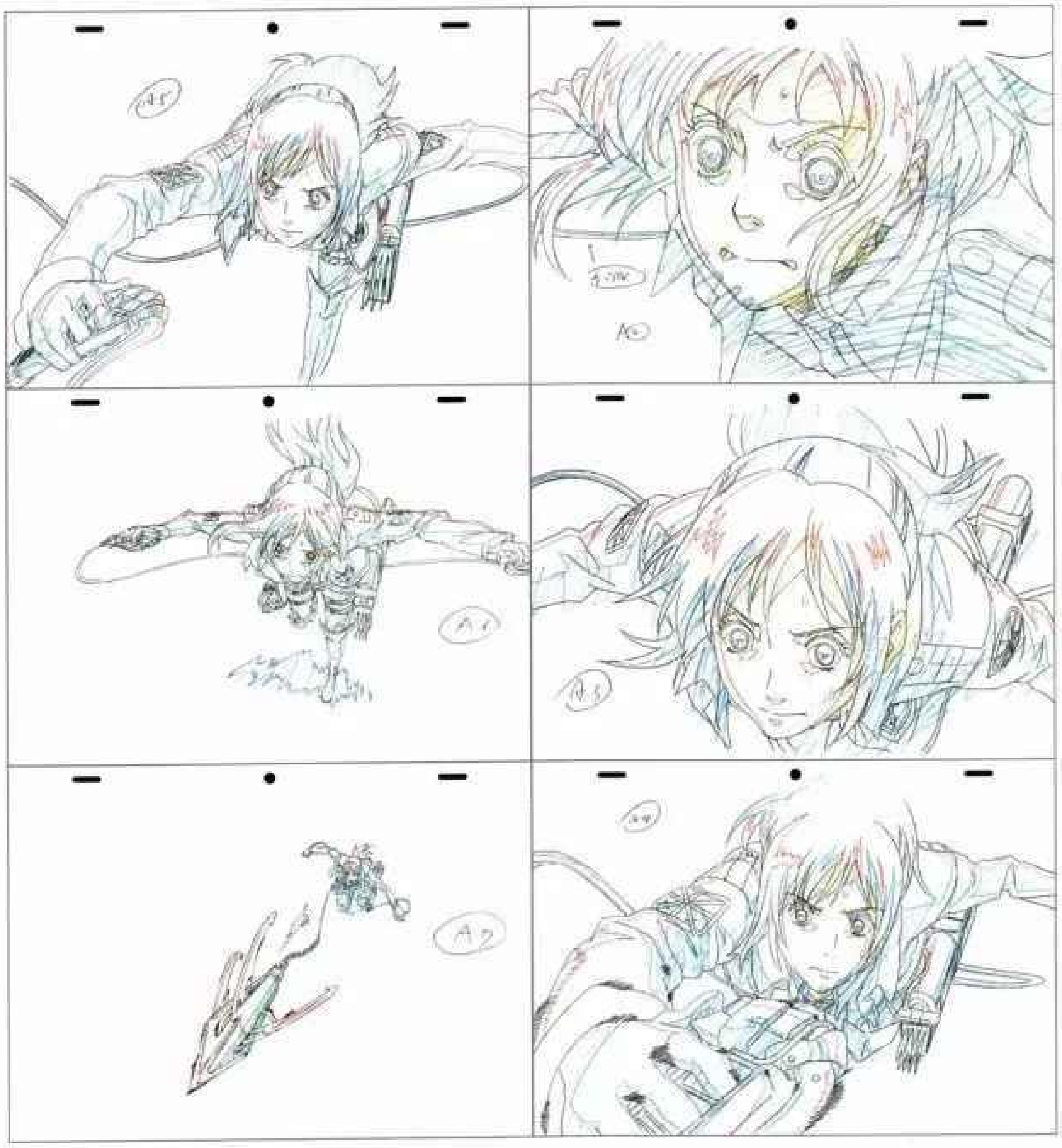
壁を走り落ちるという嘘に本当らしさが加わってサシャの身体能力と野生の勘の凄さが画面を伝わってくる。ただの芋女ではないことをここで証明。

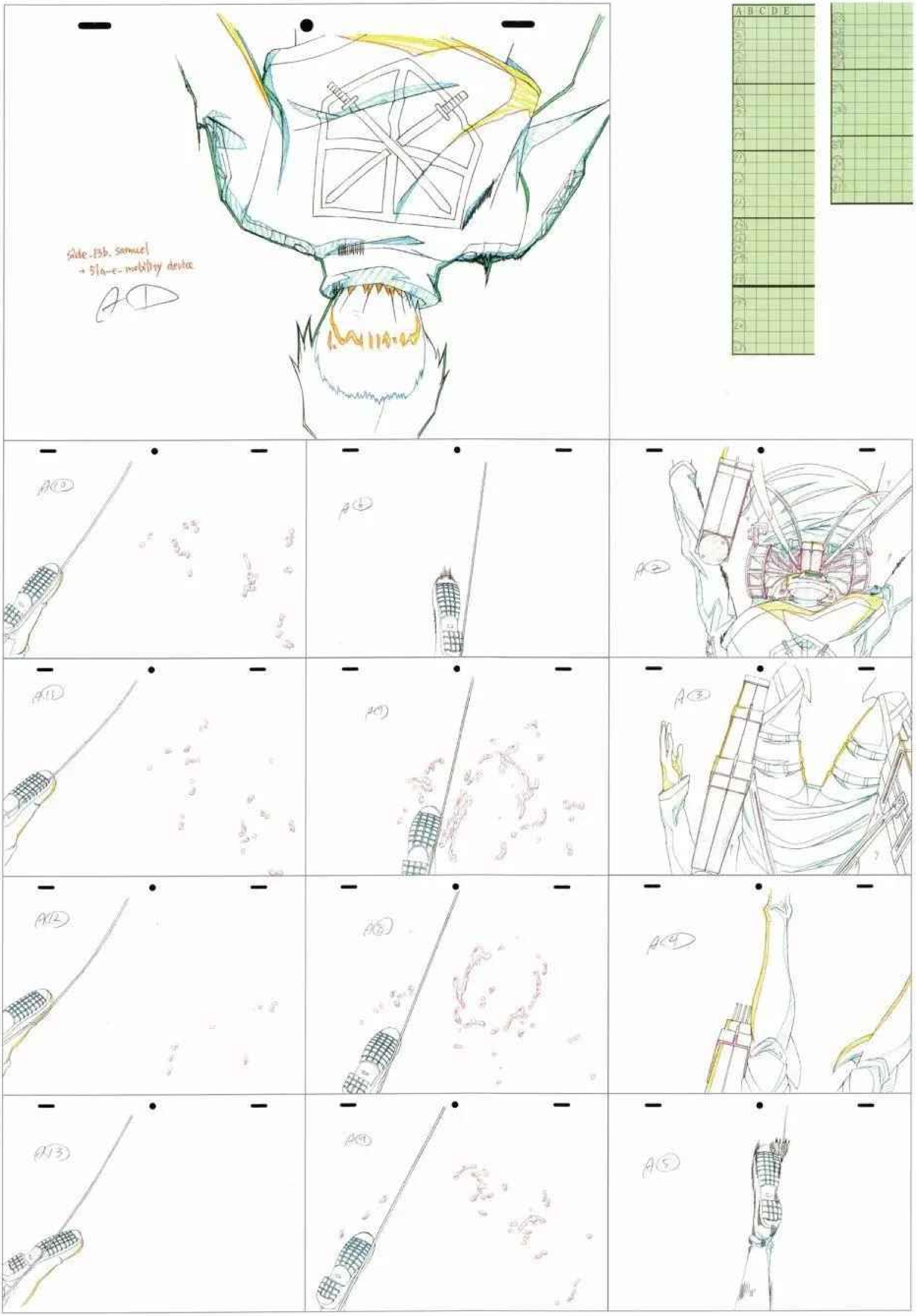


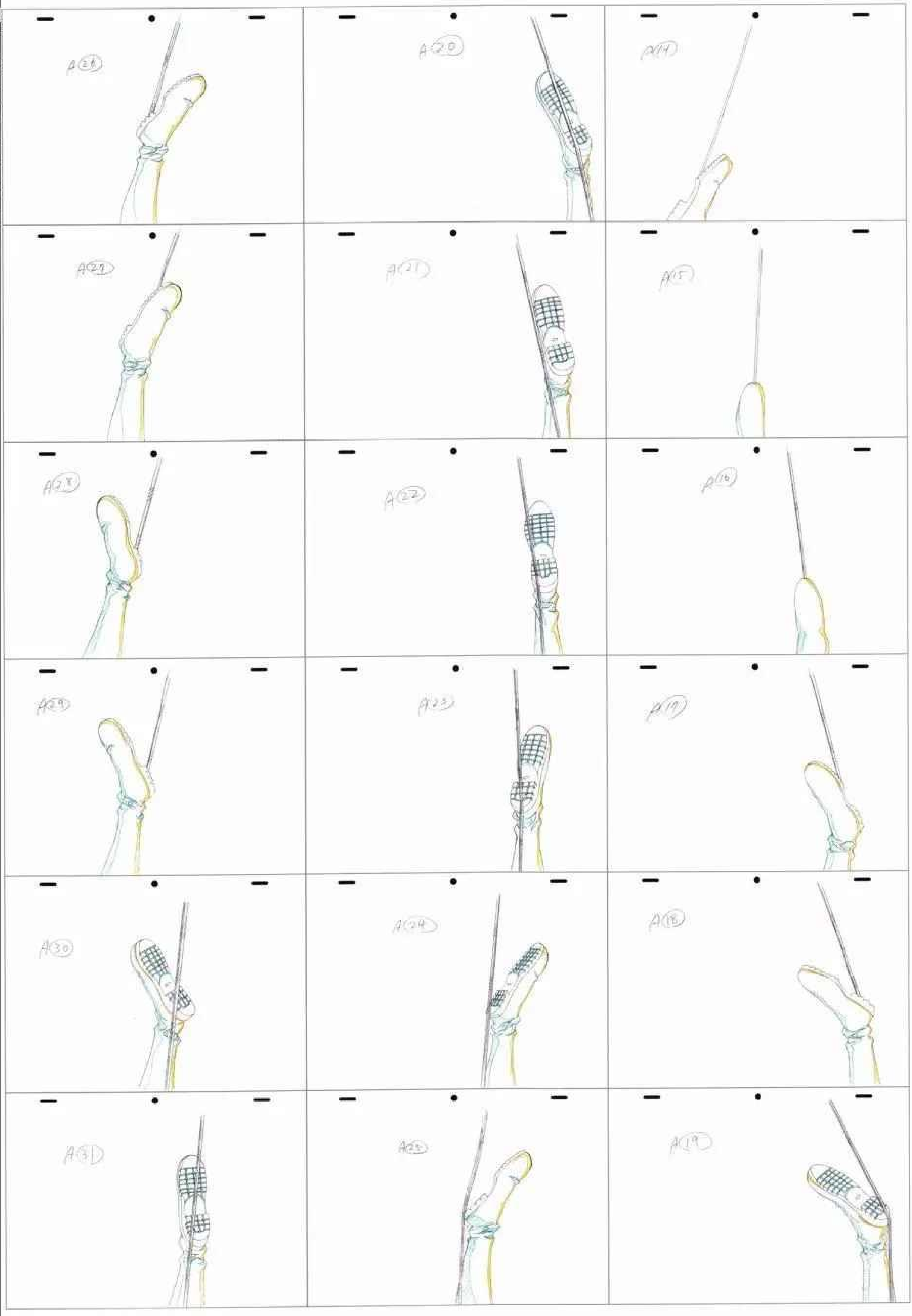
白坊 黑龍

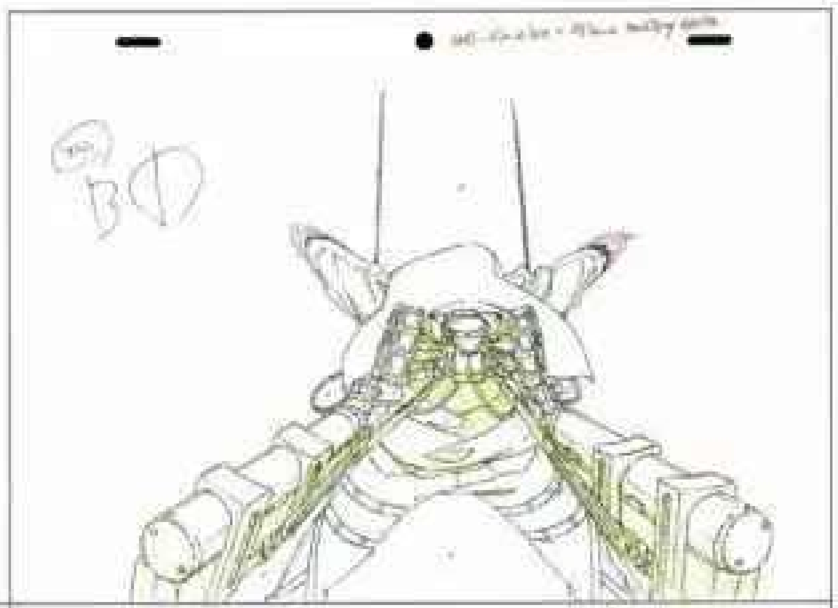
进击的巨人原画集 #4~#7





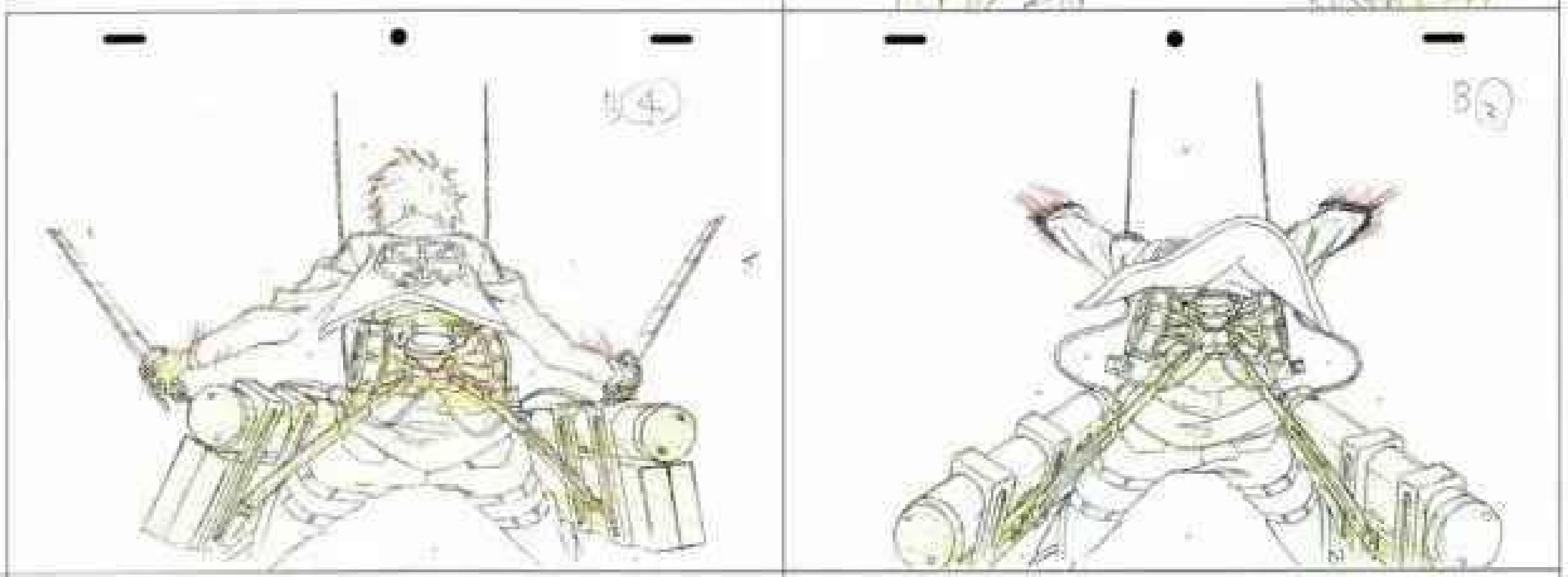


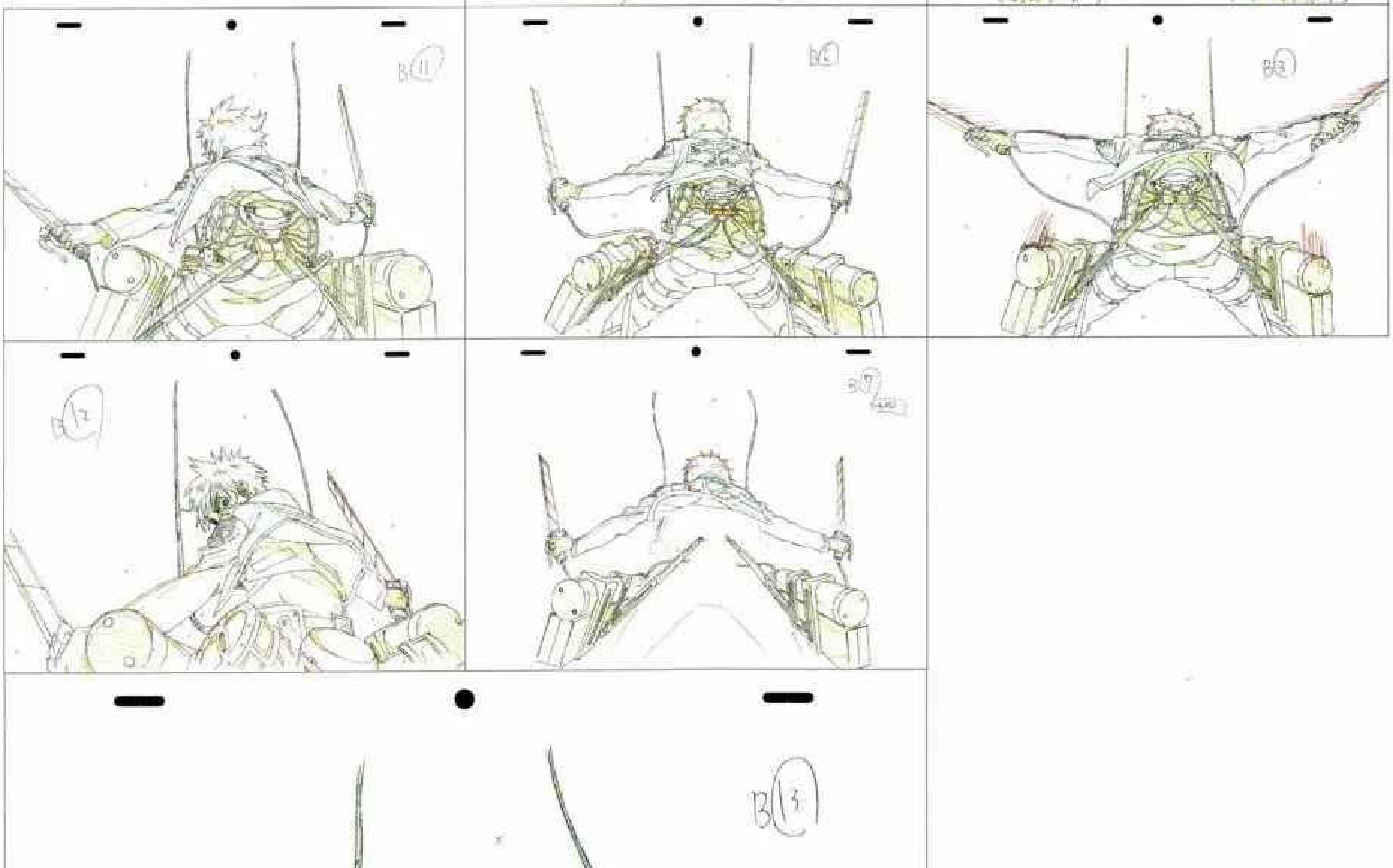

A26
A20
A14
A27
A21
A15
A28
A22
A16
A29
A23
A17
A30
A24
A18
A31
A25
A19

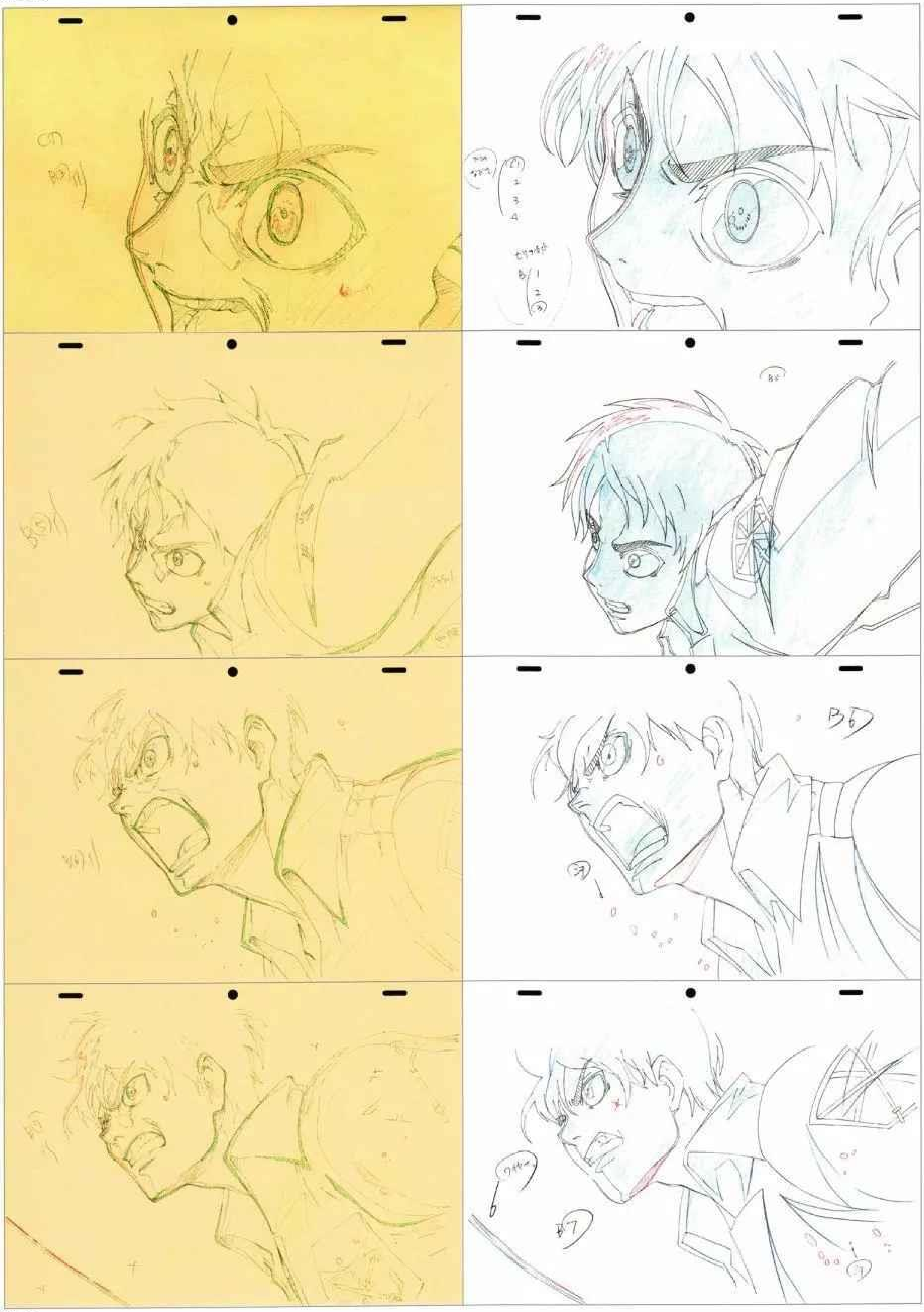


田中洋之コメント

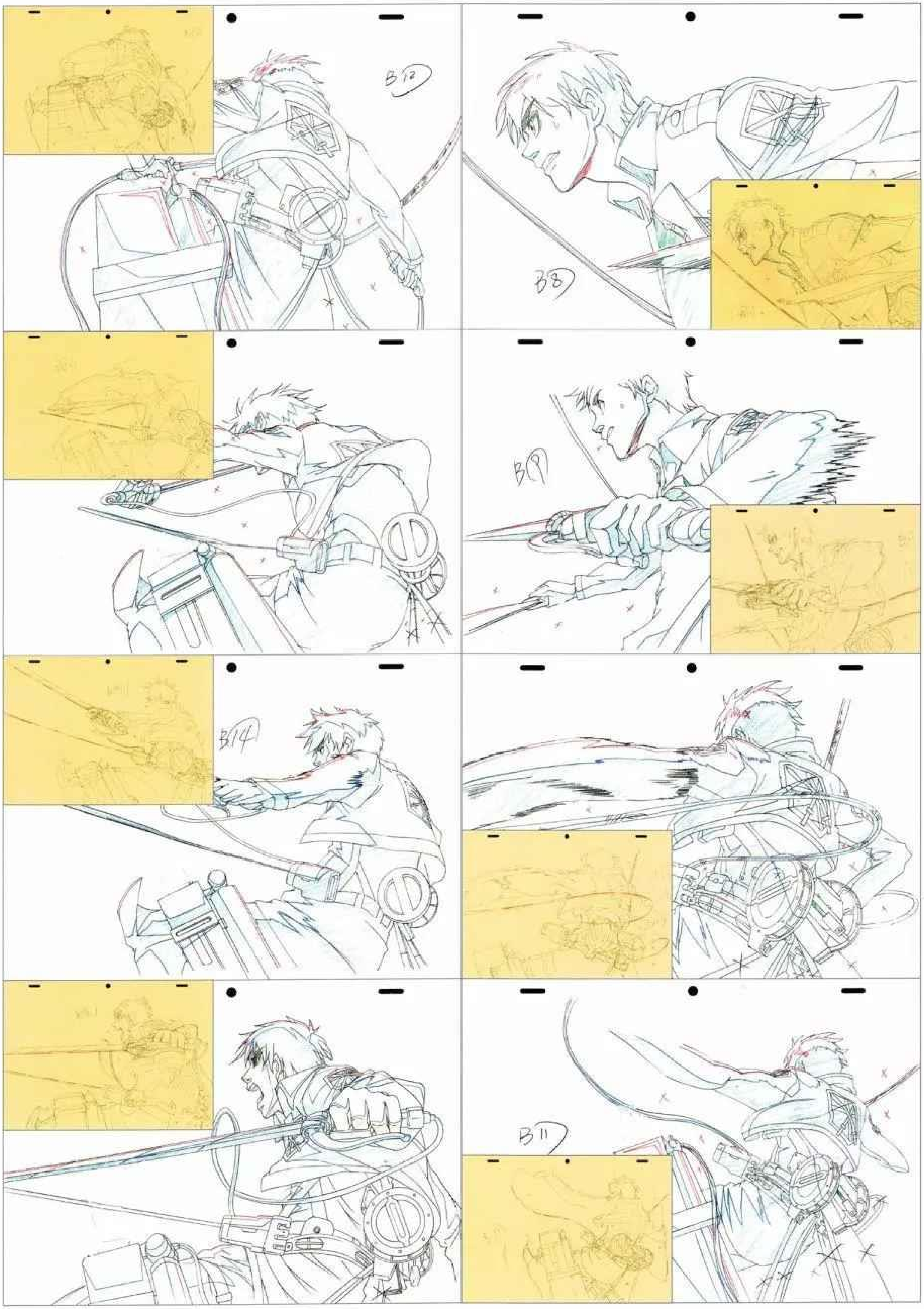
恐怖、驚きから討伐感情へのスイッチが入り動き出すエレンを捉えたバックショット。
まさに後ろ向きの感情から前を向き挑んでいく。

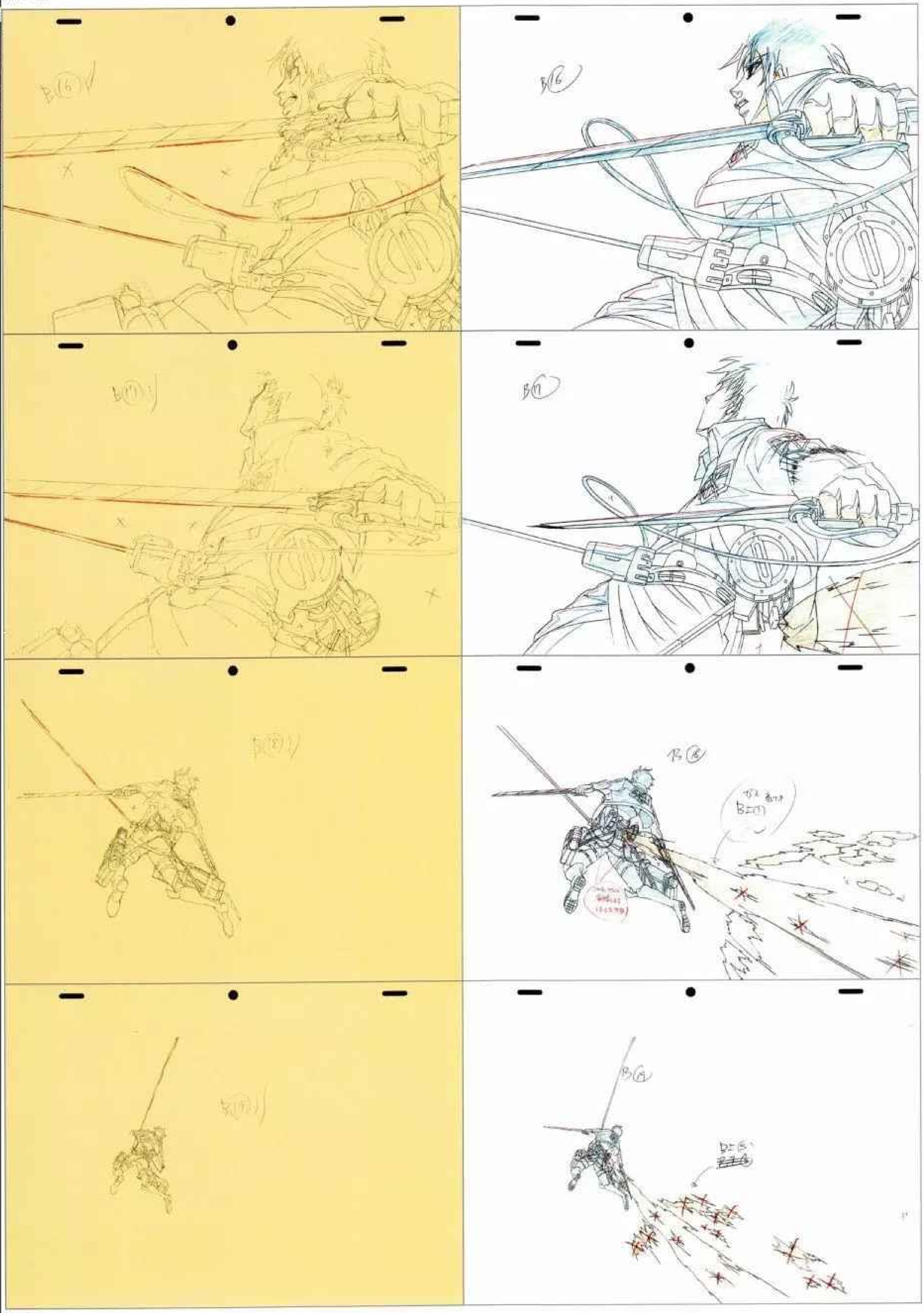




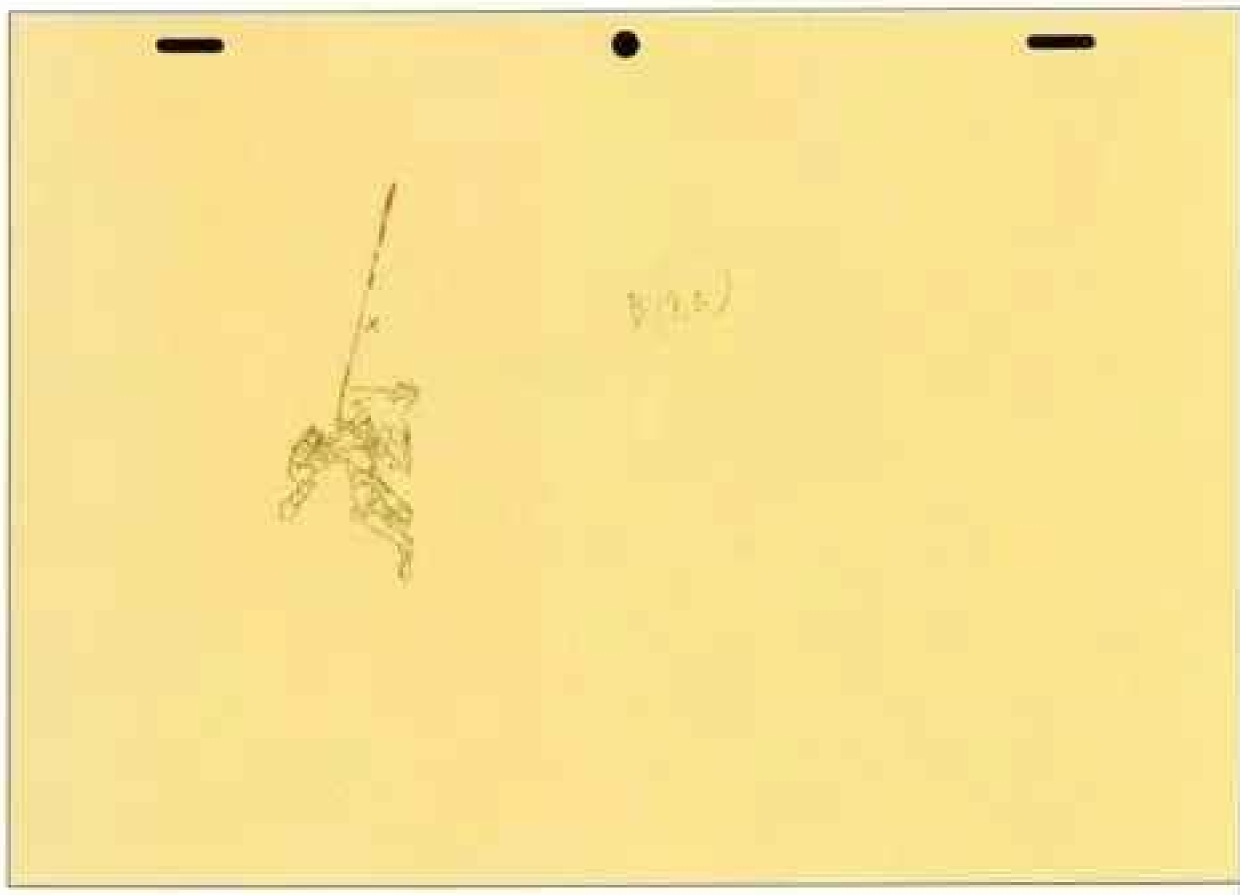


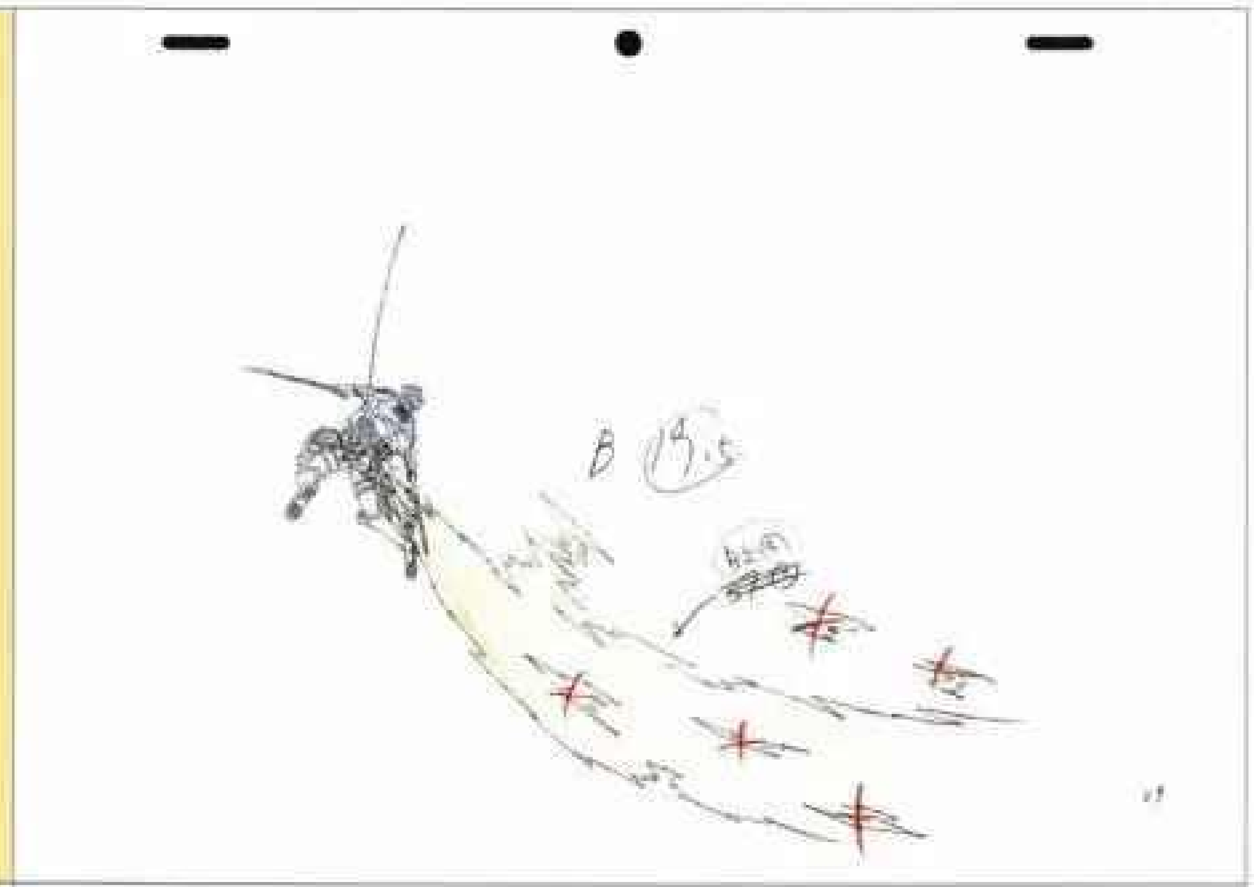
修正


B12
B8
B9
B14
B11

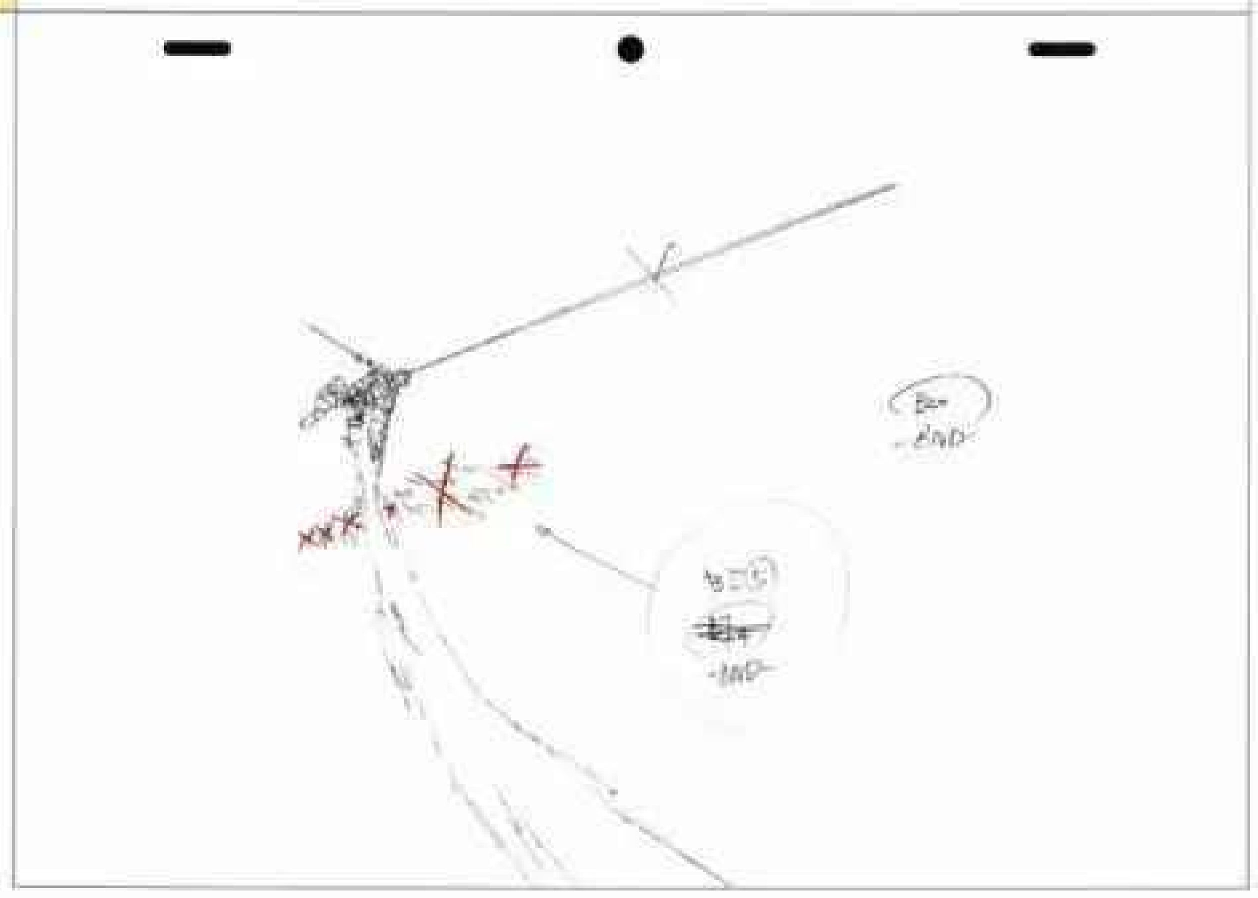


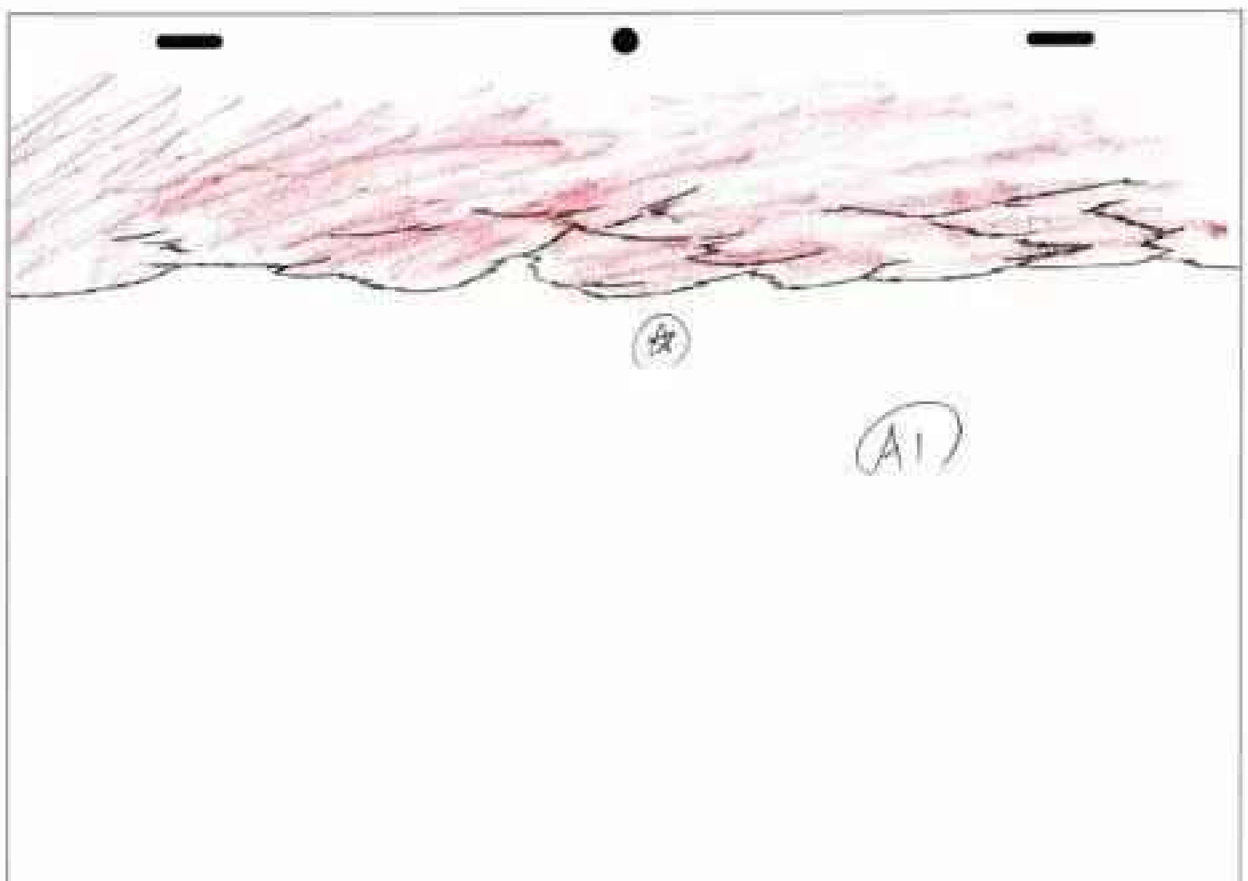
修正

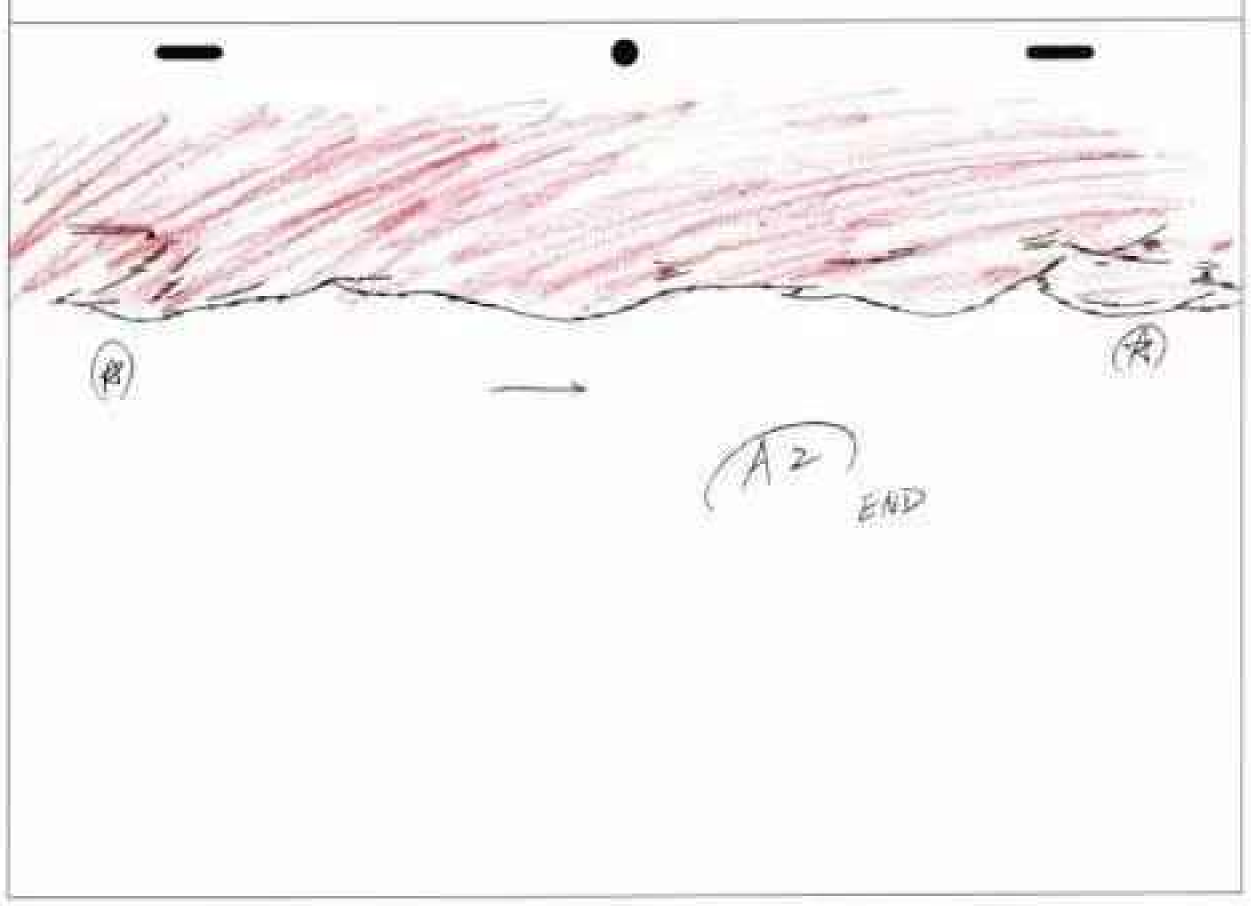




修正

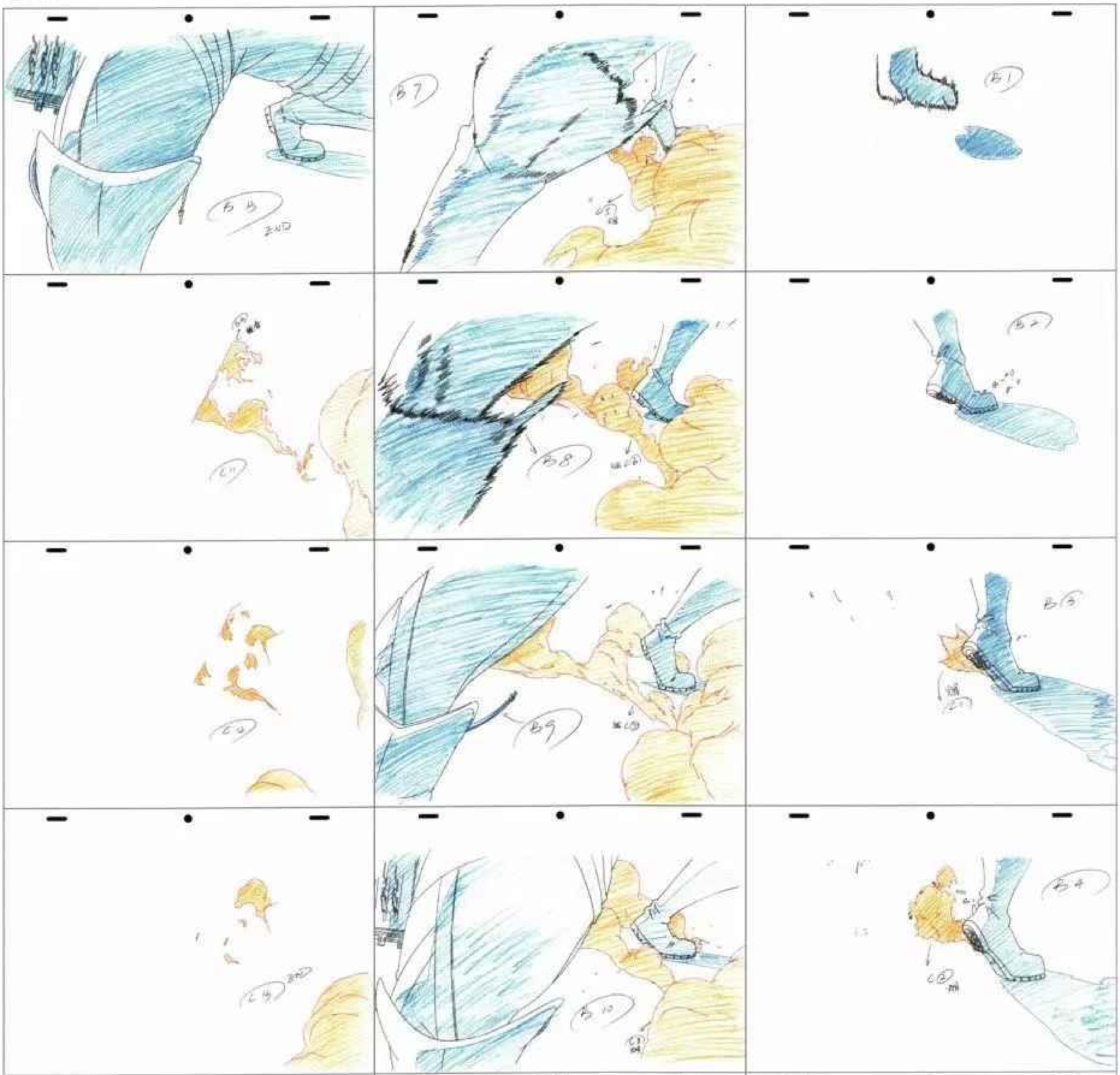


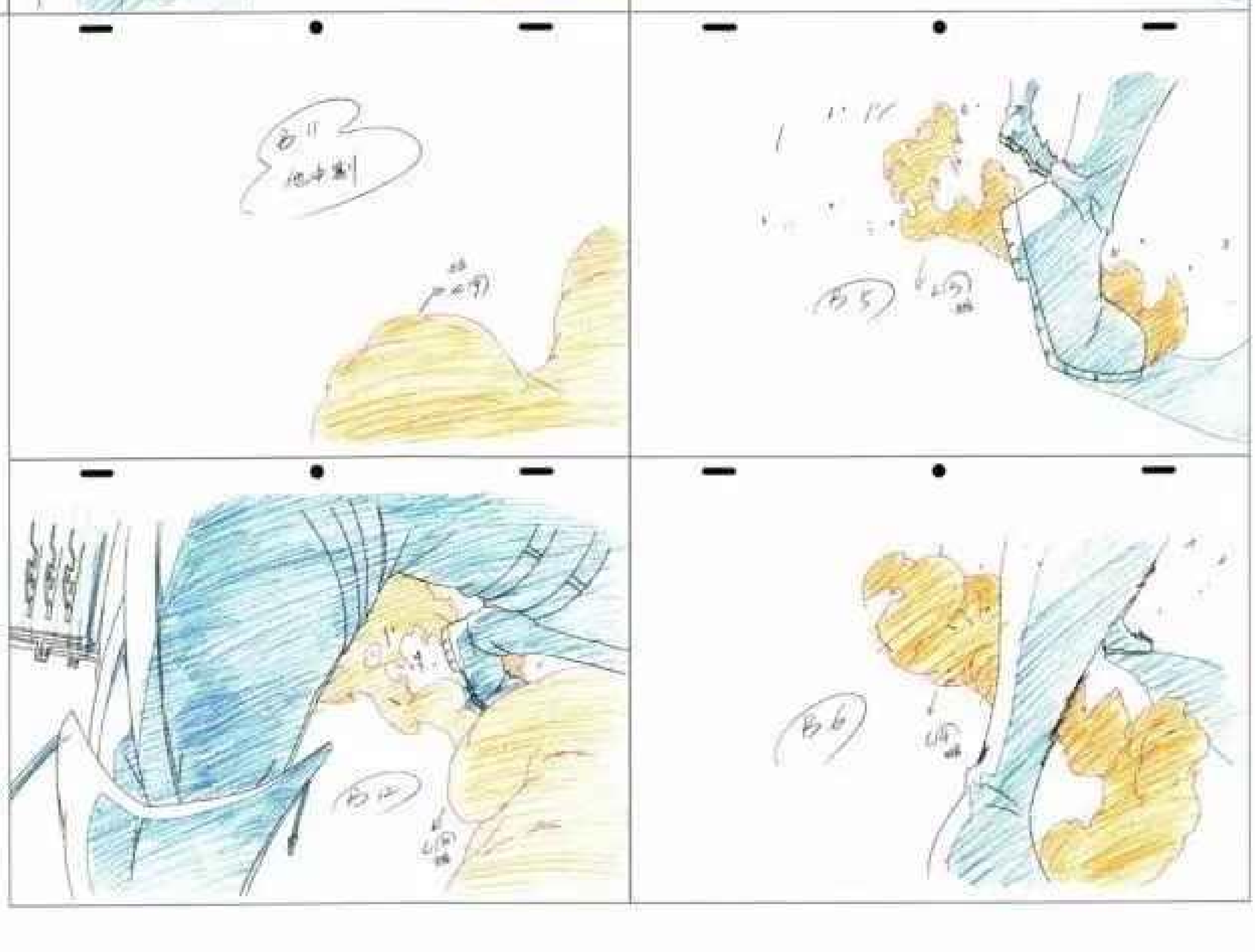








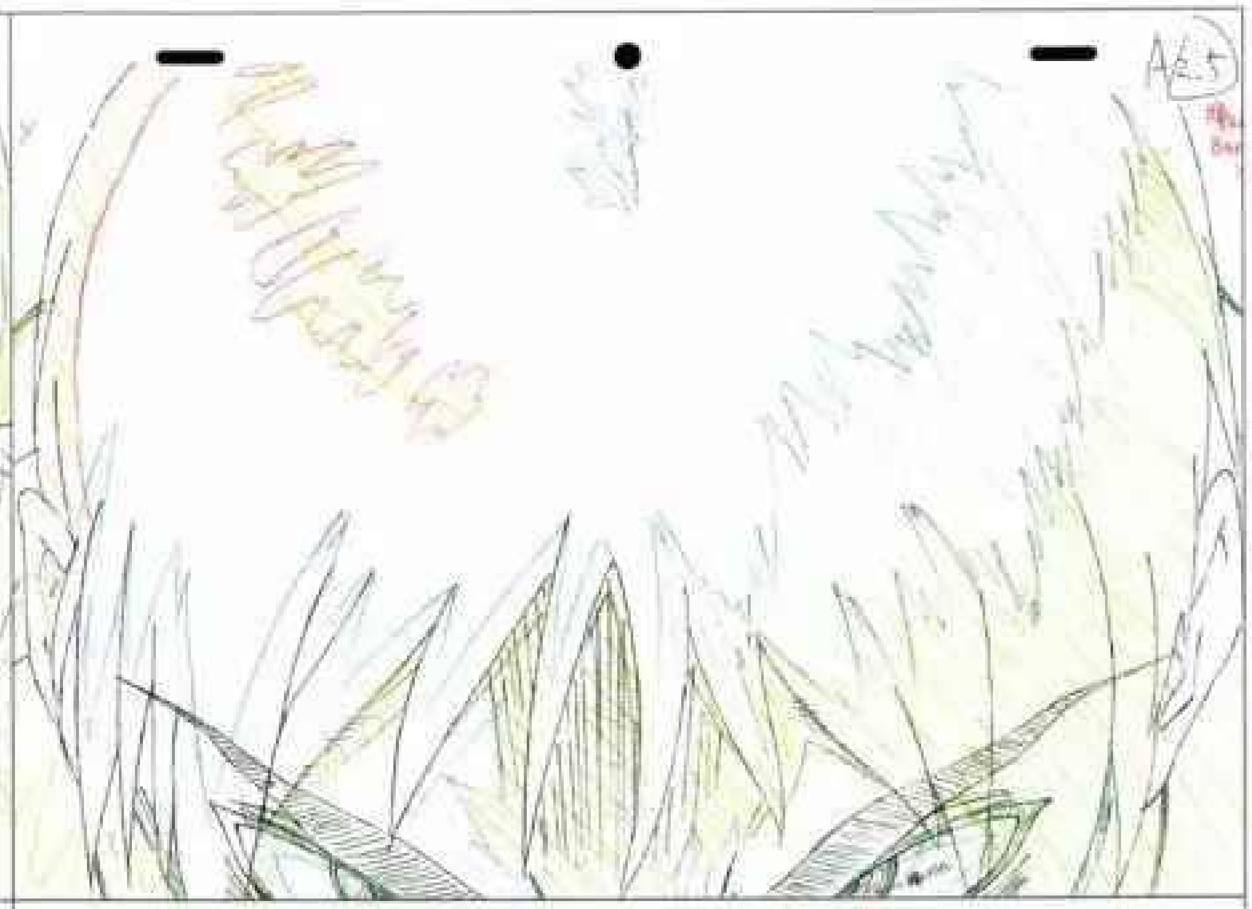


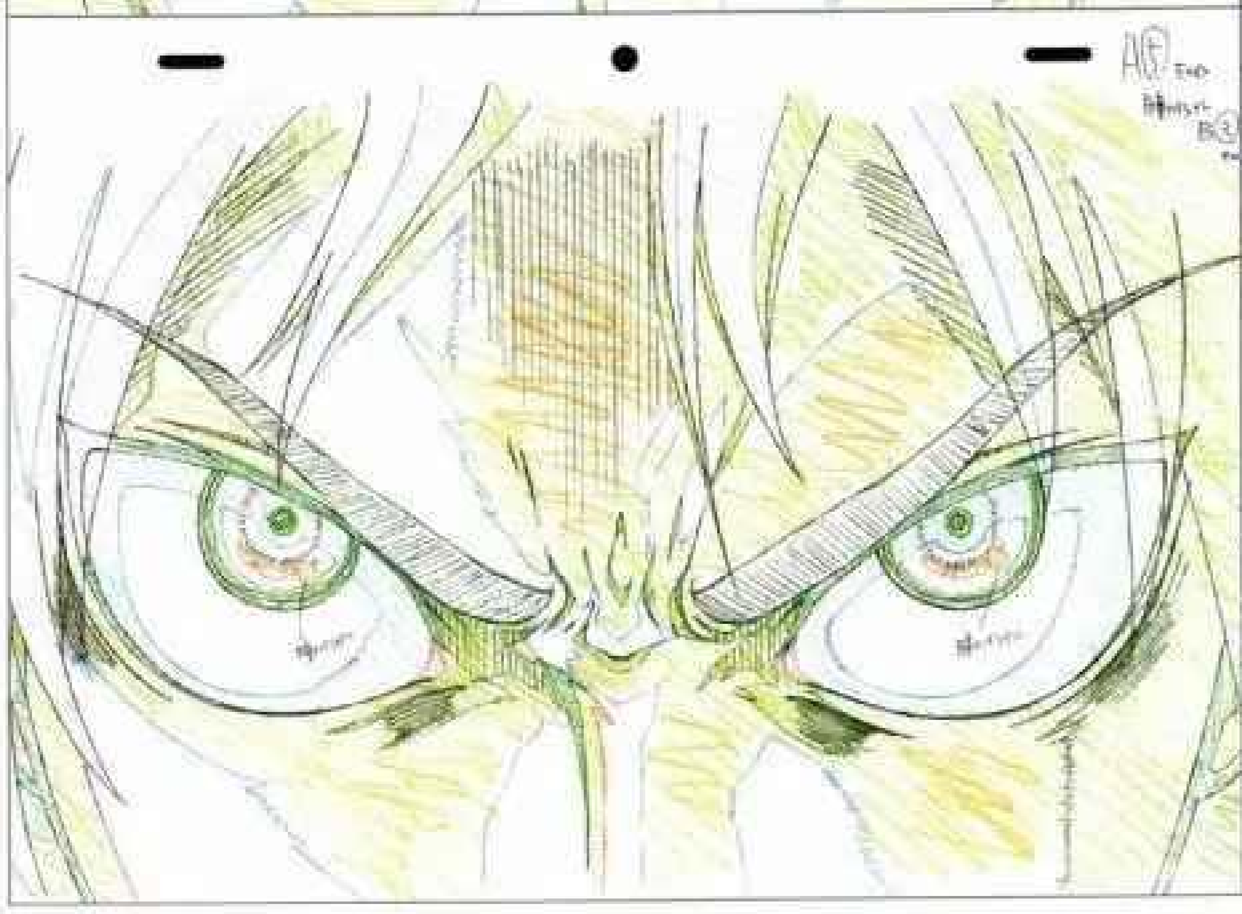


田中洋之コメント

エレンの感情が地に付いた瞬間。
ここの力感がしっかりしているからこそ続く2カットが大いに映えてくる。



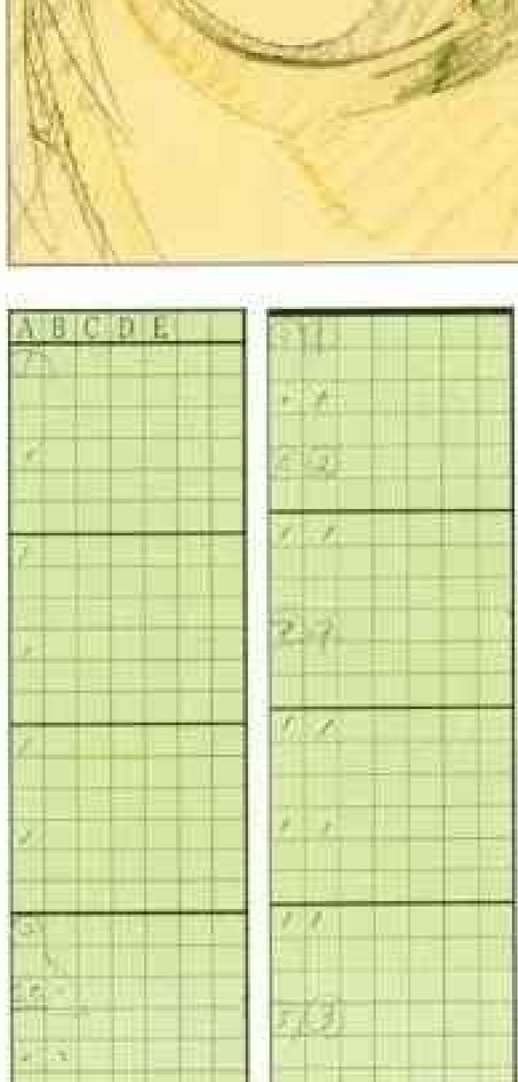


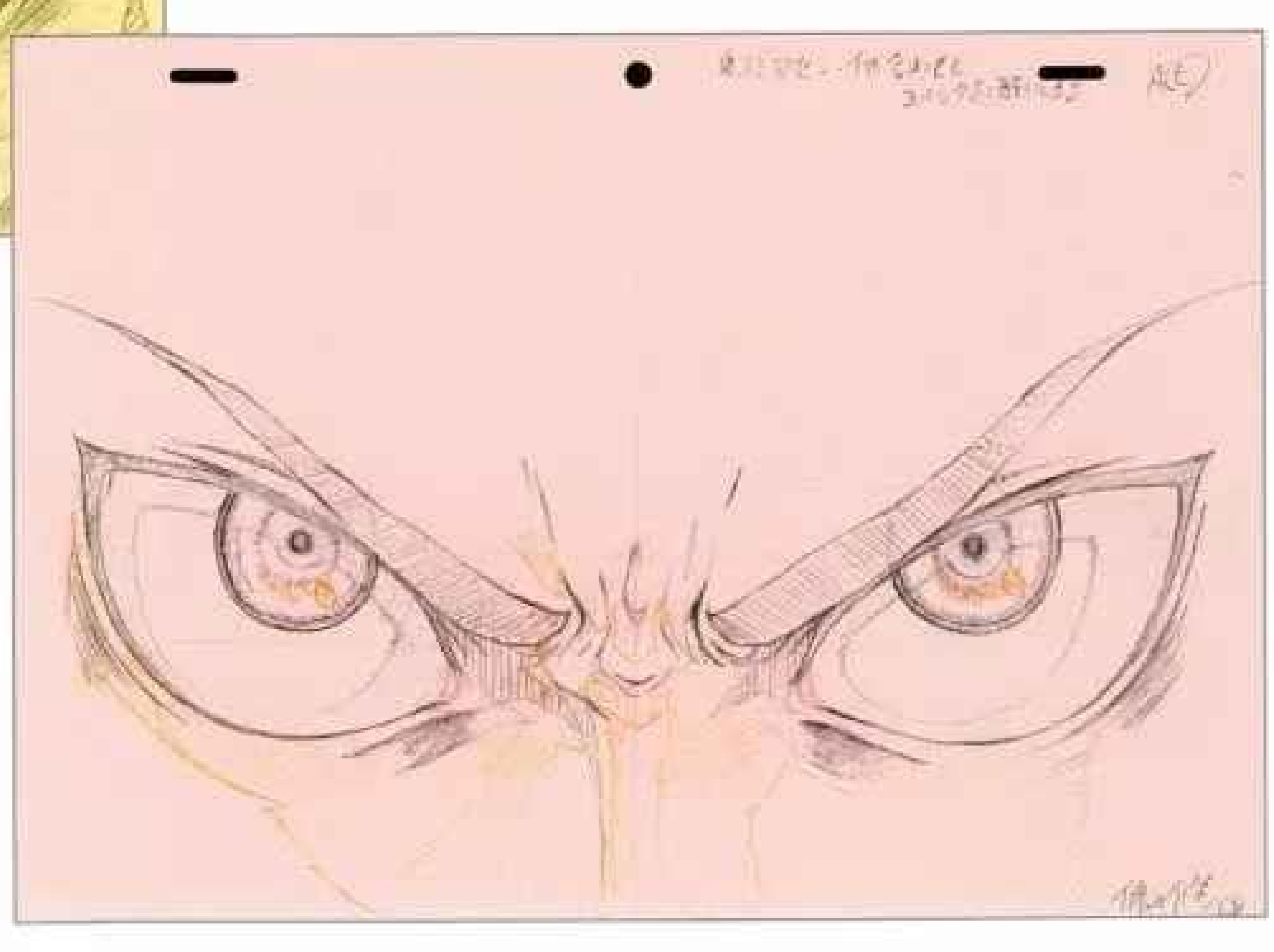




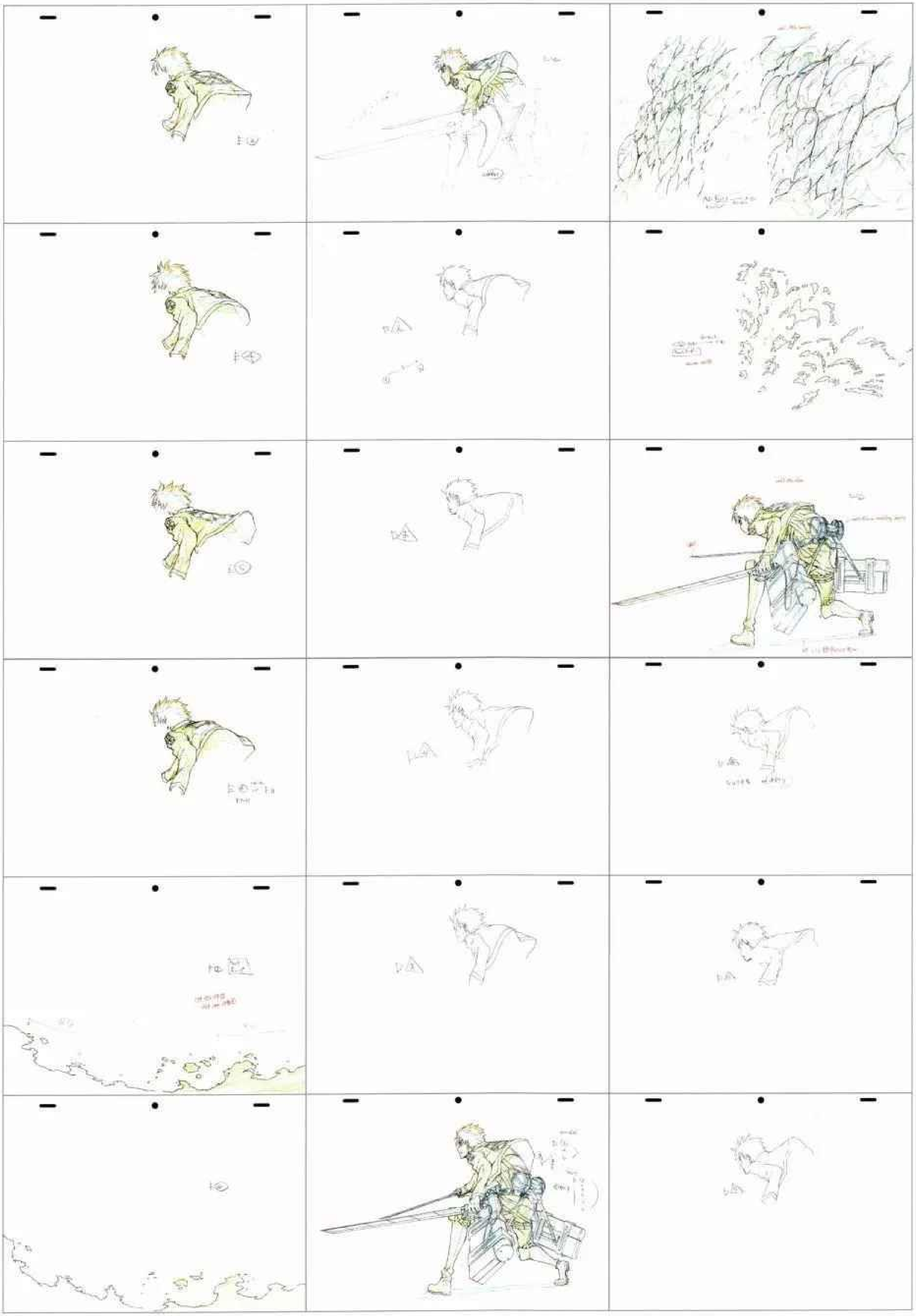


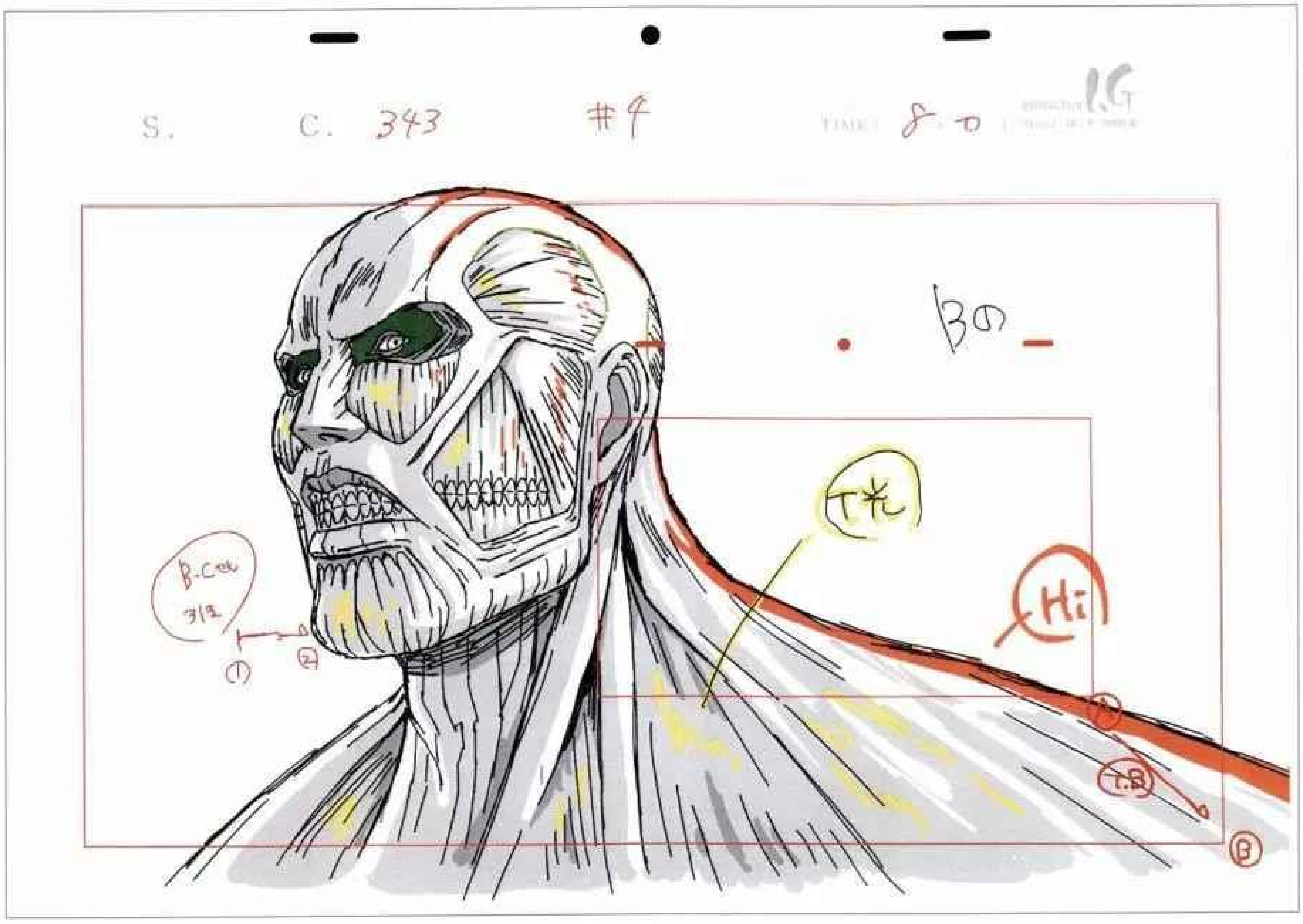
修正

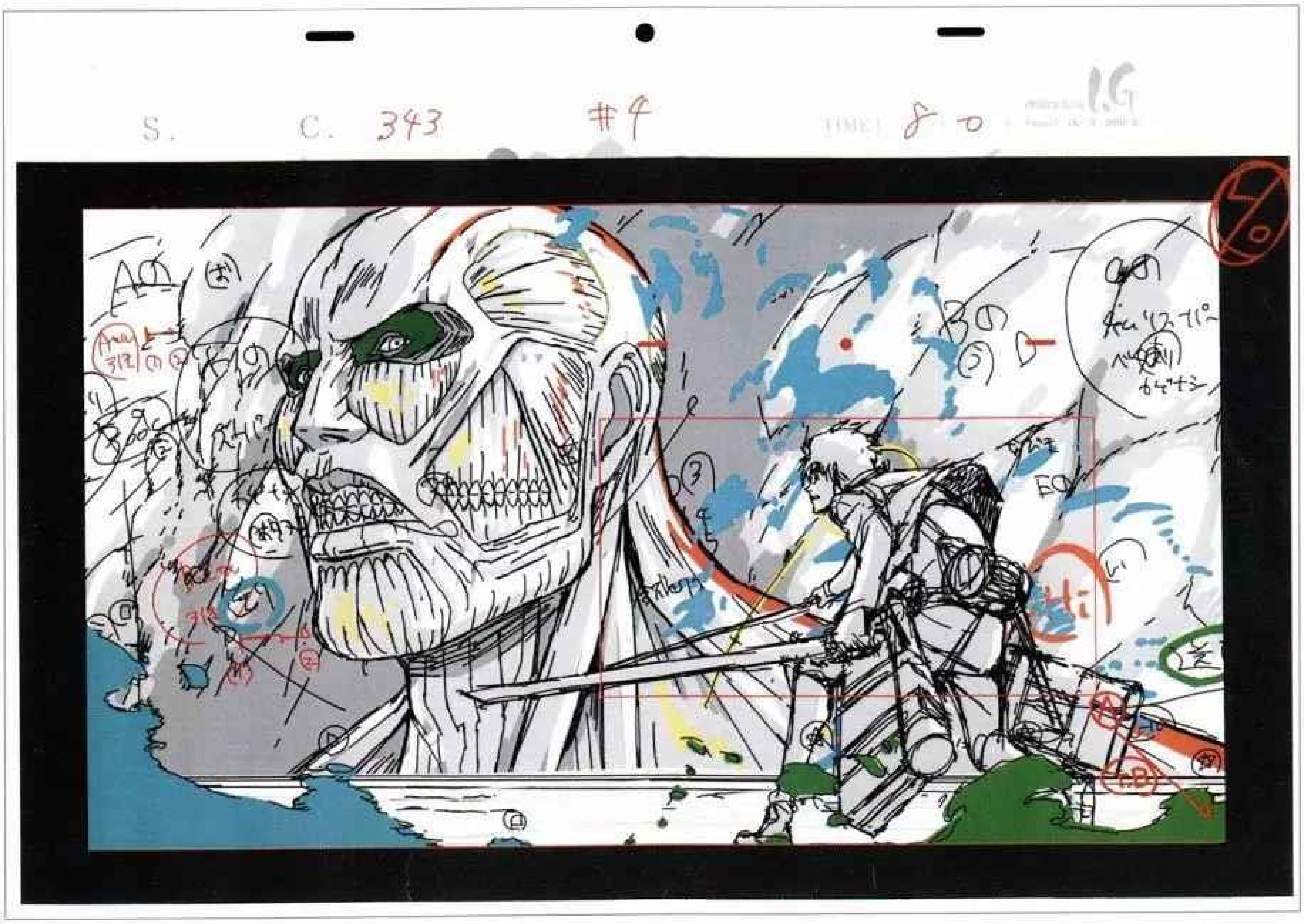




修正

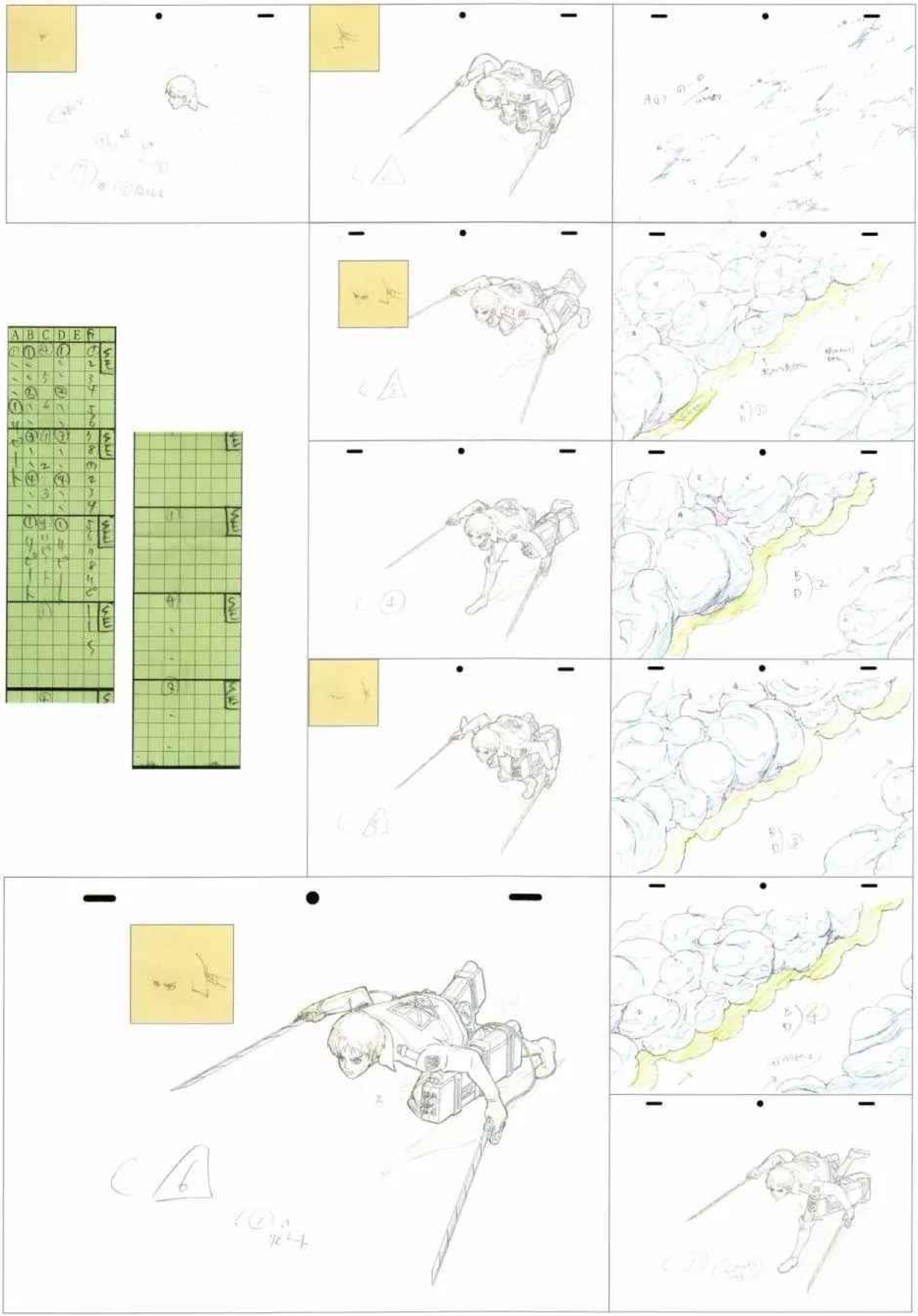






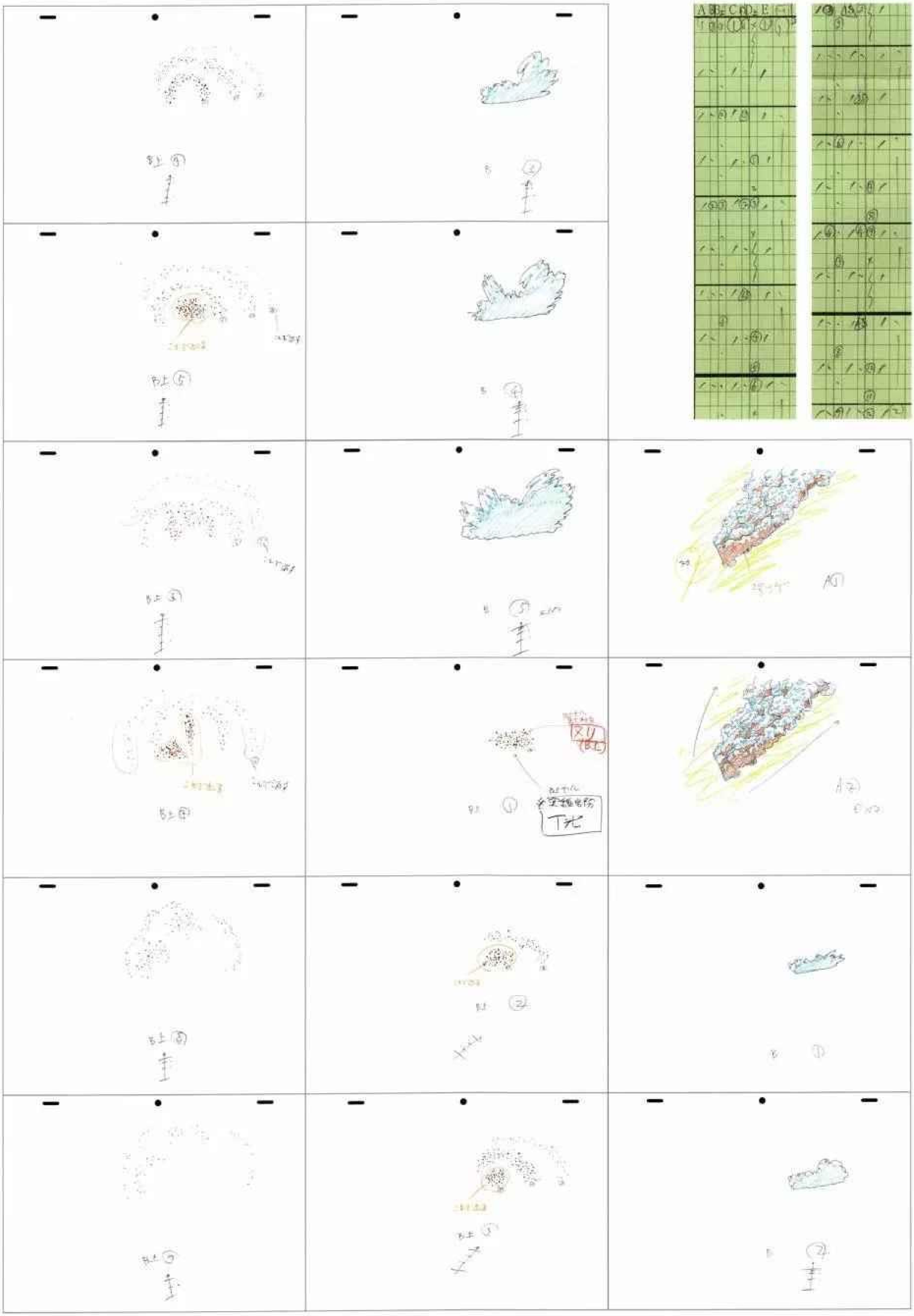
画面上大型巨人とエレンのサイズ感はこれまでに比べると大きな差はなくなっている。
これはエレンの自信の大きさを表している。4話のラストを飾るに相応しい。

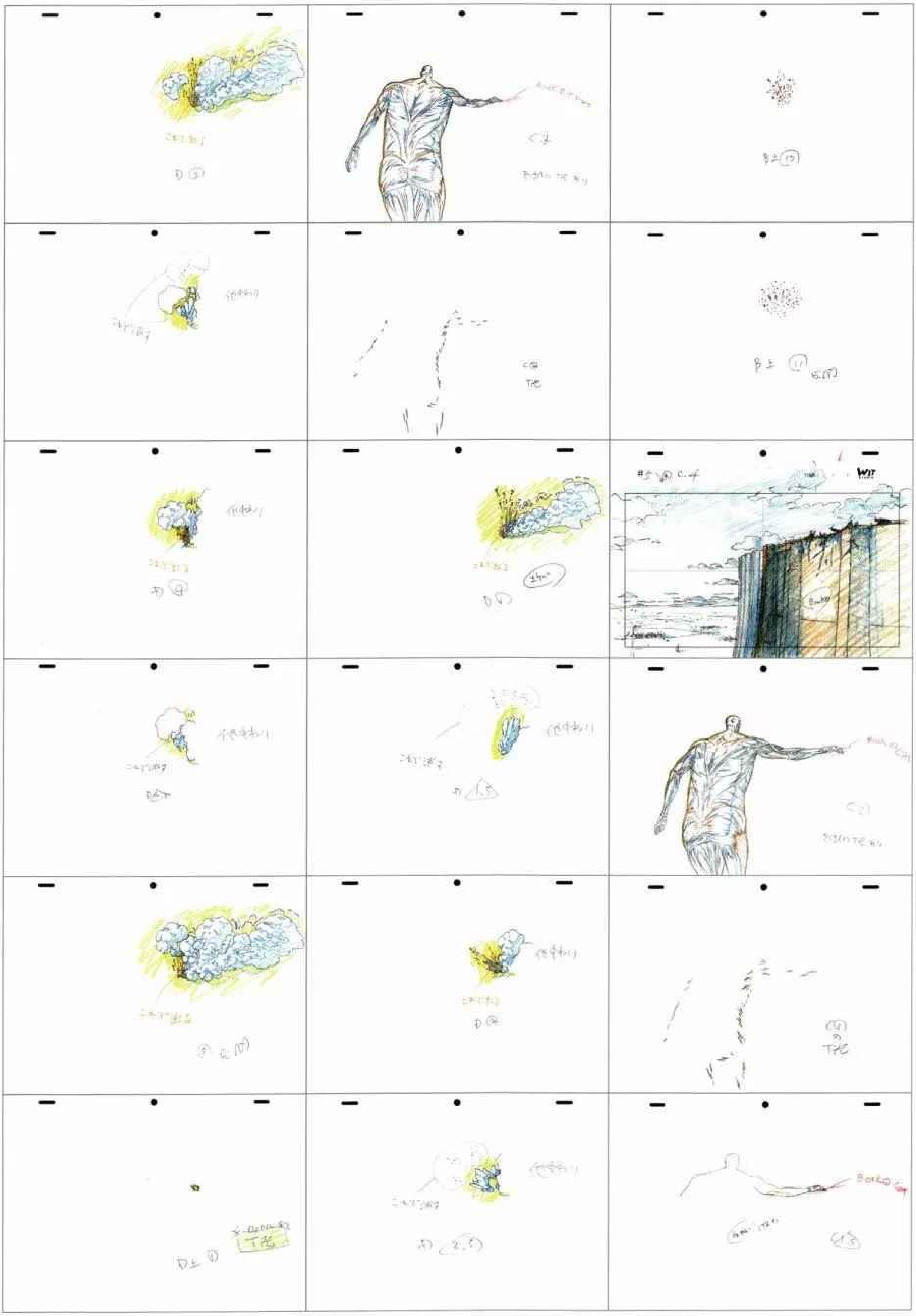
田中洋之コメント

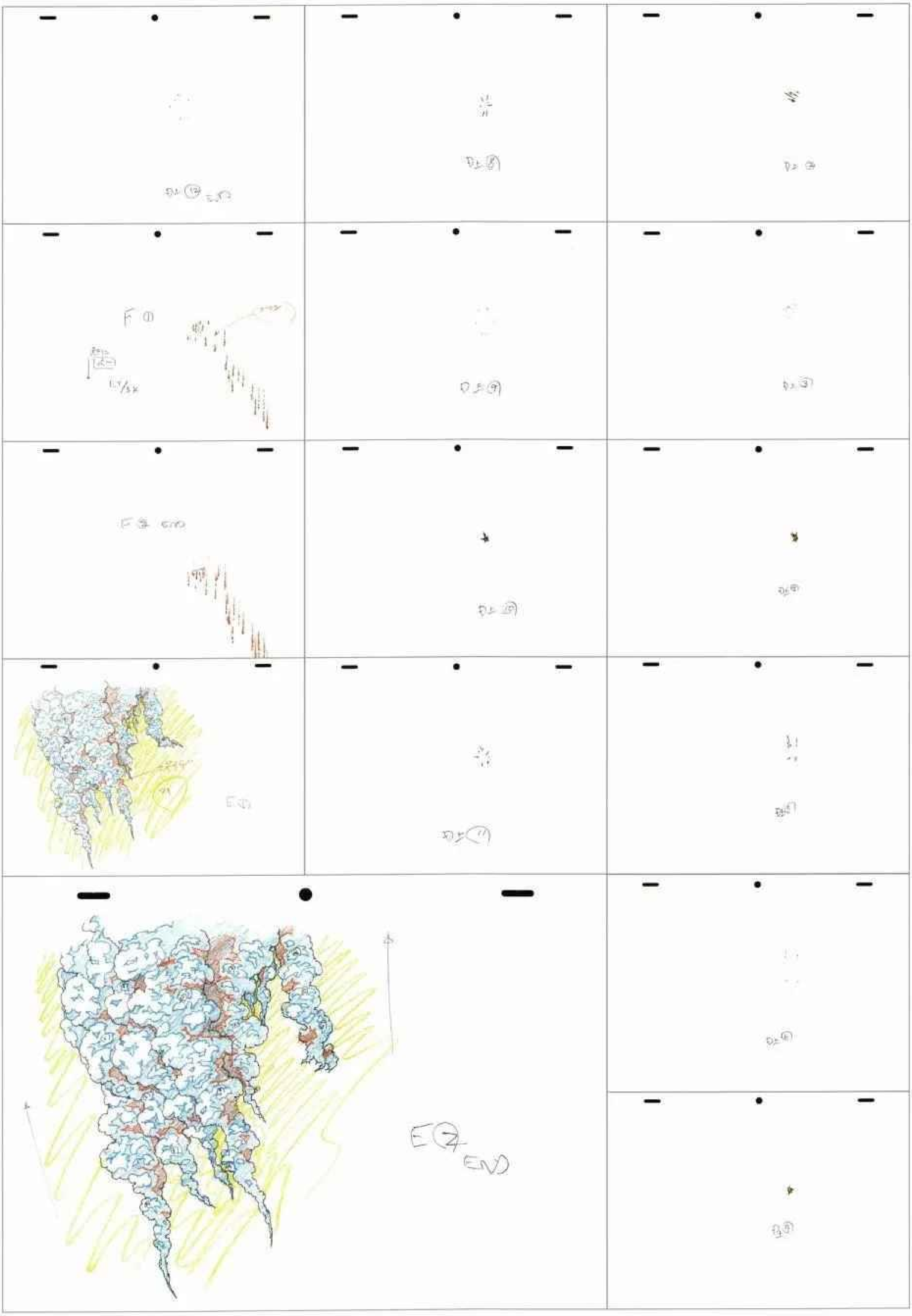


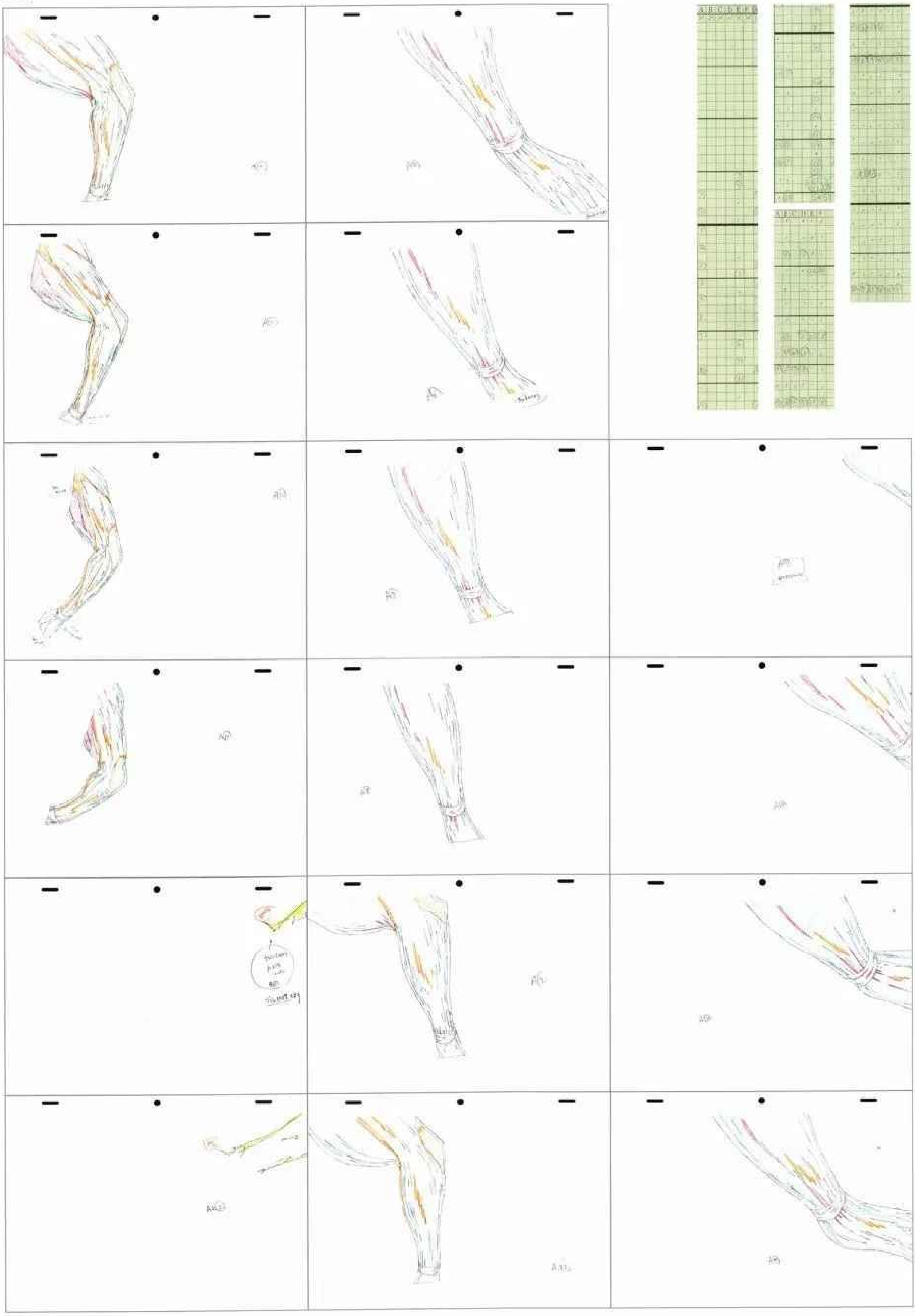
荒木哲郎コメント 5話のキャラクター作画の功労者は、なんといっても山田歩さんです。ギルティクラウンでは章夢話数の作監さんでしたが、進撃の巨人からウィット社内に入って、我々の仲間になってもらいました。最も多くのカット数を持って頂いていたこともあり、いわば「作品の絵柄」を代表する方のひとりになりました。

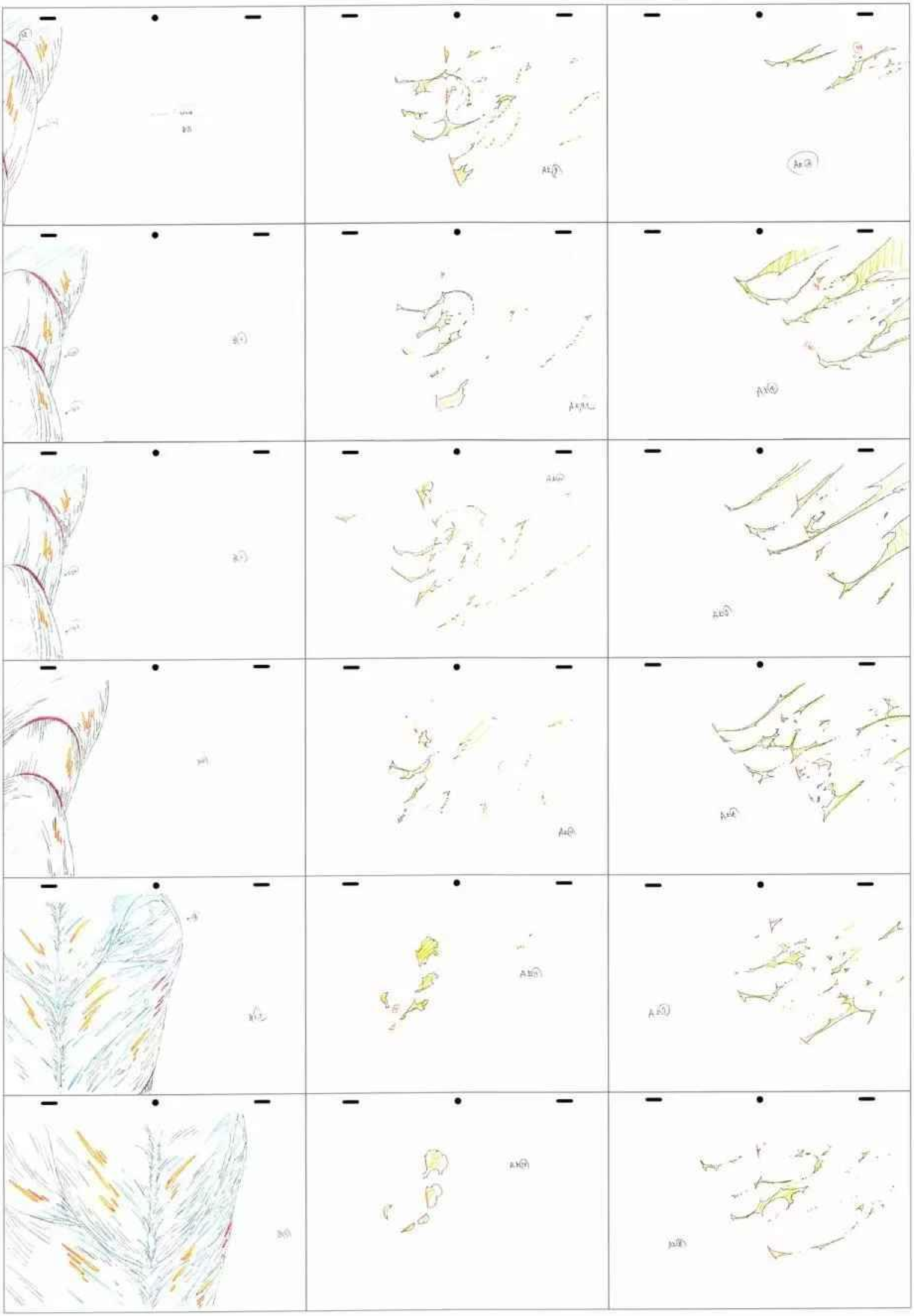
进击的巨人原画集 #4~#7

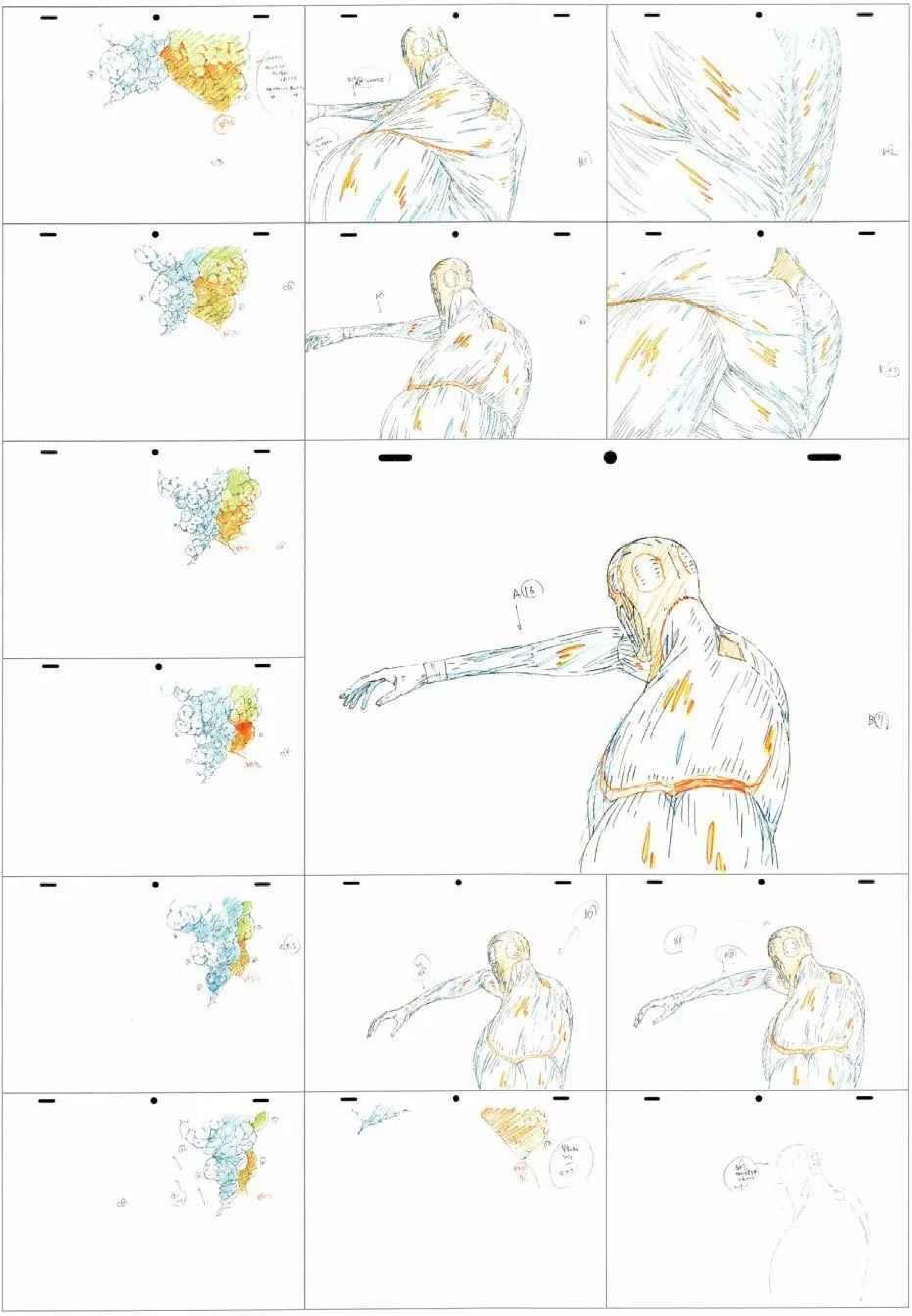


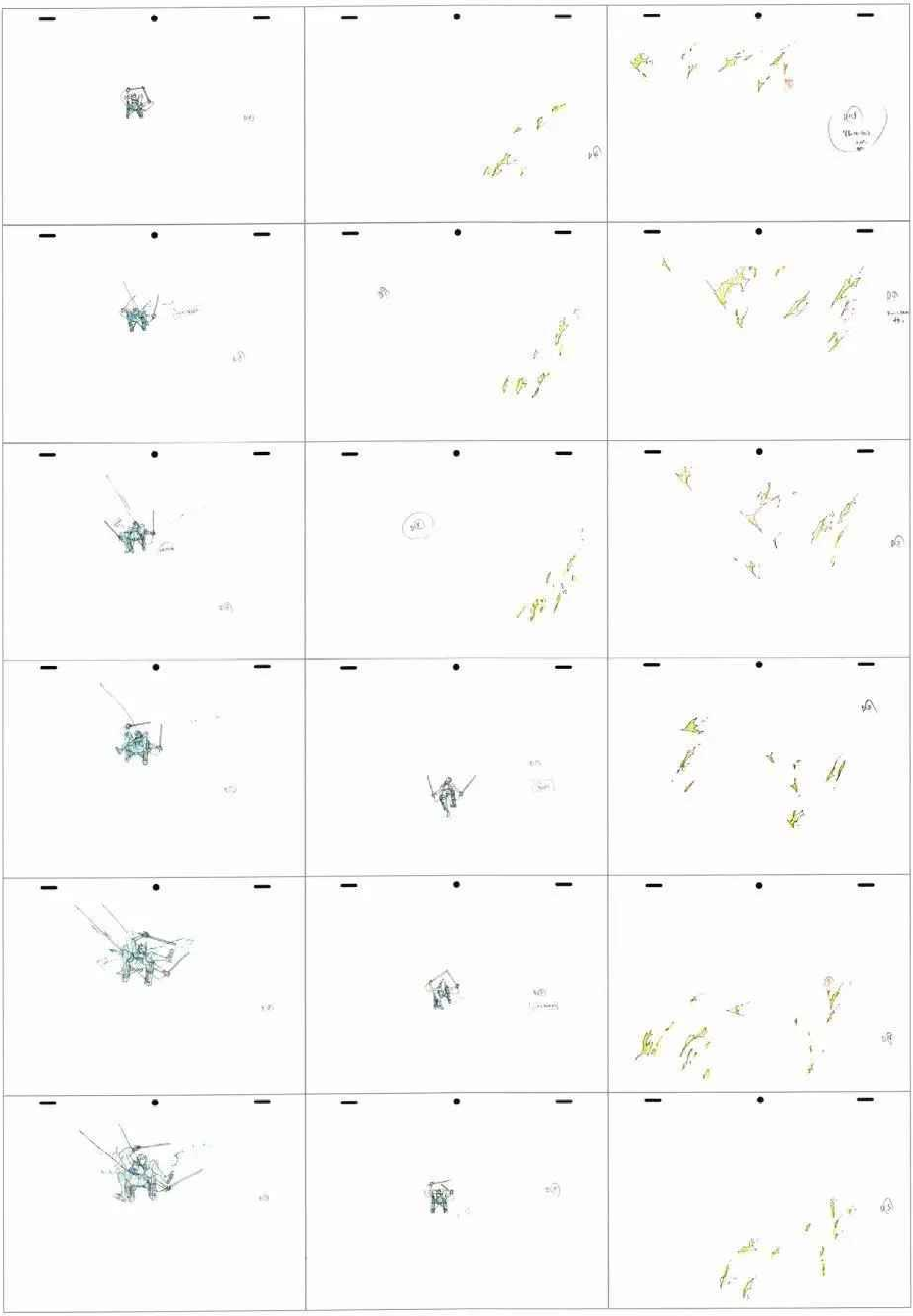


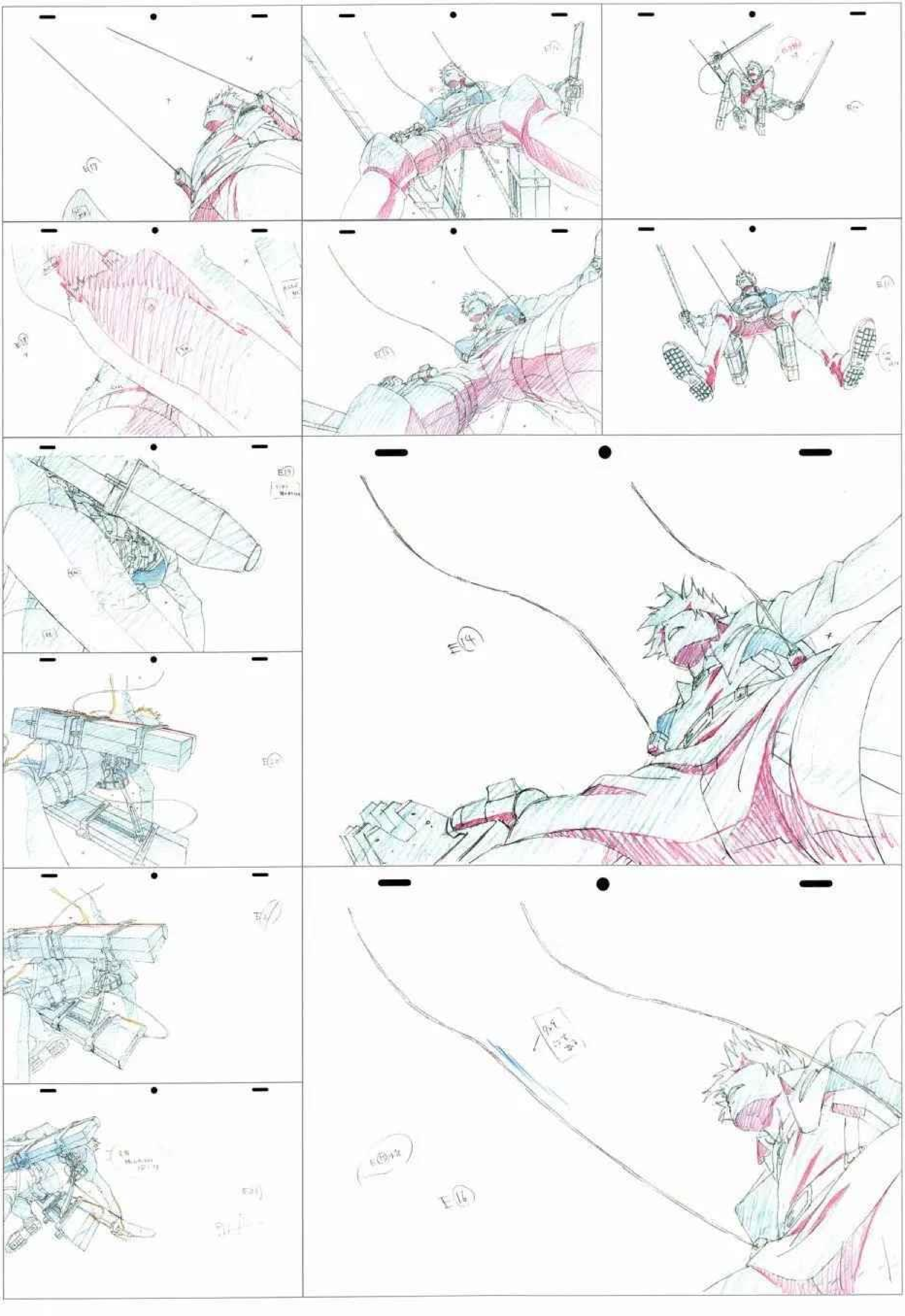


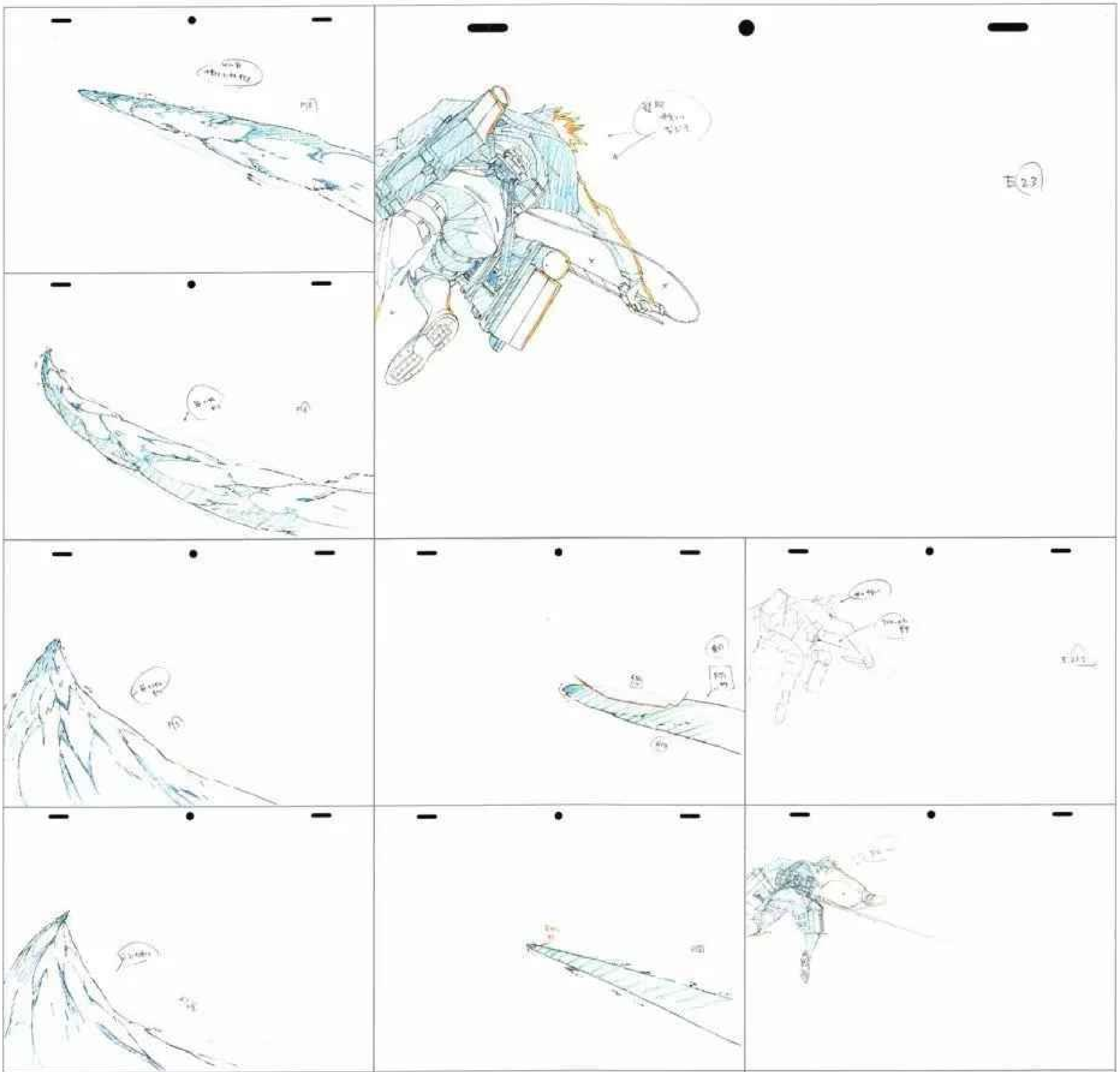


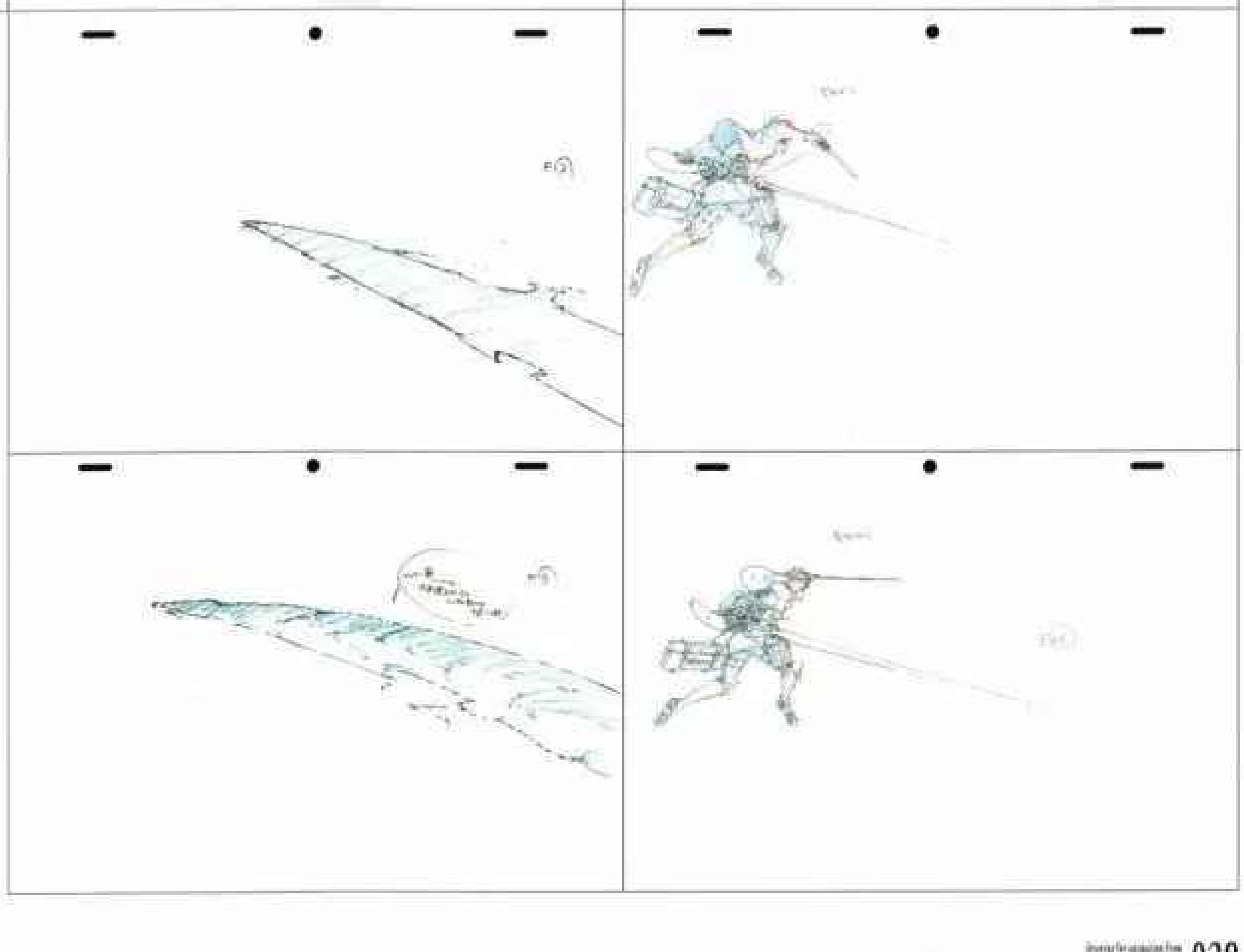






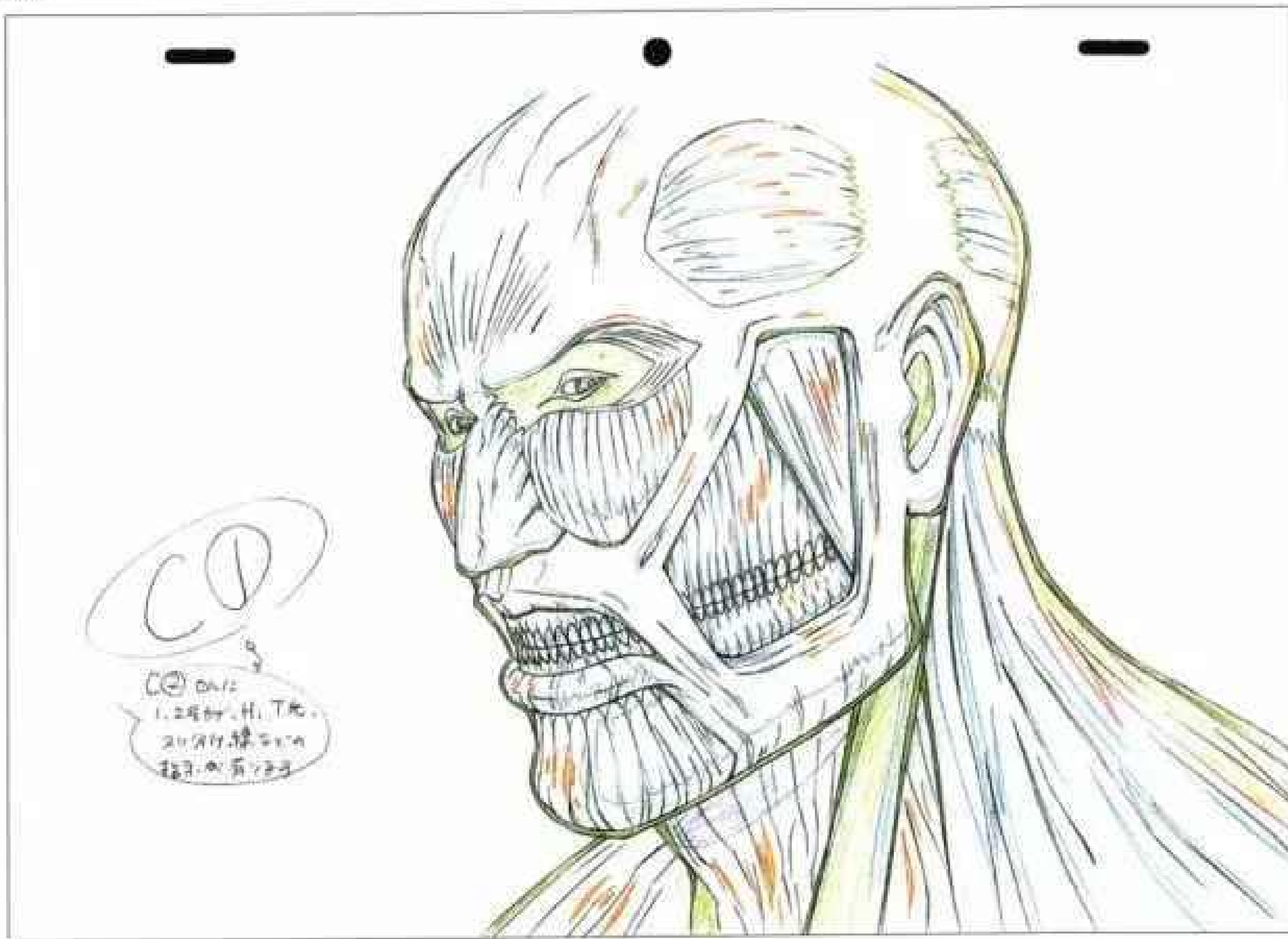


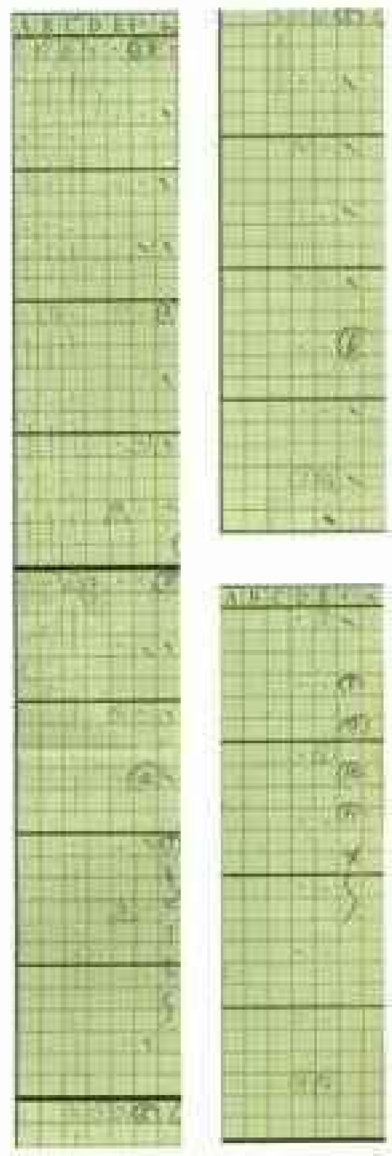


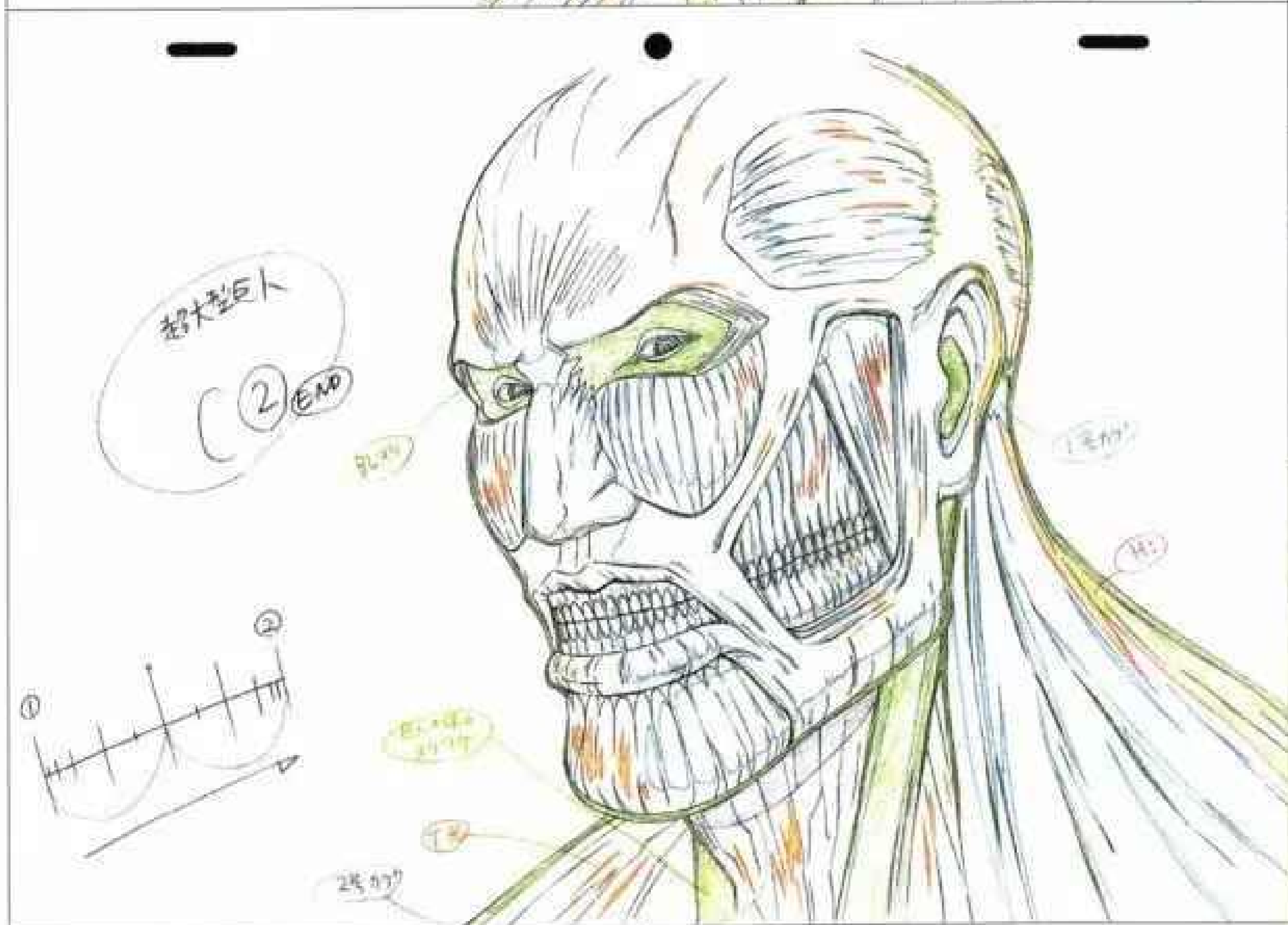


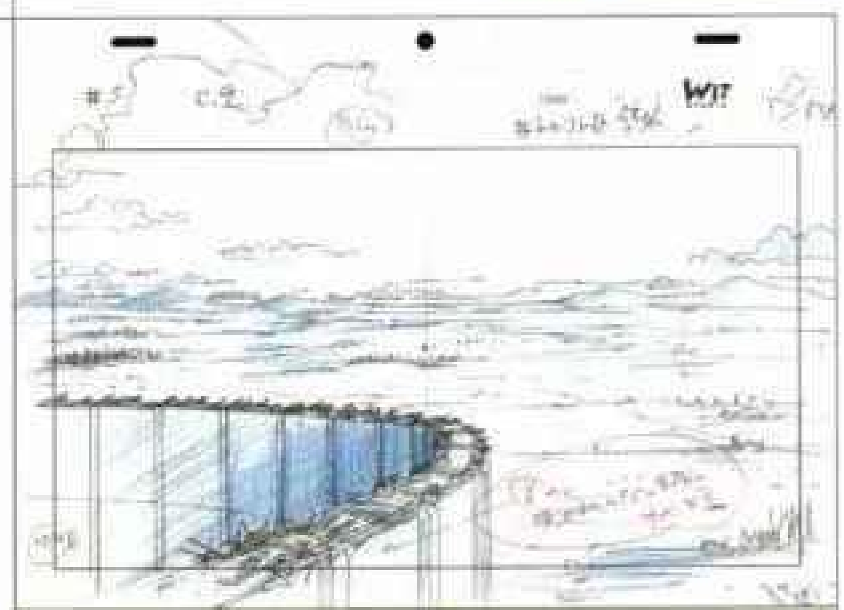
荒木哲郎コメント

このカットはPVカットとして先行で作ったものを、あとから本編5話コンテに組み込みました。3Dカメラワークを作画でフィニッシュするテストを兼ねていたのです。CG監督の薮田さんがワークを作って、江原康之さんが作画しています。薮田さんいわく、「背景の動きの気持ちよさ優先でカメラの軌道を決めている」とのことです。

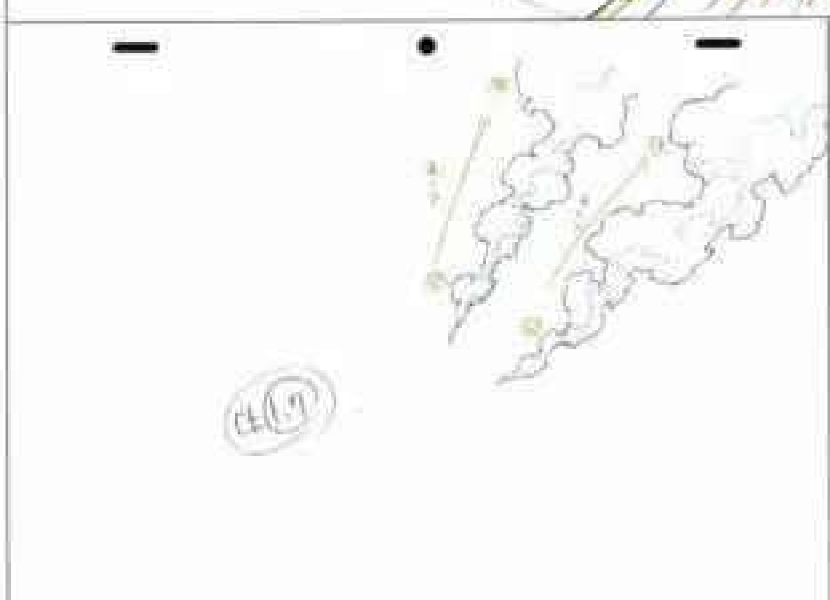

C①

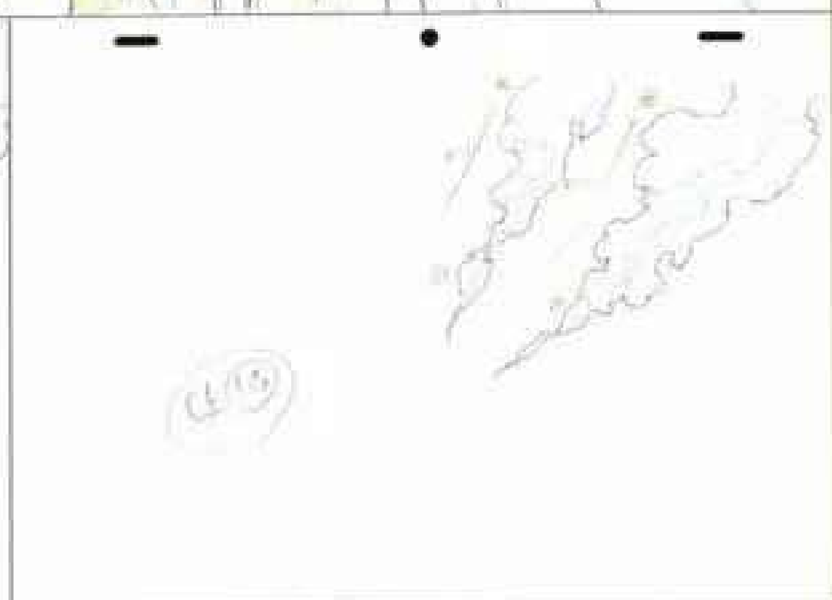



超大型巨人
C② END

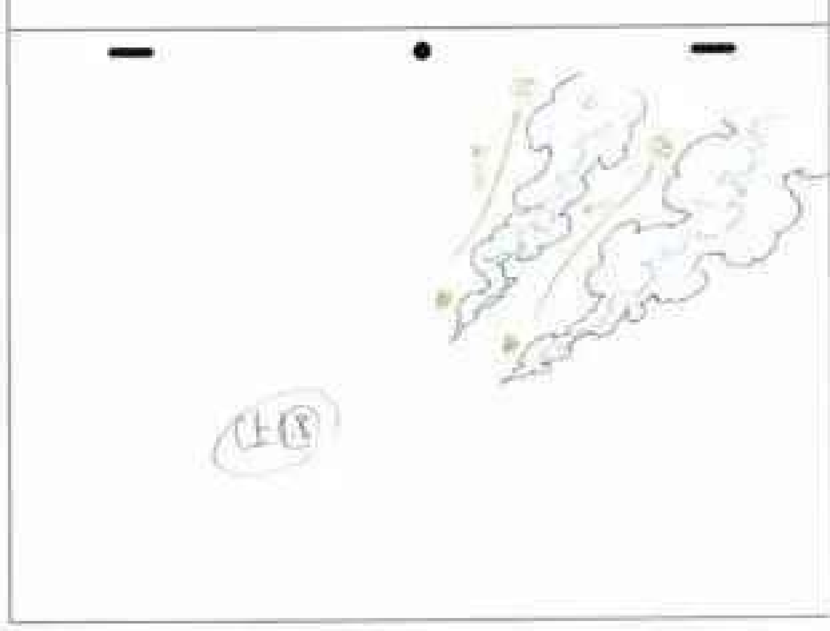


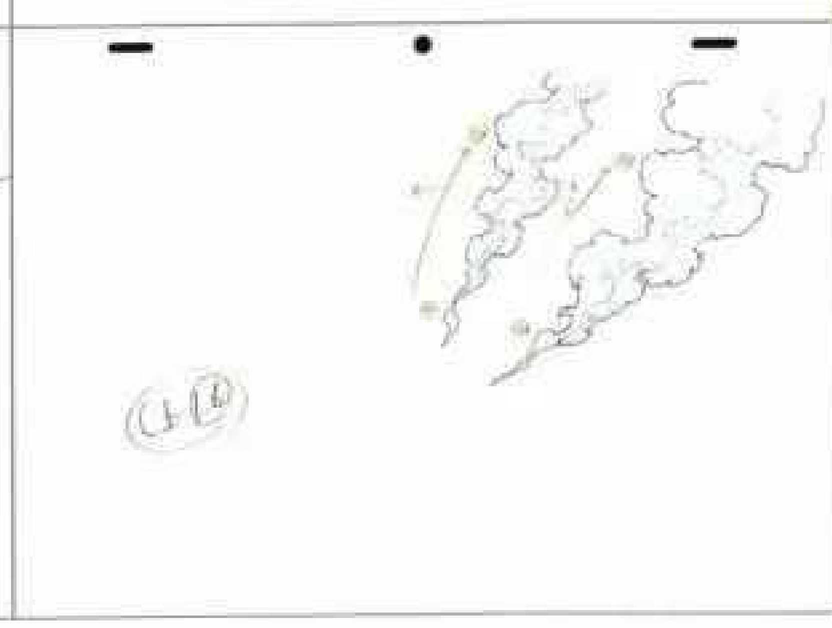


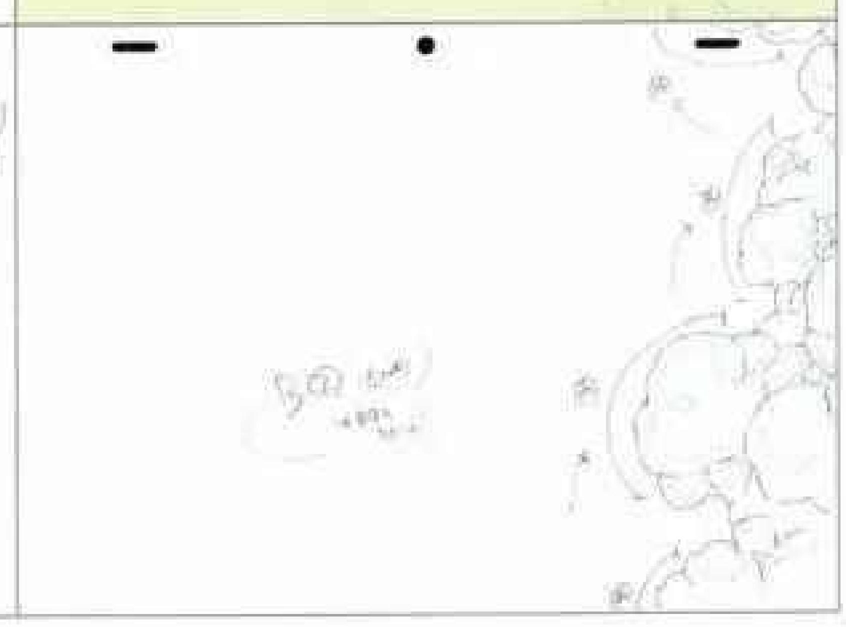


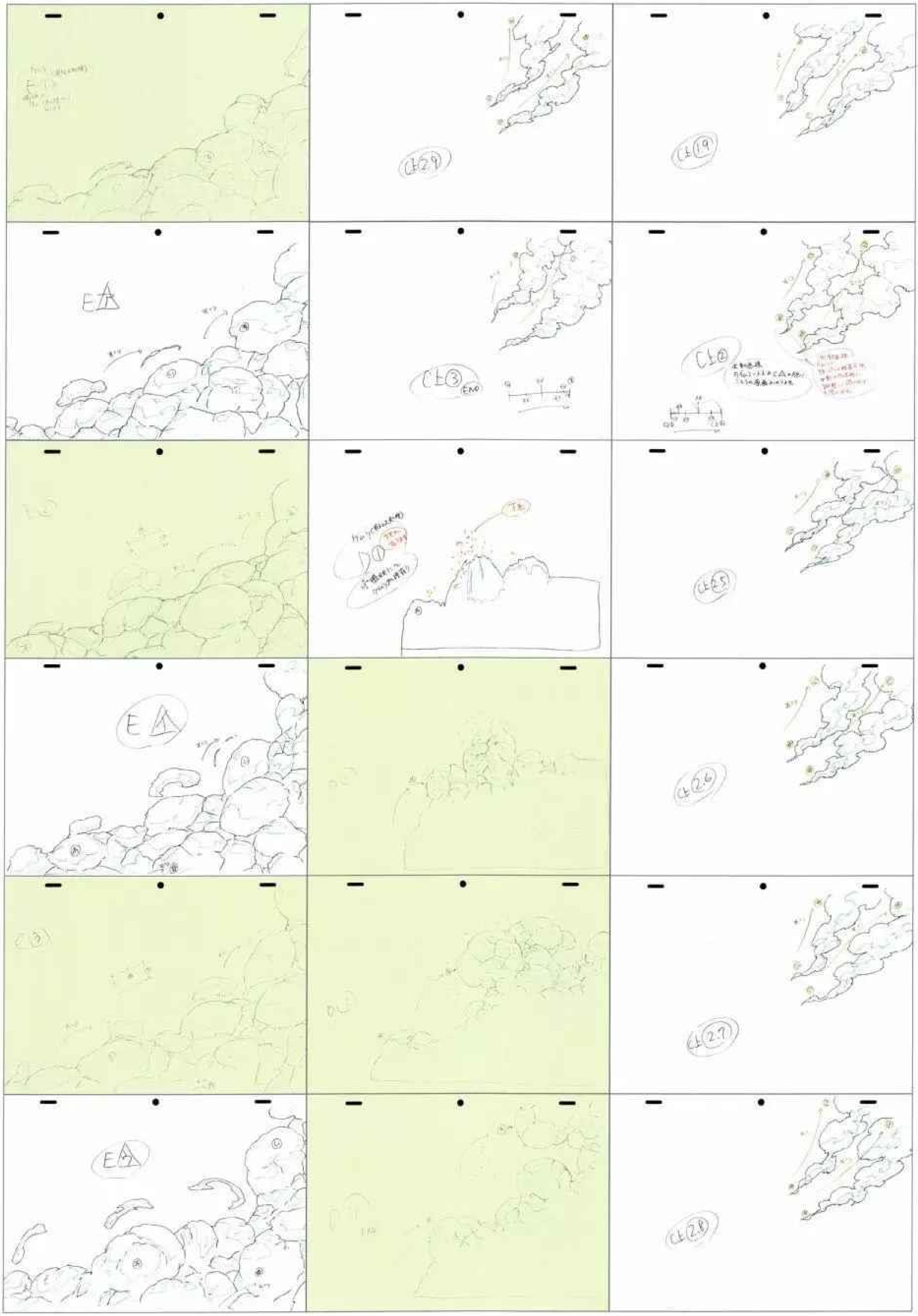


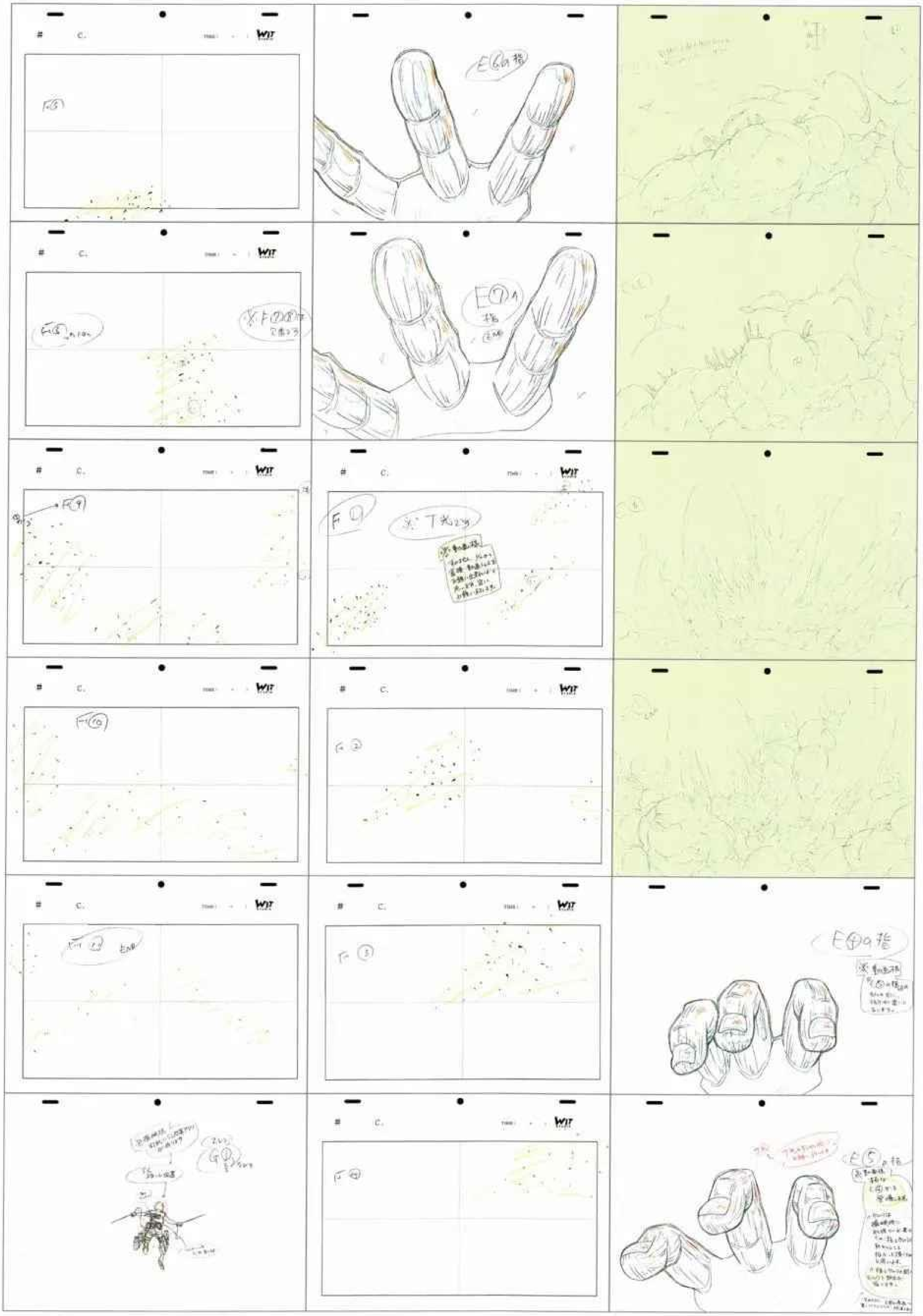




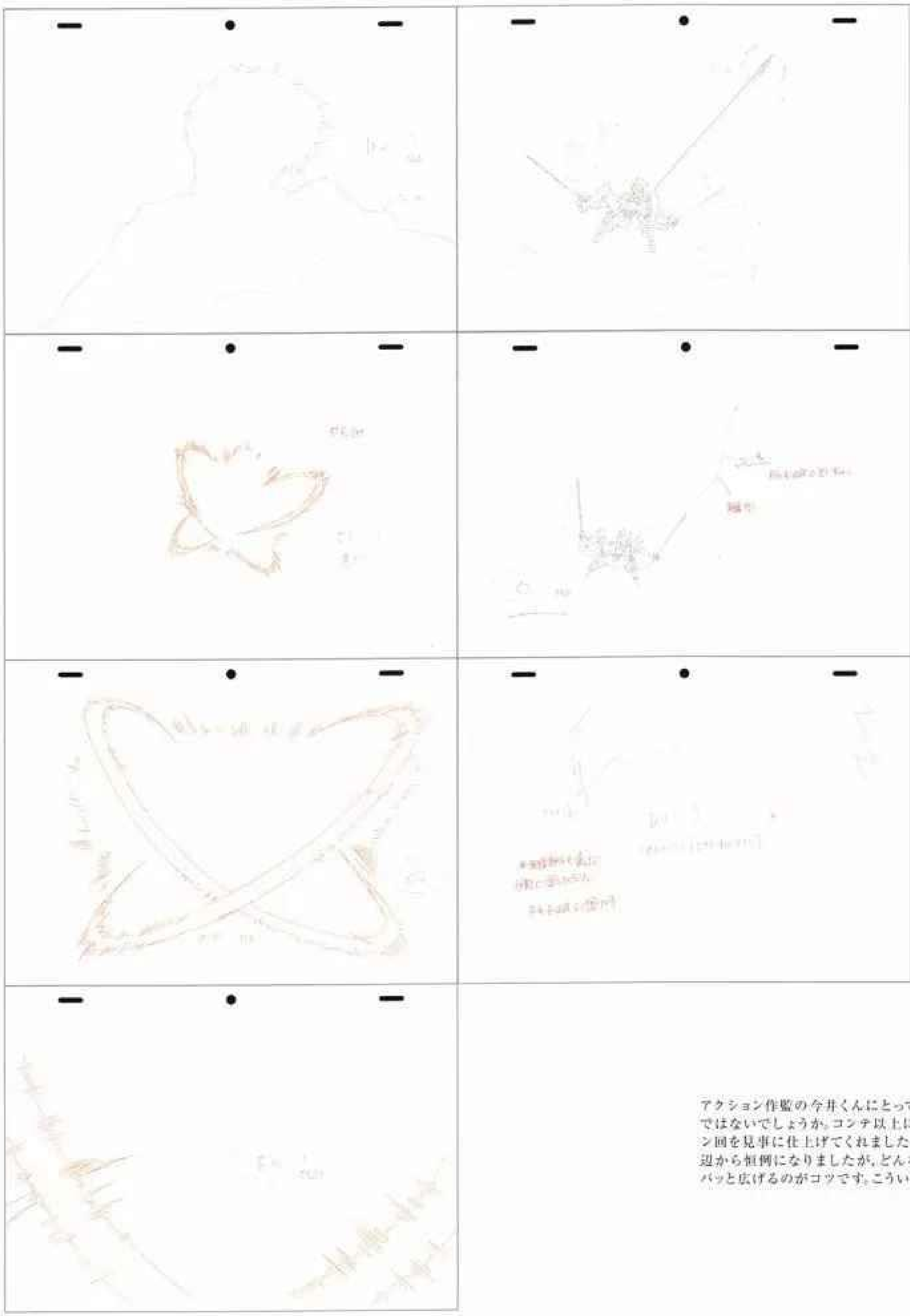


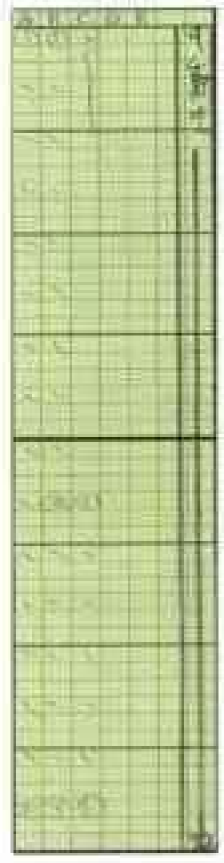





WIT
E⑥の指
E④の指

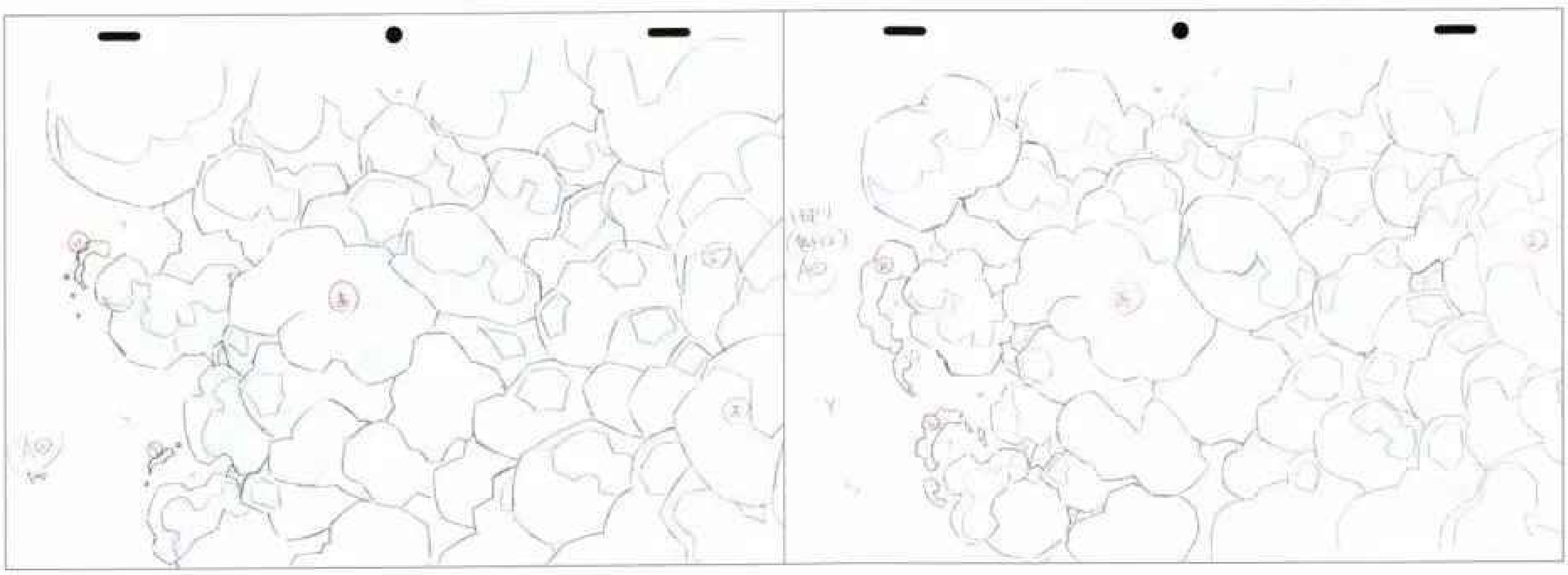


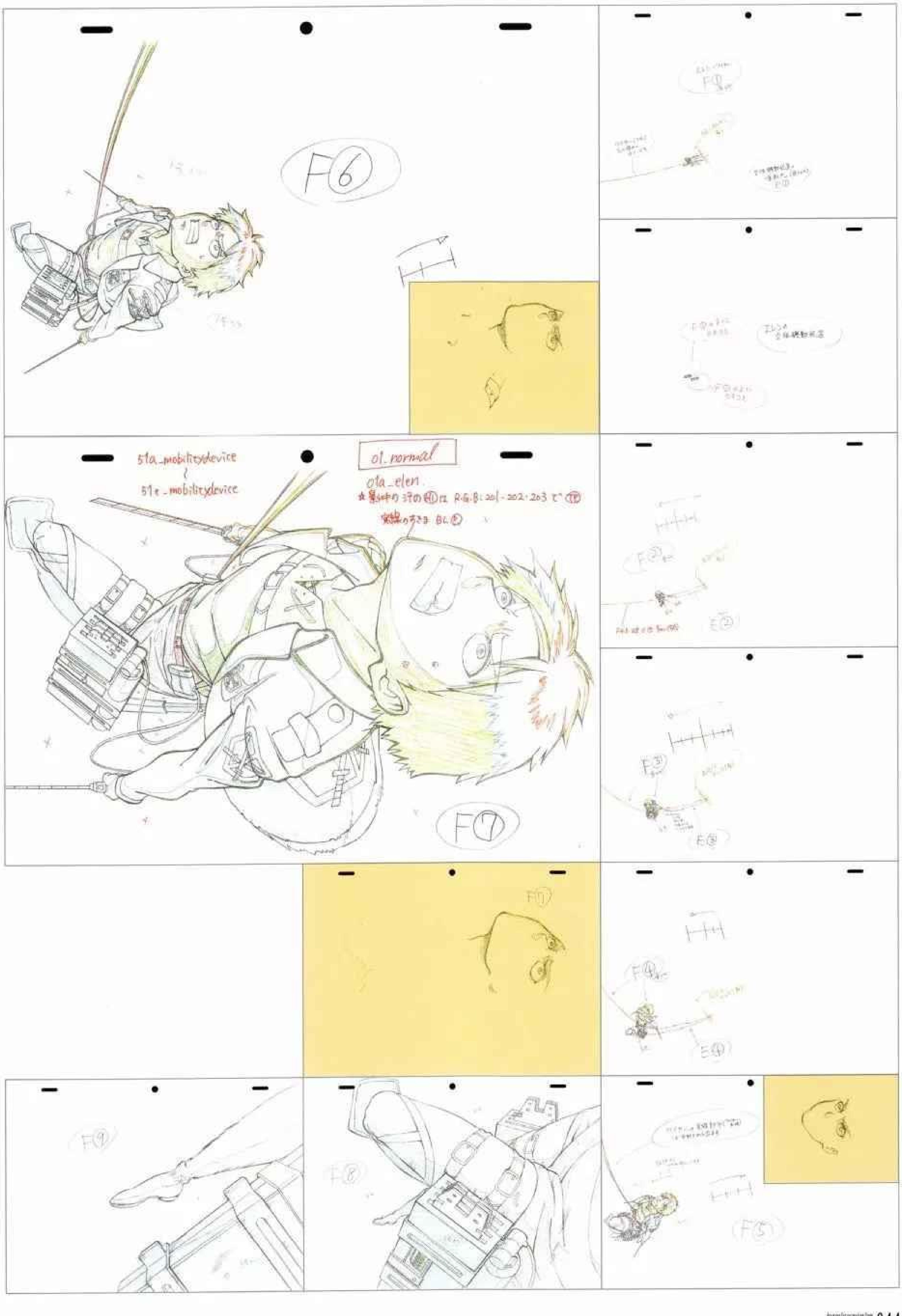


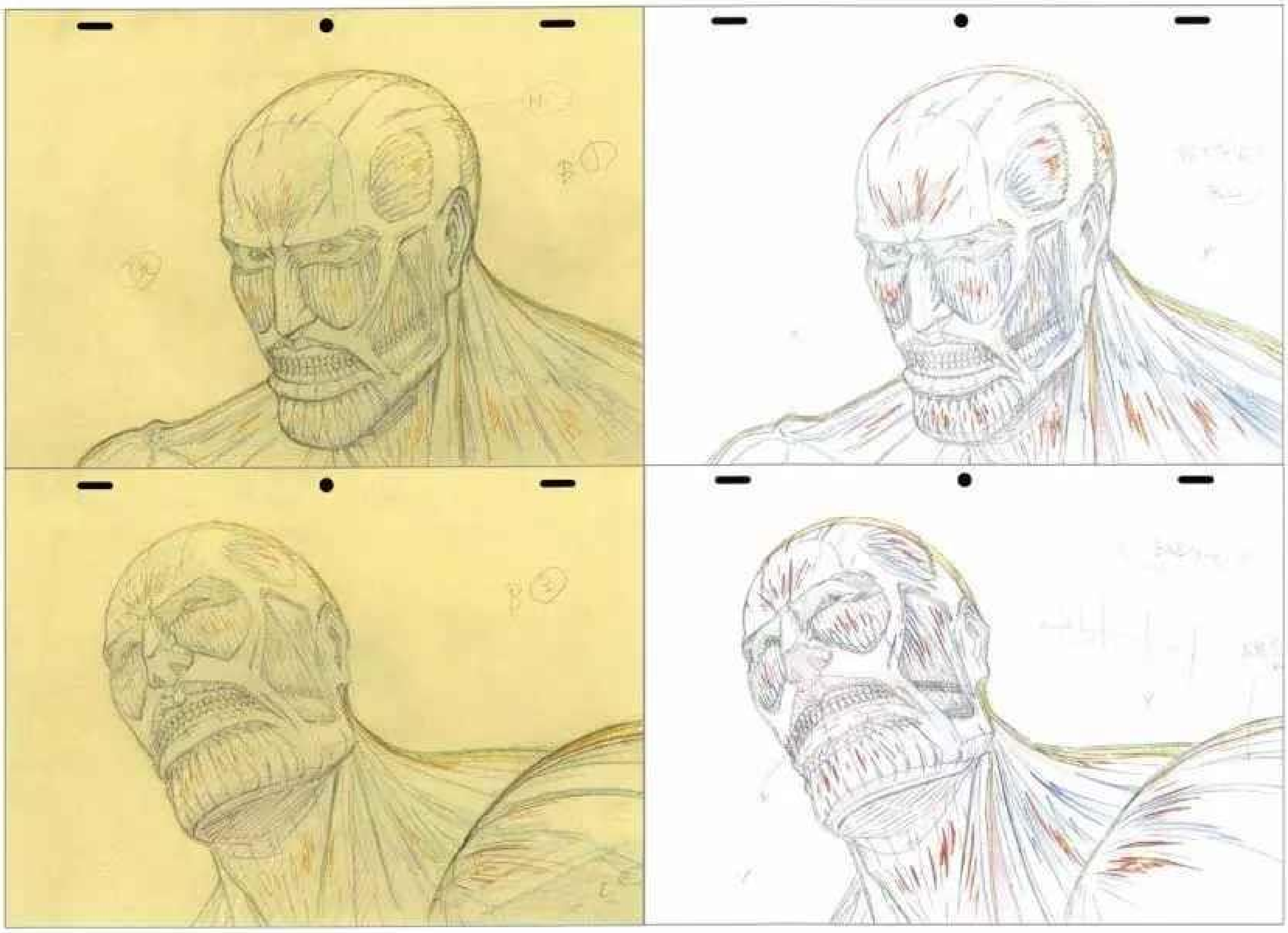


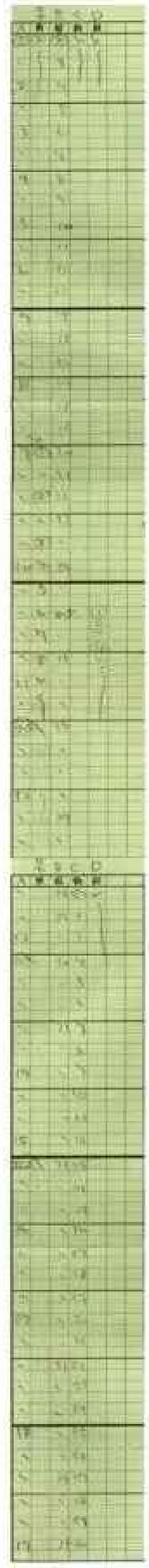
荒木哲郎コメント

アクション作監の今井くんにとっても、5話は自分を代表する仕事のひとつになったのではないでしょうか。コンテ以上に要素をふんだんに盛り込んで、序盤最大のアクション回を見事に仕上げてくれました。アンカー射出時に白いエフェクトを入れるのがこの辺から恒例になりましたが、どんなにキャラがカメラから遠くても、画面全面までシュバッと広げるのがコツです。こういうところは理屈よりも、生理的な気持ちよさ優先です。

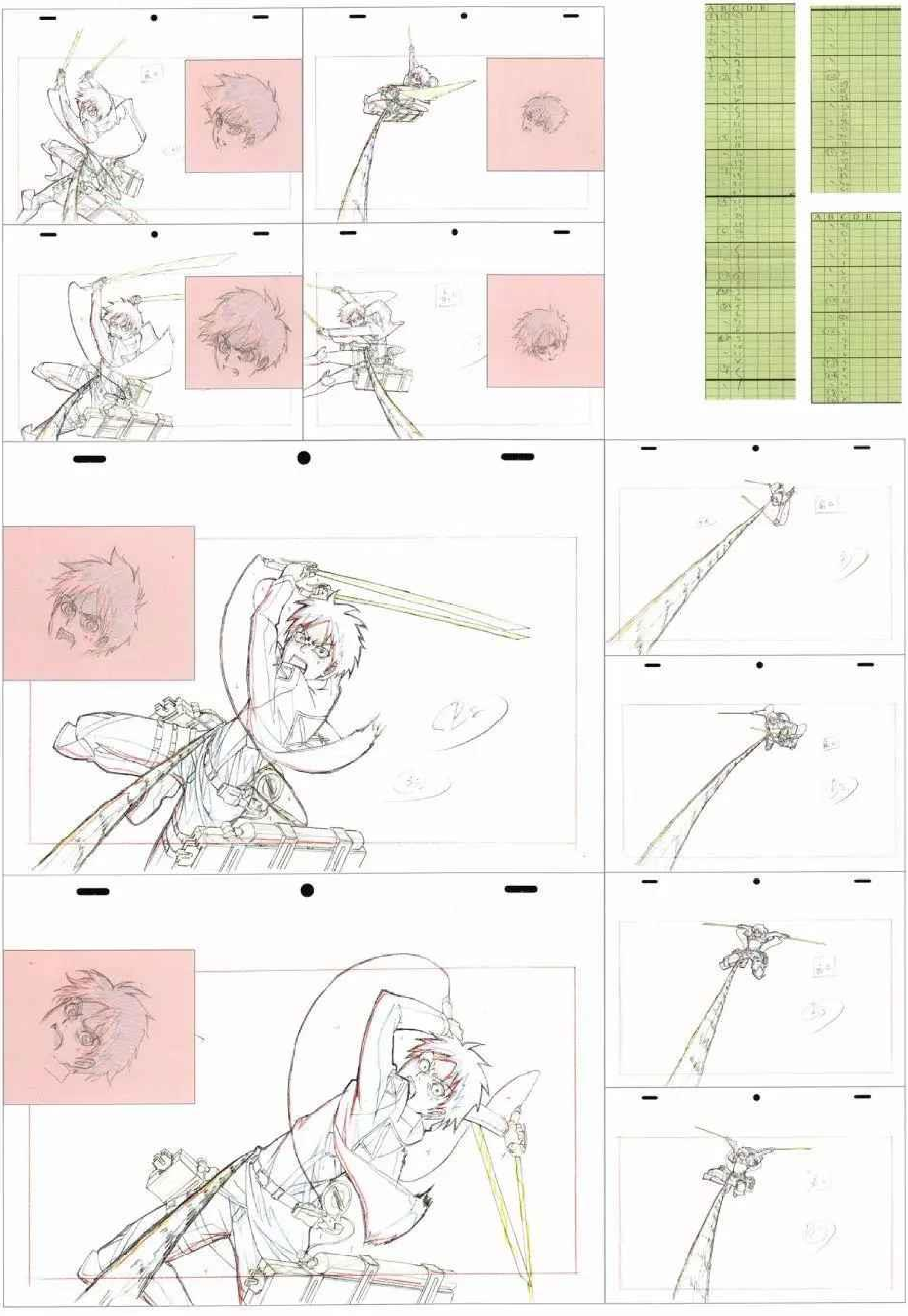



F6
51a_mobilitydevice
~
51e_mobilitydevice
01_normal
01a_elen
R・G・B：201・202・203
F7
F9
F8
F5

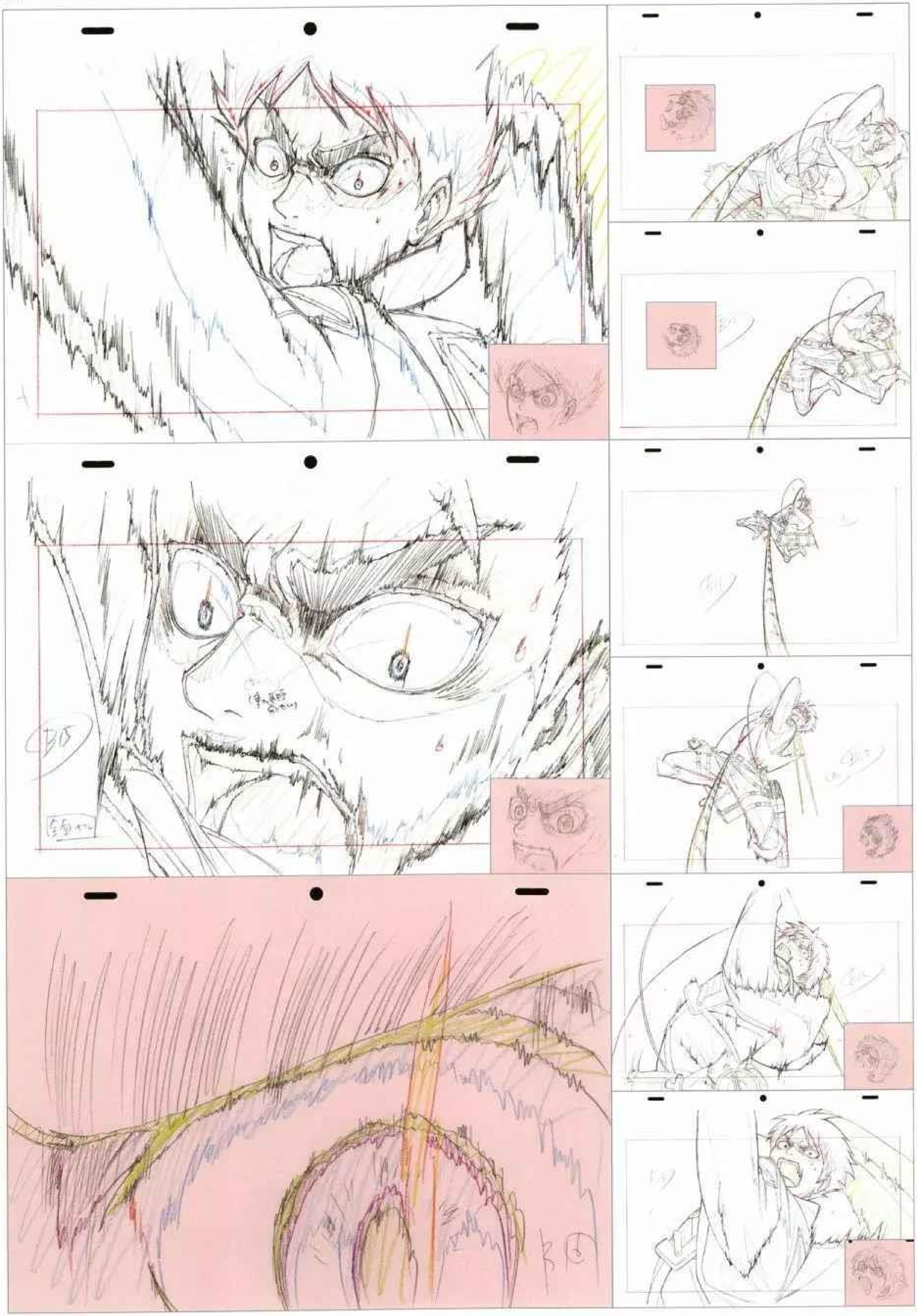


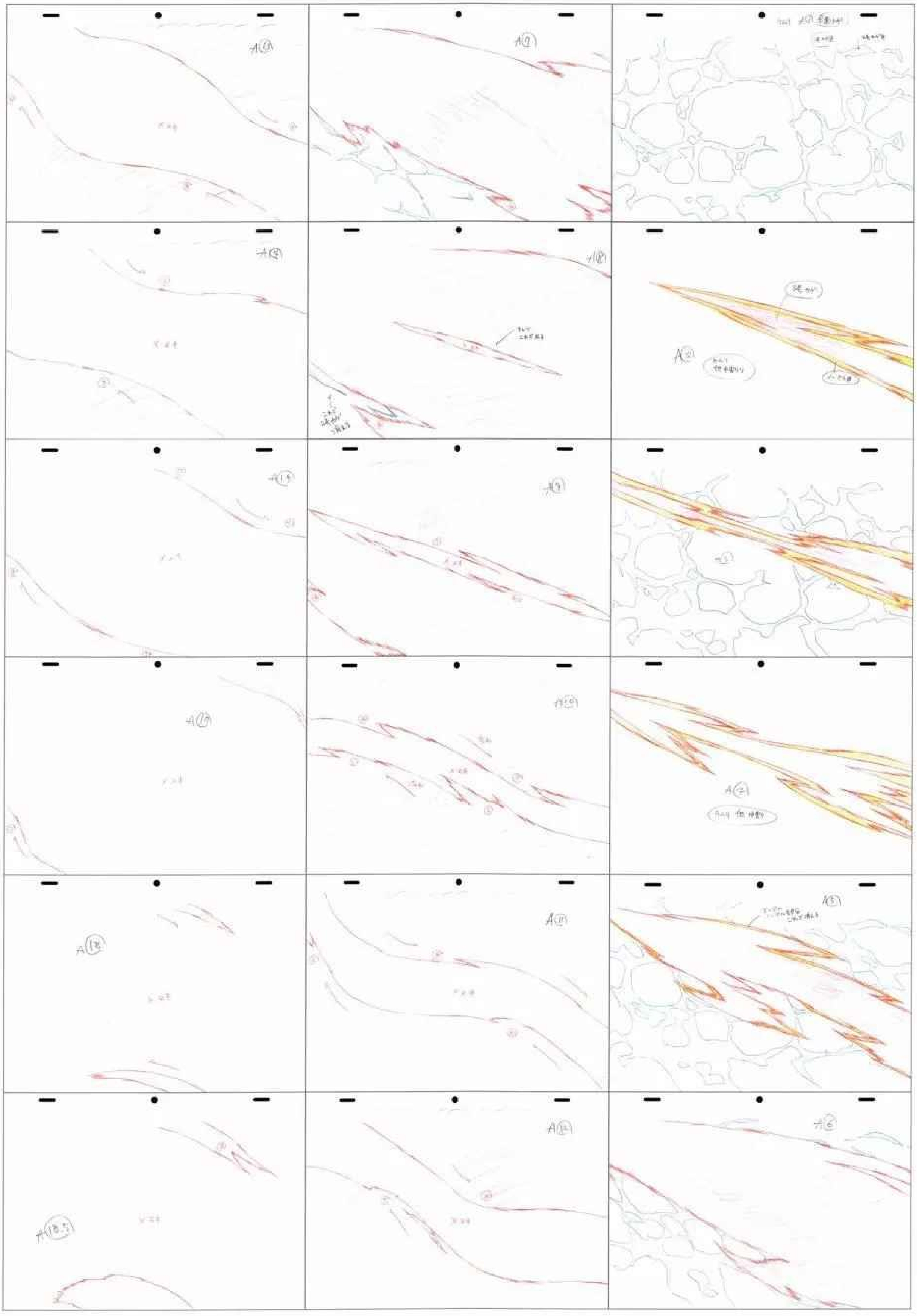


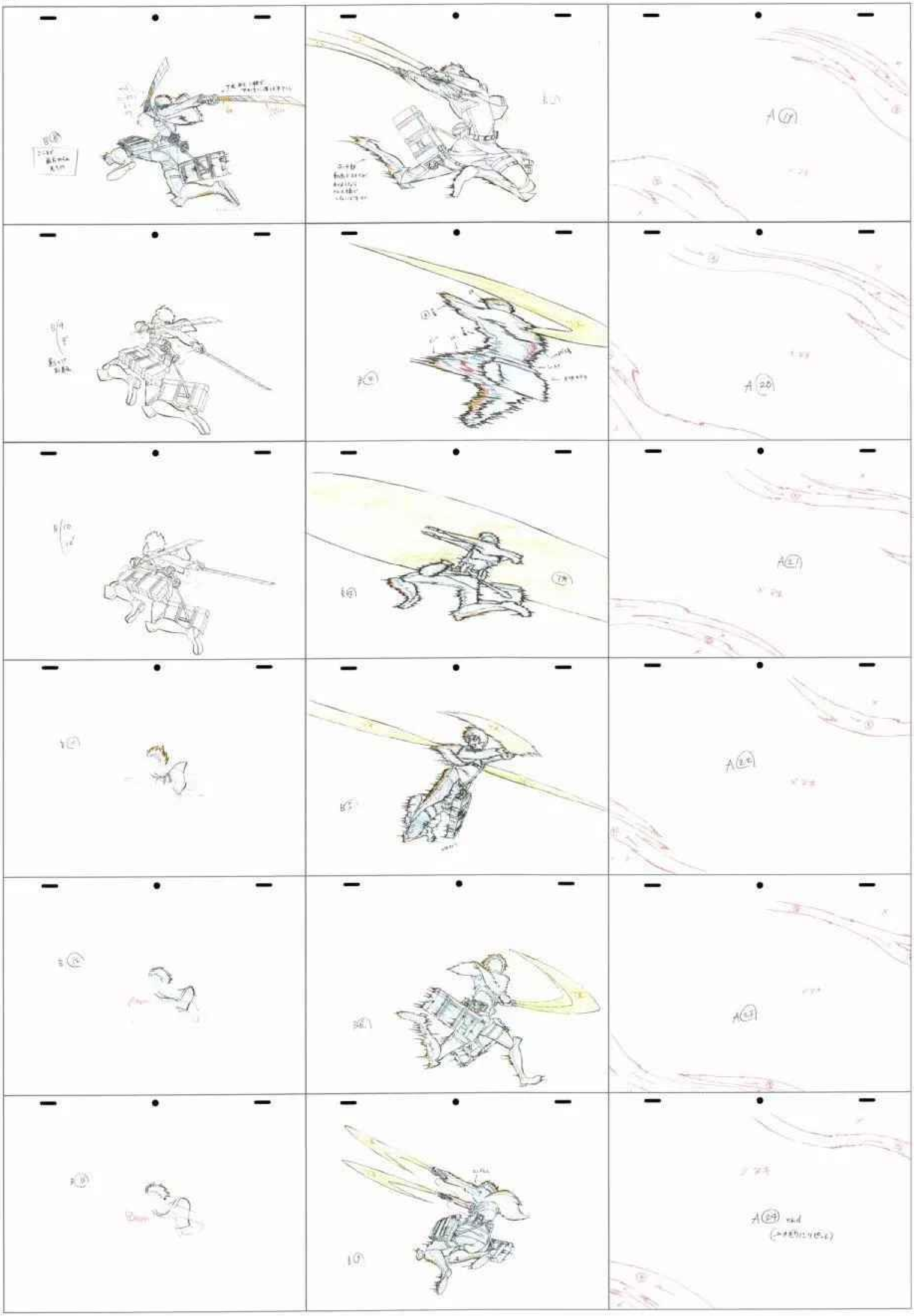




进击的巨人原画集 #4~#7

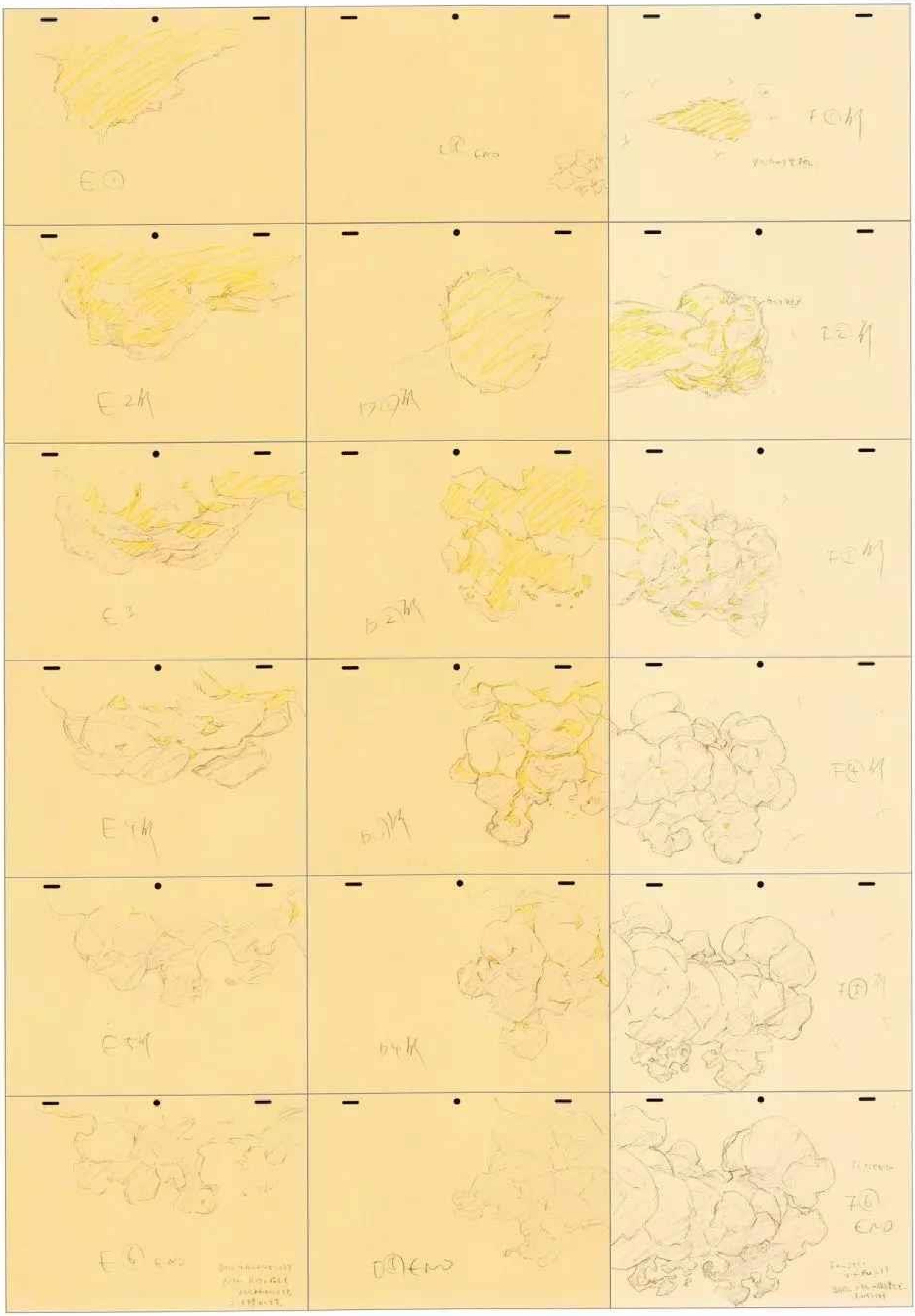


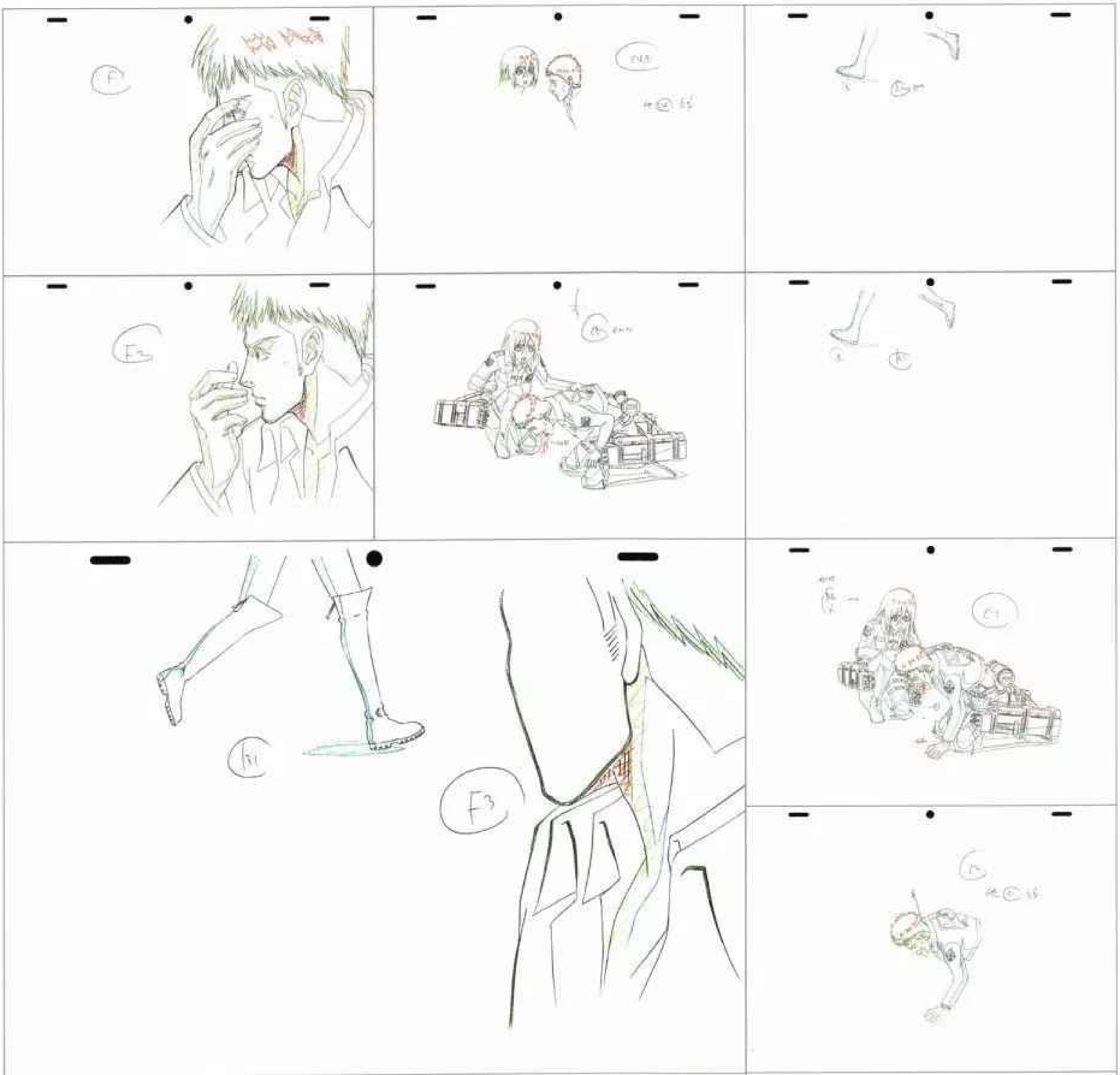


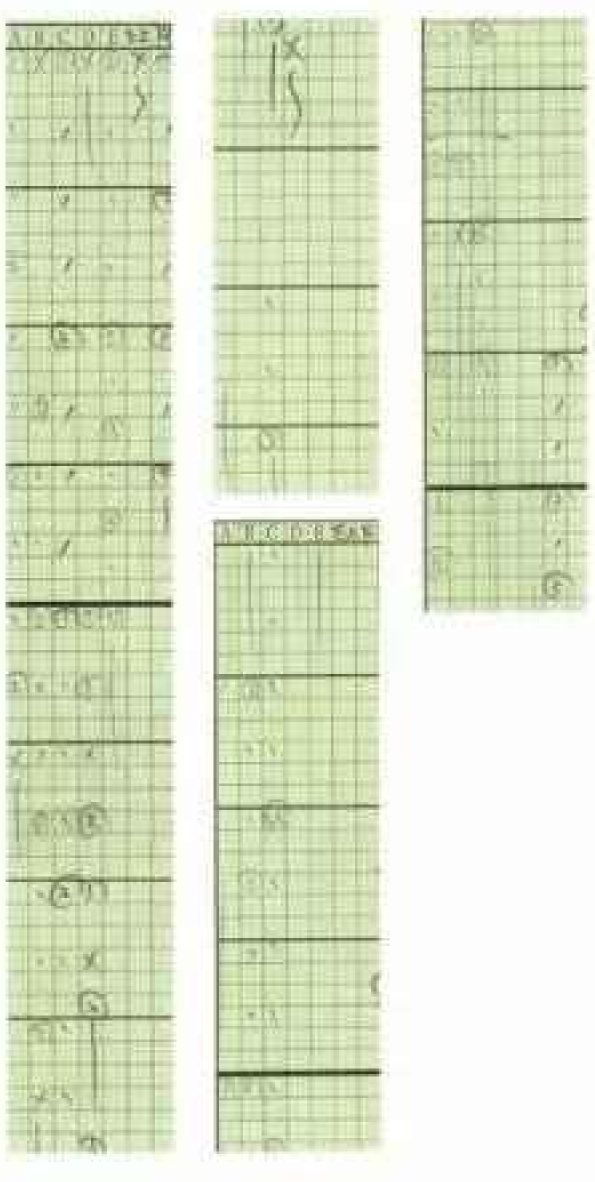


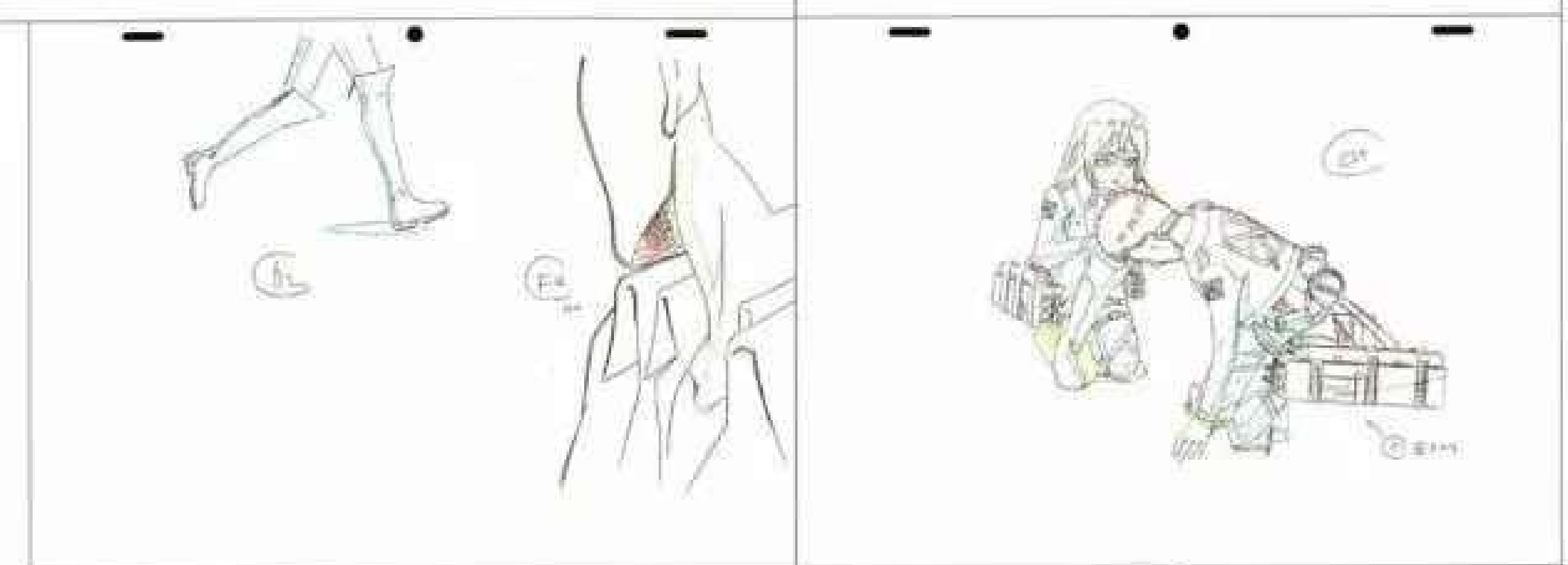
荒木哲郎コメント

煙を切り裂くともう巨人はいない。ここの絵は原作でも、上半身と下半身が真逆を向いているような、かなり極端に強調されたポーズが描かれていて、それに対する今井くんの「ならば」という豪快なアプローチが見えます。気持ちのいいカットになりましたね。







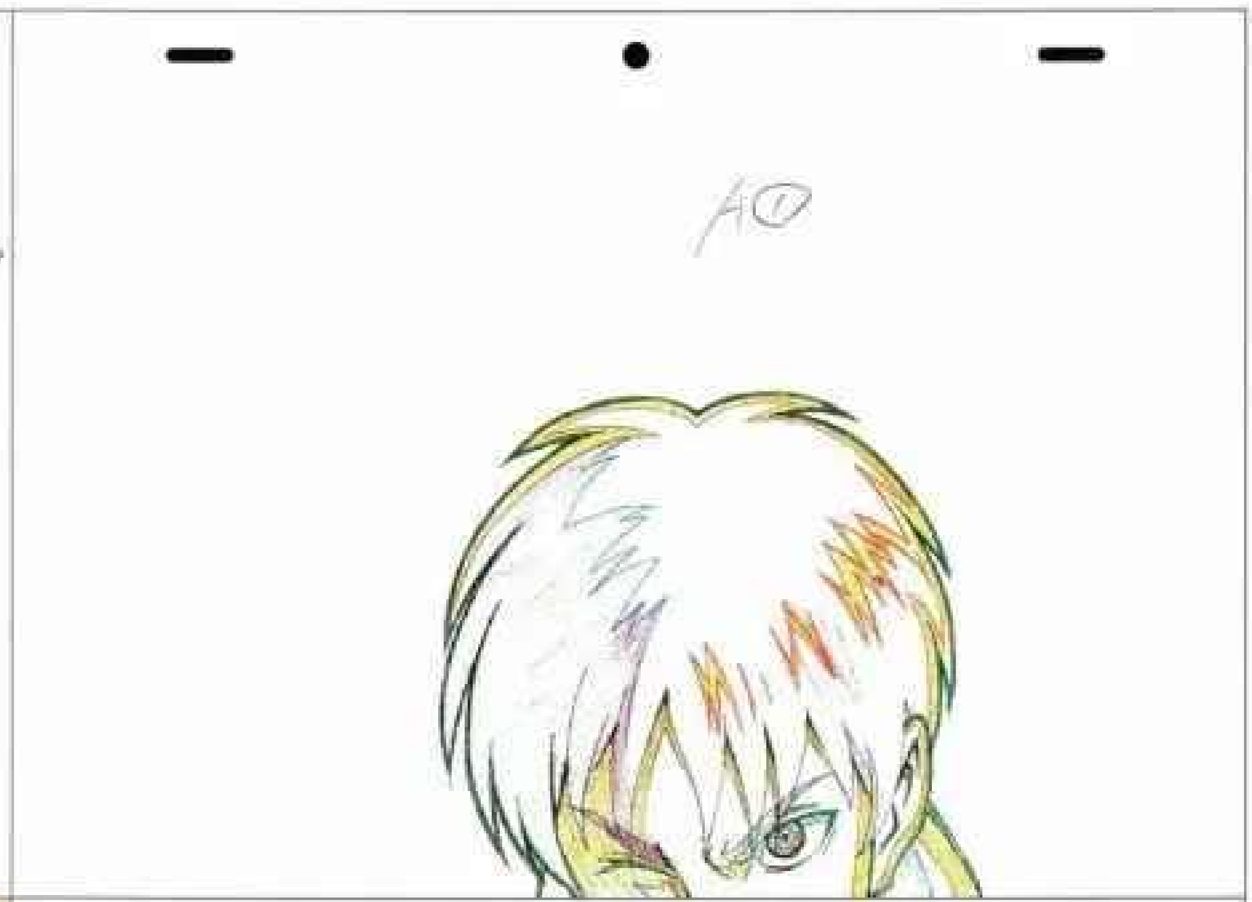


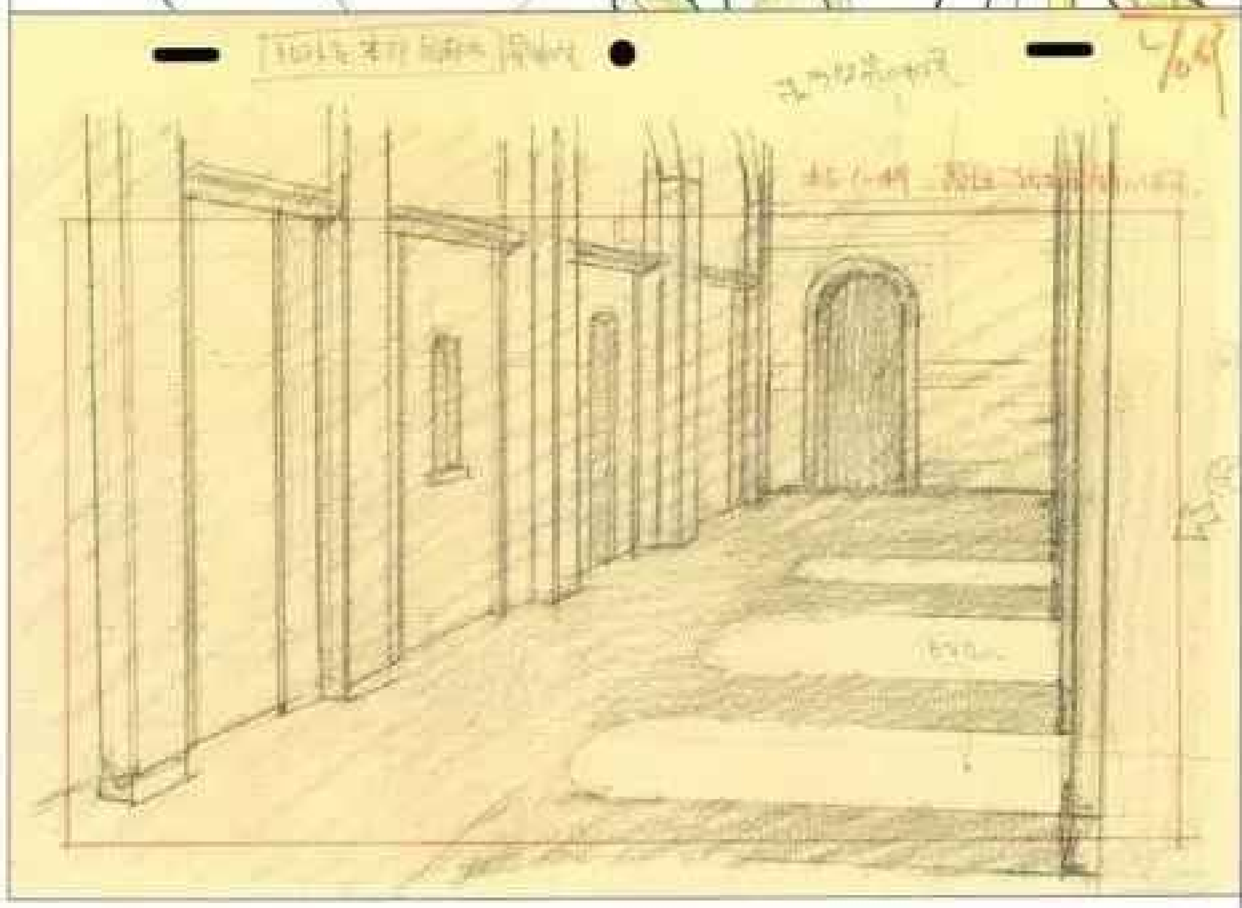


荒木哲郎コメント

ダズのゲロ。大丈夫、と身体を戻しかけてからもう一度吐く、というこのタイミングに、5話担当コンテ演出の江崎慎平さんは大変こだわられていて、何度も編集さんとゲロのタイミングを調節し直しているのを、僕は温かく見守りました。自分も江崎さんも大好きな、某邦画のシーンが元ネタになっています。

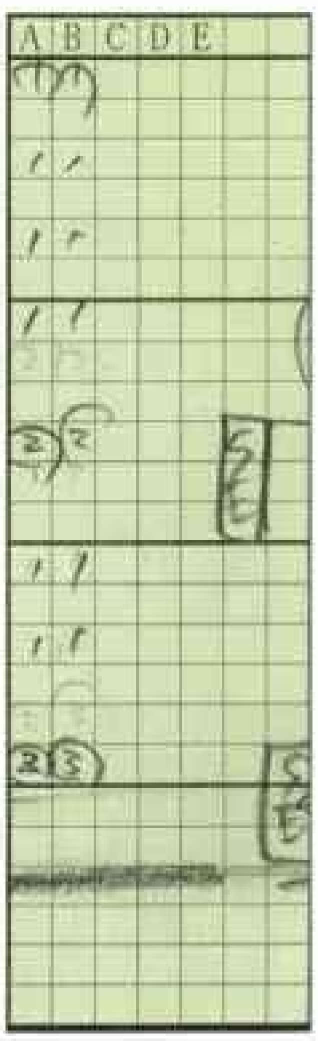

01_normal
01a_elen
A③
B③

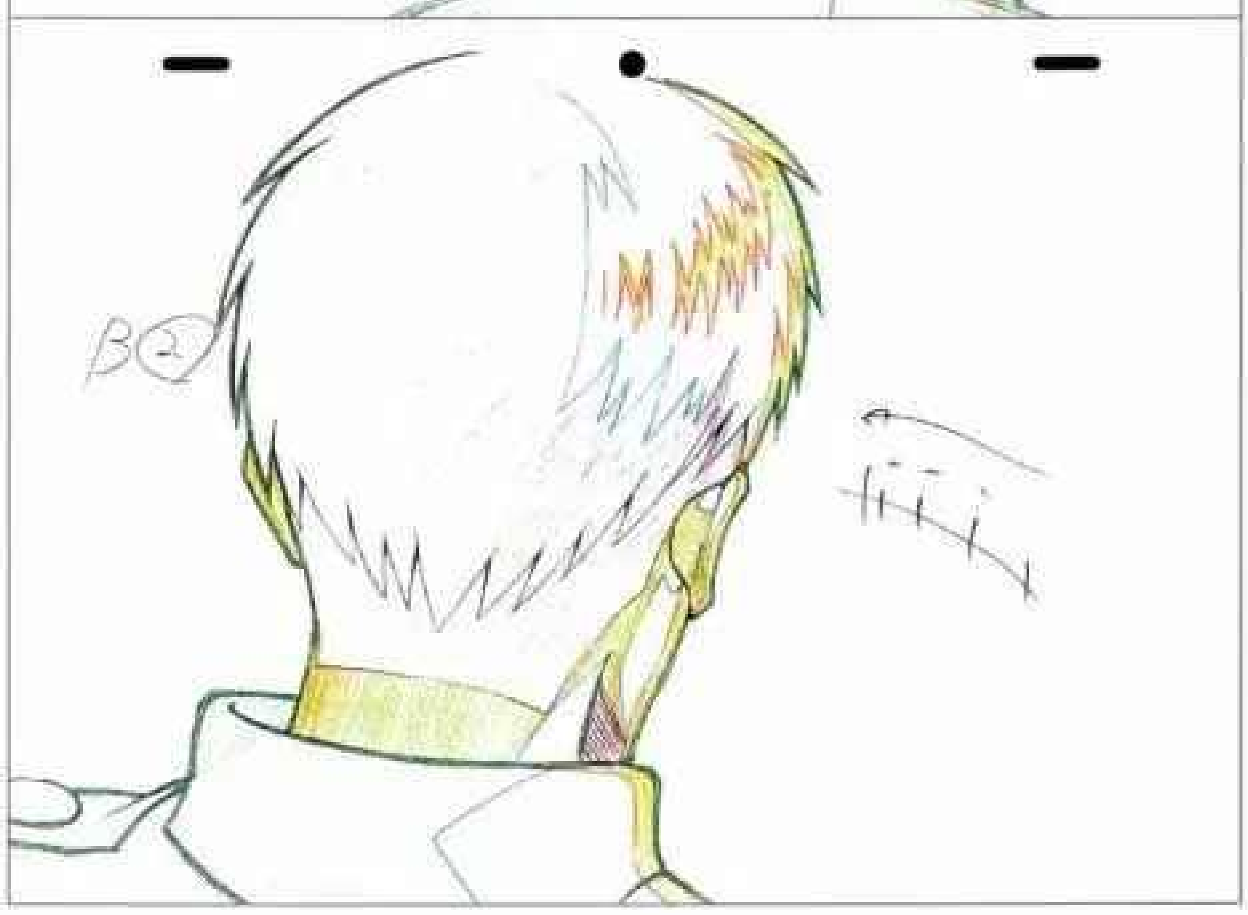

A①




A②

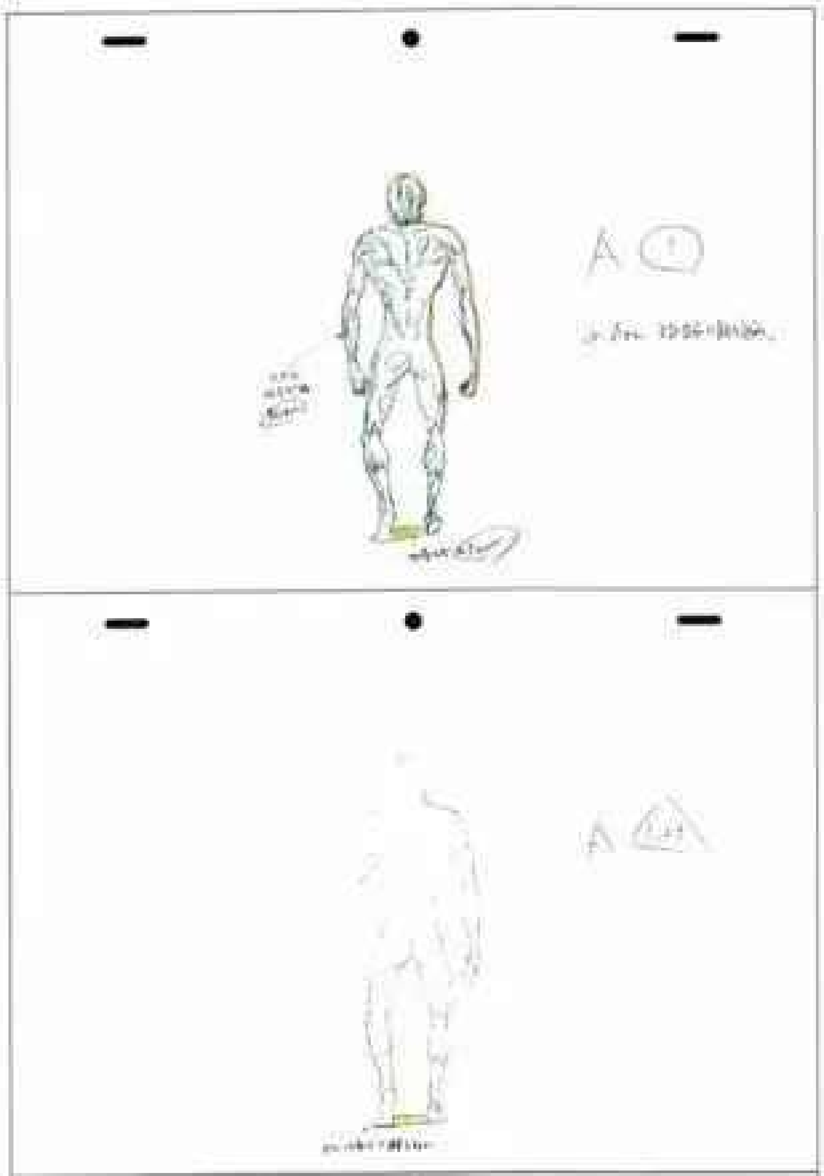

B①

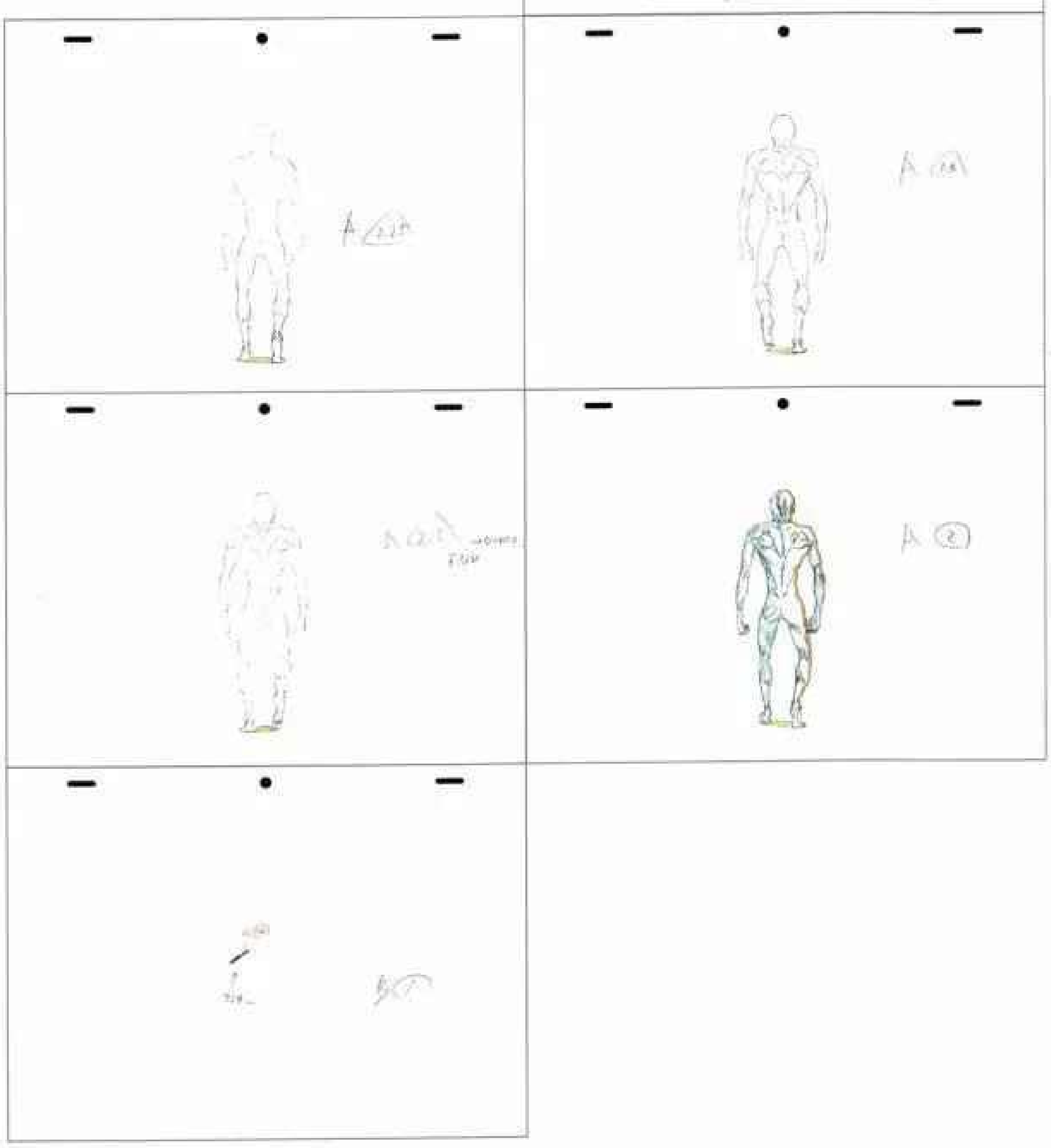

A B C D E

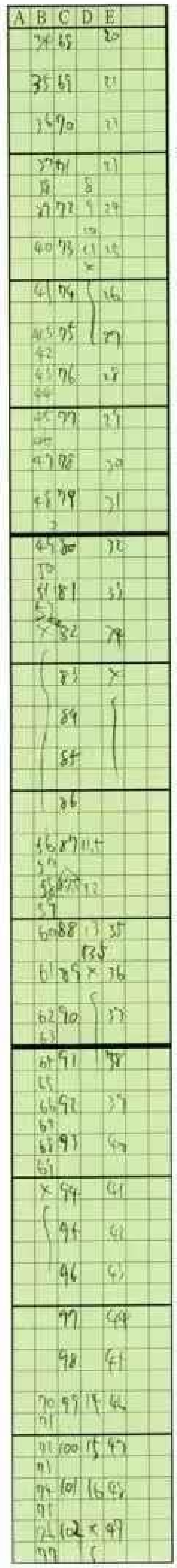

B②

荒木哲郎コメント

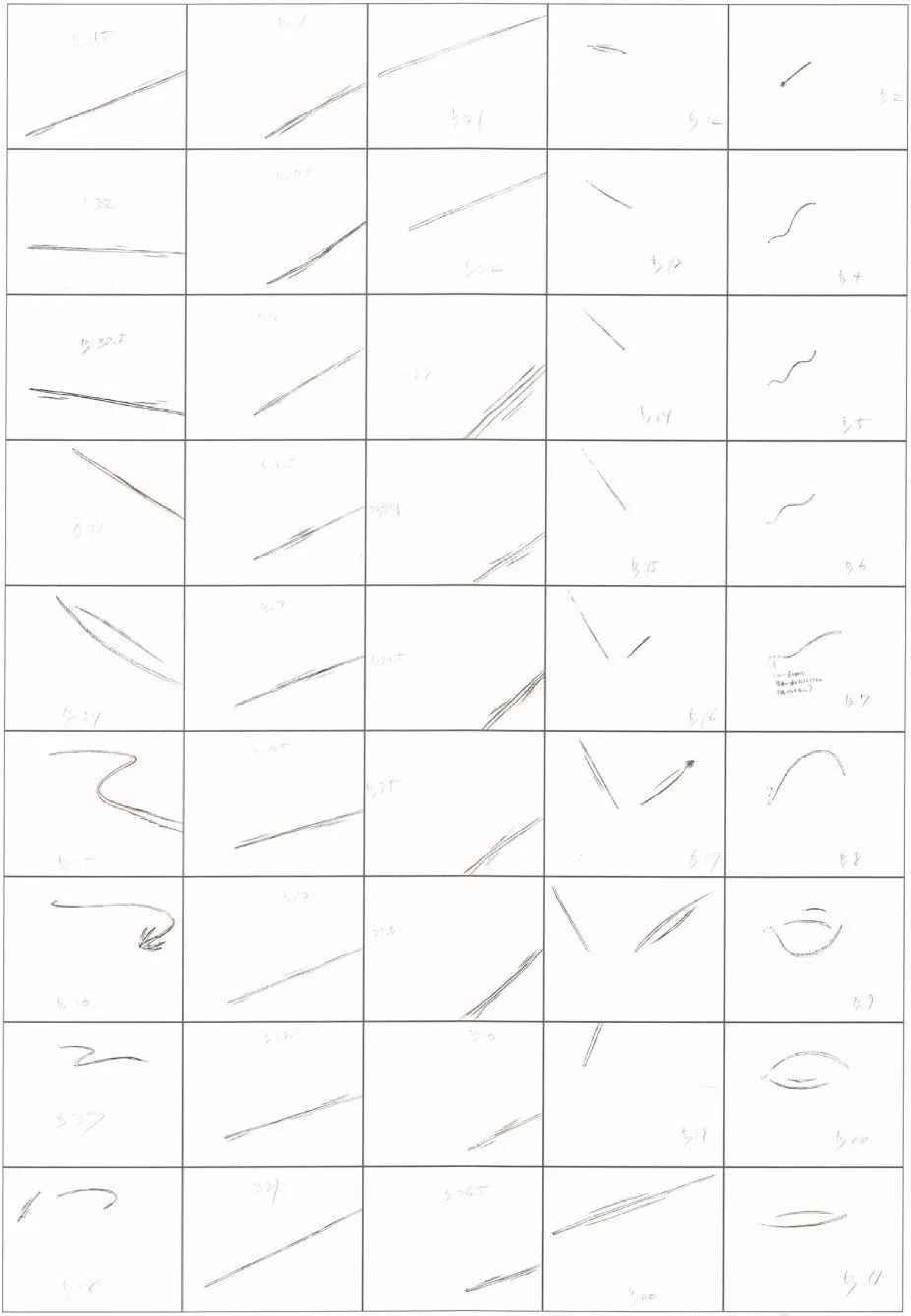
トーマスに迫る巨人を、立体機動でエレンが追う、今井有文くん入魂のカット。PVのラストで多くの人を驚愕させた、作品を代表するキラーカットの全てをご覧ください。余談ですが、実は本編でエレンが巨人に立体機動で飛びかかるのは、シリーズ通してこの1回きりなのです。彼はこの後、巨人になって戦うのがデフォルトになるので、立体機動は専らその他の人々(主にミカサ、リヴァイ)の専門分野になります。

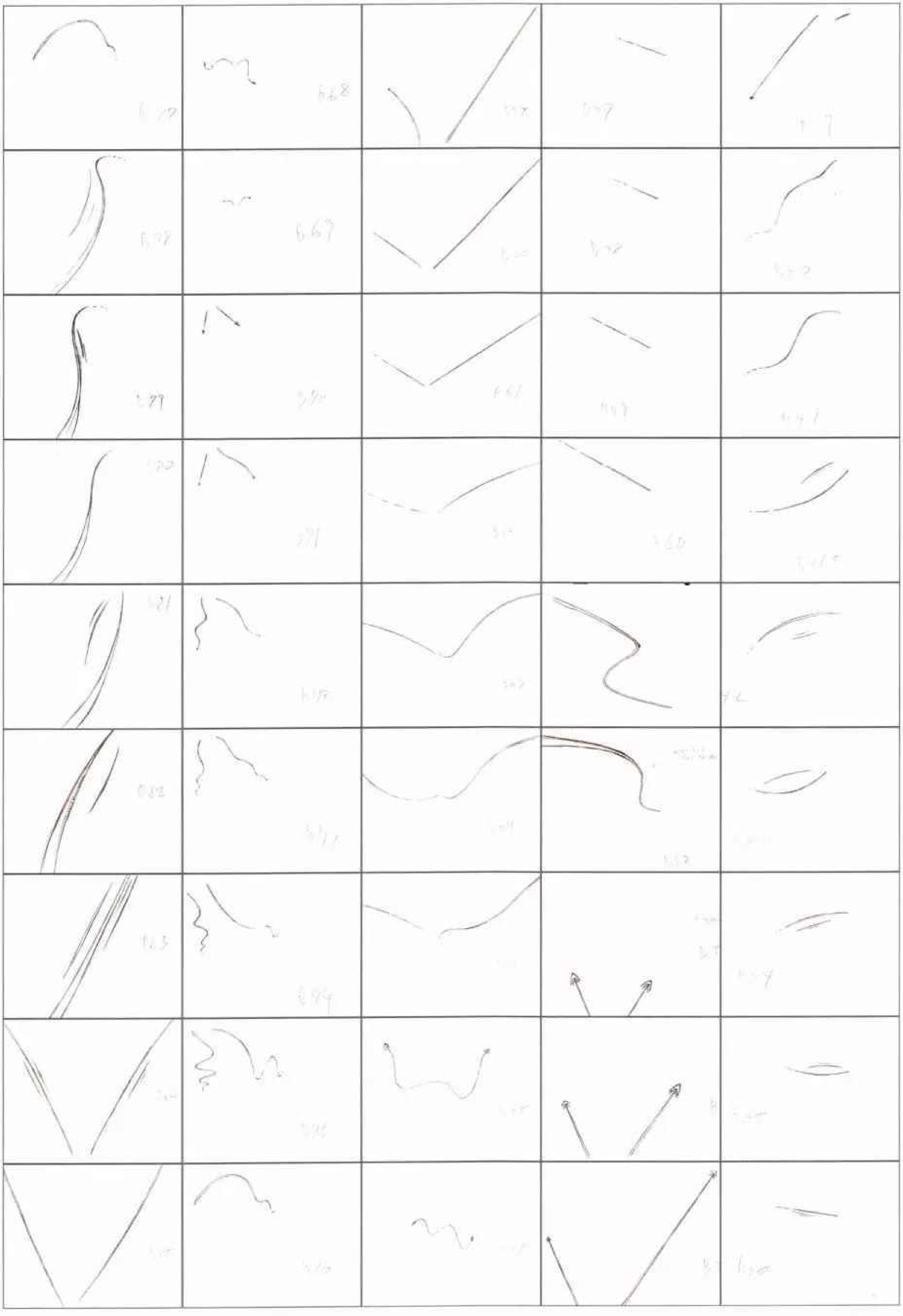


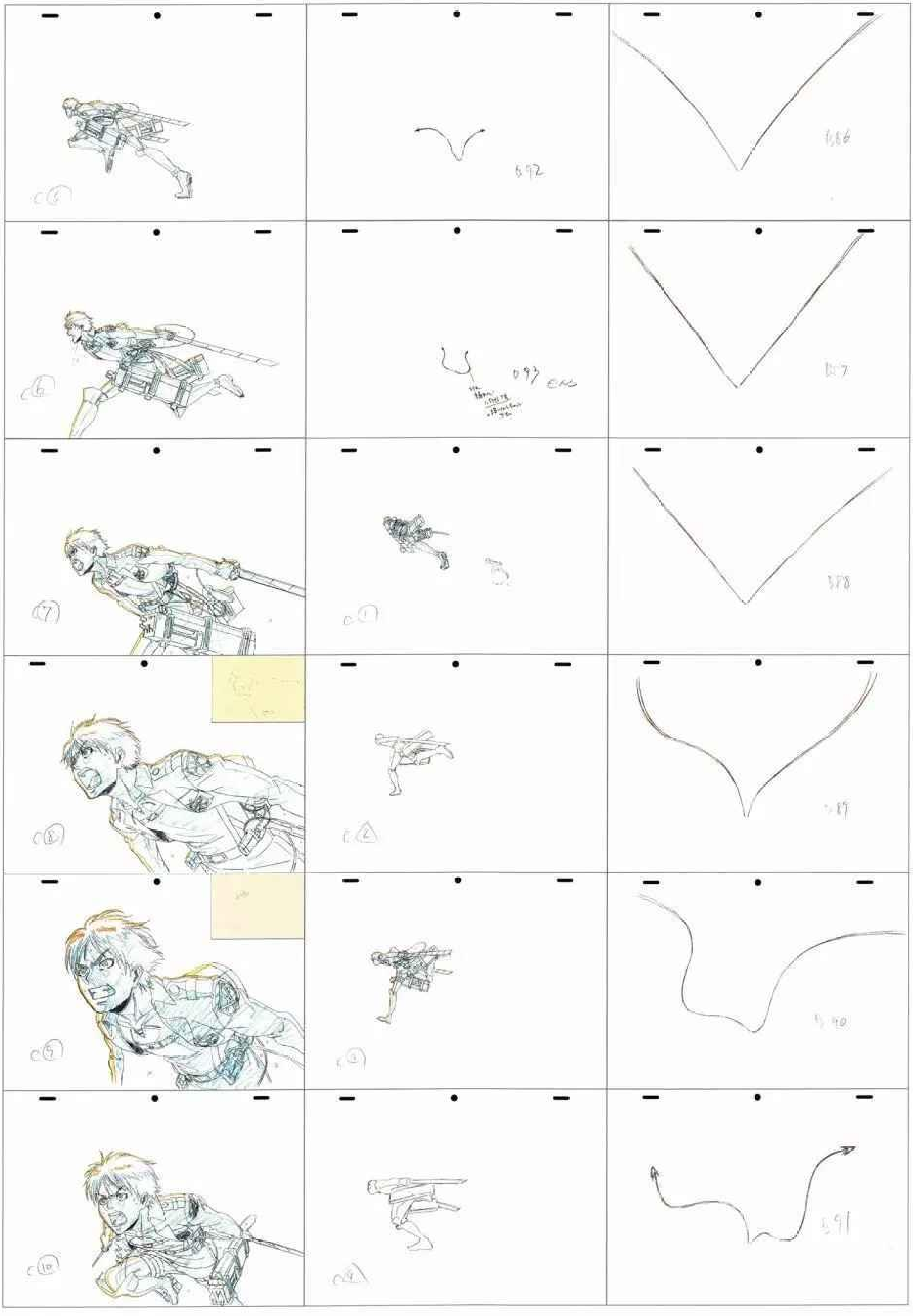


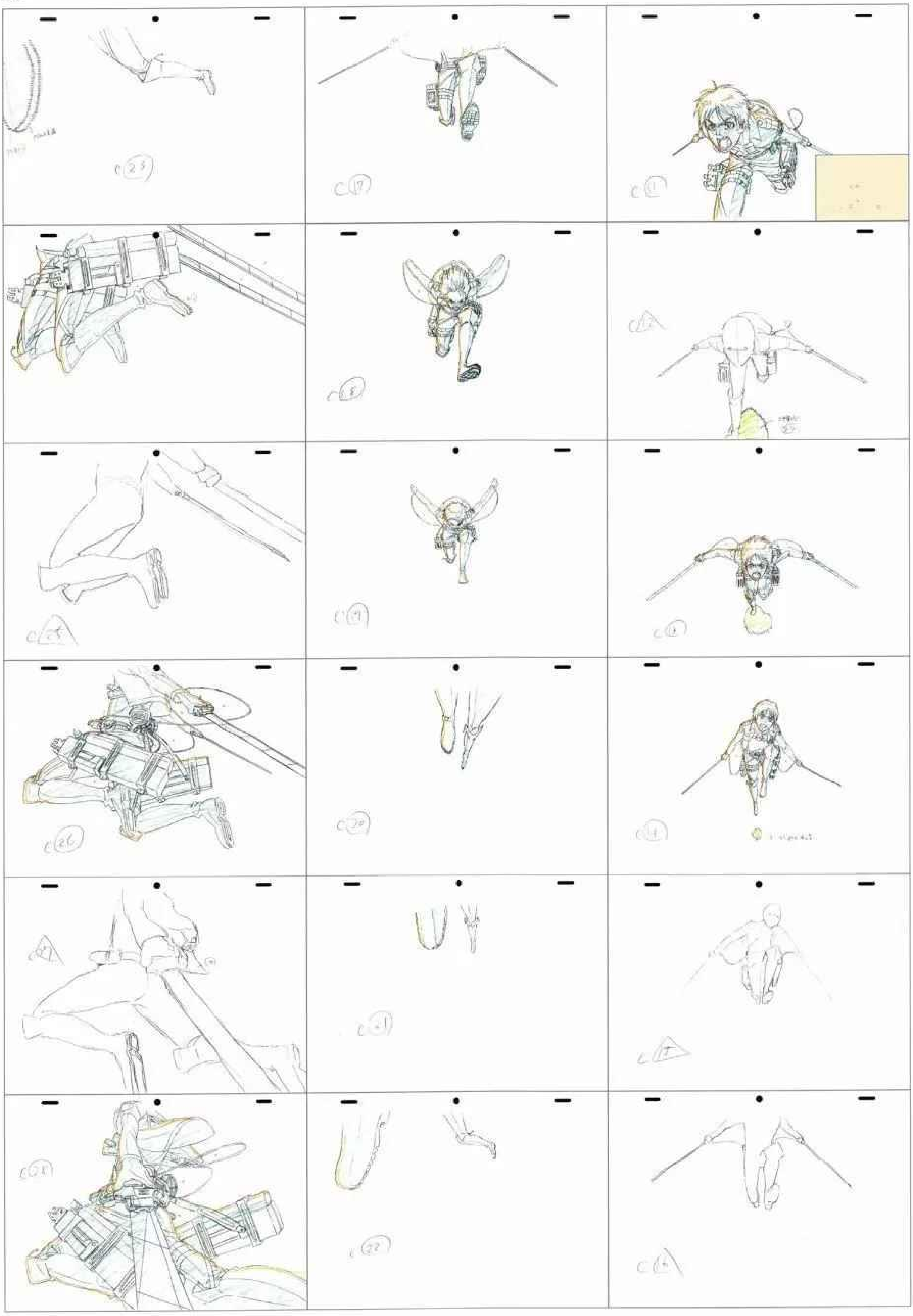


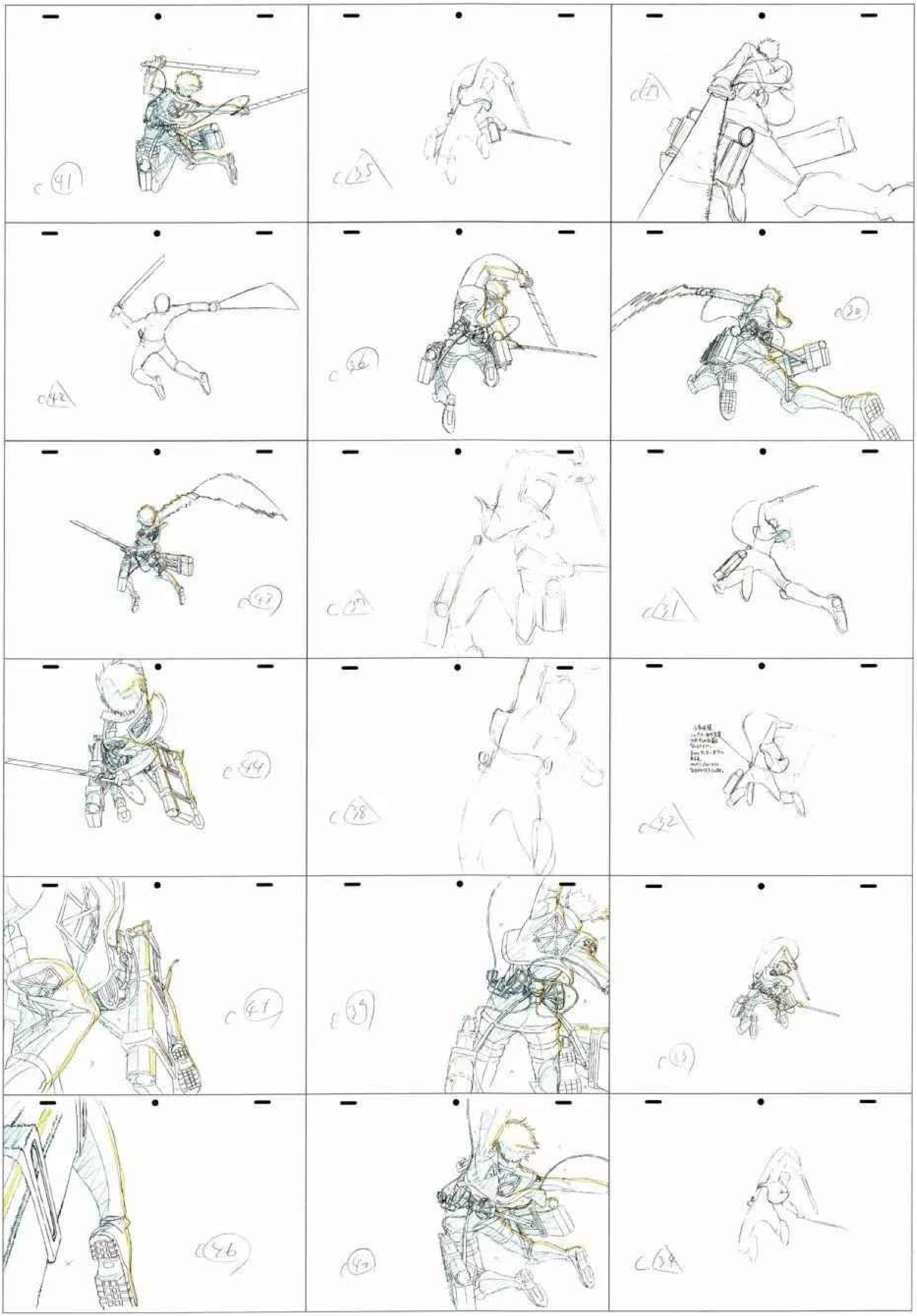


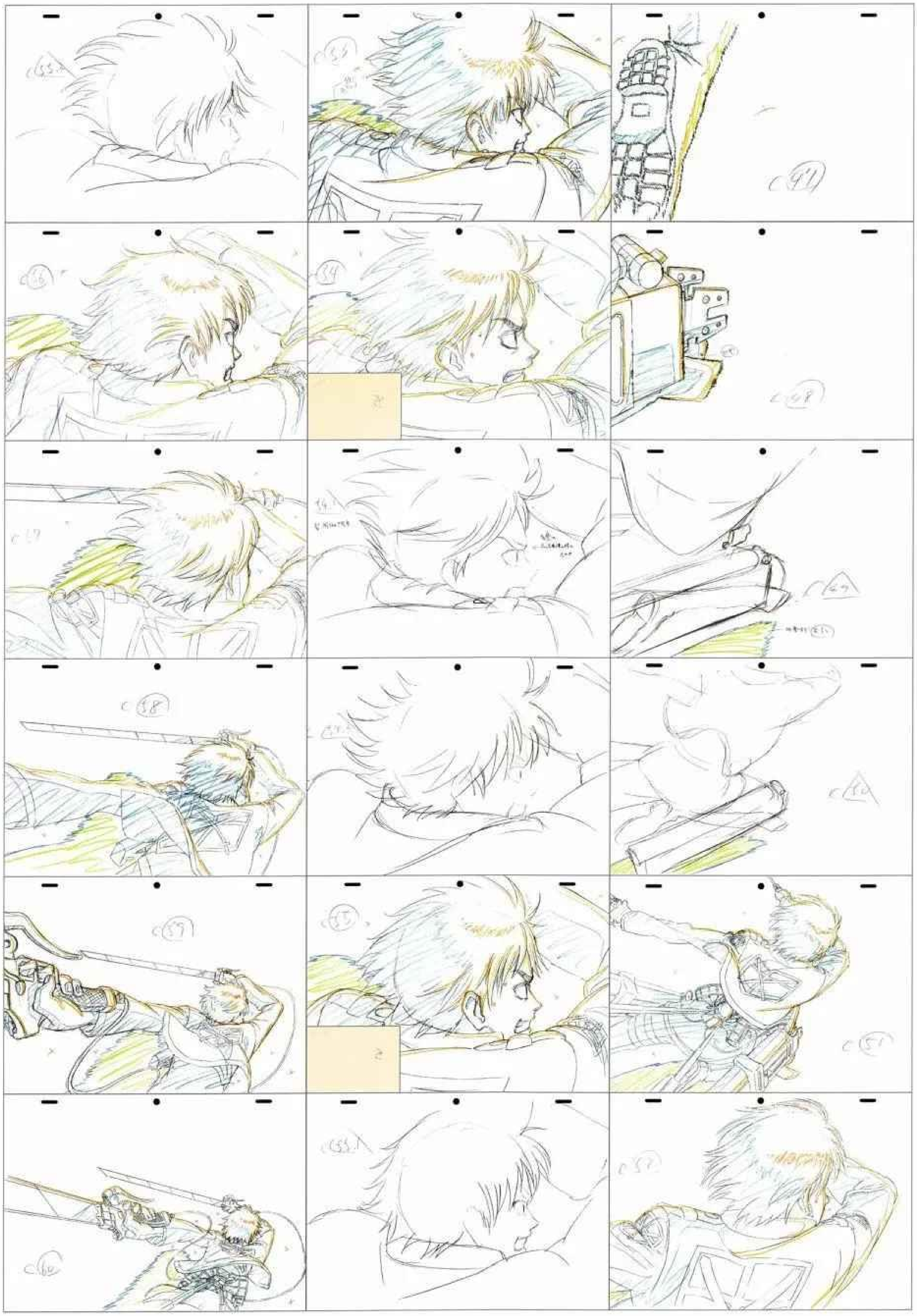


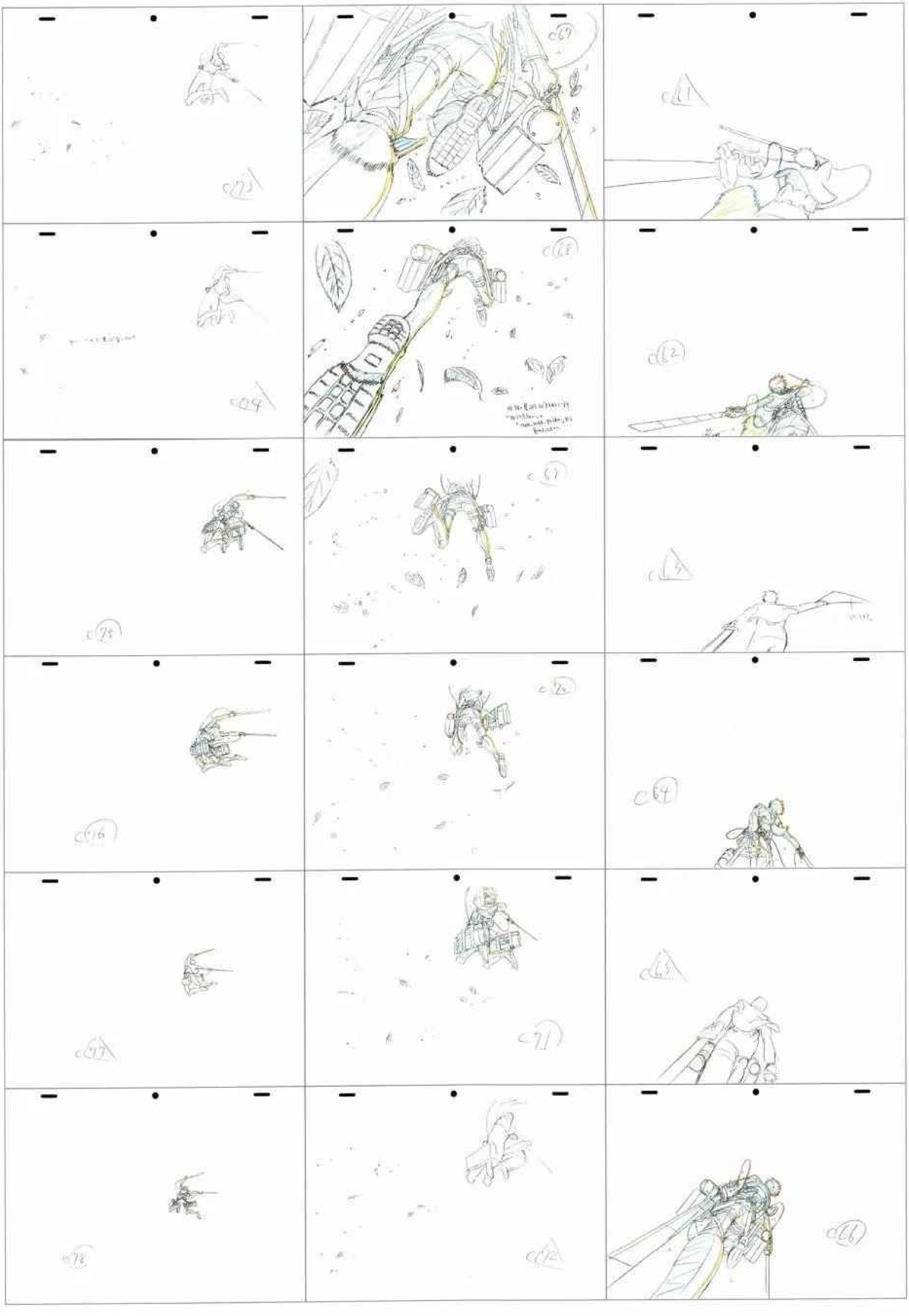


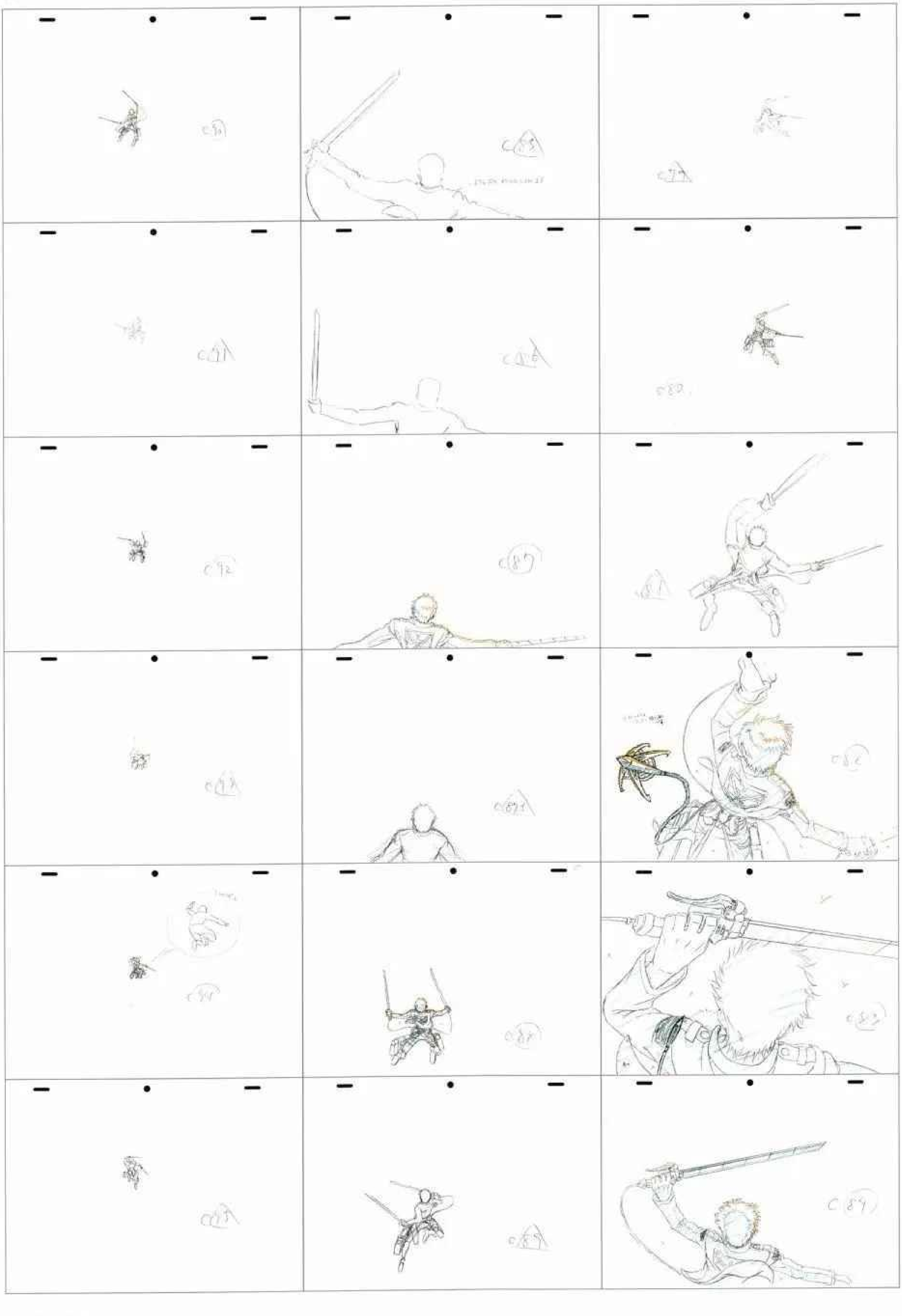


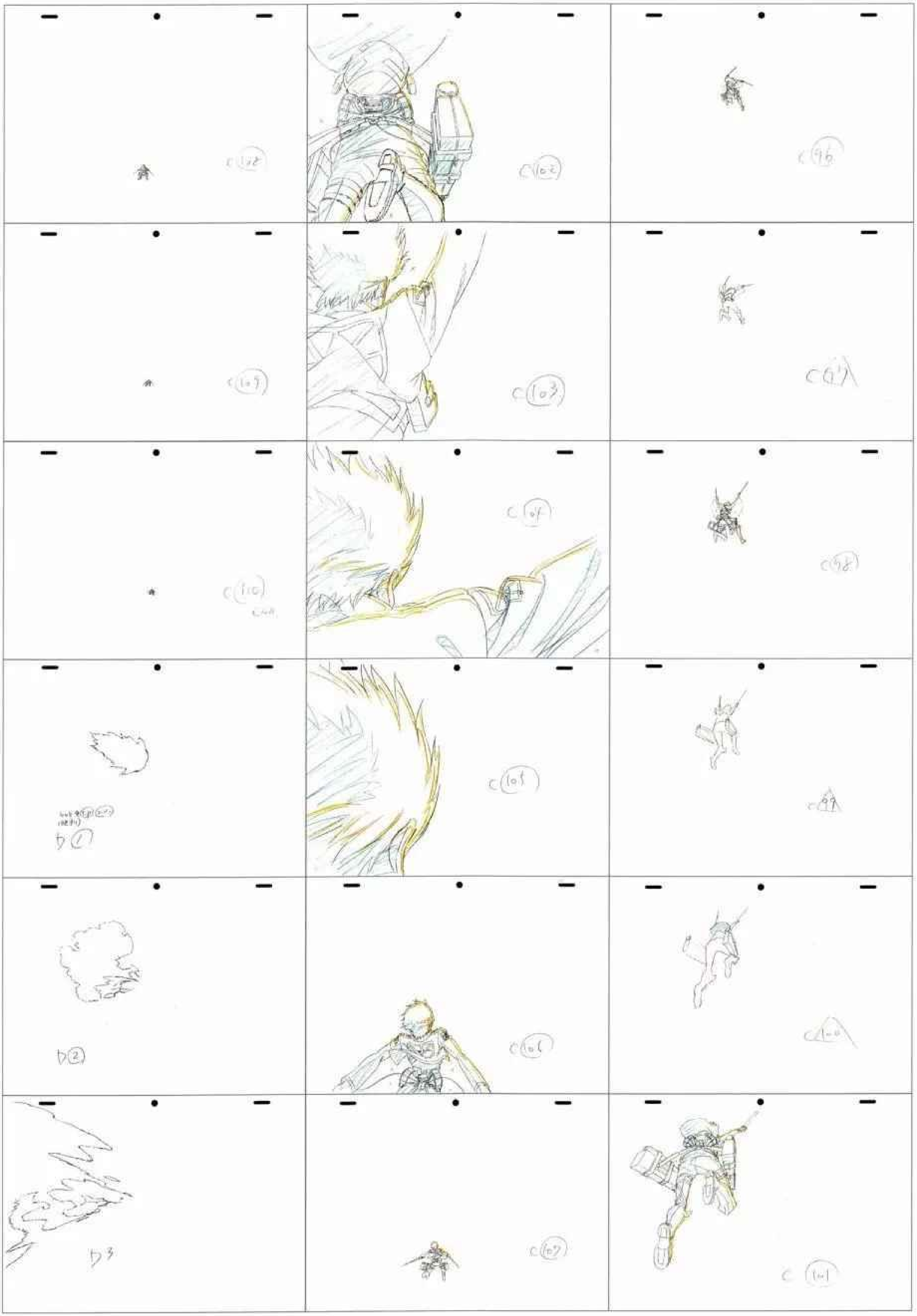


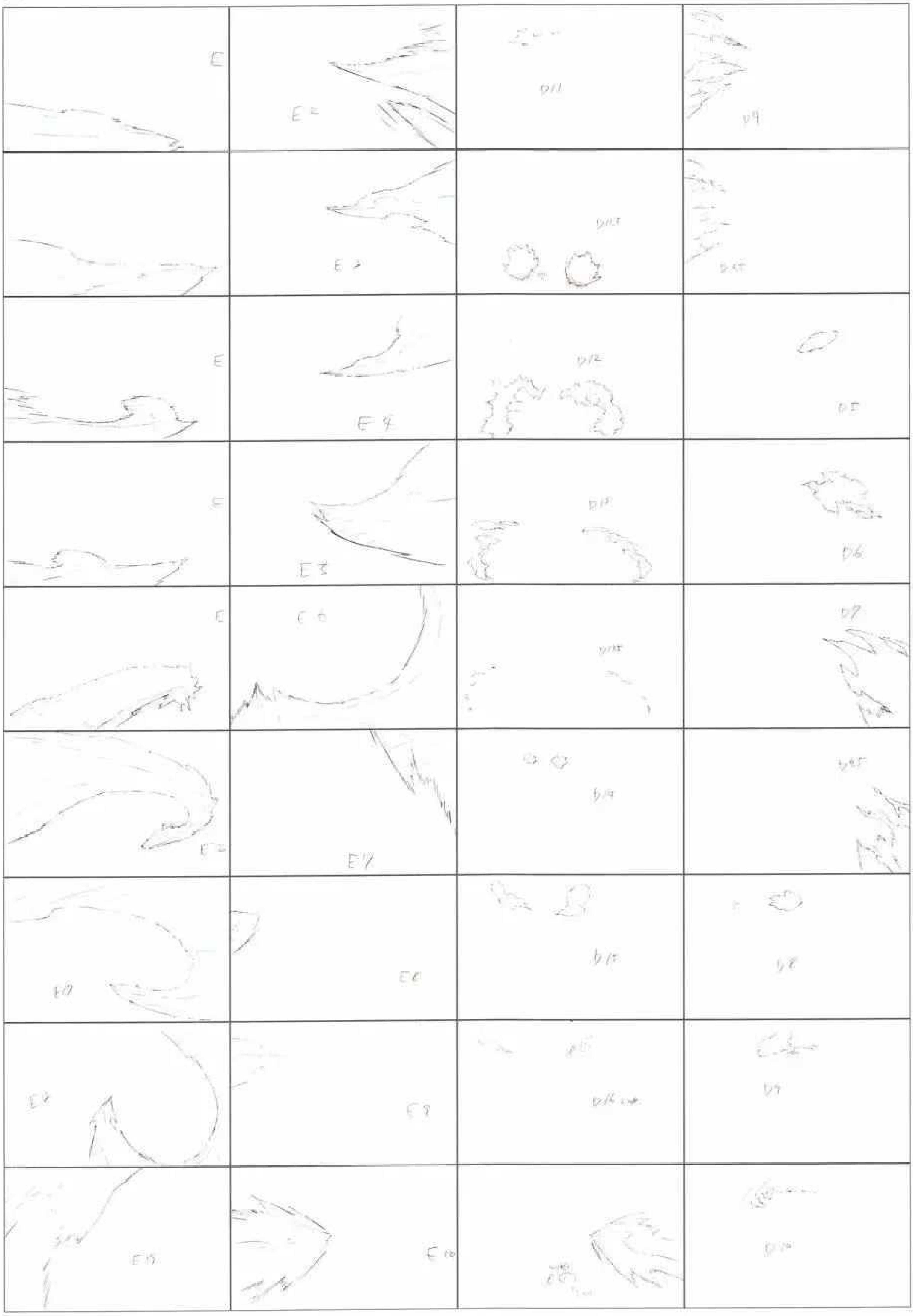




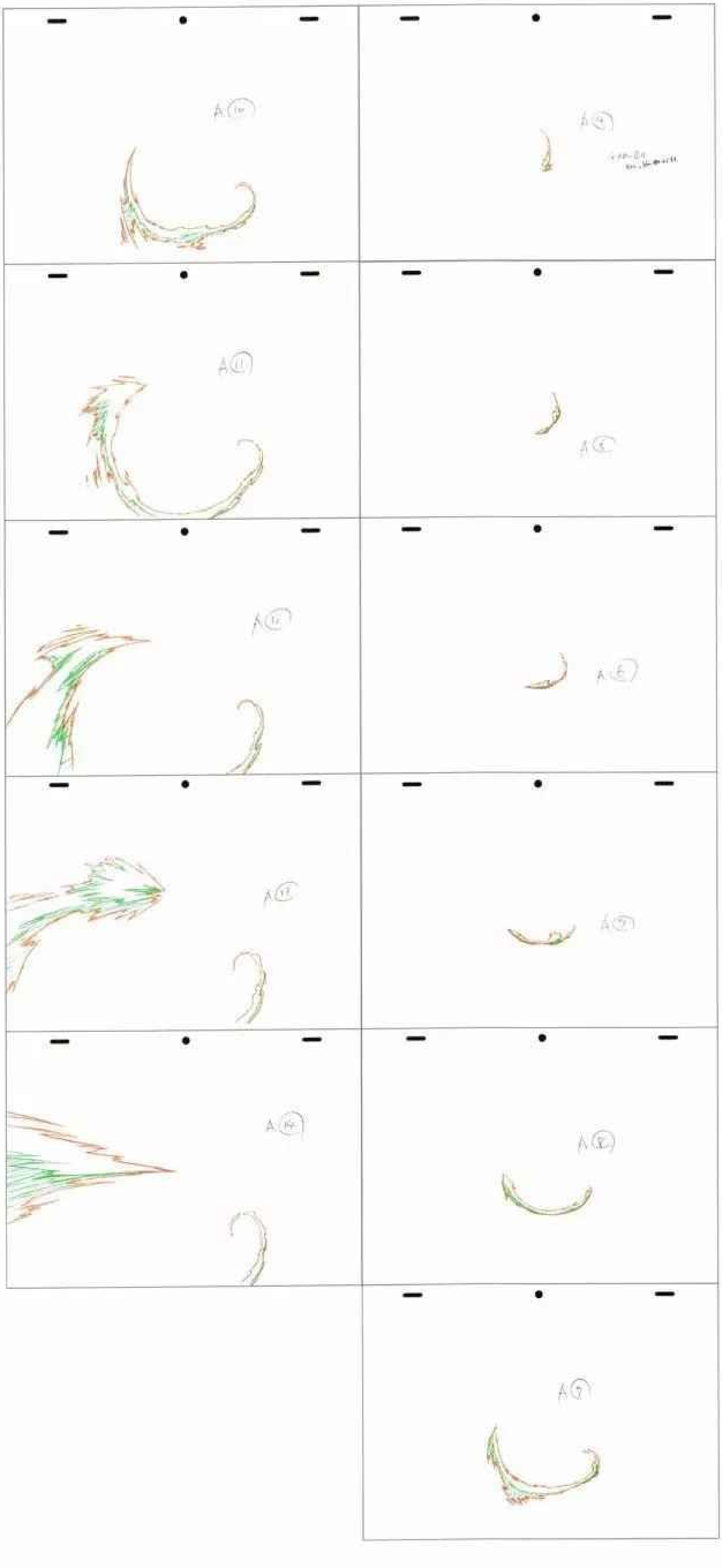




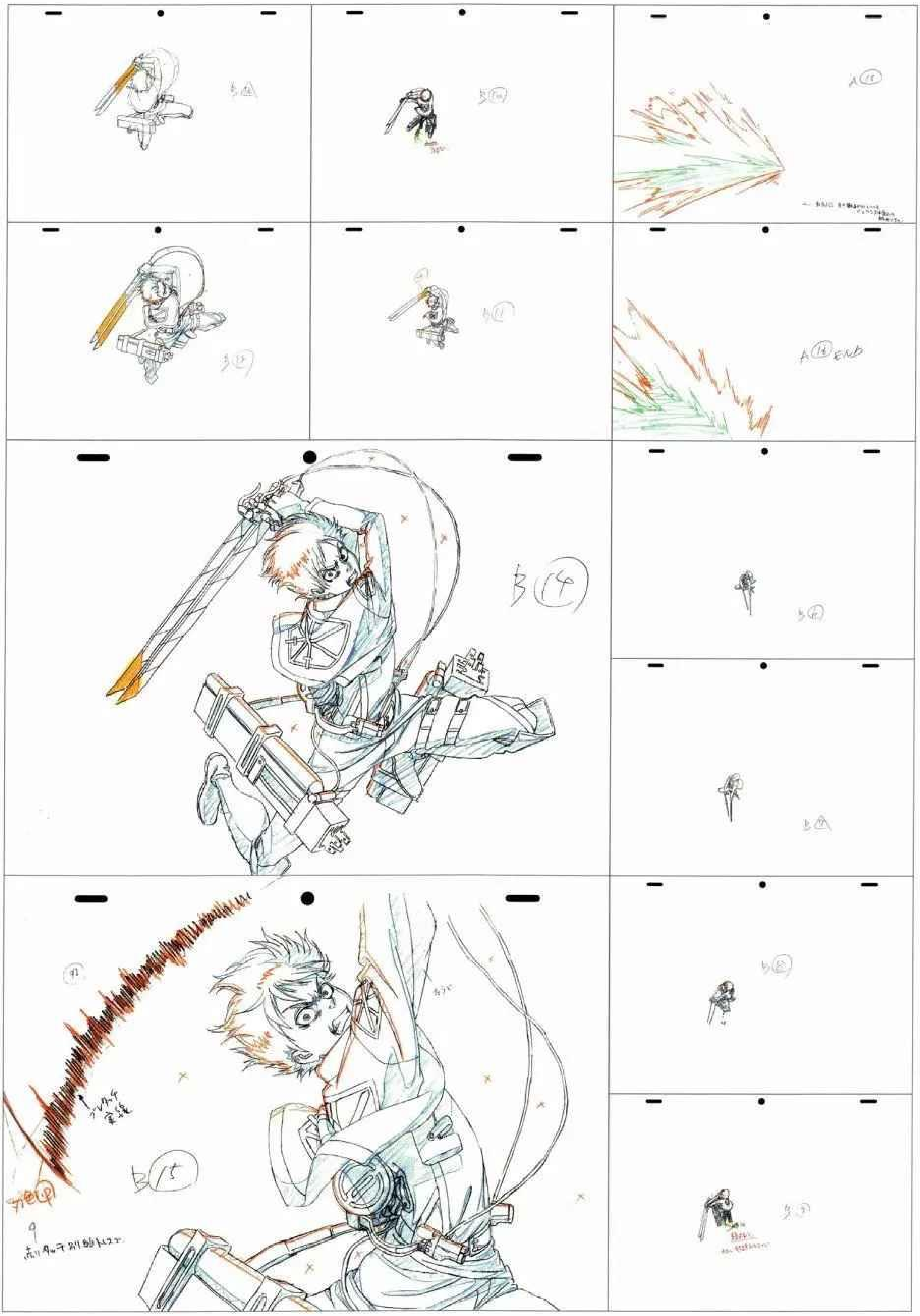

C 108
C 102
C 96
C 109
C 103
C 97
C 110
C 104
C 98
C 105
C 99
C 106
C 100
C 107
C 101

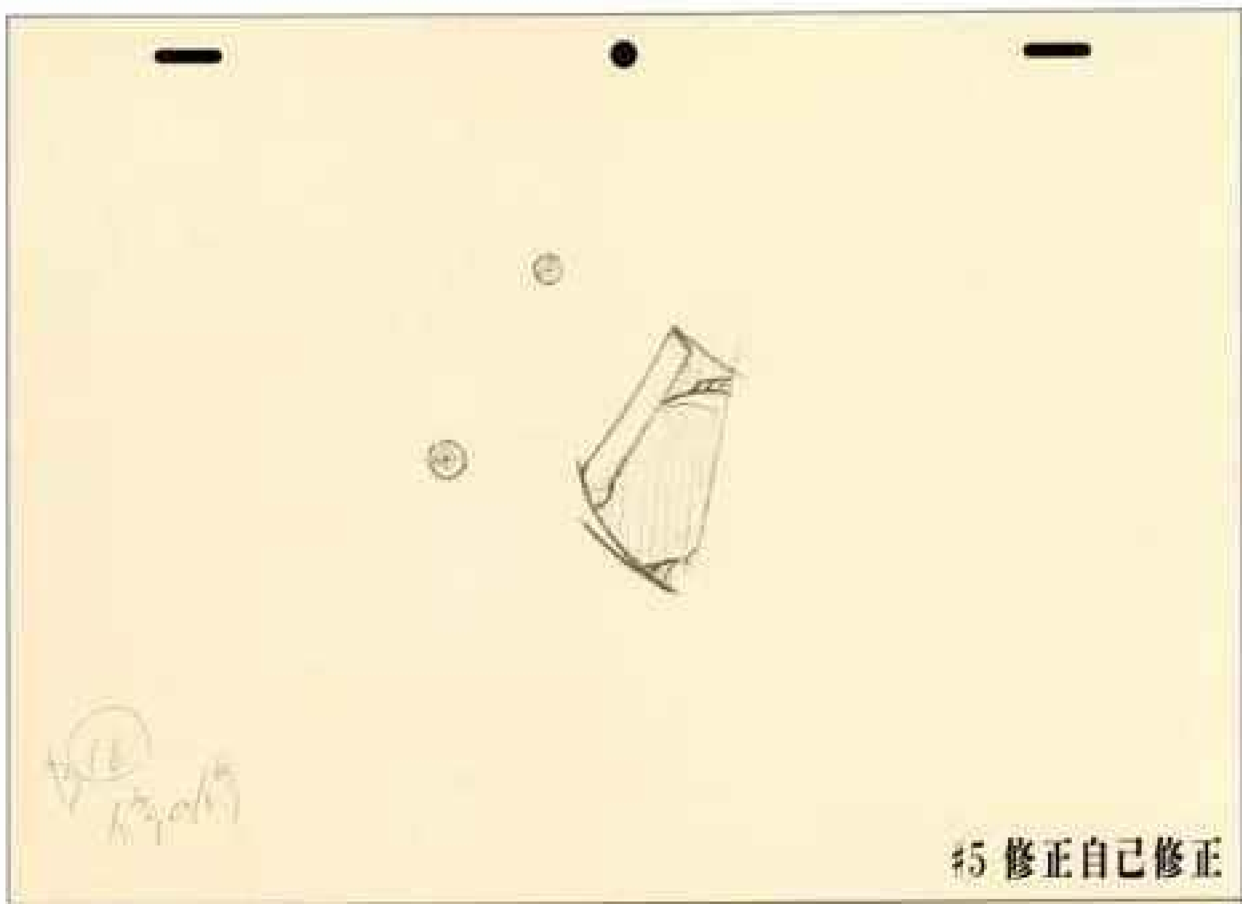






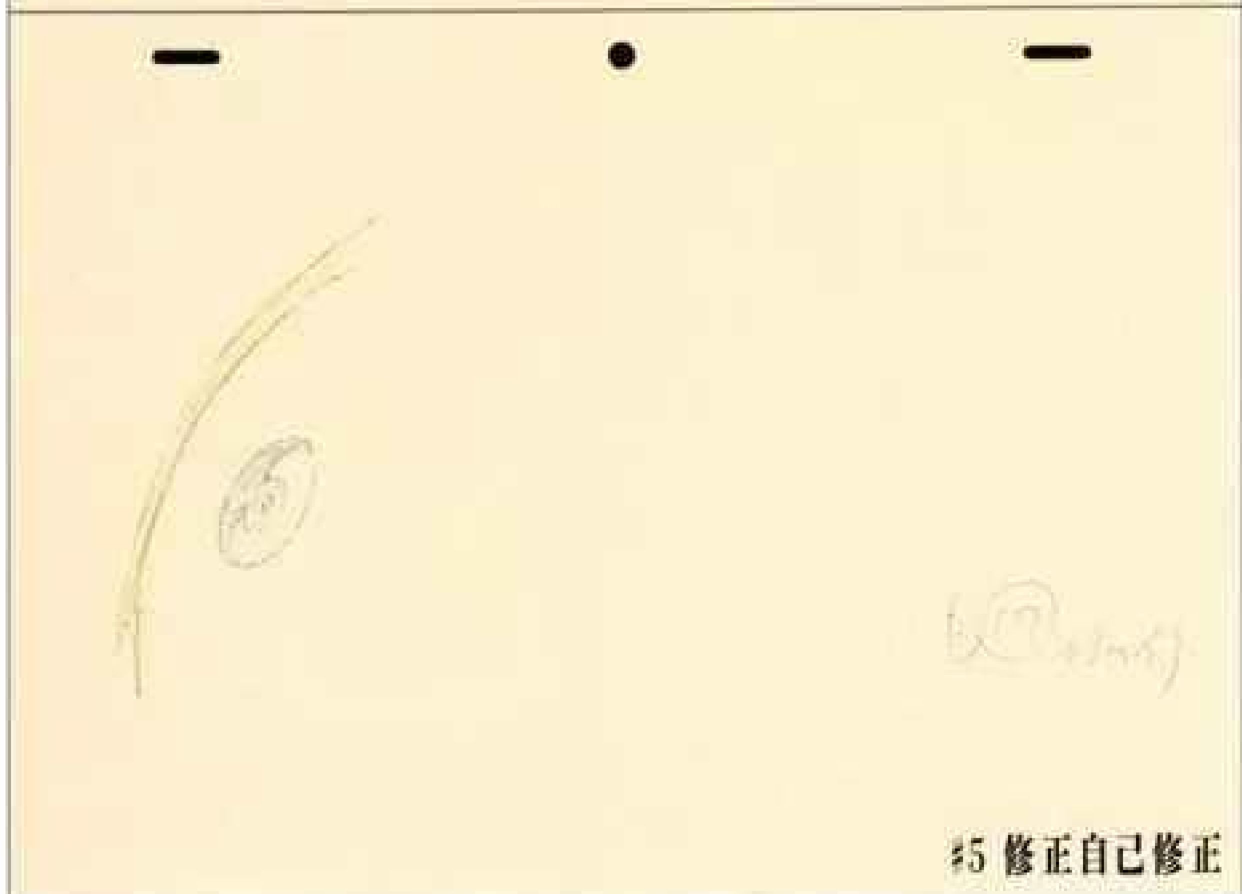



A⑭ END
B⑭
B⑮

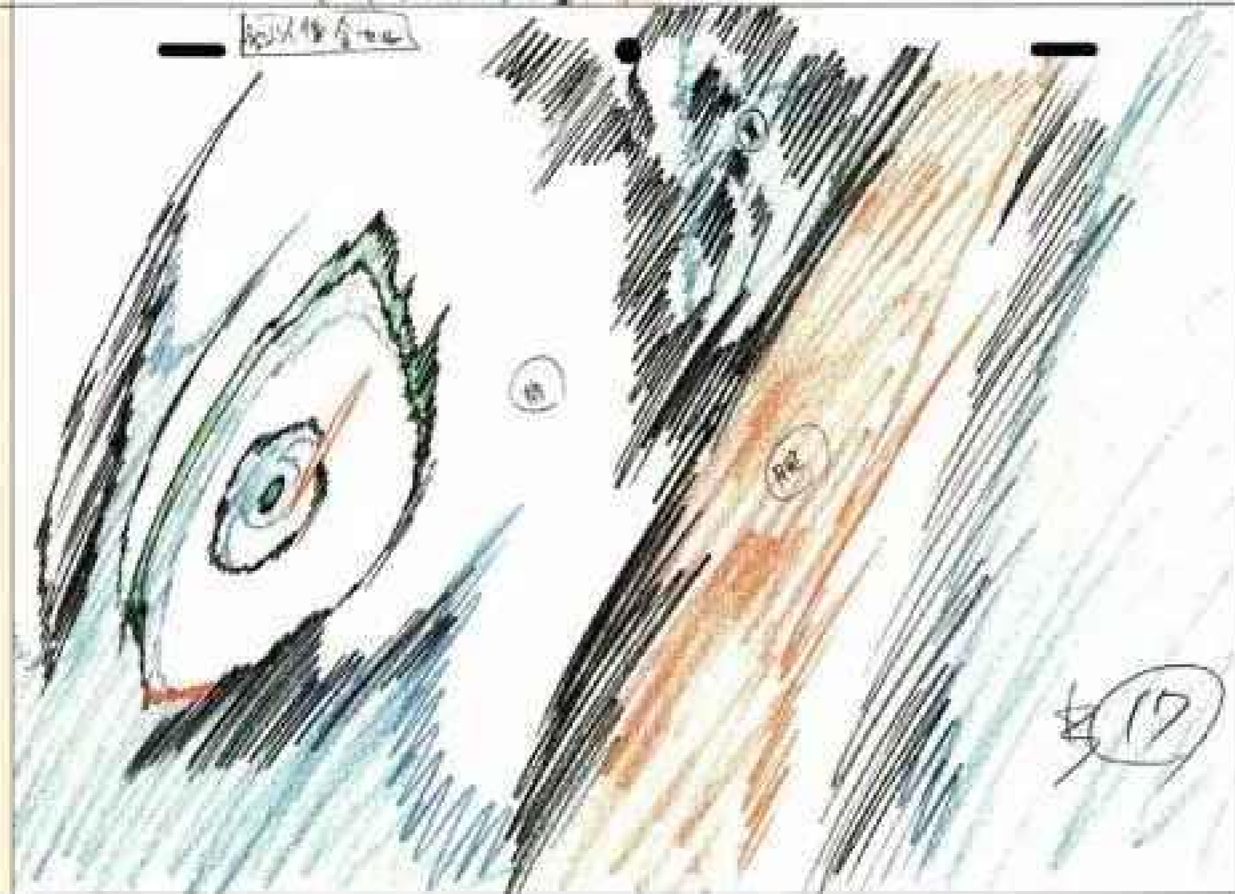


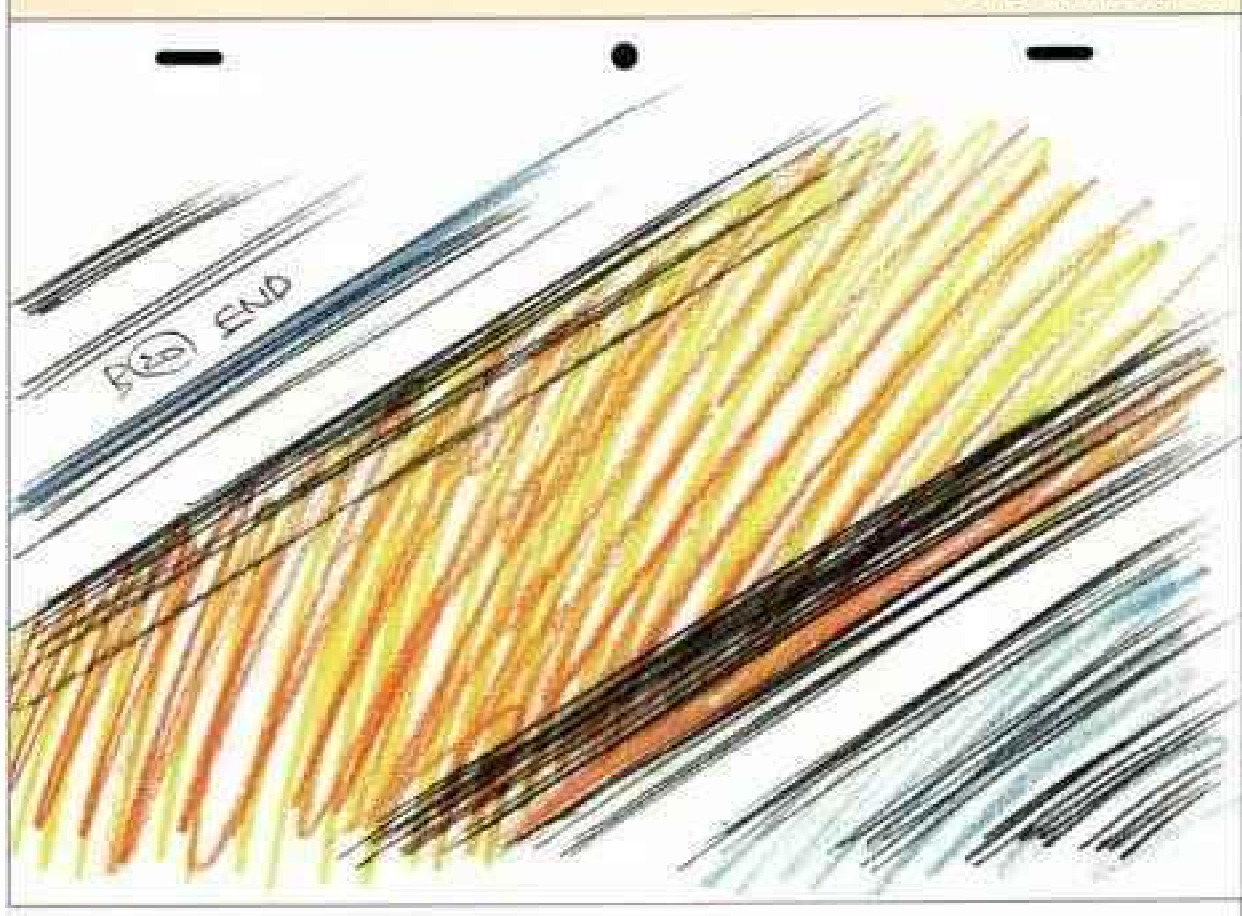
#5 修正自己修正

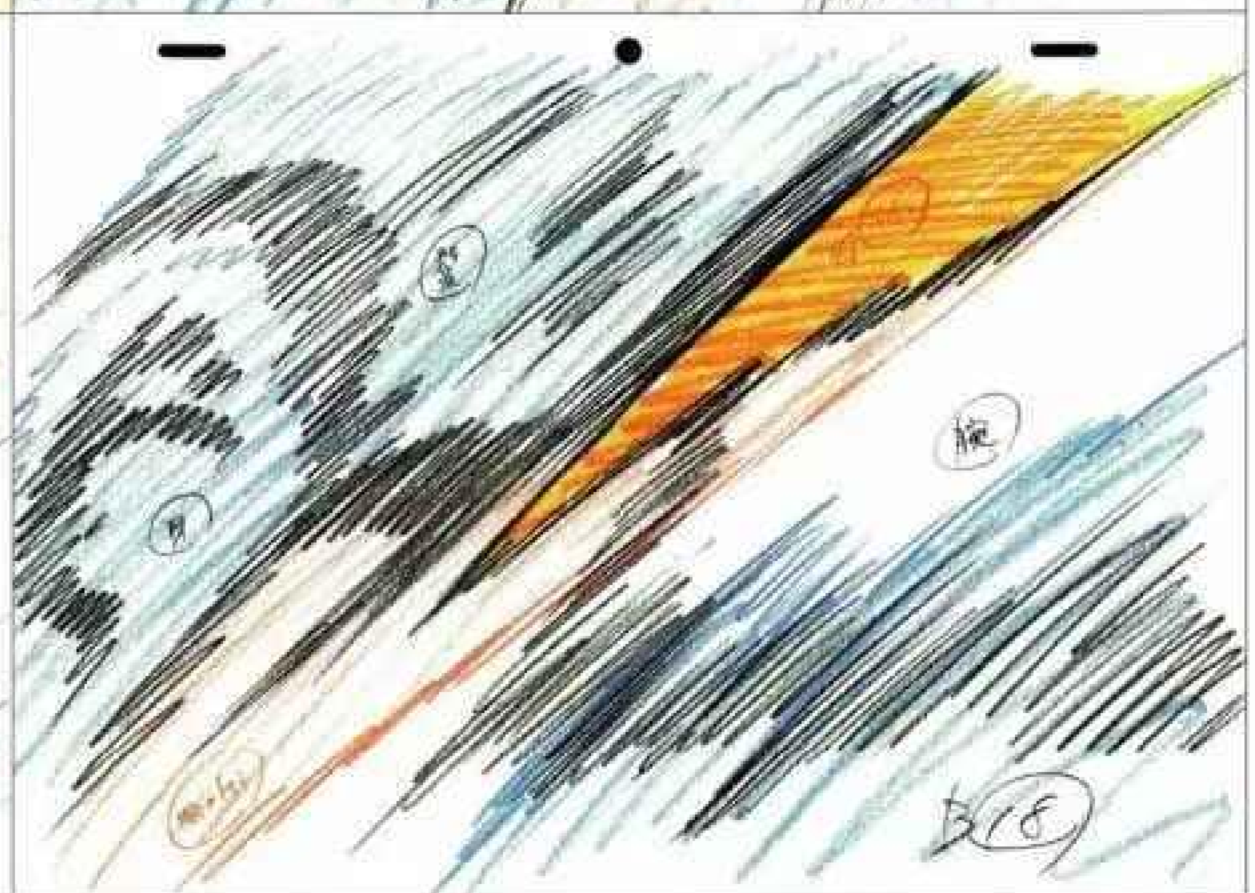


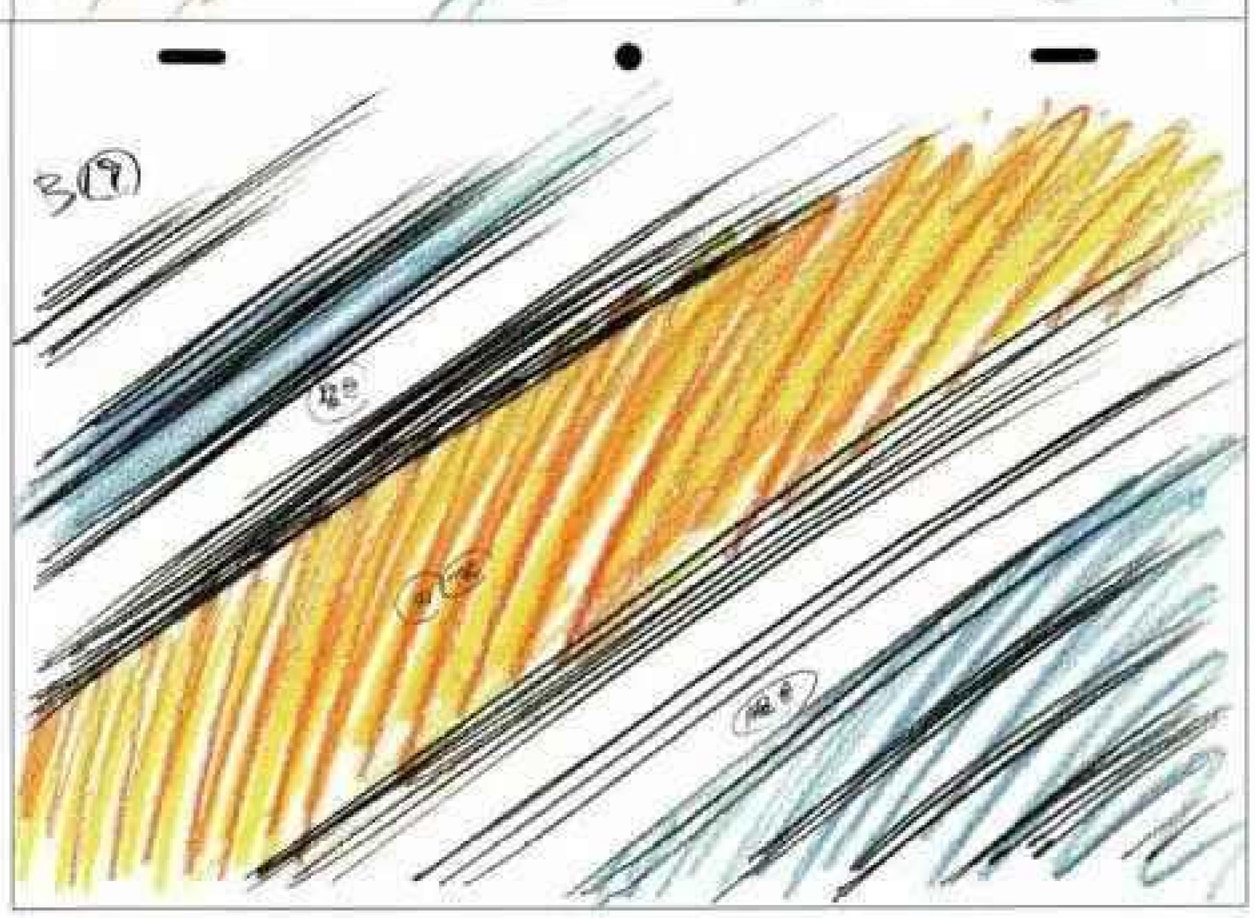


#5 修正自己修正





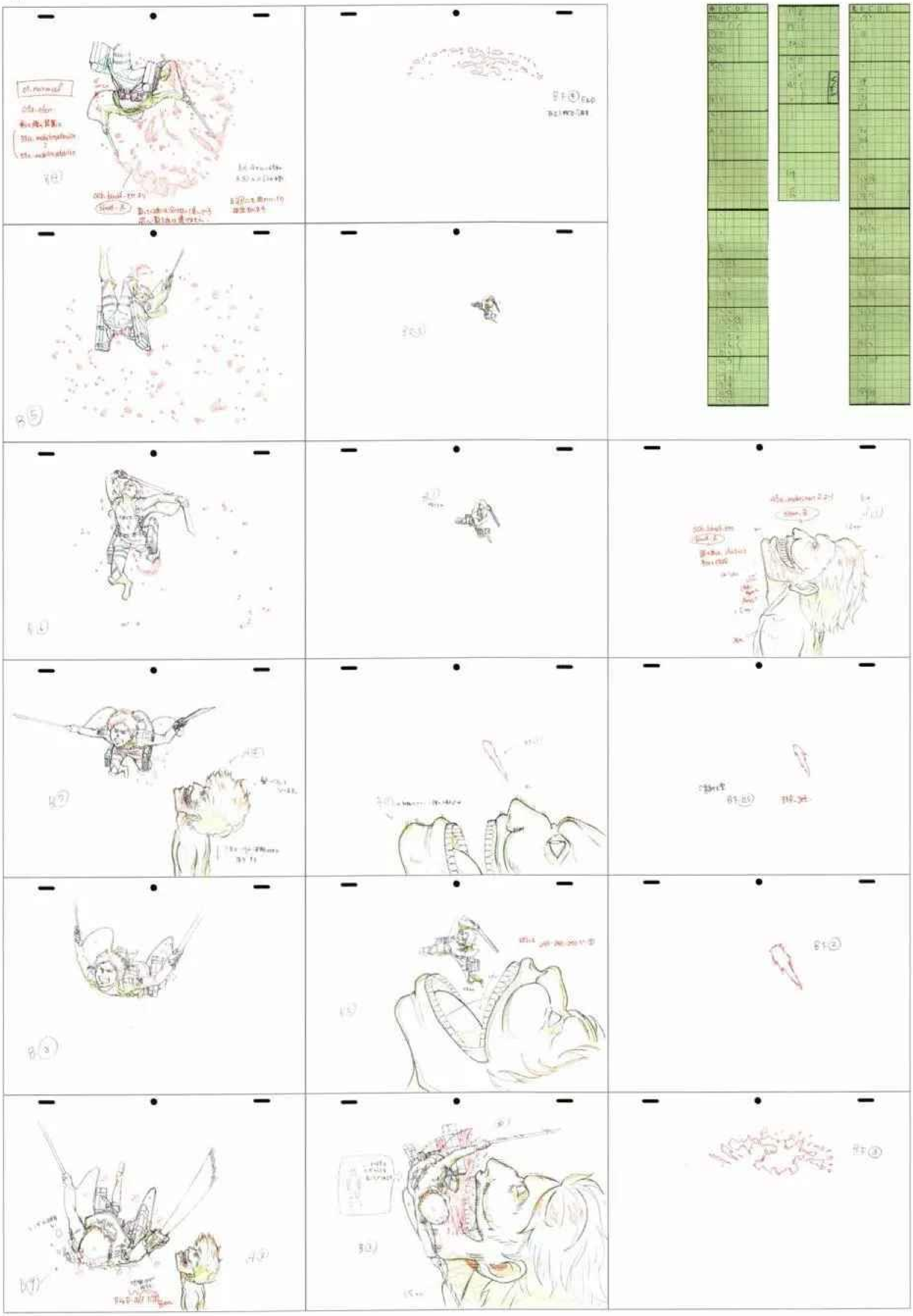




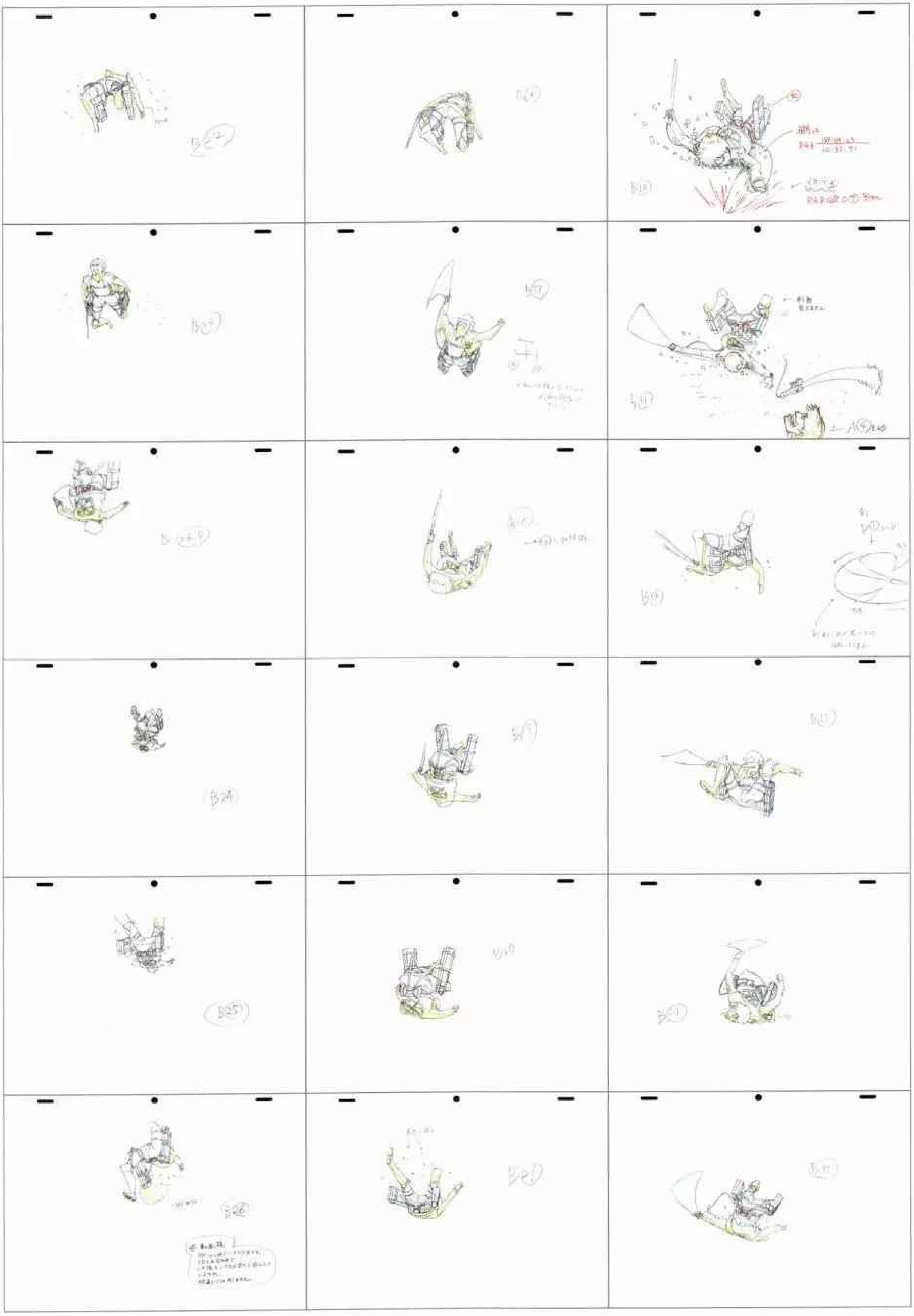

A③
B①
B②
B③

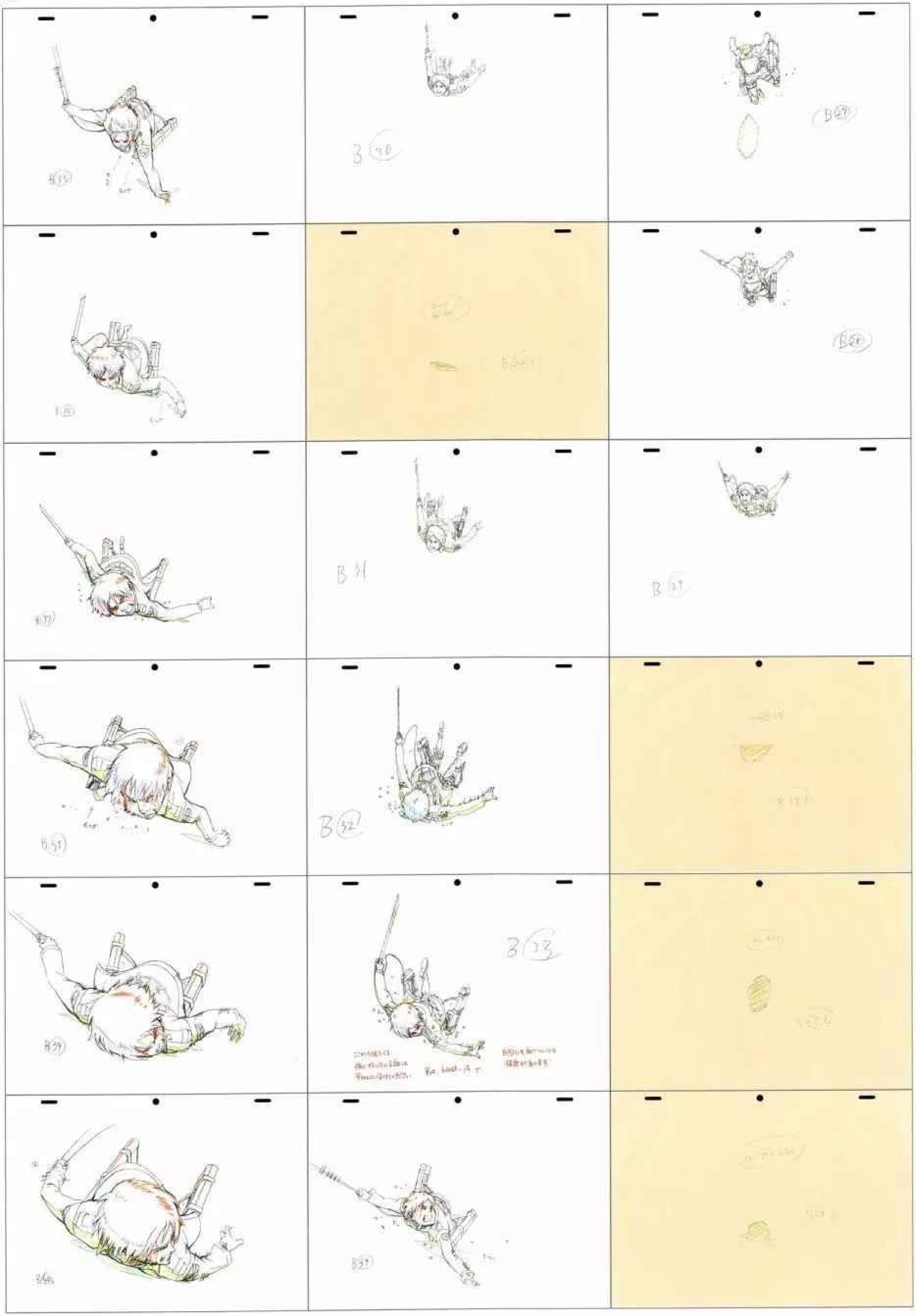
白坊黒麿

进击的巨人原画集 #4~#7

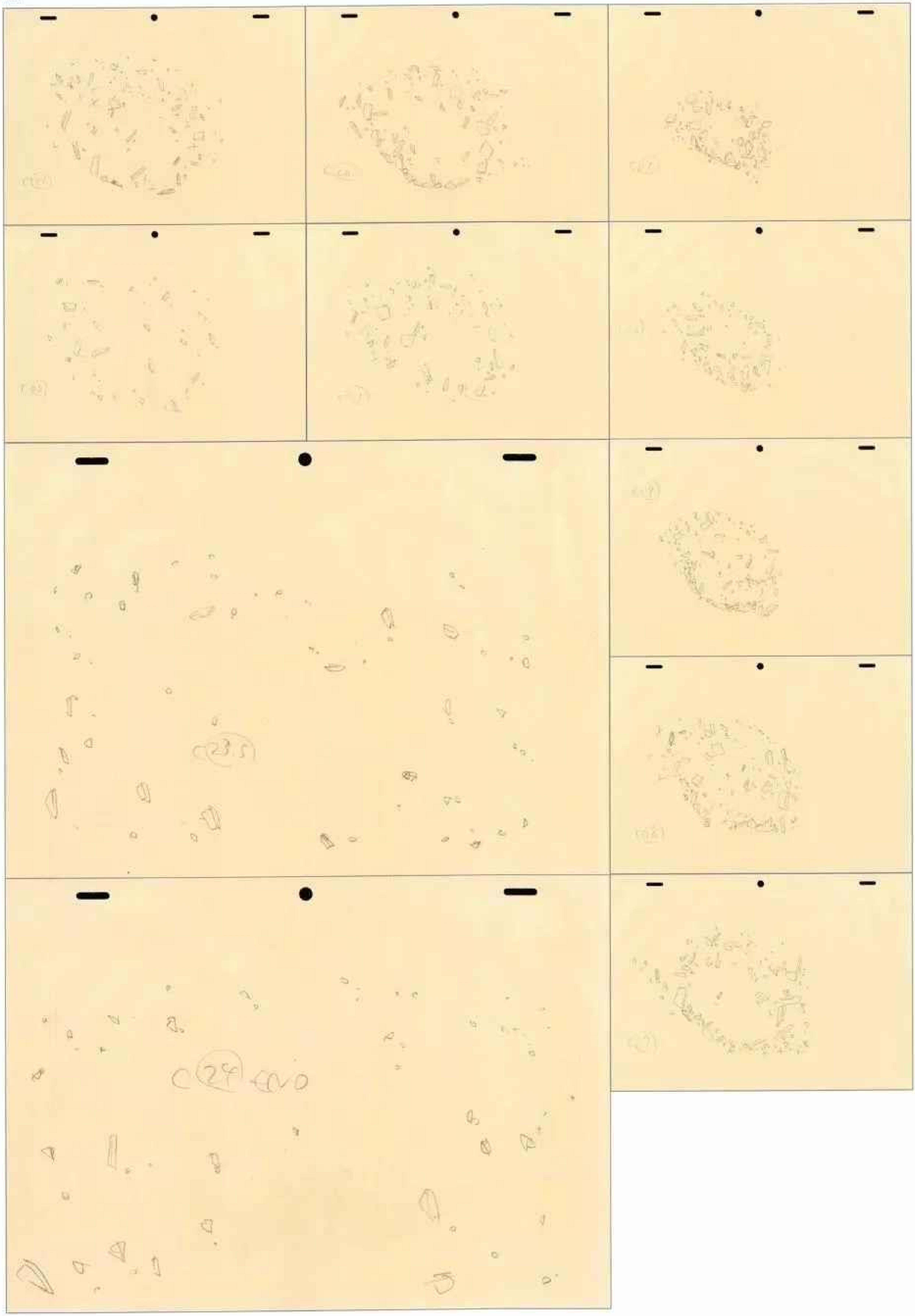


荒木哲郎コメント 足を食いちぎられたエレンが屋根上を転がる、これも今井有文くんのカット。その前カットのエレンの勢いがすごかったので、せっかくなので屋根瓦を巻き上げて、盛大に転がってもらいました。転がる勢いで屋根を駆け上がっていくさまが、ショックな中にさりげない笑いを生んでいて、大好きなカットです。

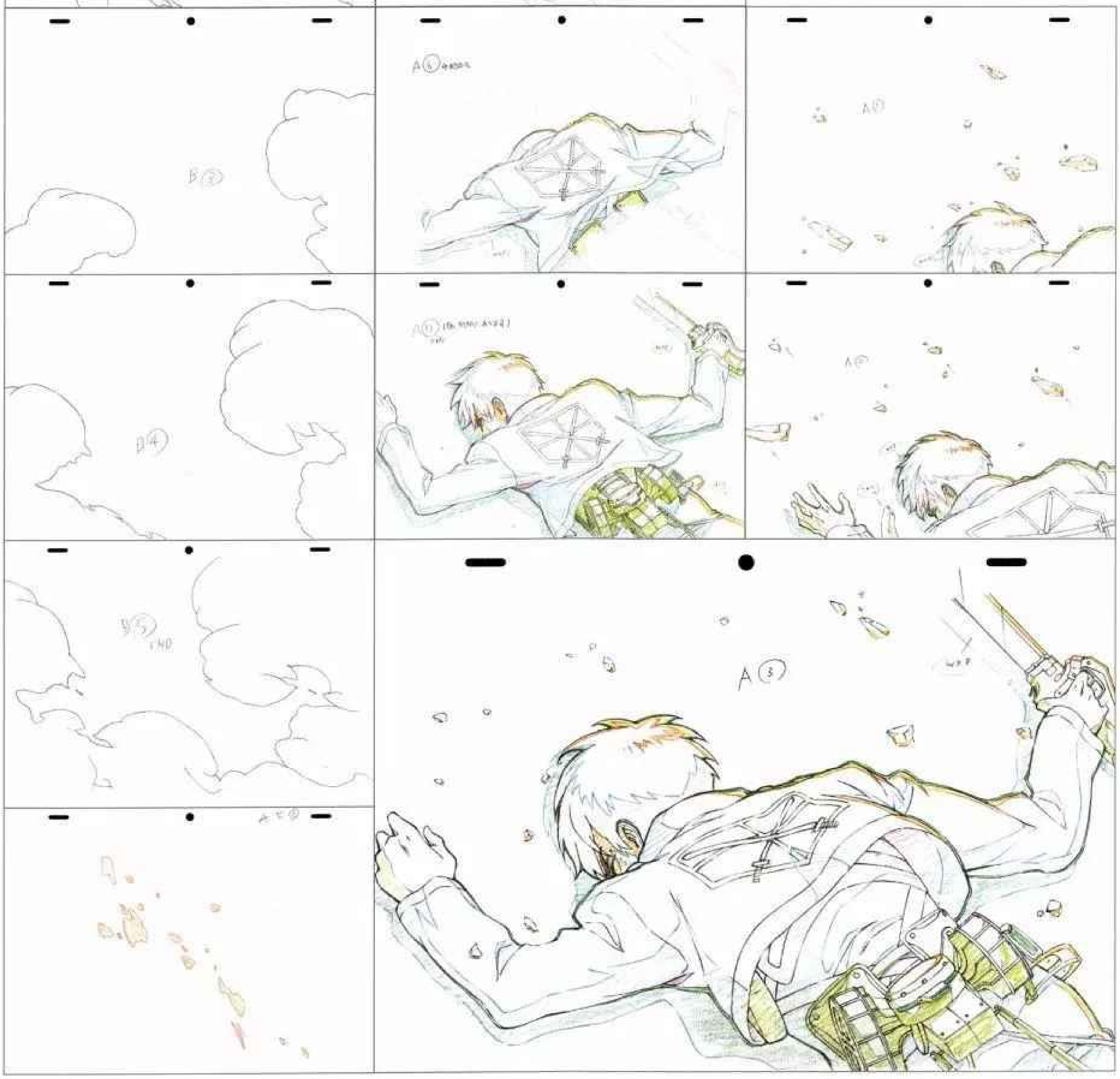


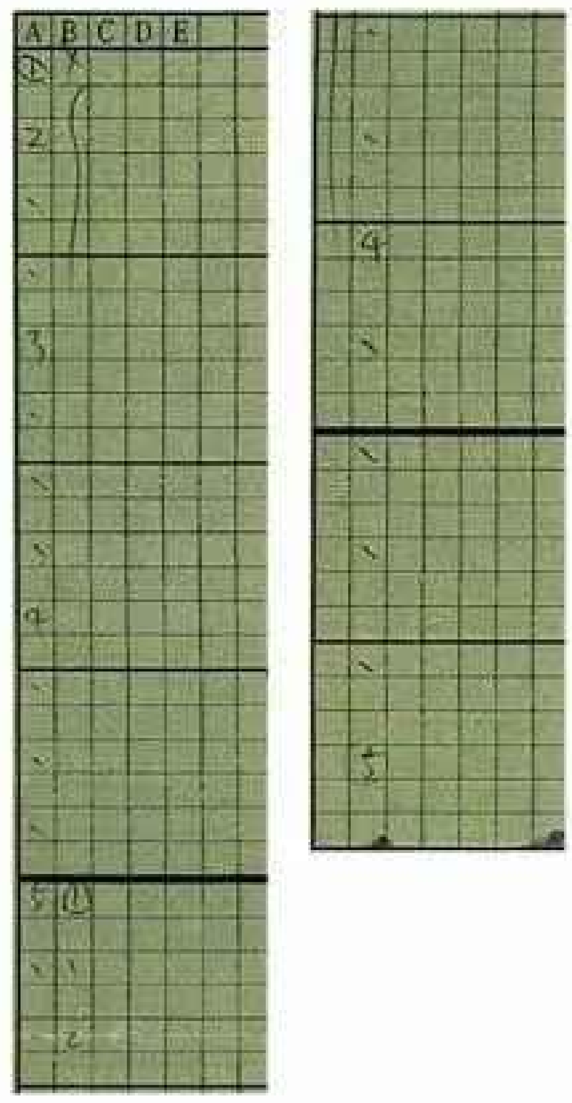

B 31
B 32
B 33

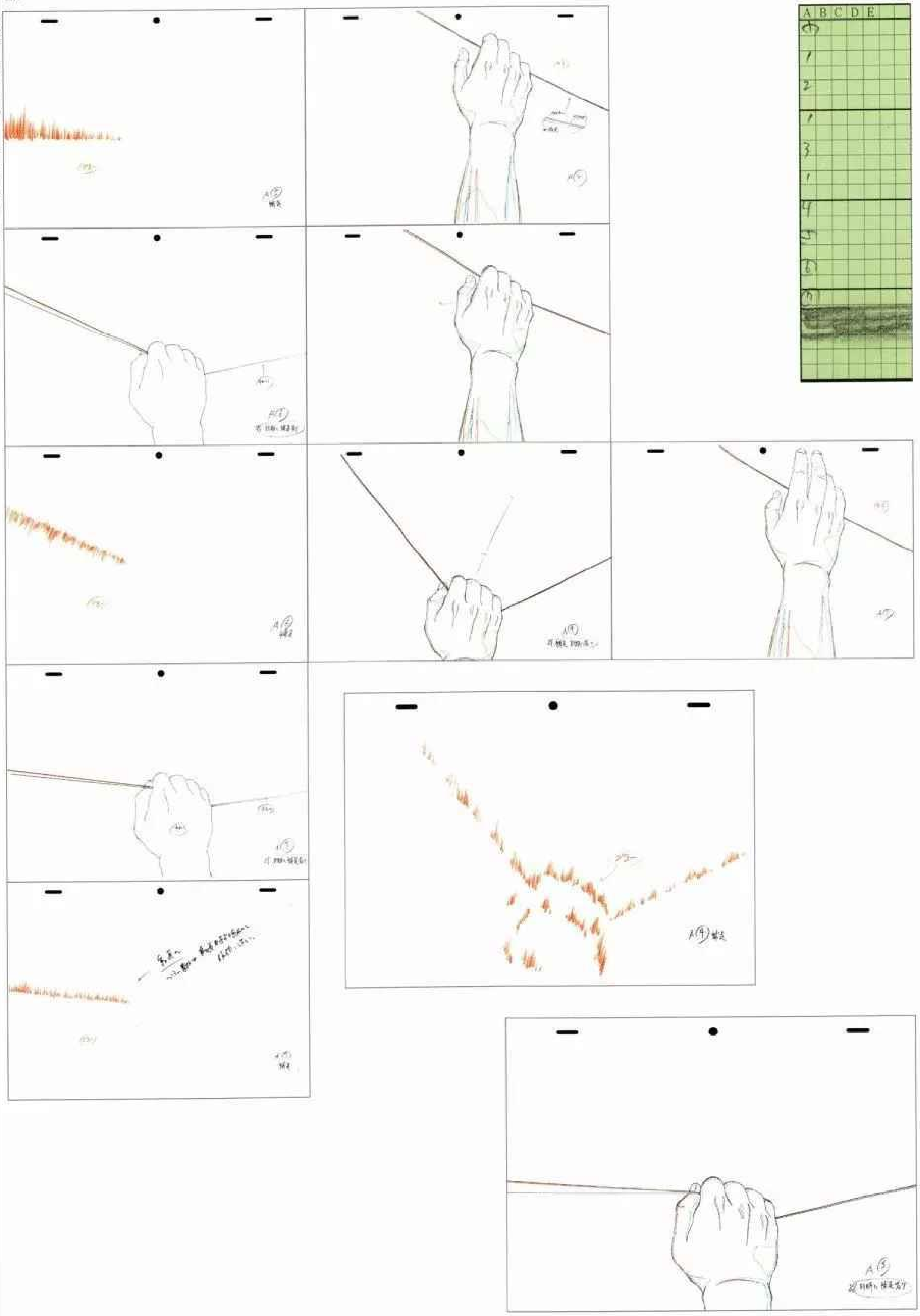


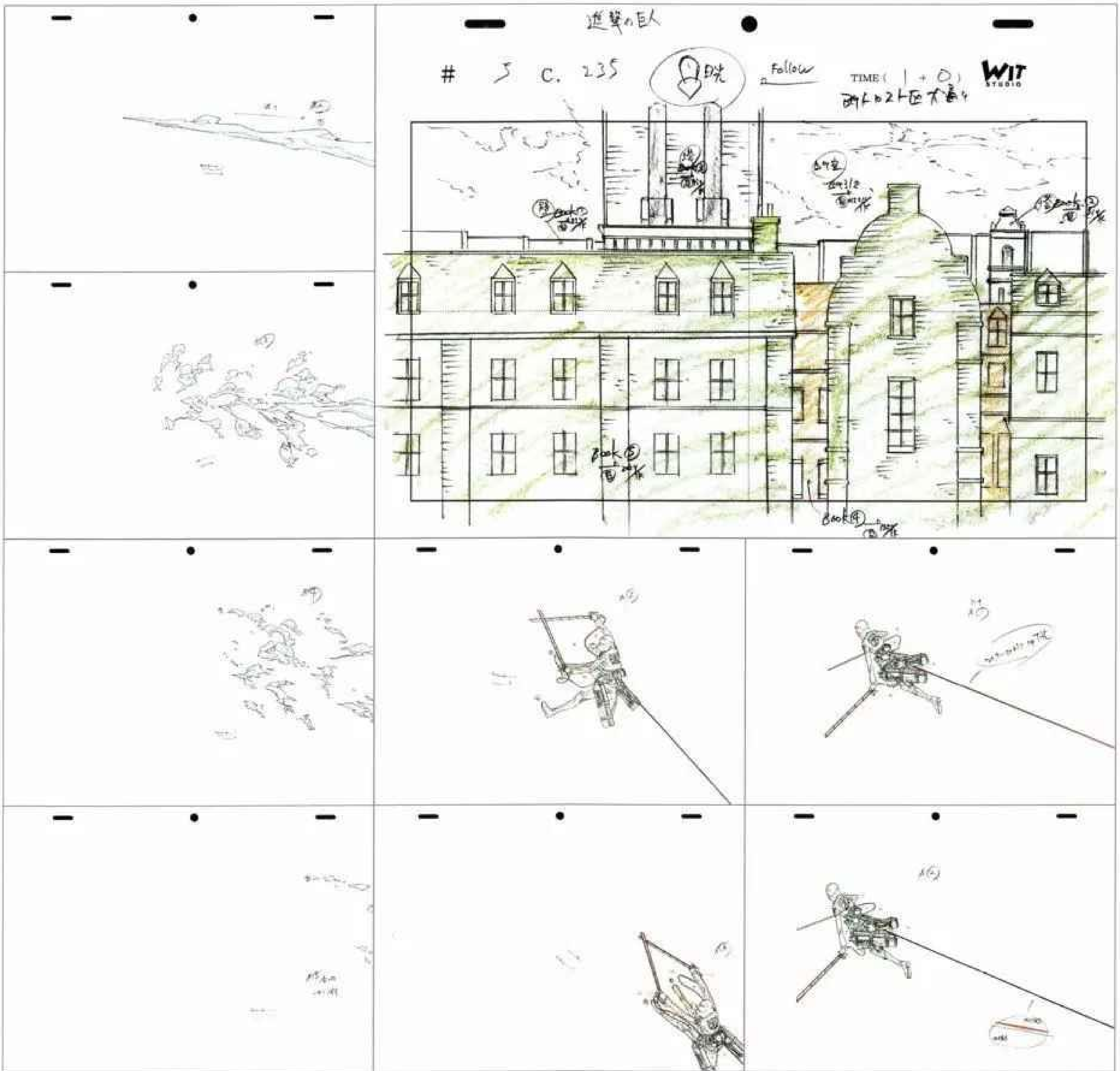

C23.5
C24 END

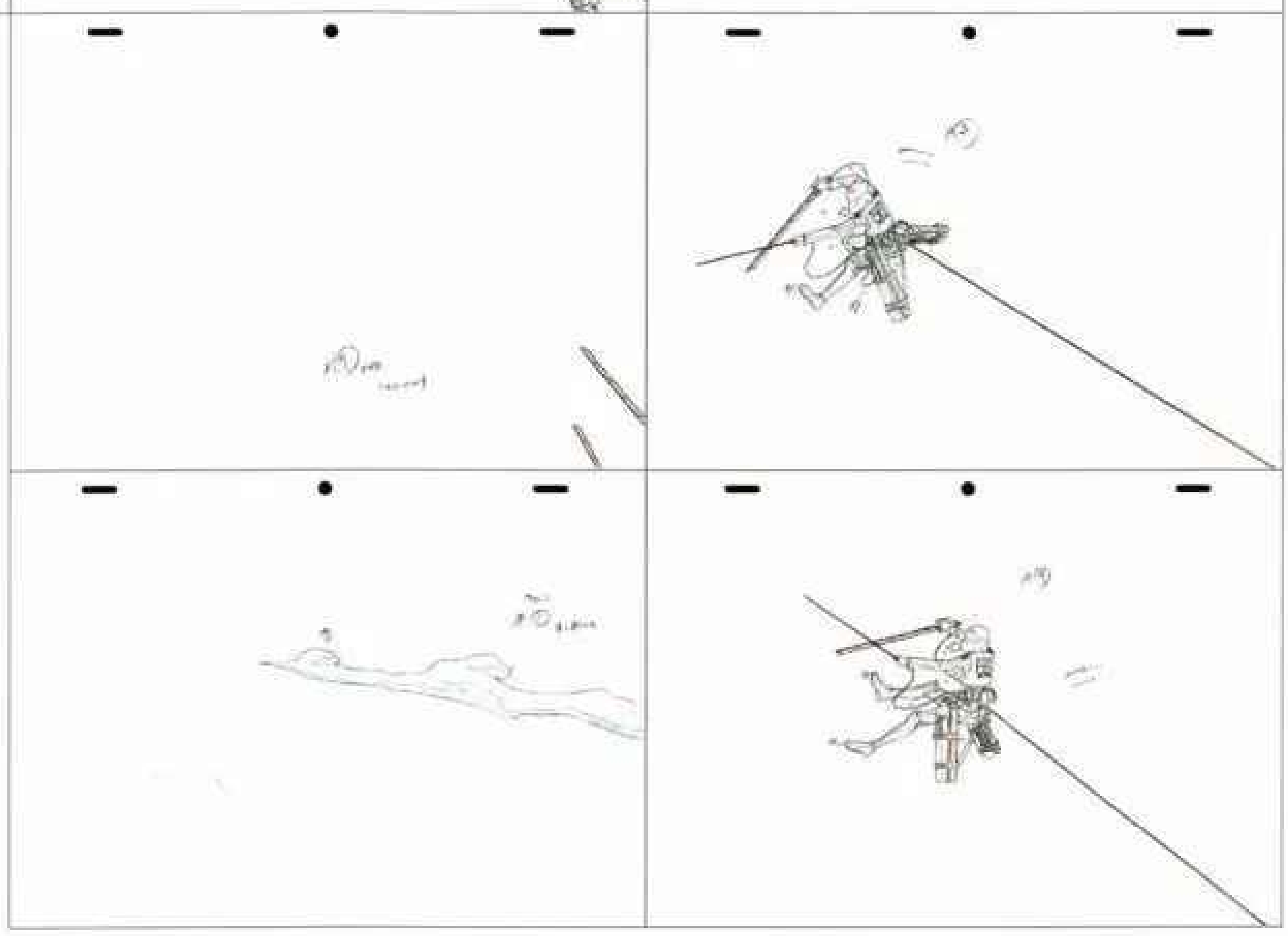



A④
B①
B②
A⑤
A⑥
B③
B④
B⑤
A③



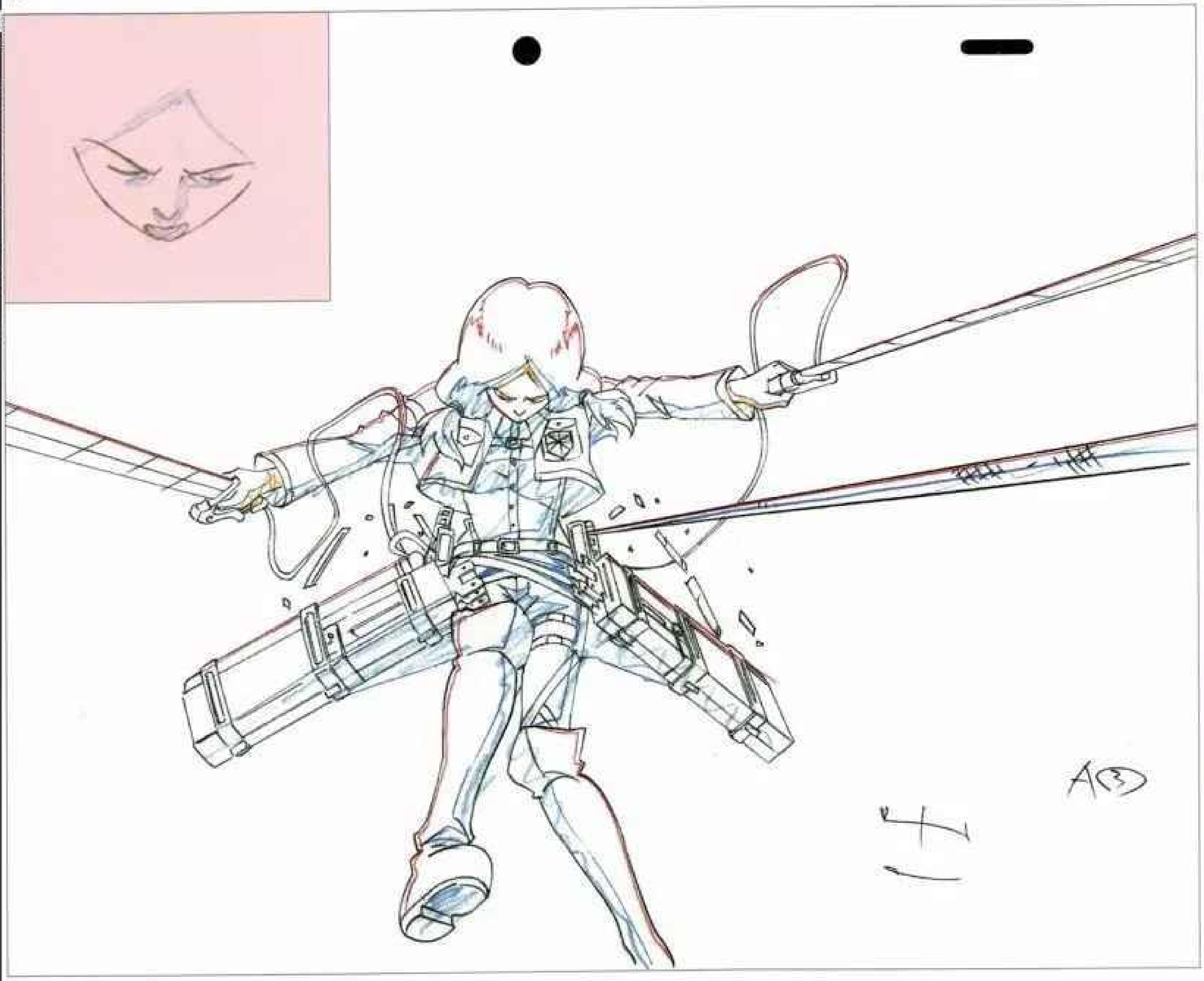


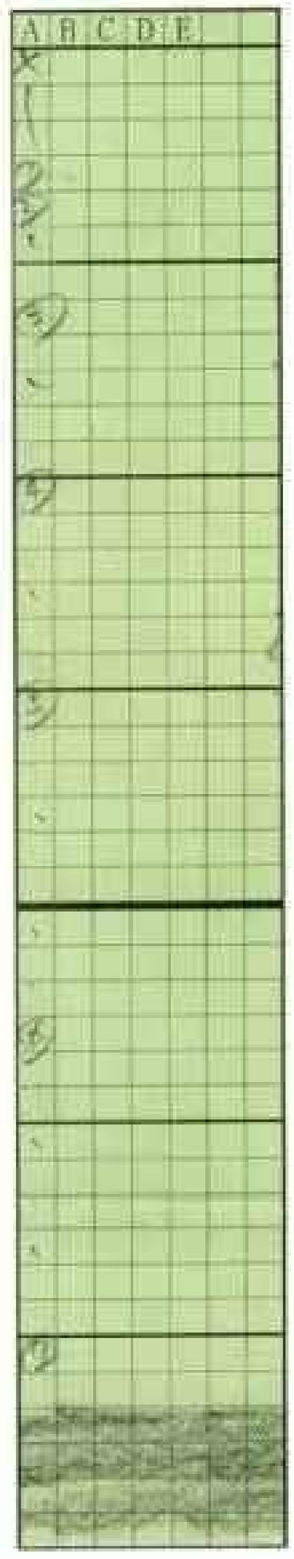


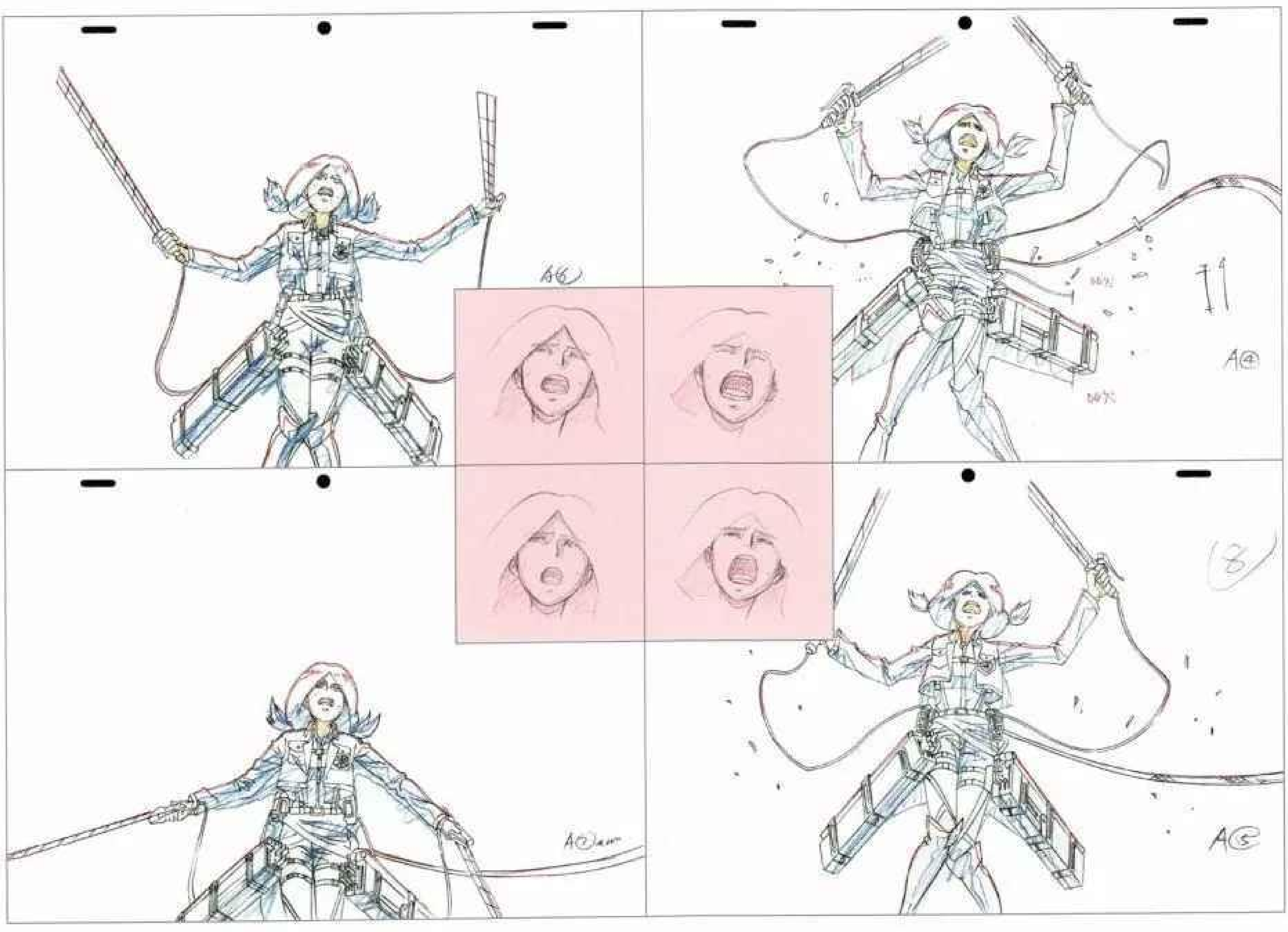


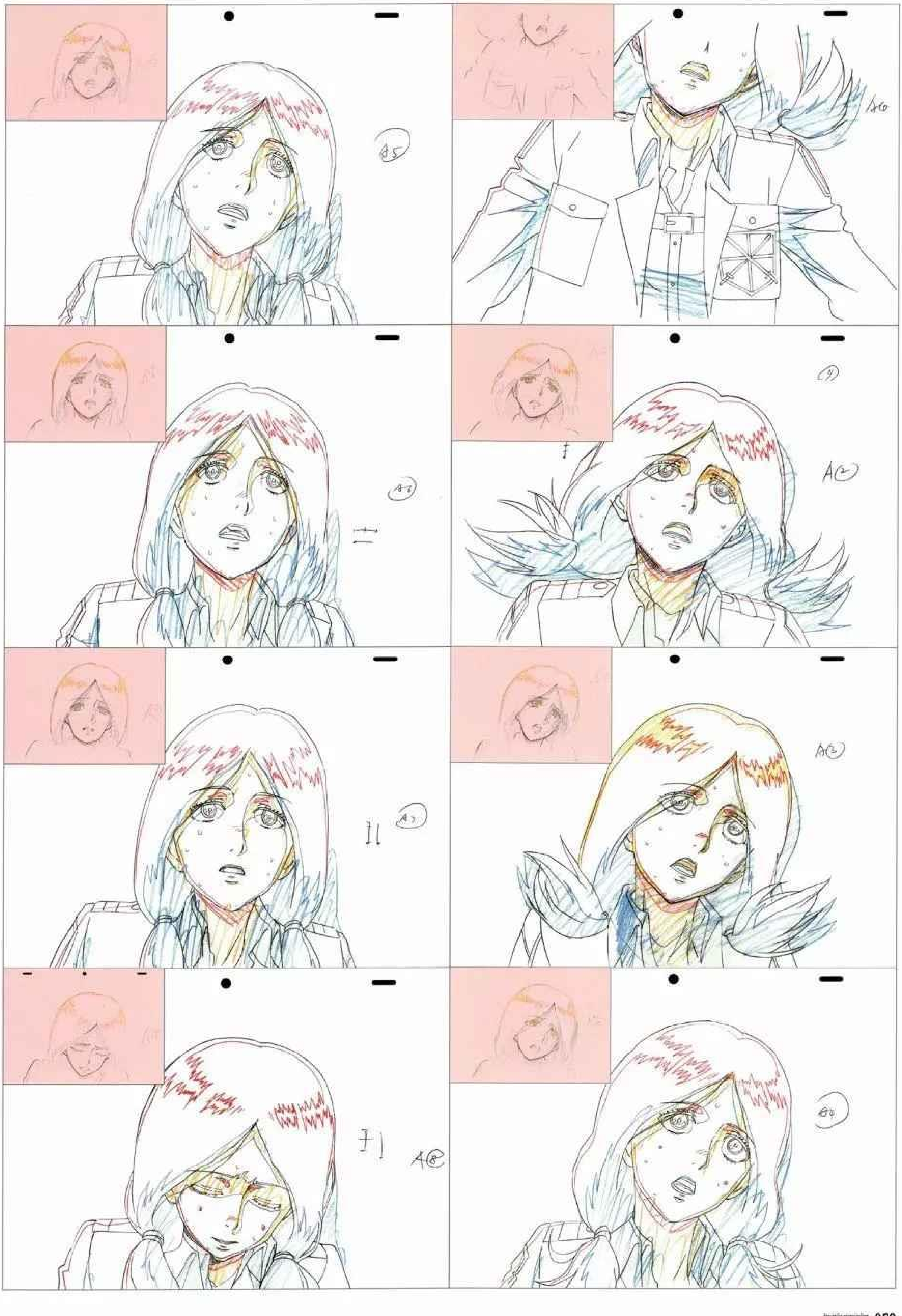
荒木哲郎コメント

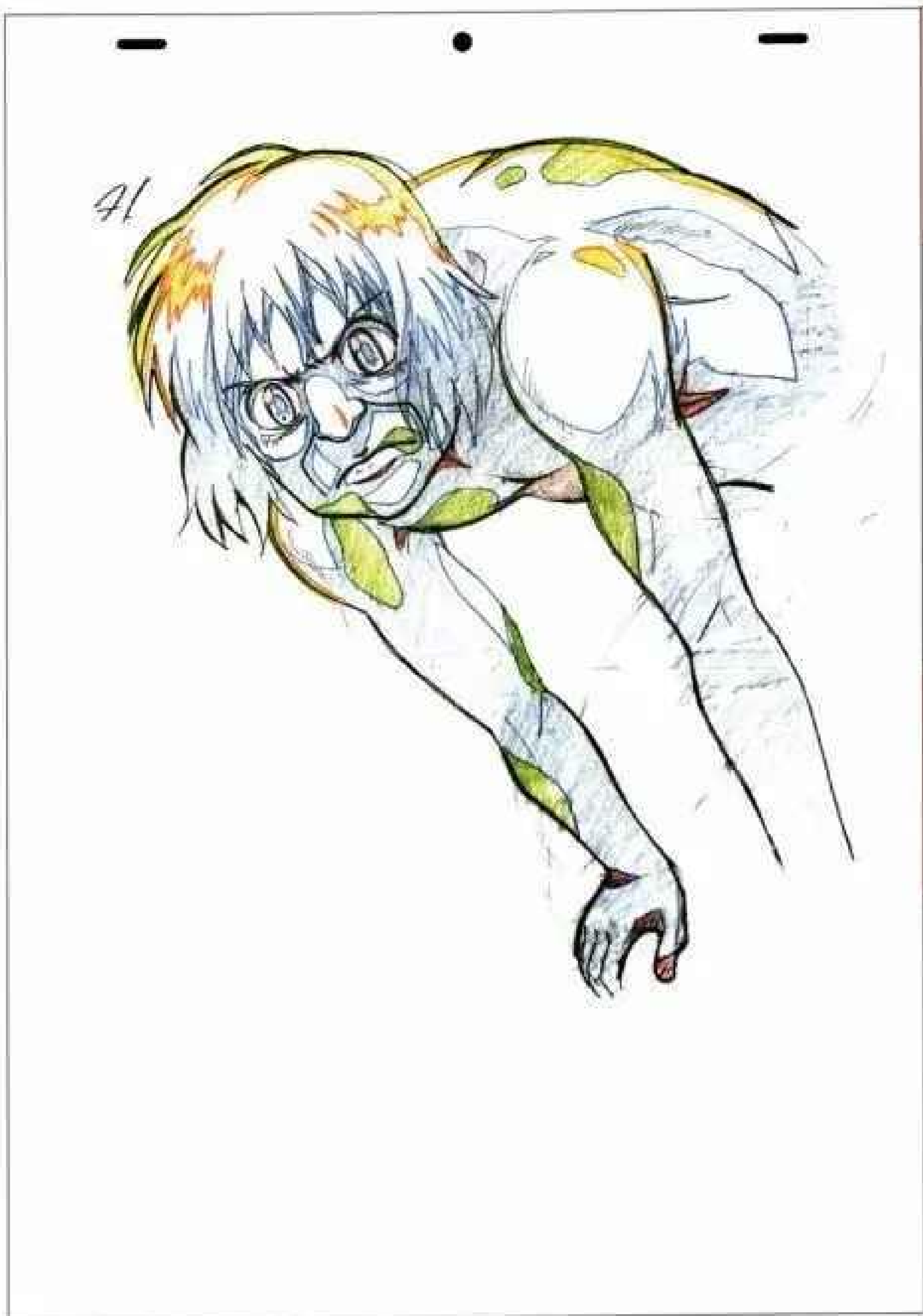
この辺りの、訓練生が次々と死んでいく一連のシーンは、
音づけのダビング時にも、ゾクッと来るものがありました。





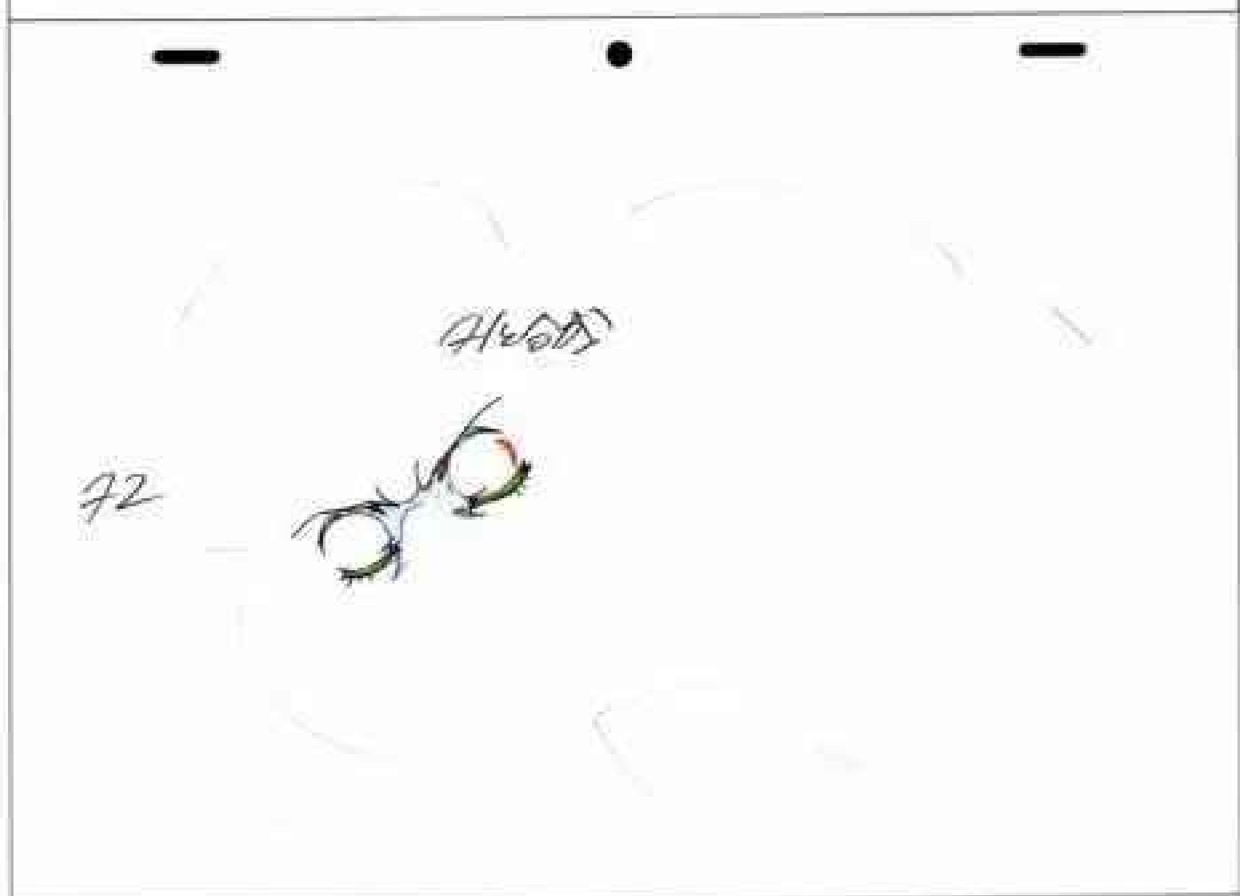


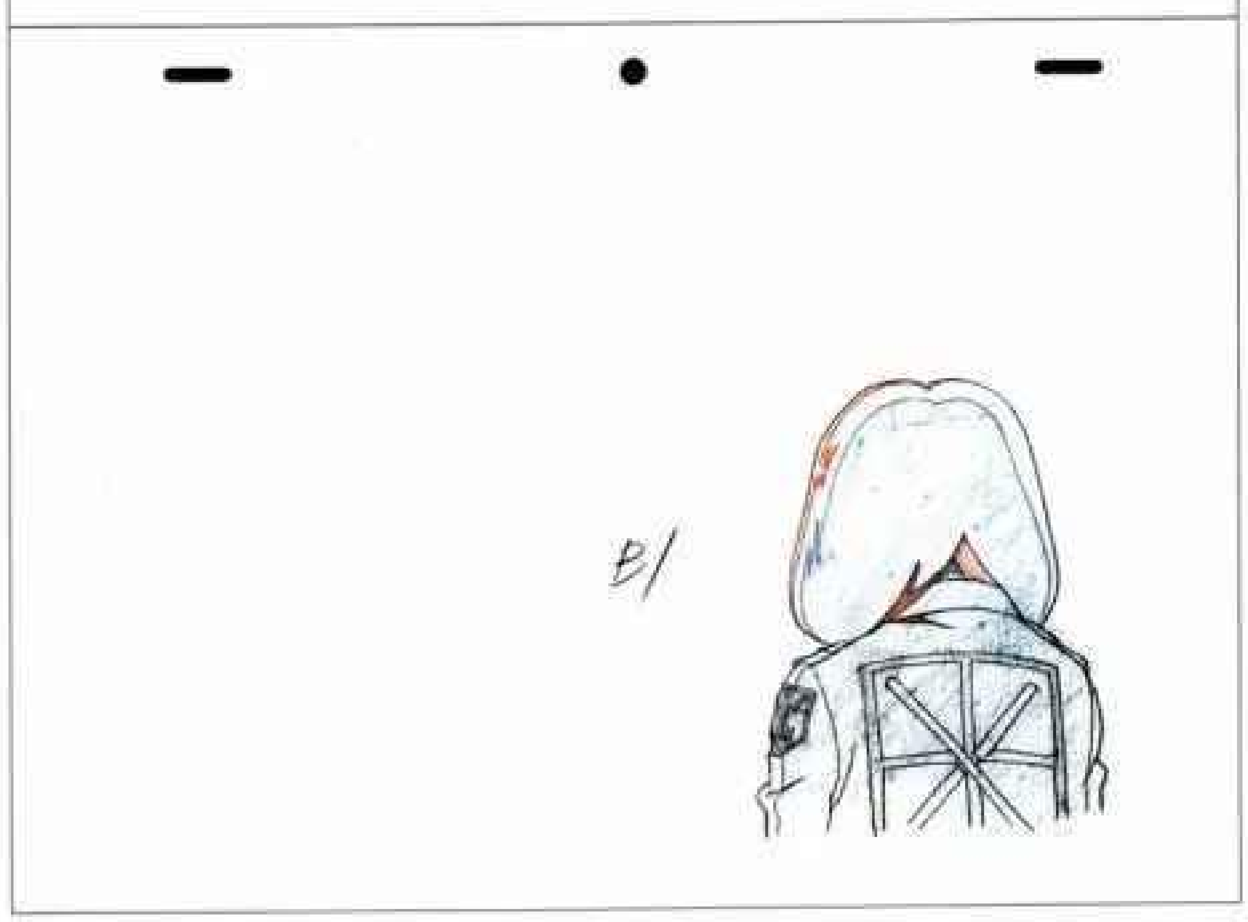


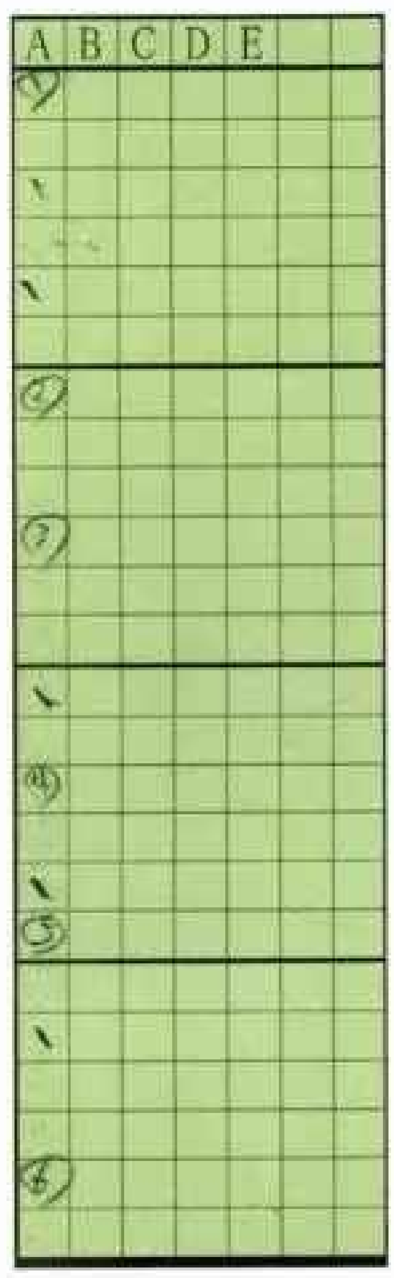


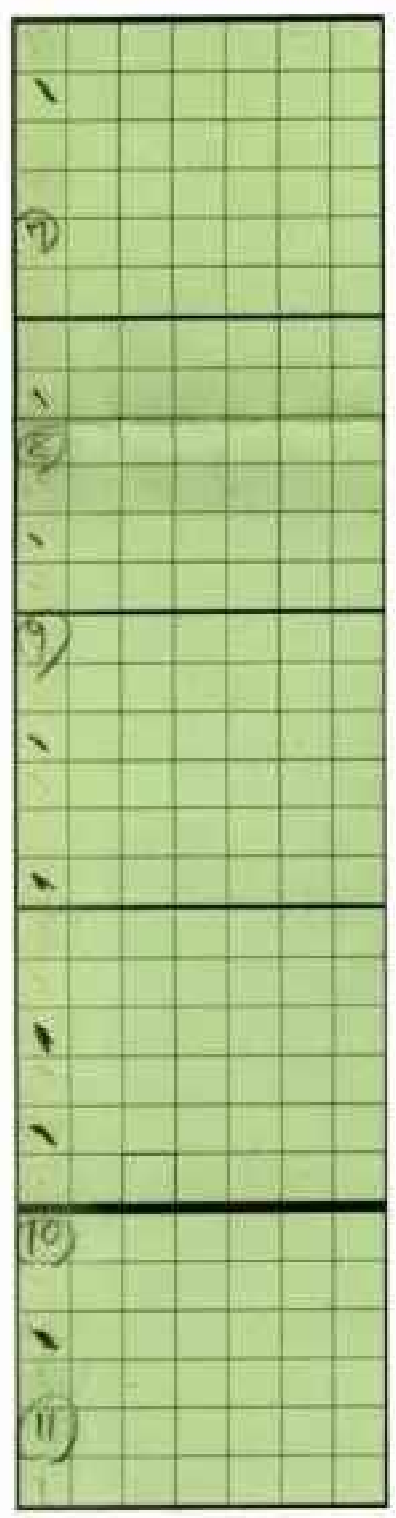










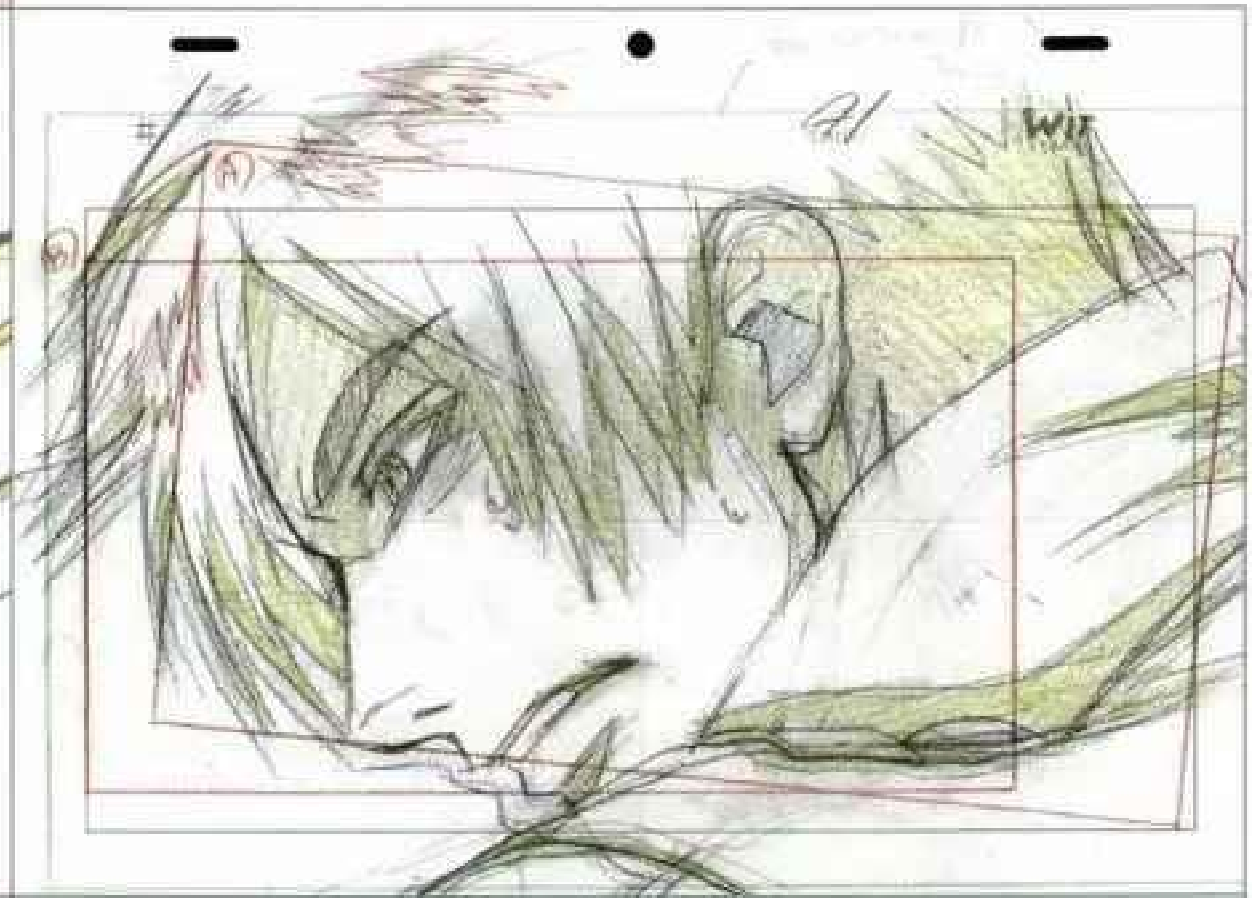


荒木哲郎コメント ミーナ気絶のカットは、BDリテイク時に浅野さんが自主的に修正を申し出てくれました。この修正はそのときのものですね。



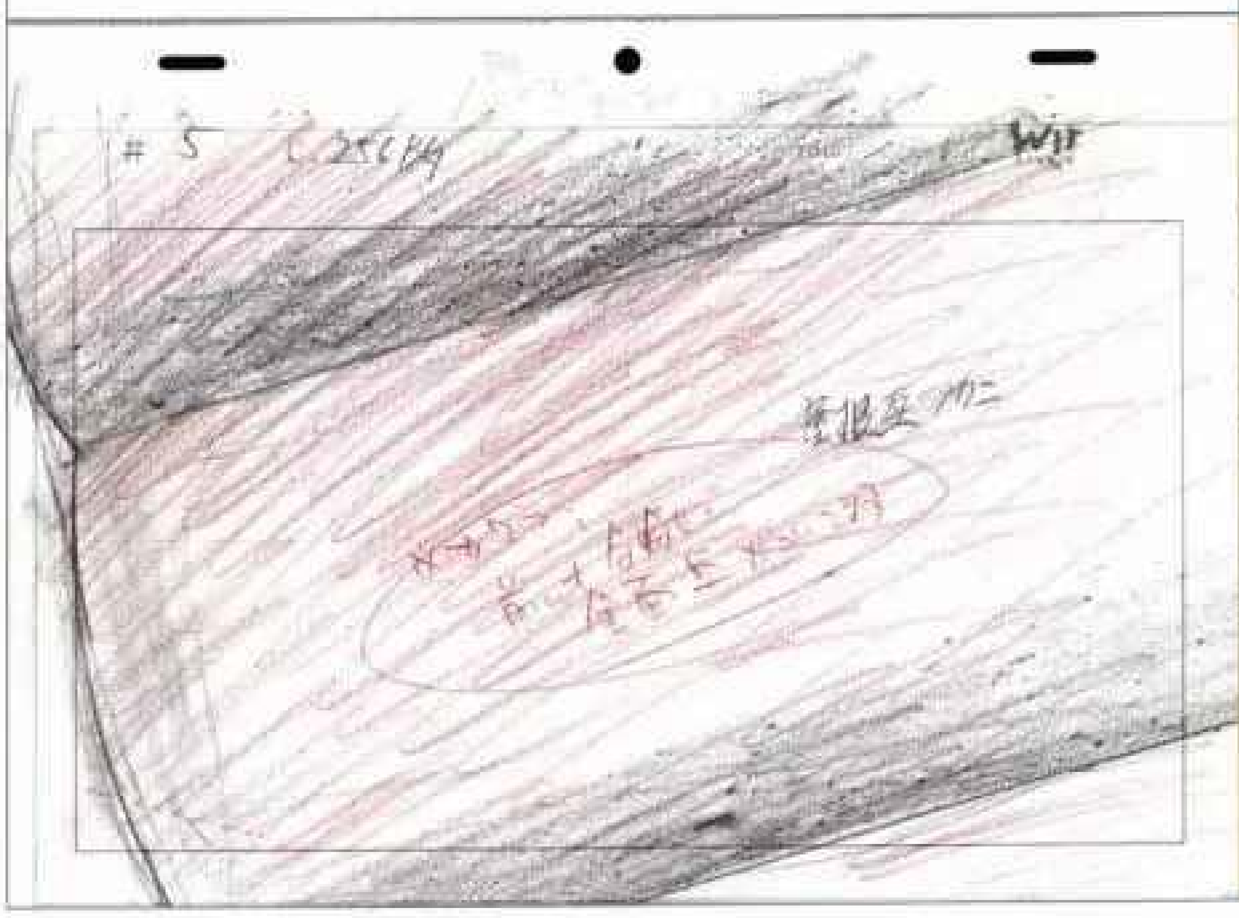














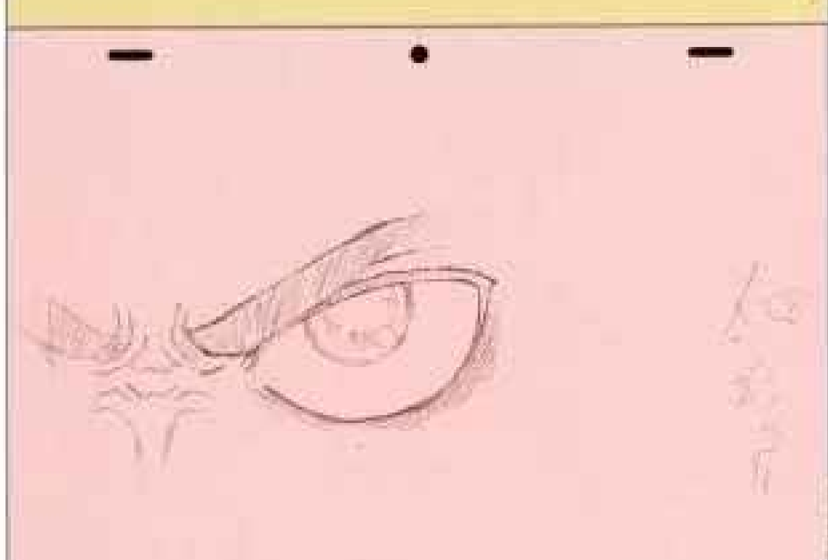










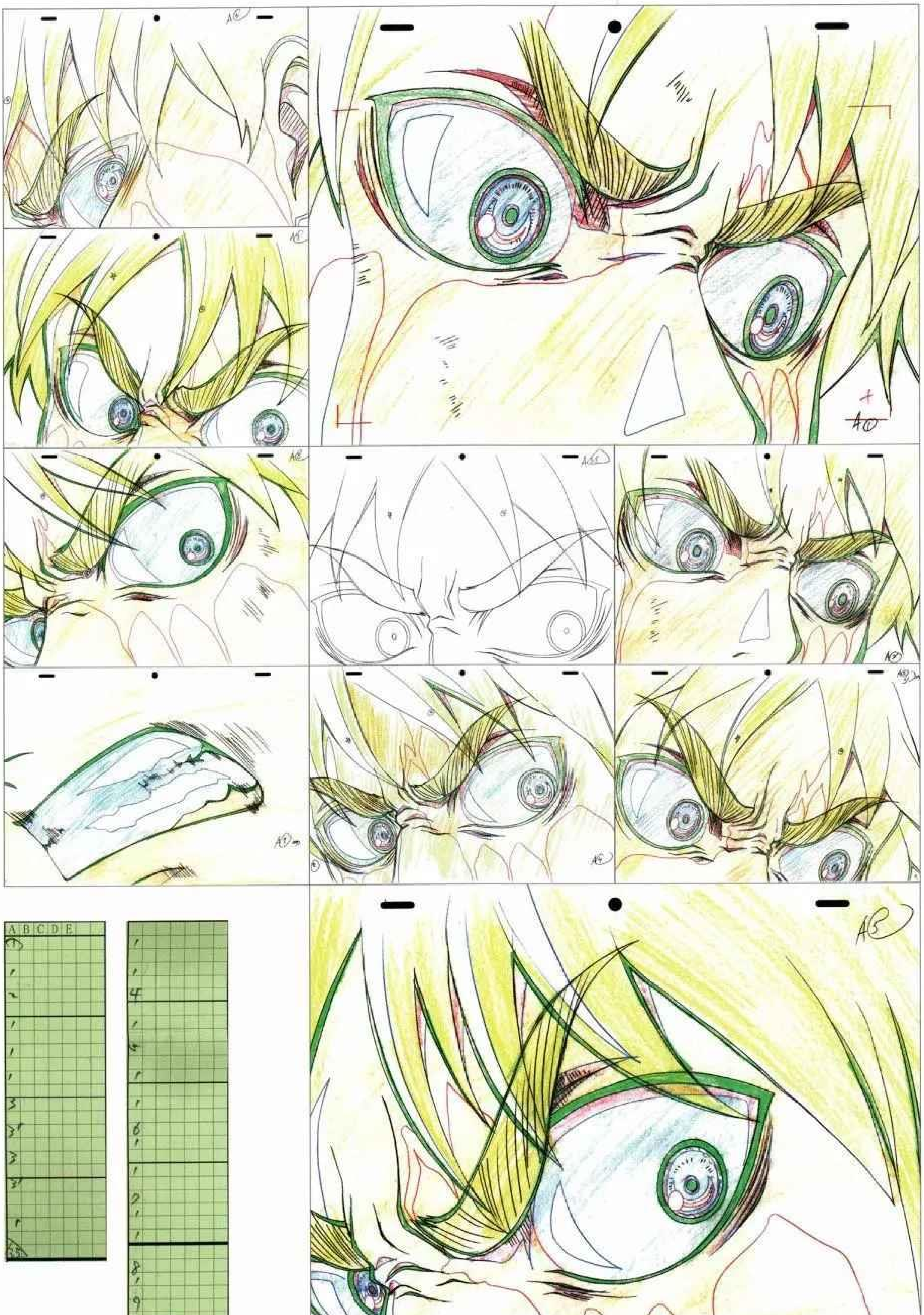




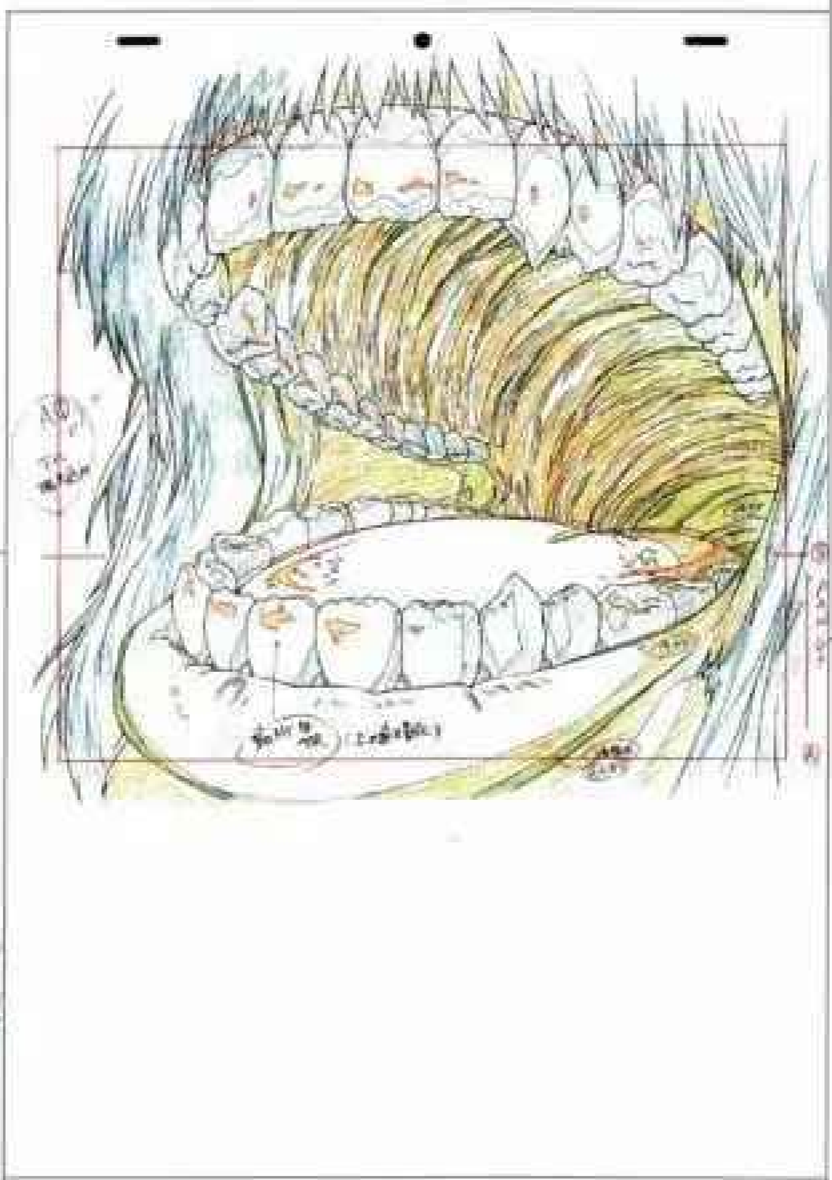


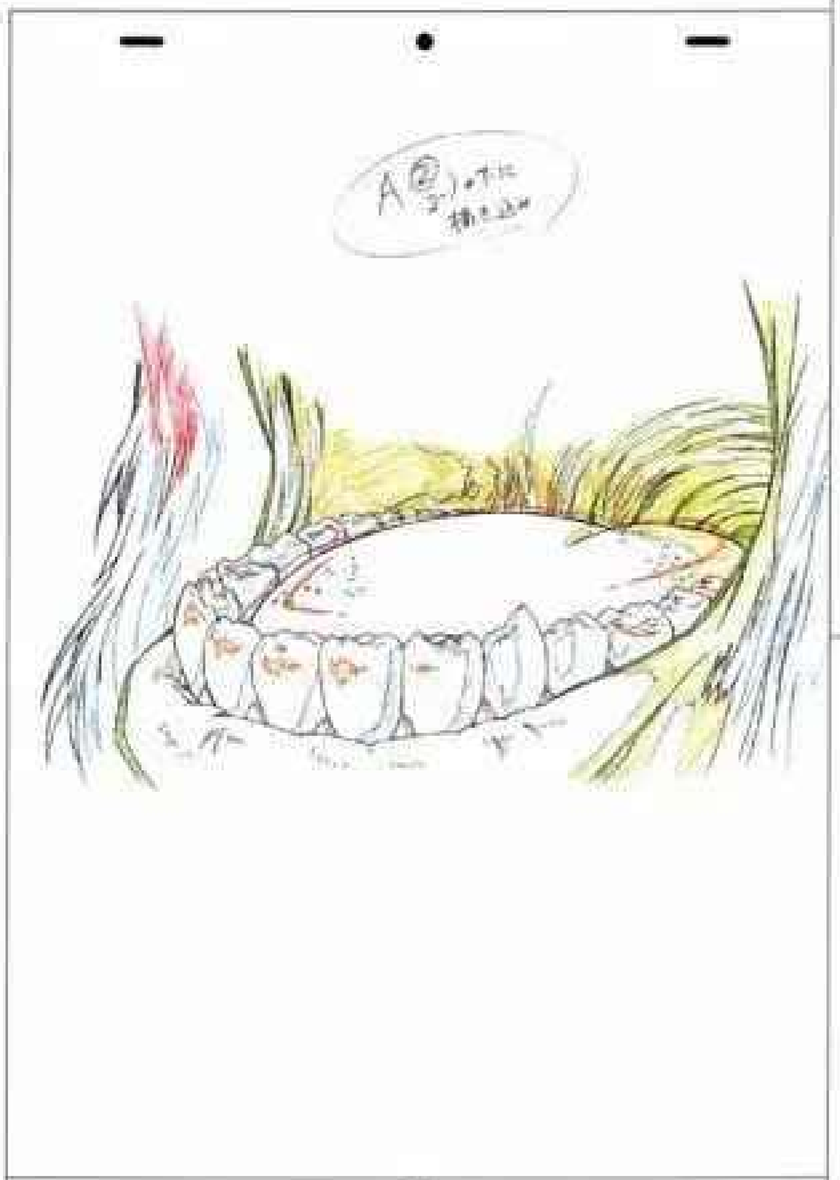
荒木哲郎コメント

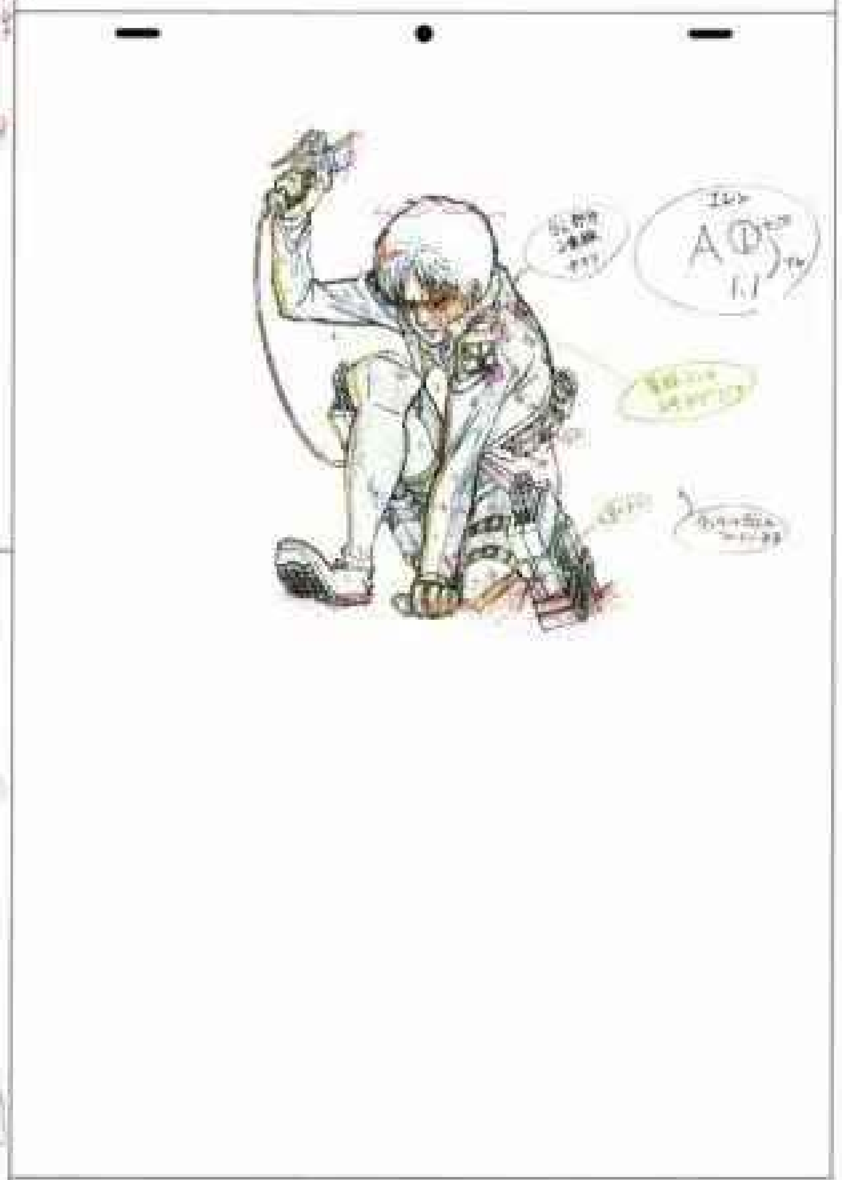
この辺りの、エレンとアルミンの一連のシーンは、演出の江崎さんの健闘もあって、作品を代表する名シーンになったと思います。キャラクターの鬼気迫る表情芝居も勿論ですが、「じじい巨人」と呼ばれていた巨人の口の中や掟の処理も凝っています。放送局のオンエアタイミングによって内容のバージョンが違う等、納品に関する問題がニュースになって、お騒がせもしたのですが、それを上回る熱い賛辞をたくさん頂きました。5話は皆が忘れられない、誇らしいフィルムです。

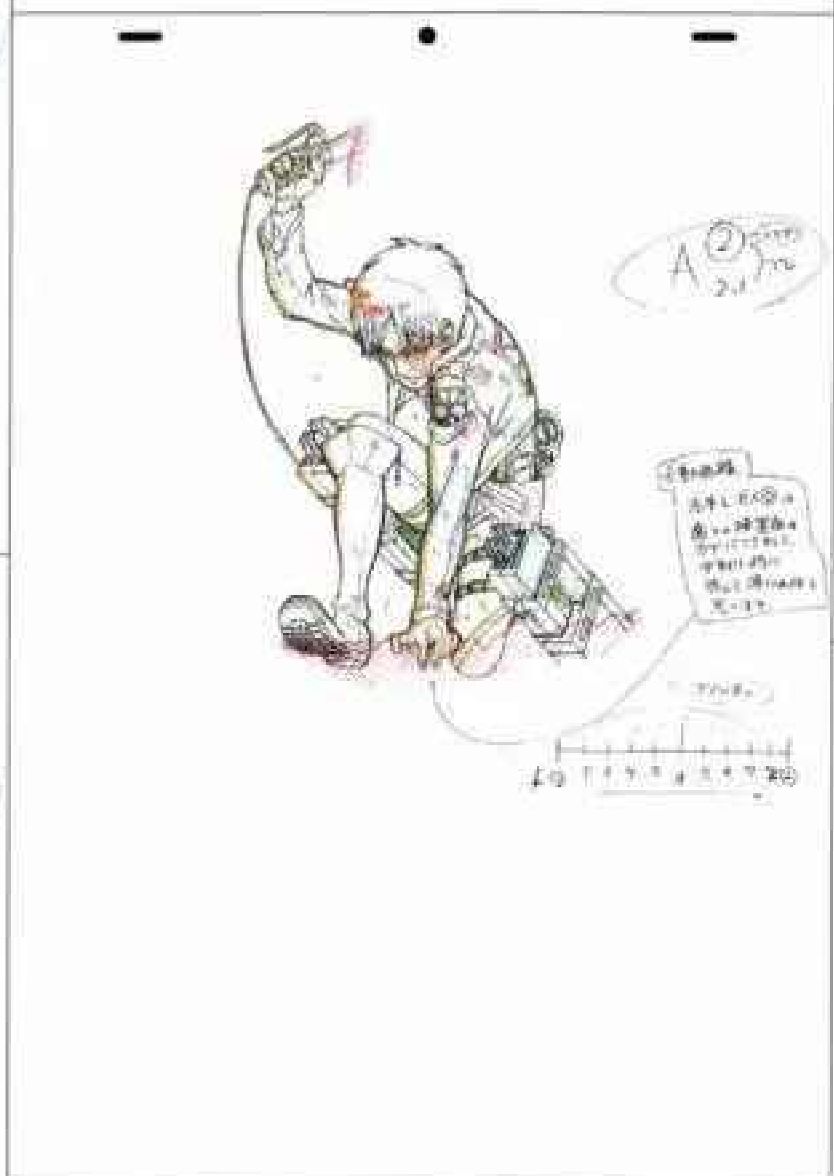


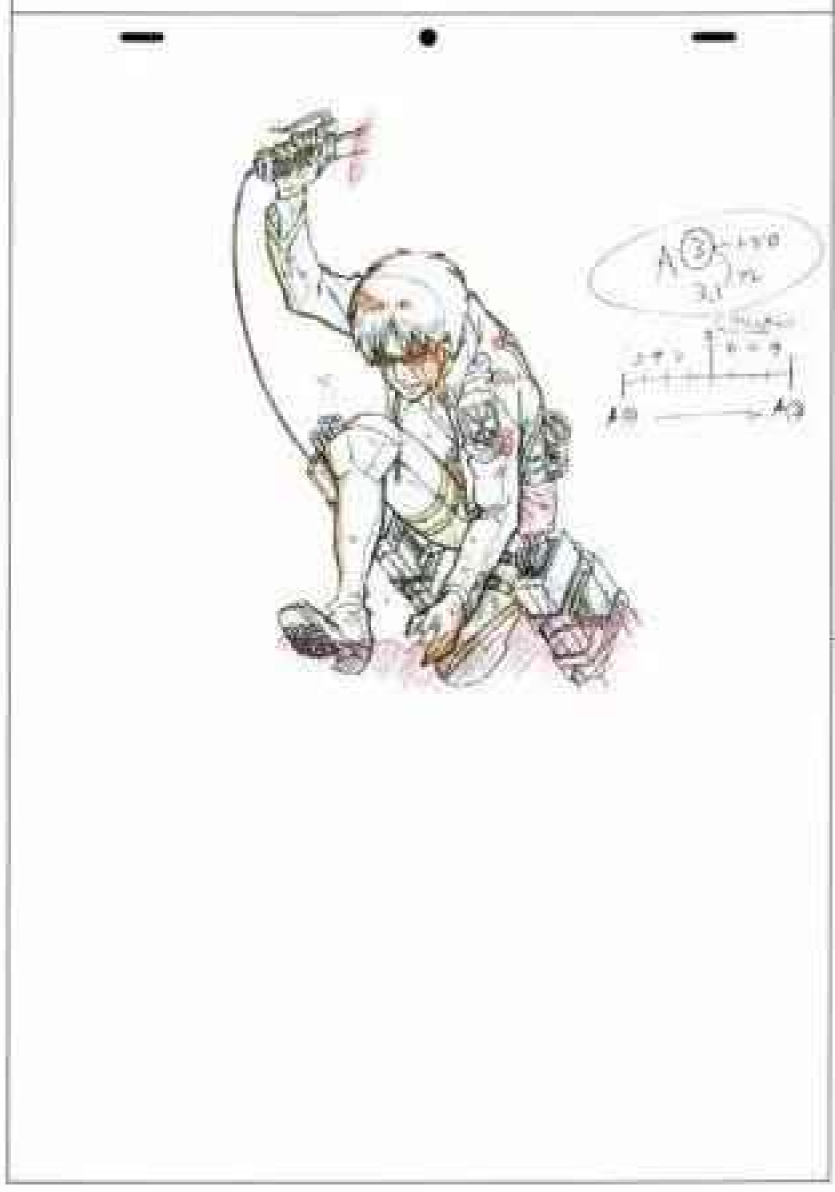


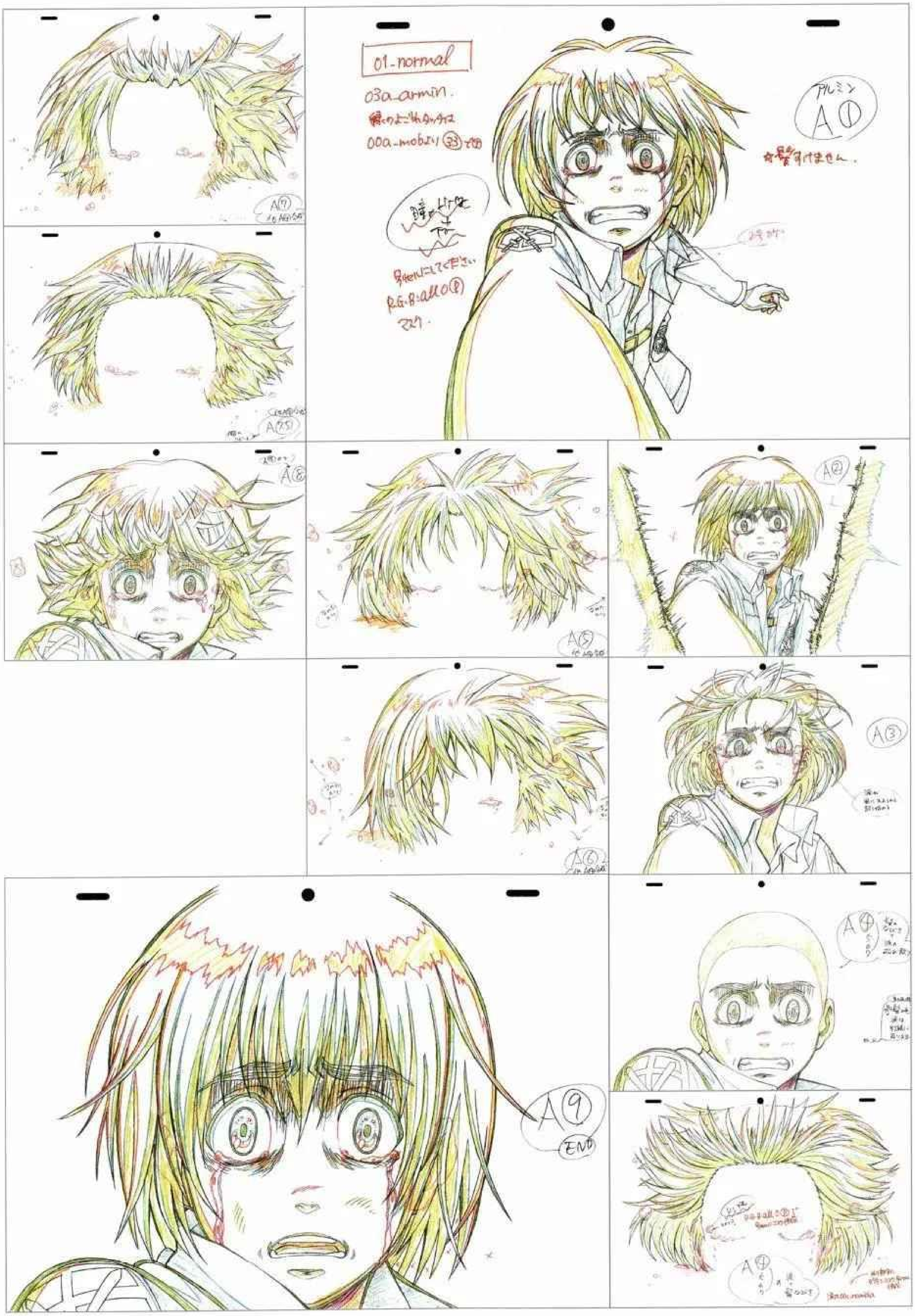


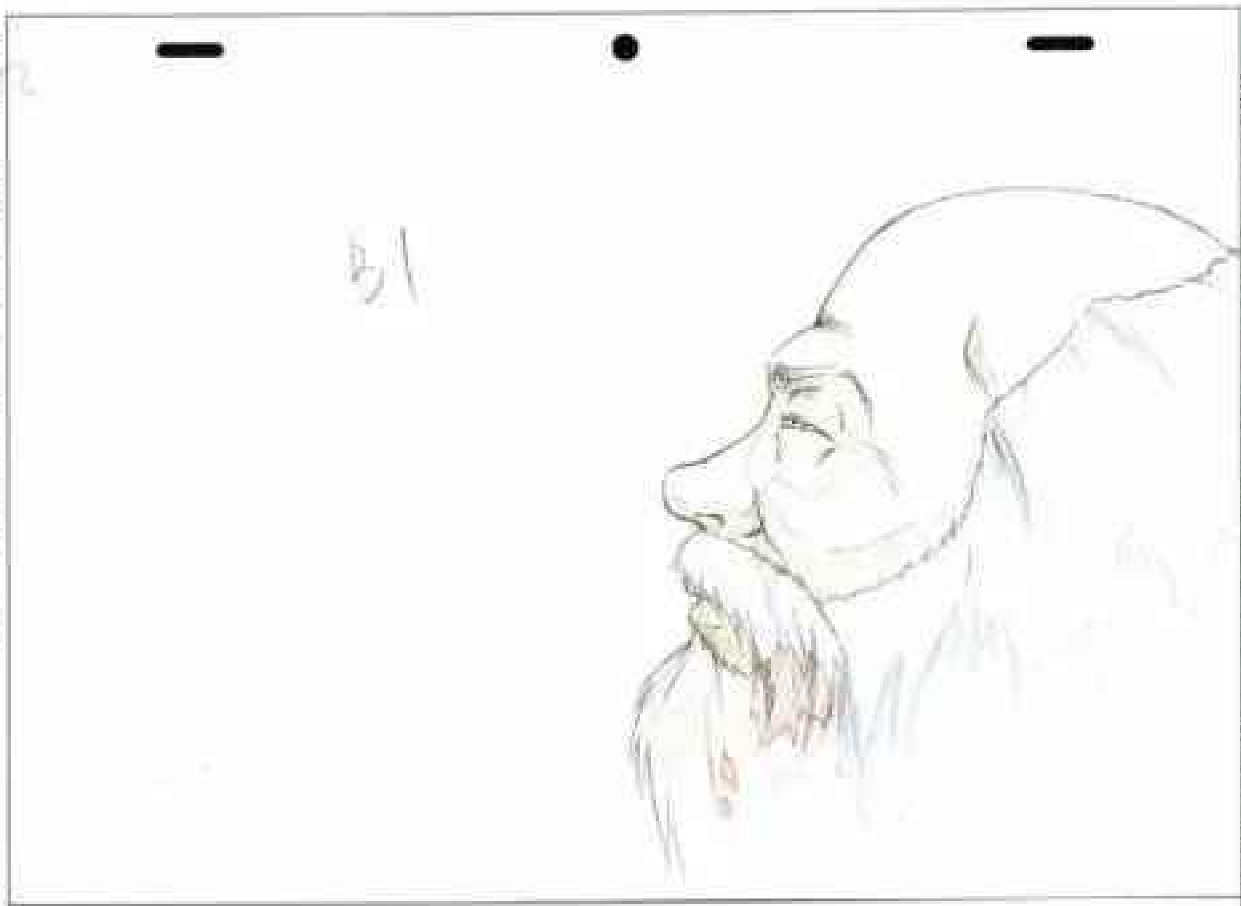




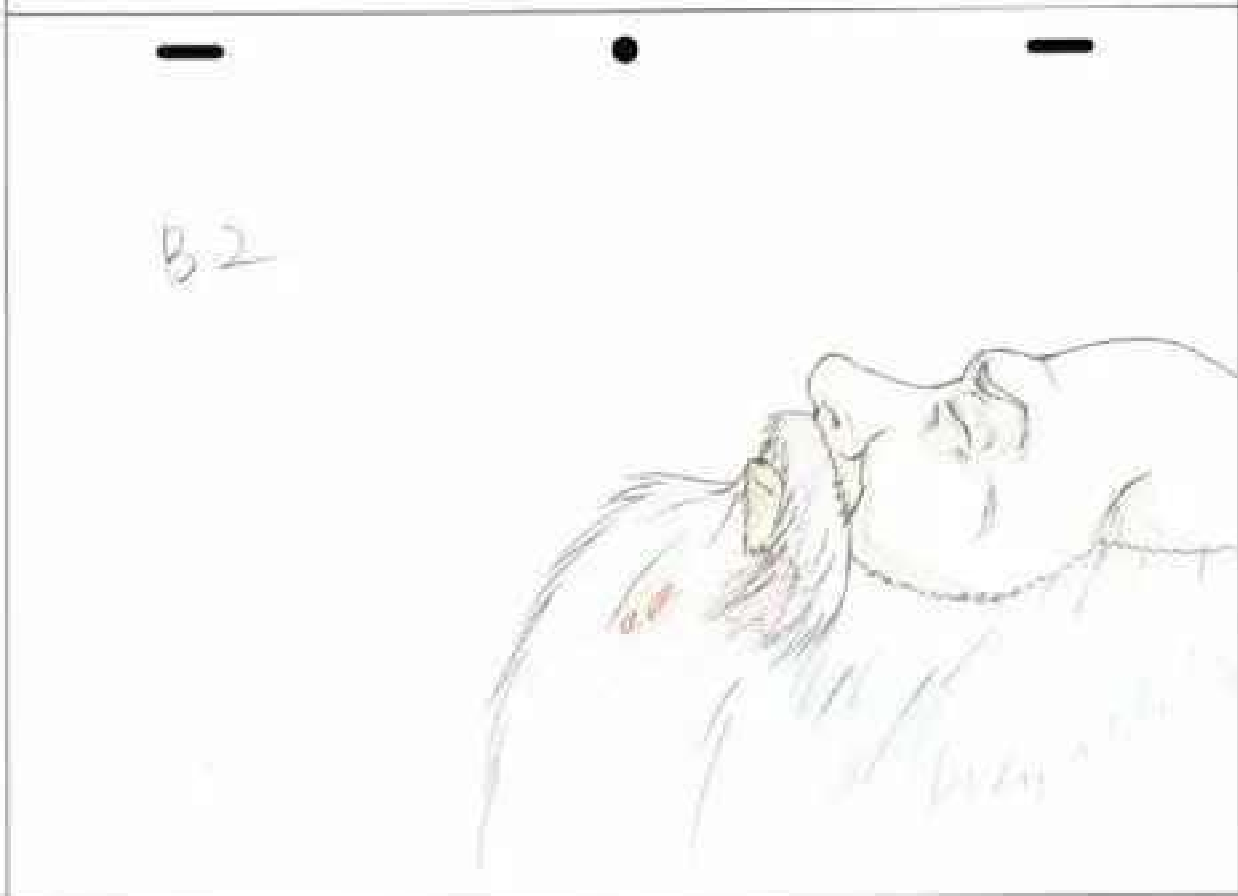


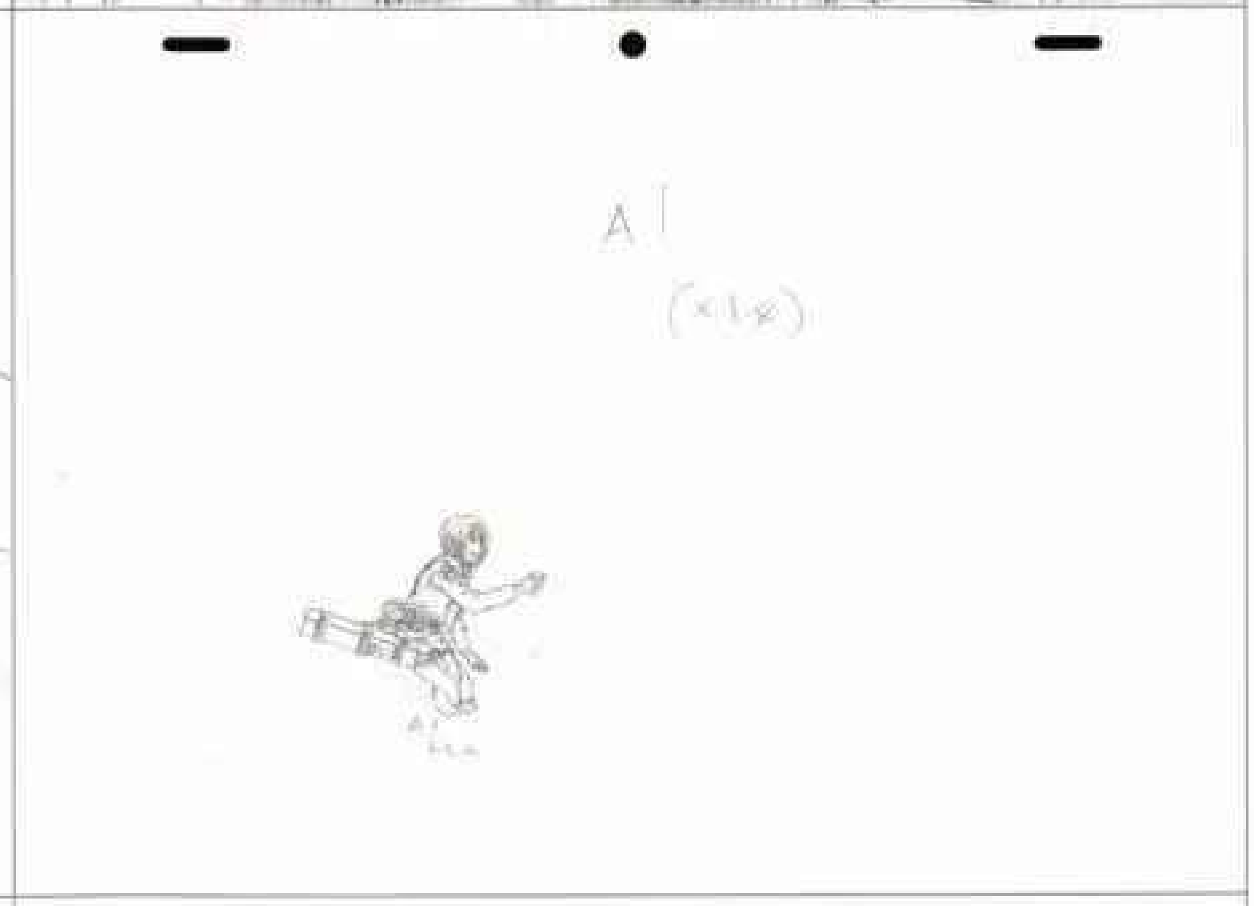


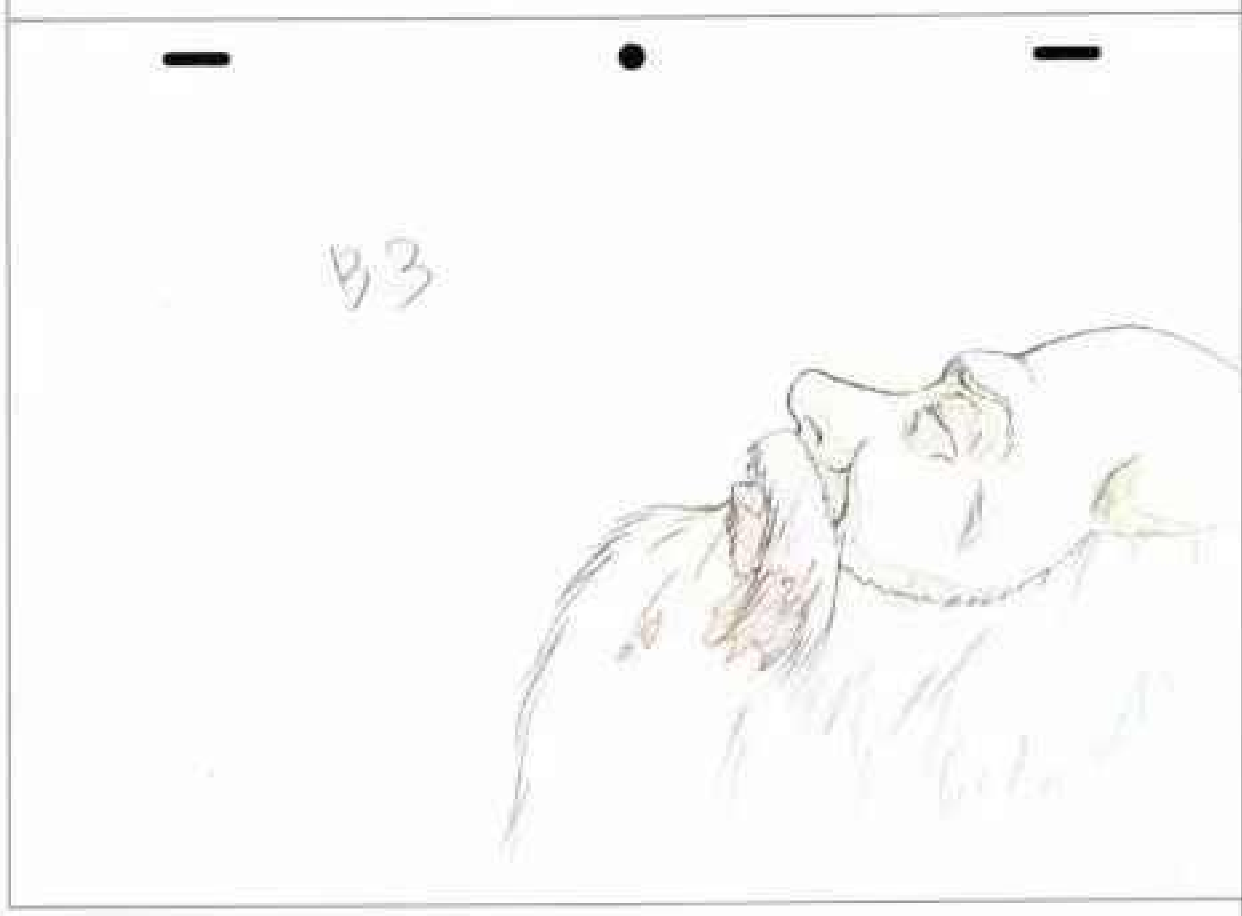

01_normal
03a_armin.
アルミン
A①
A⑨
END

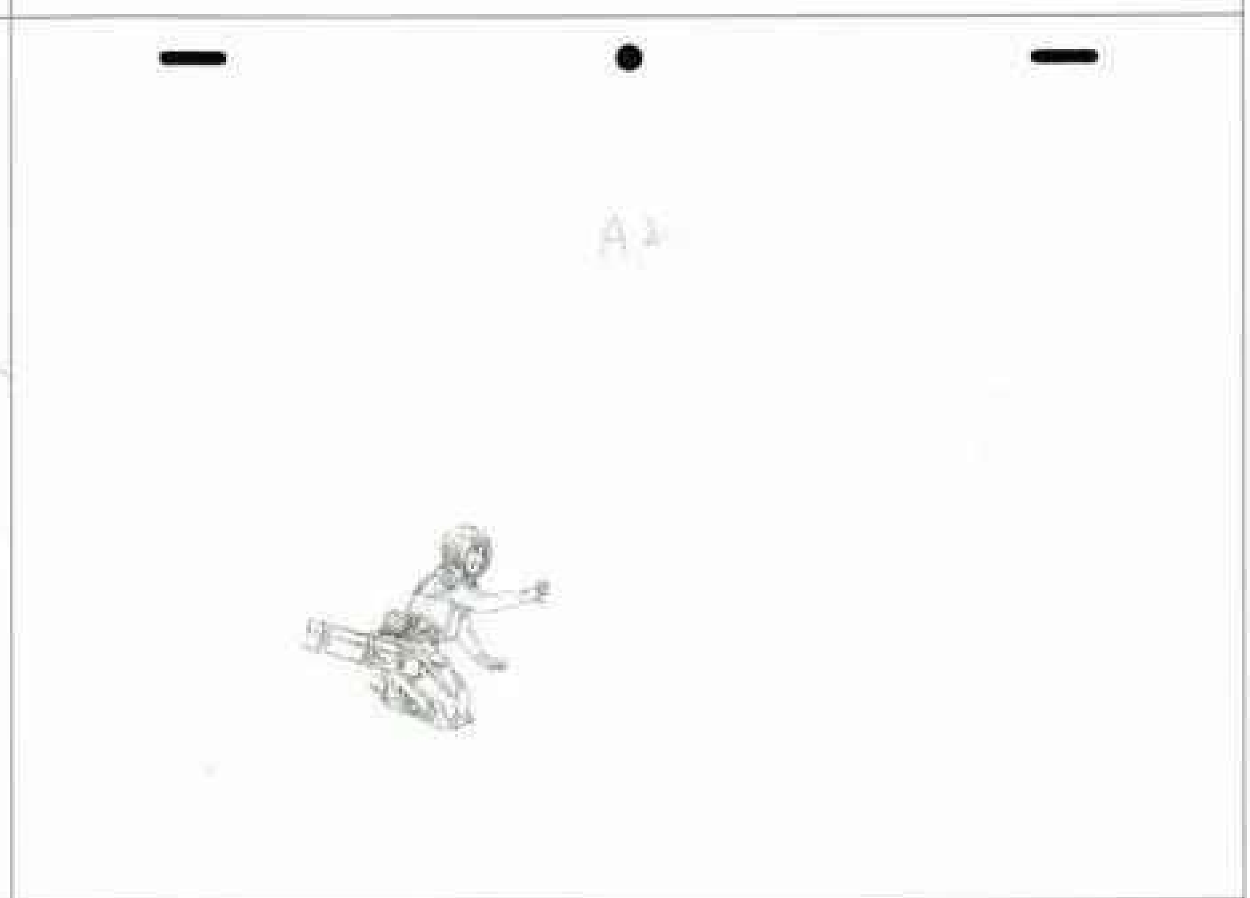

B1

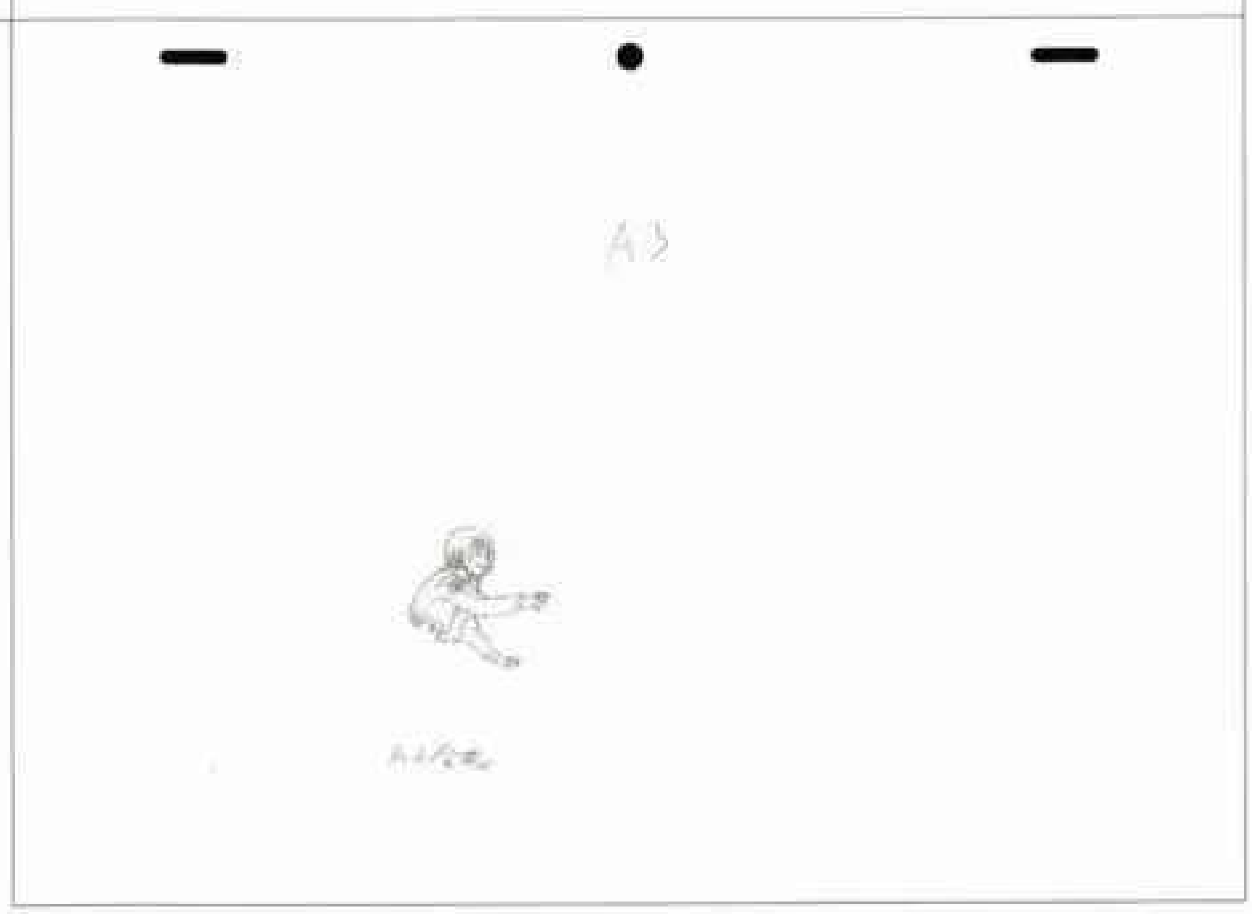


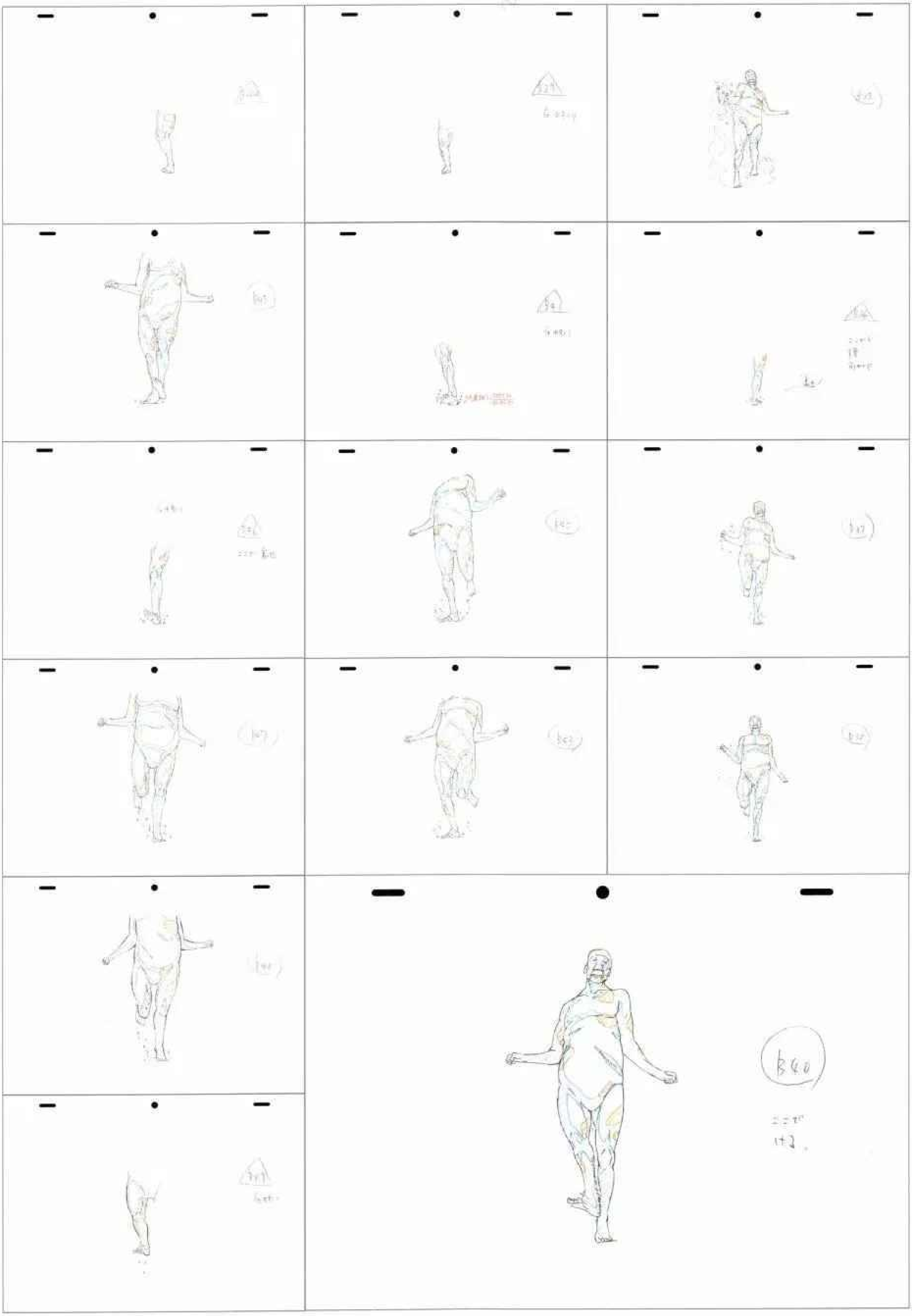

B2

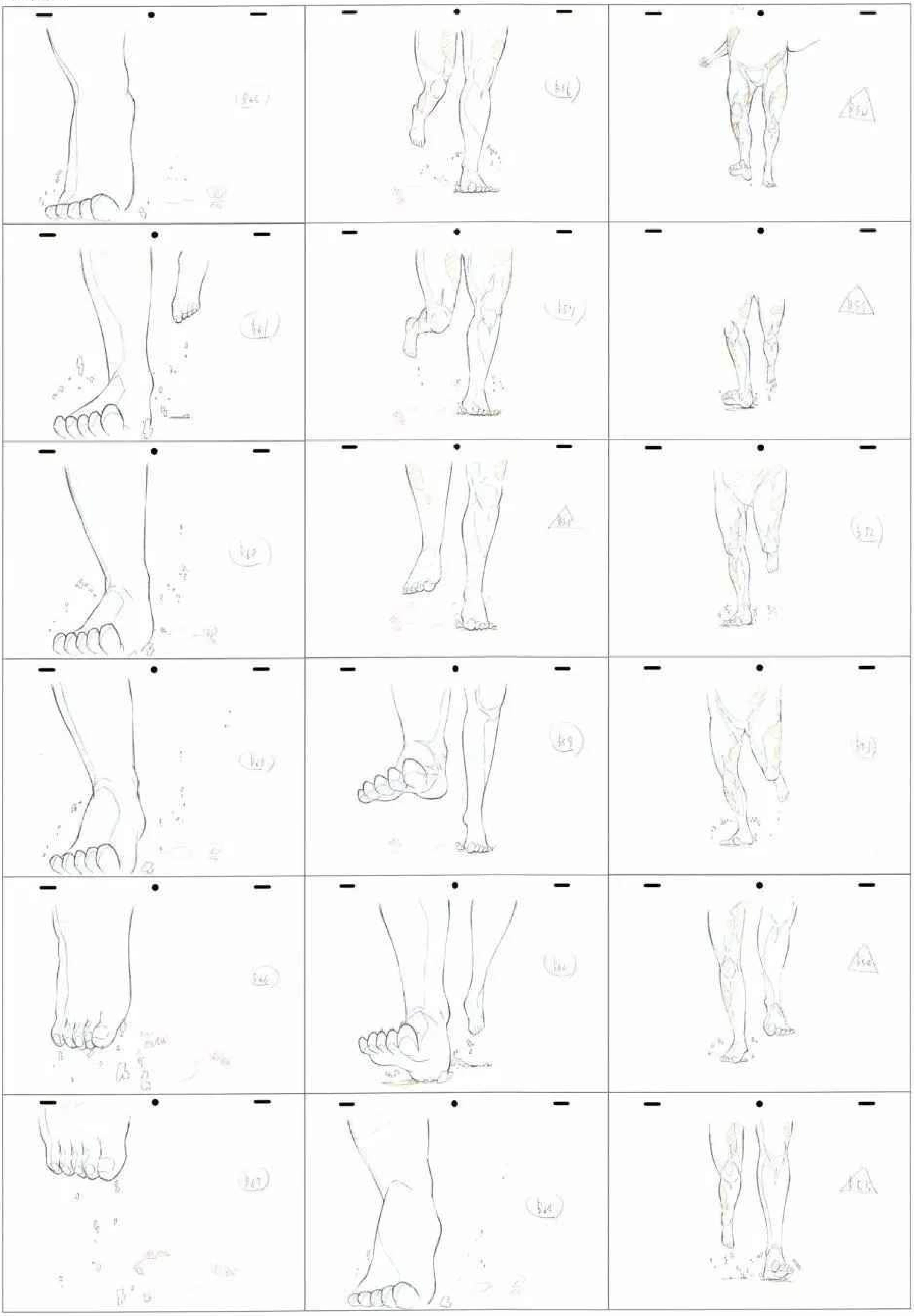

A1
(×1.8)

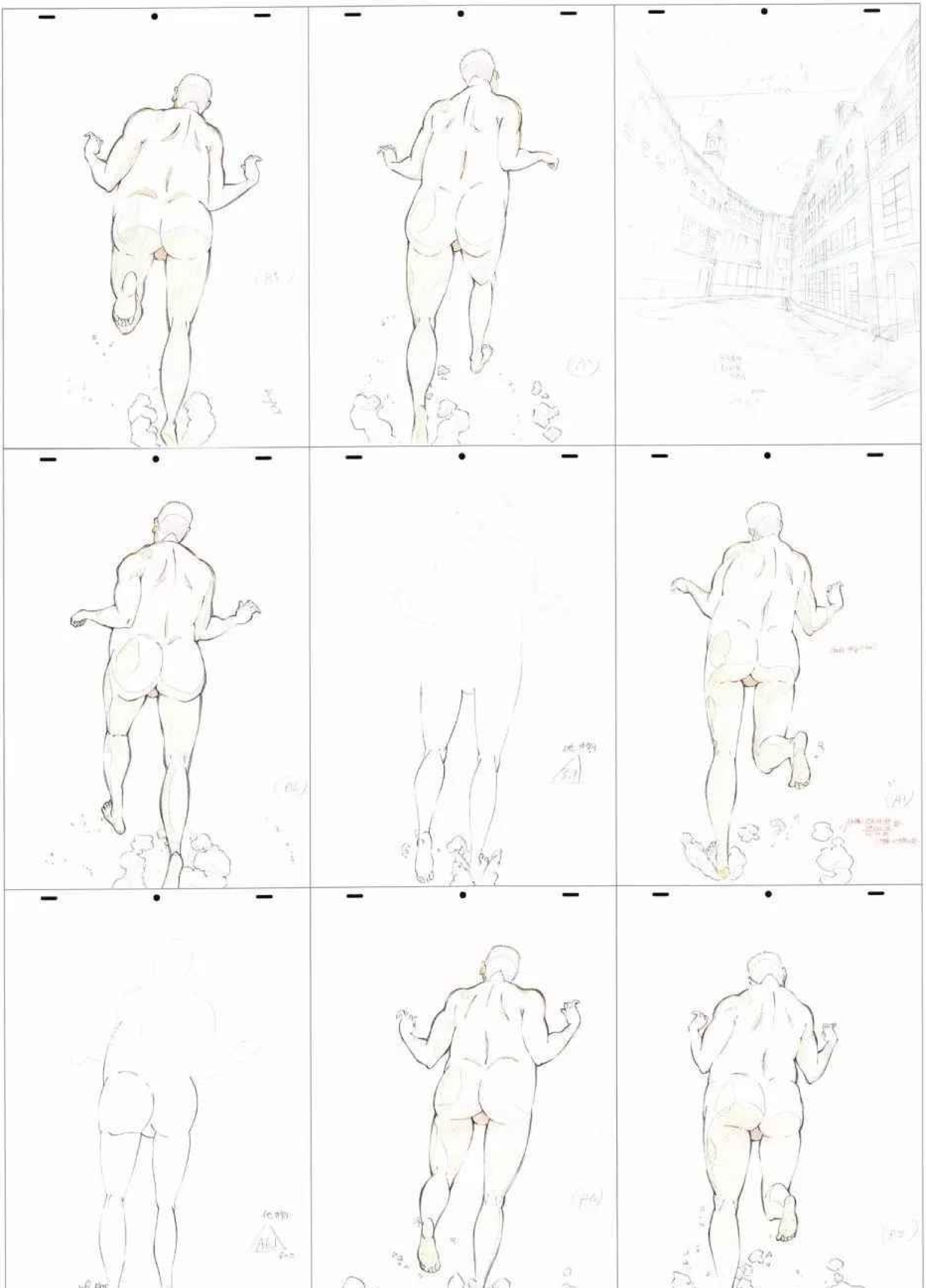

B3

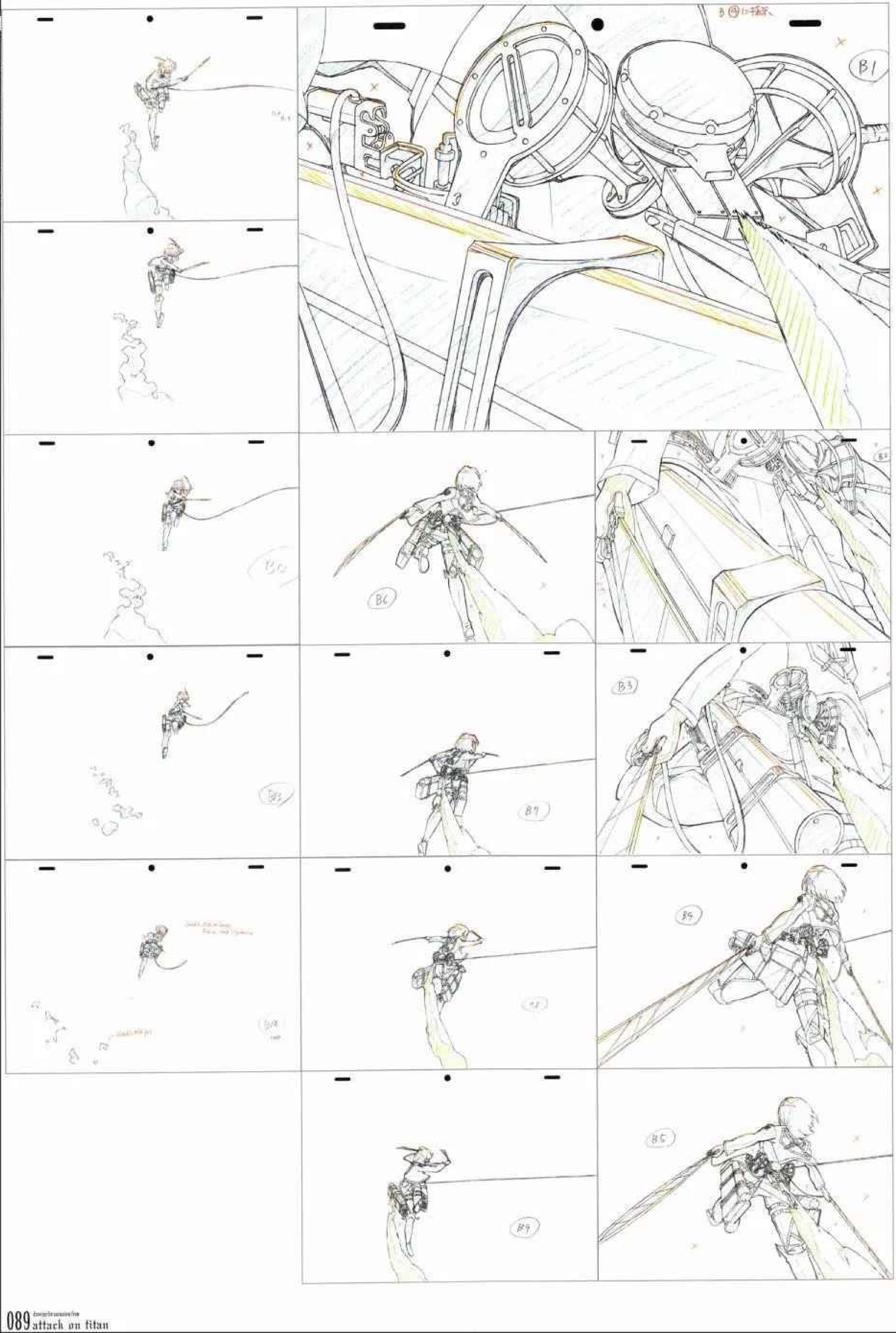

A2


A3

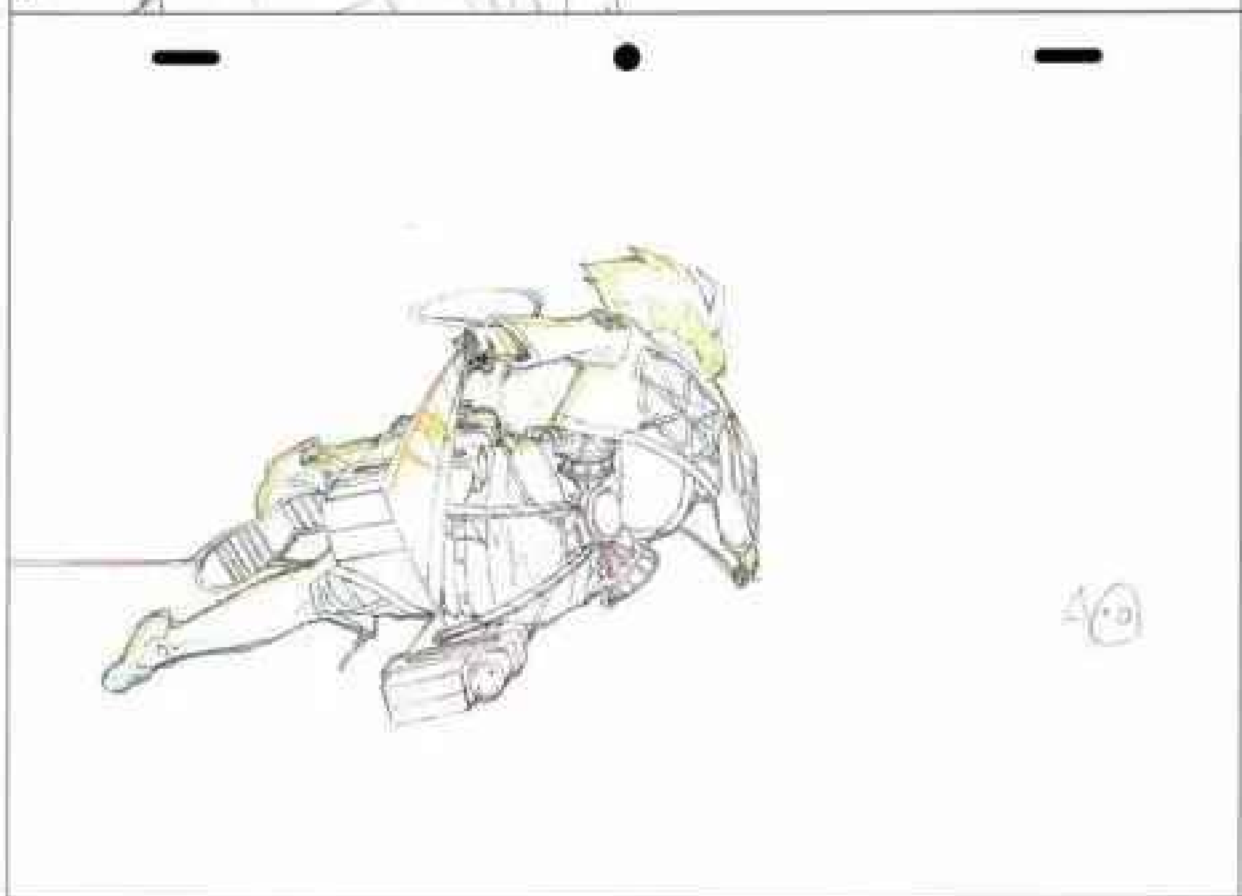
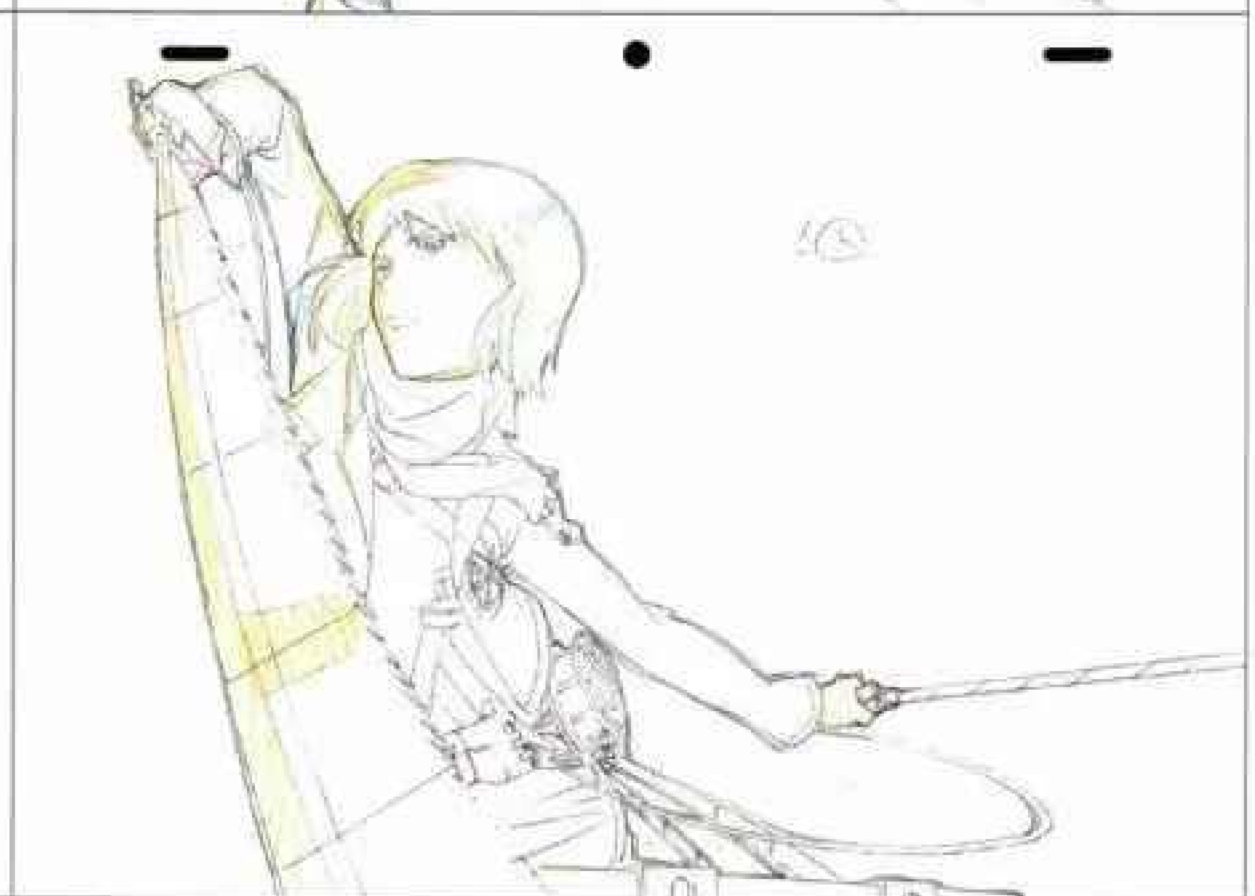
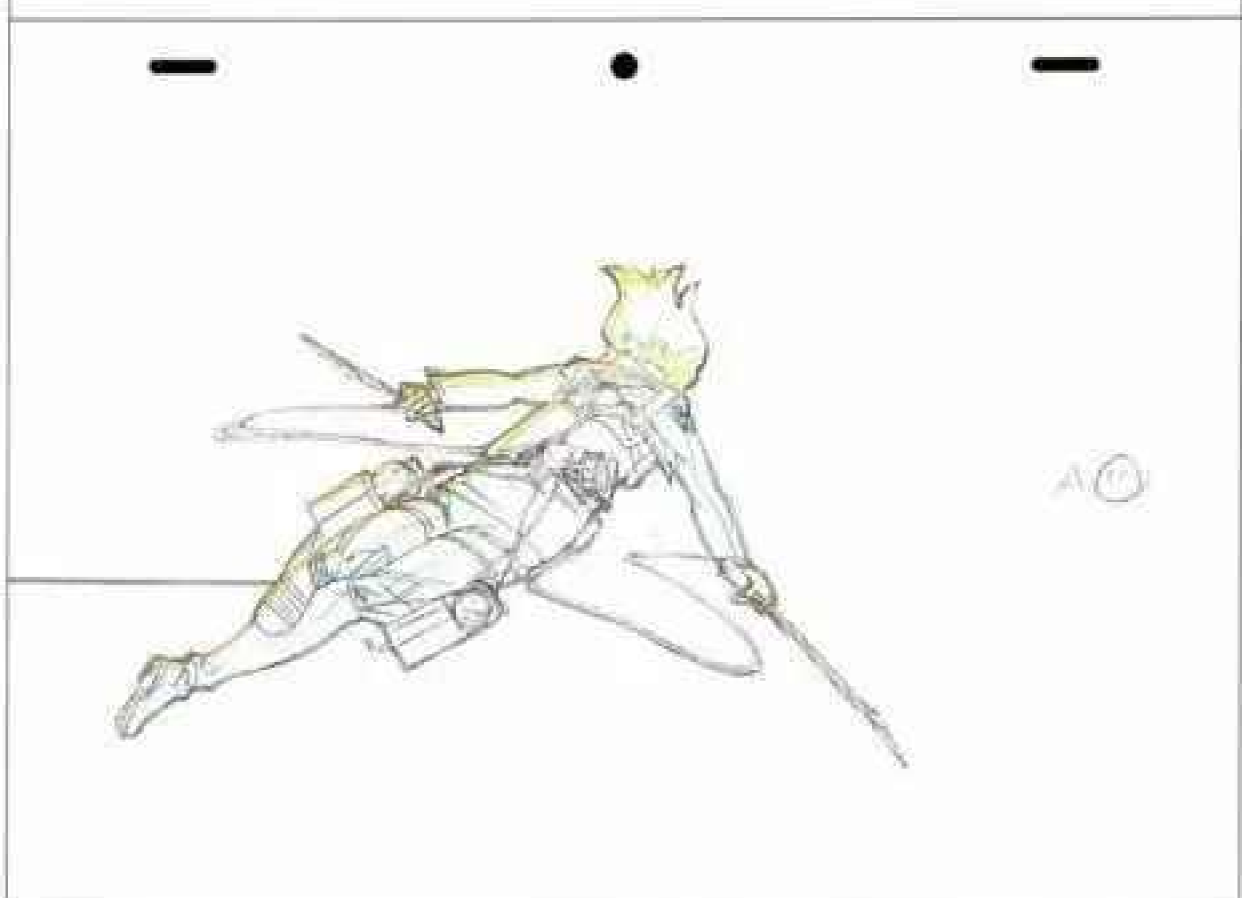


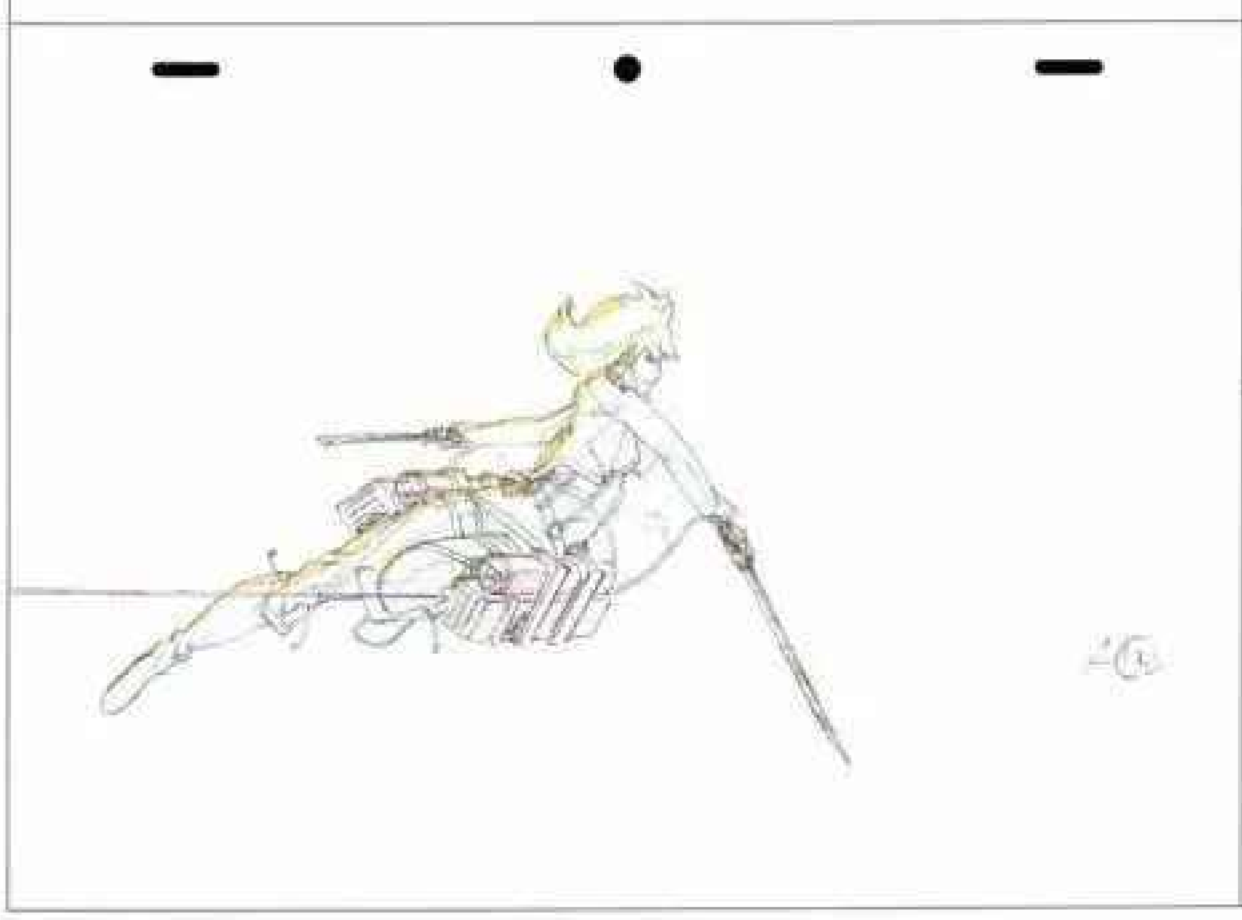
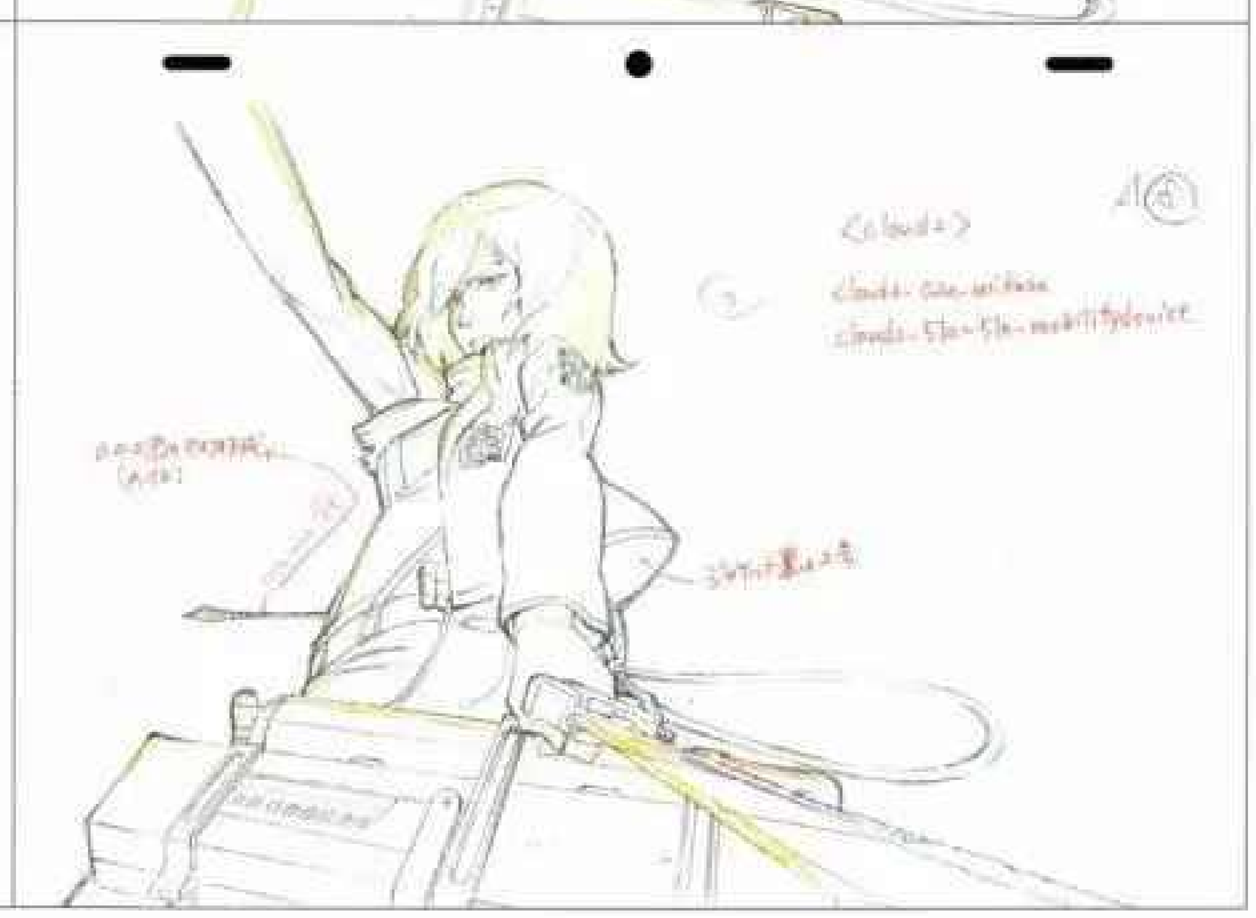


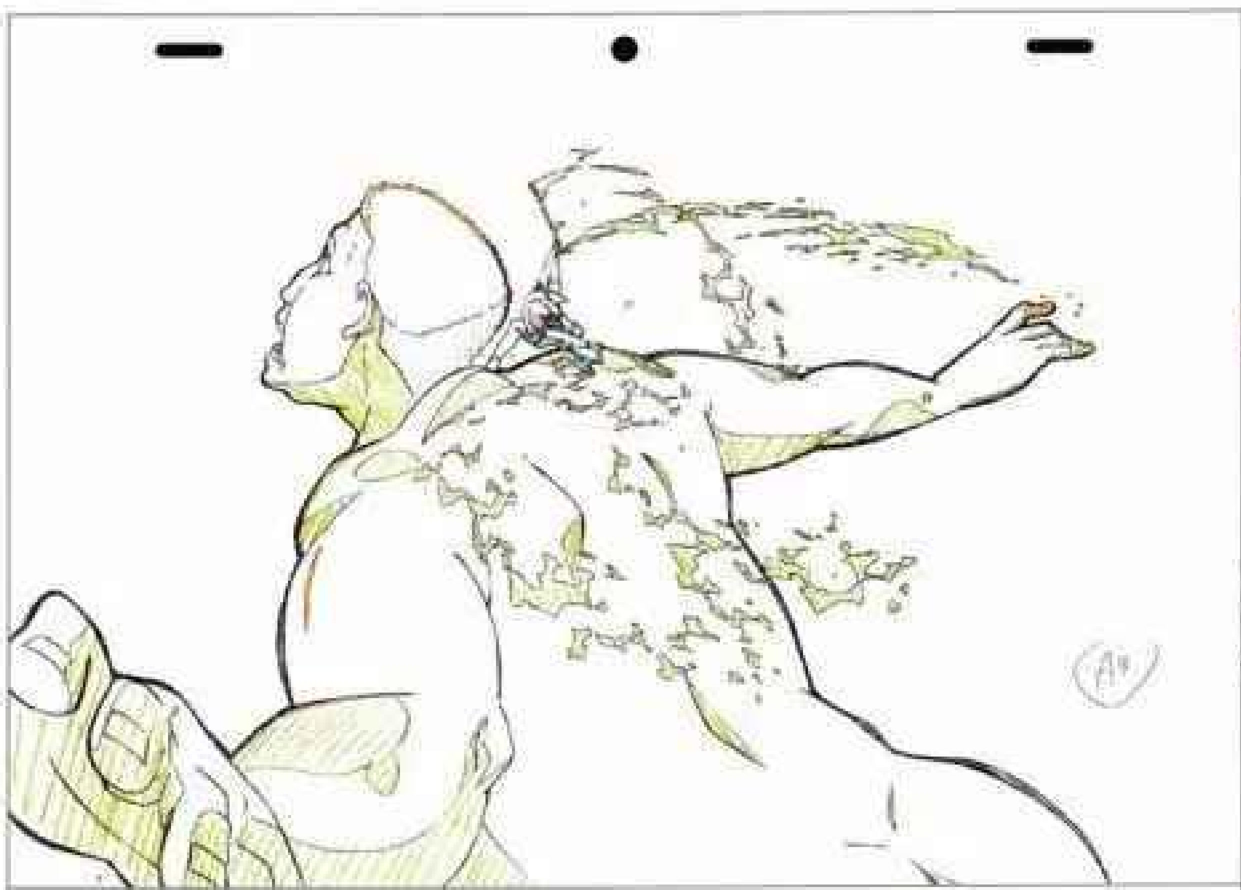


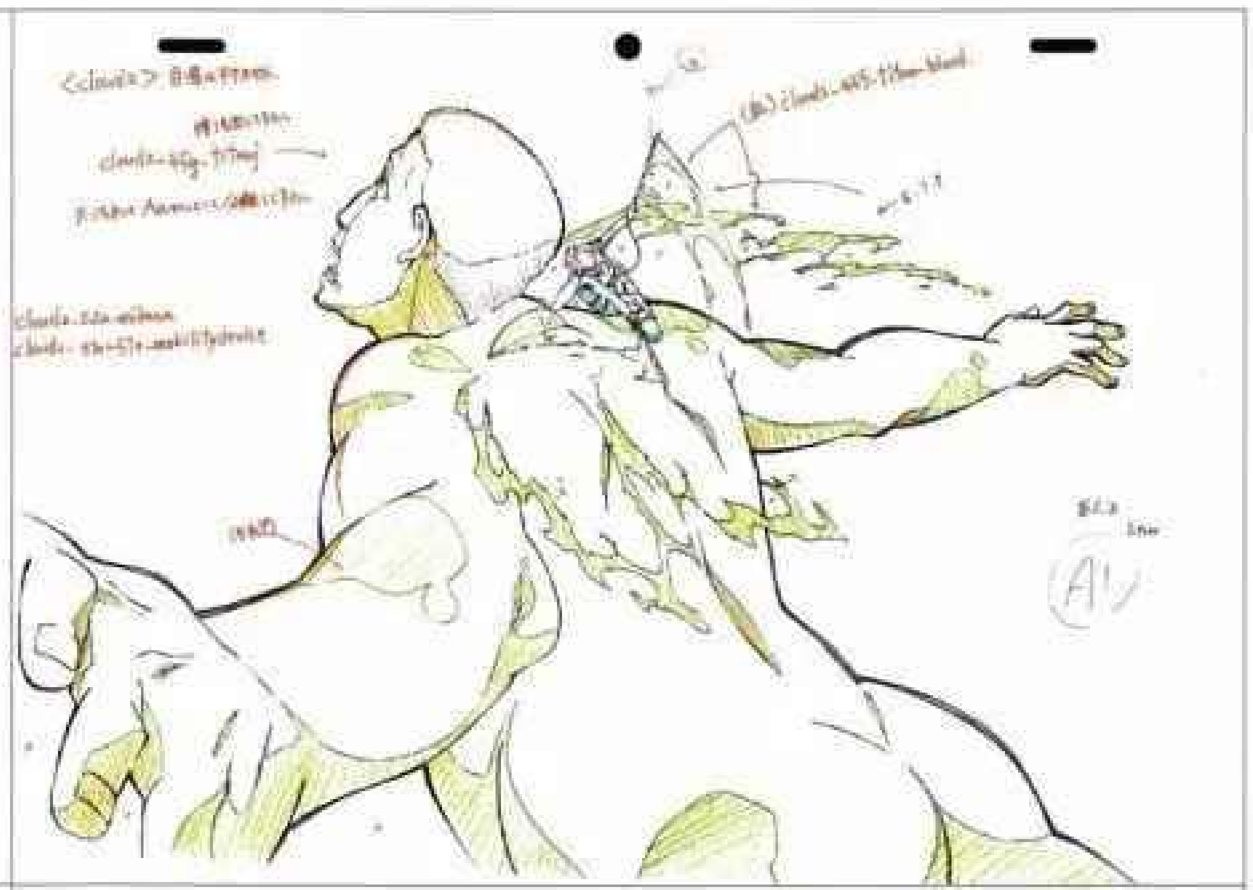

B1
B6
B3
B7
B5
B9

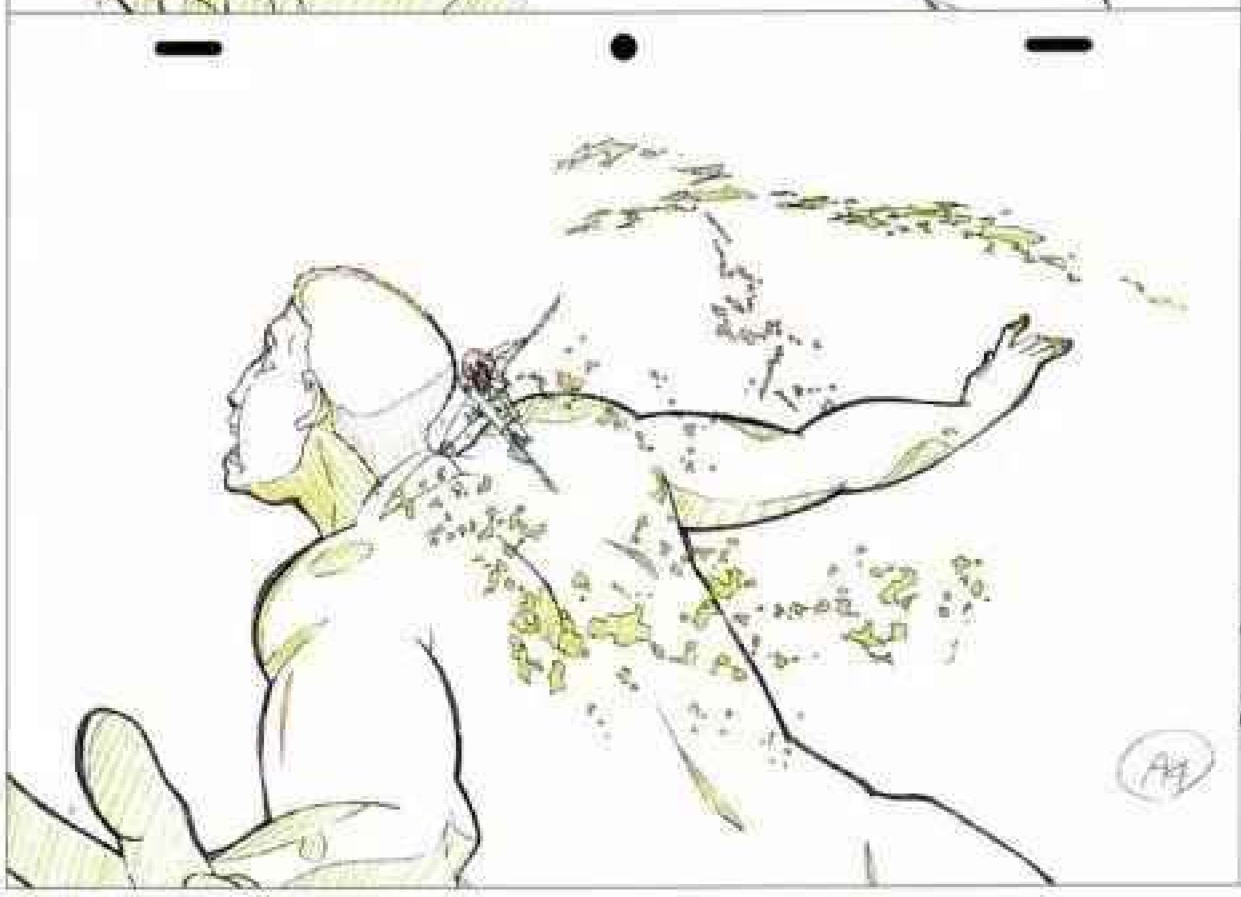


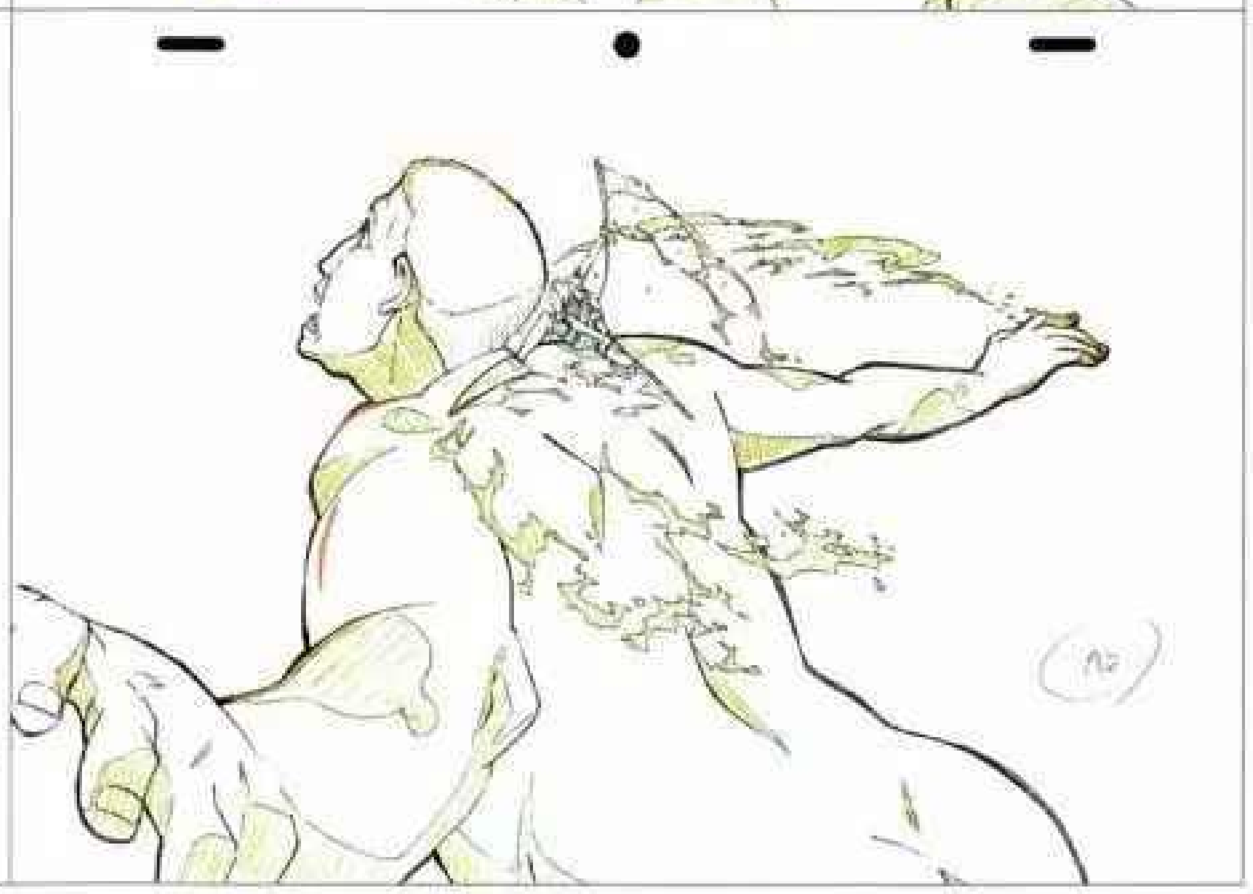




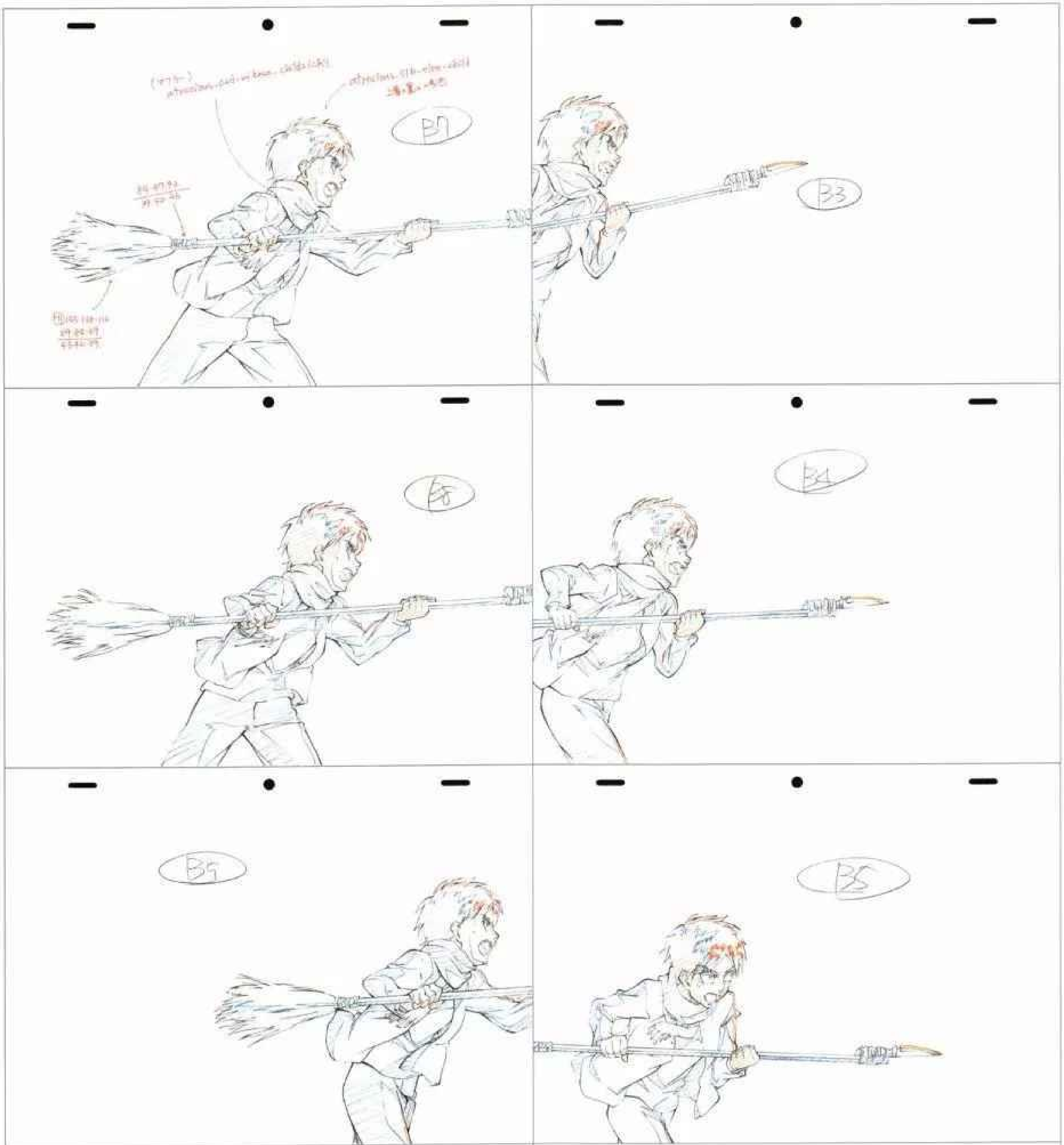








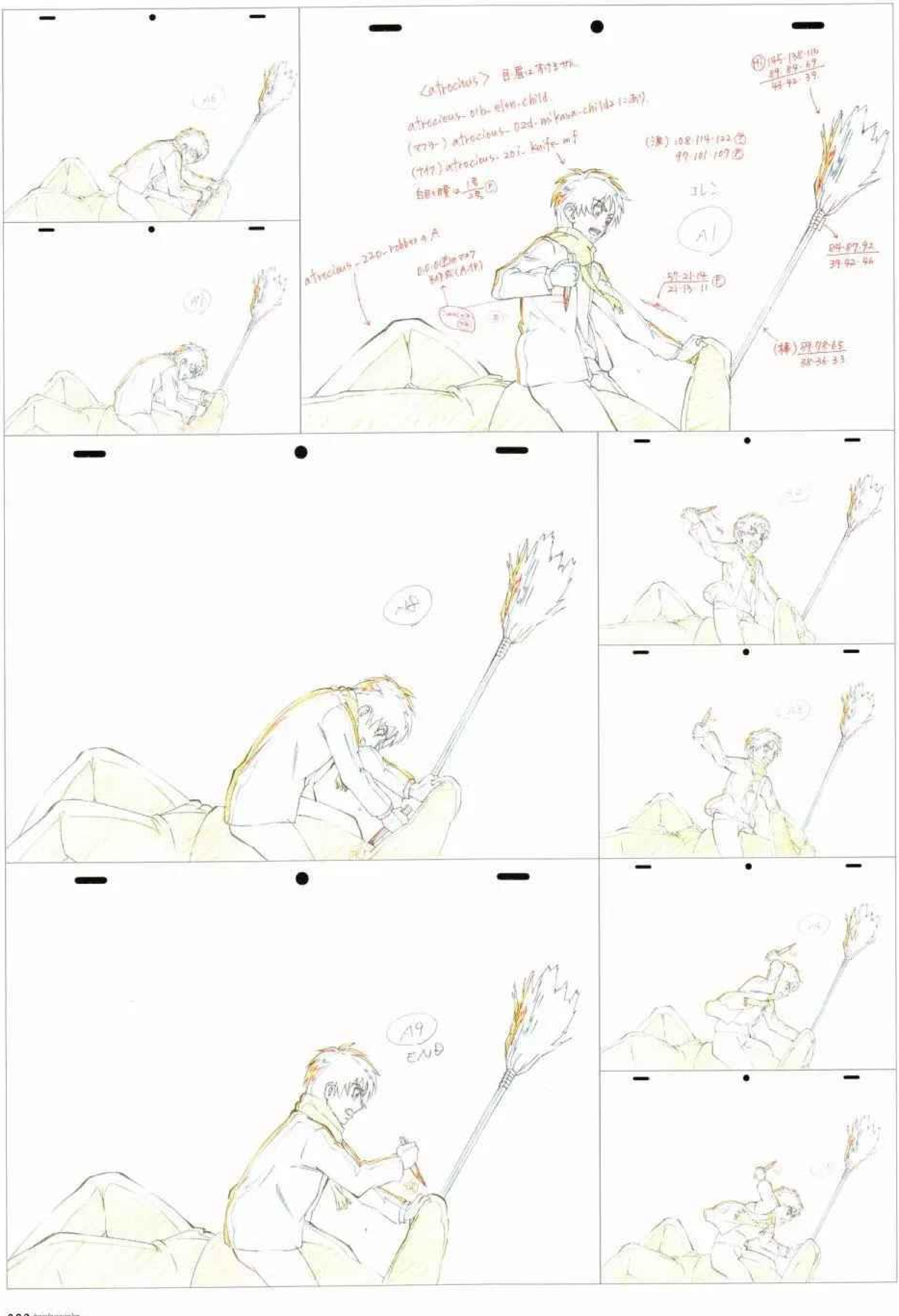

A5

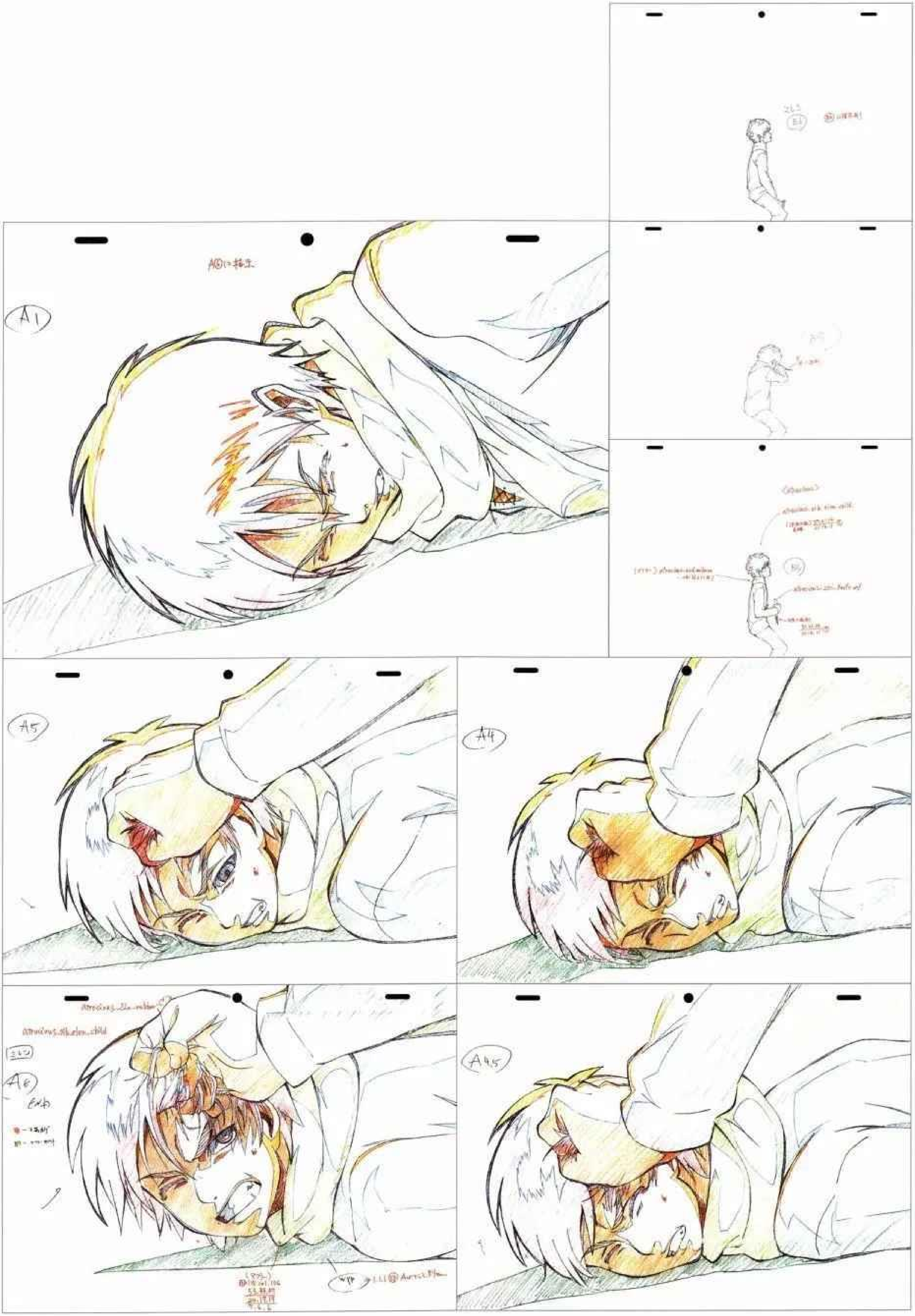


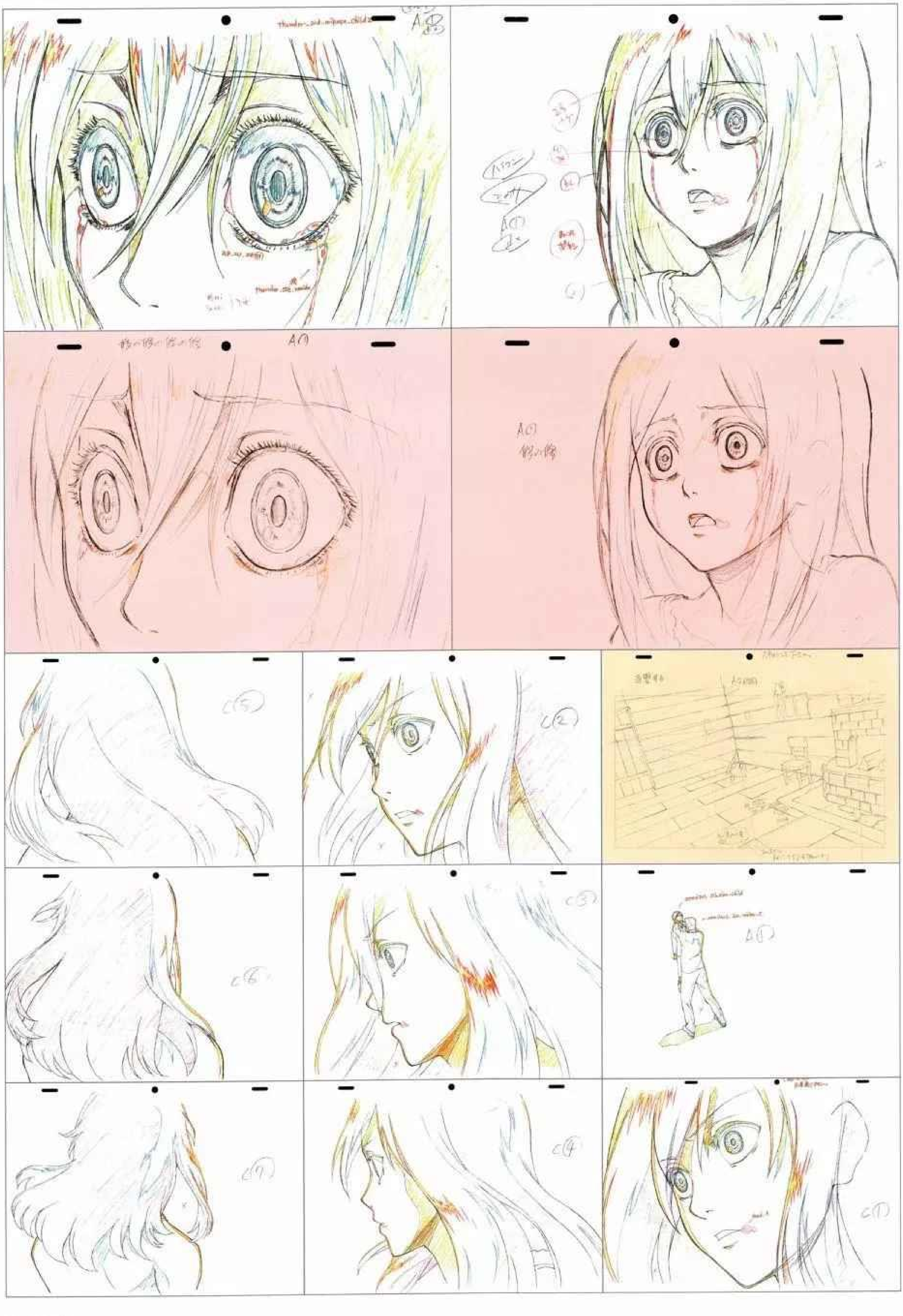


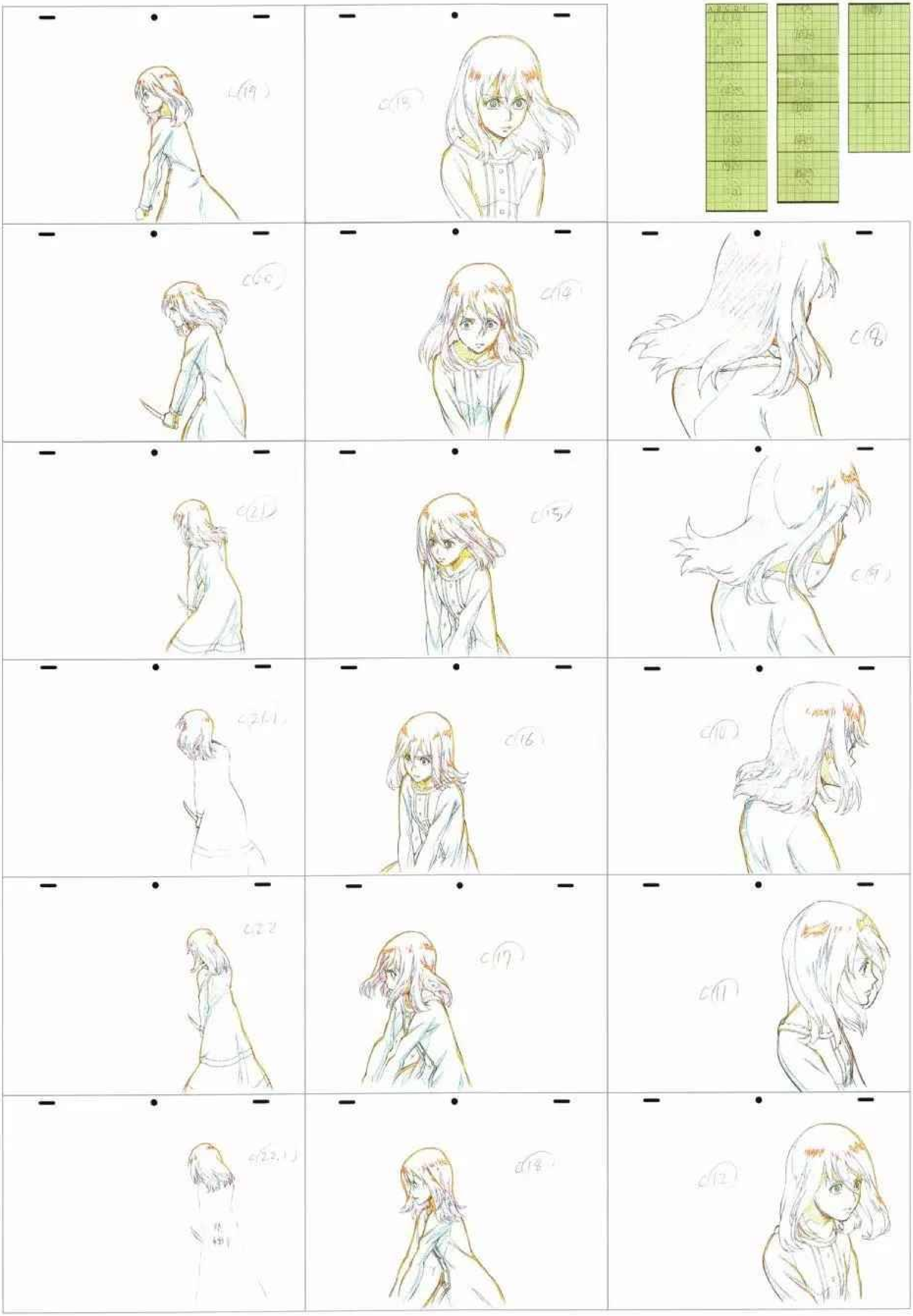
田中洋之コメント

画面上は一瞬でアウトしてしまうエレンだがこうして1枚1枚見てみると怒りの感情がこもっていることがよくわかる。

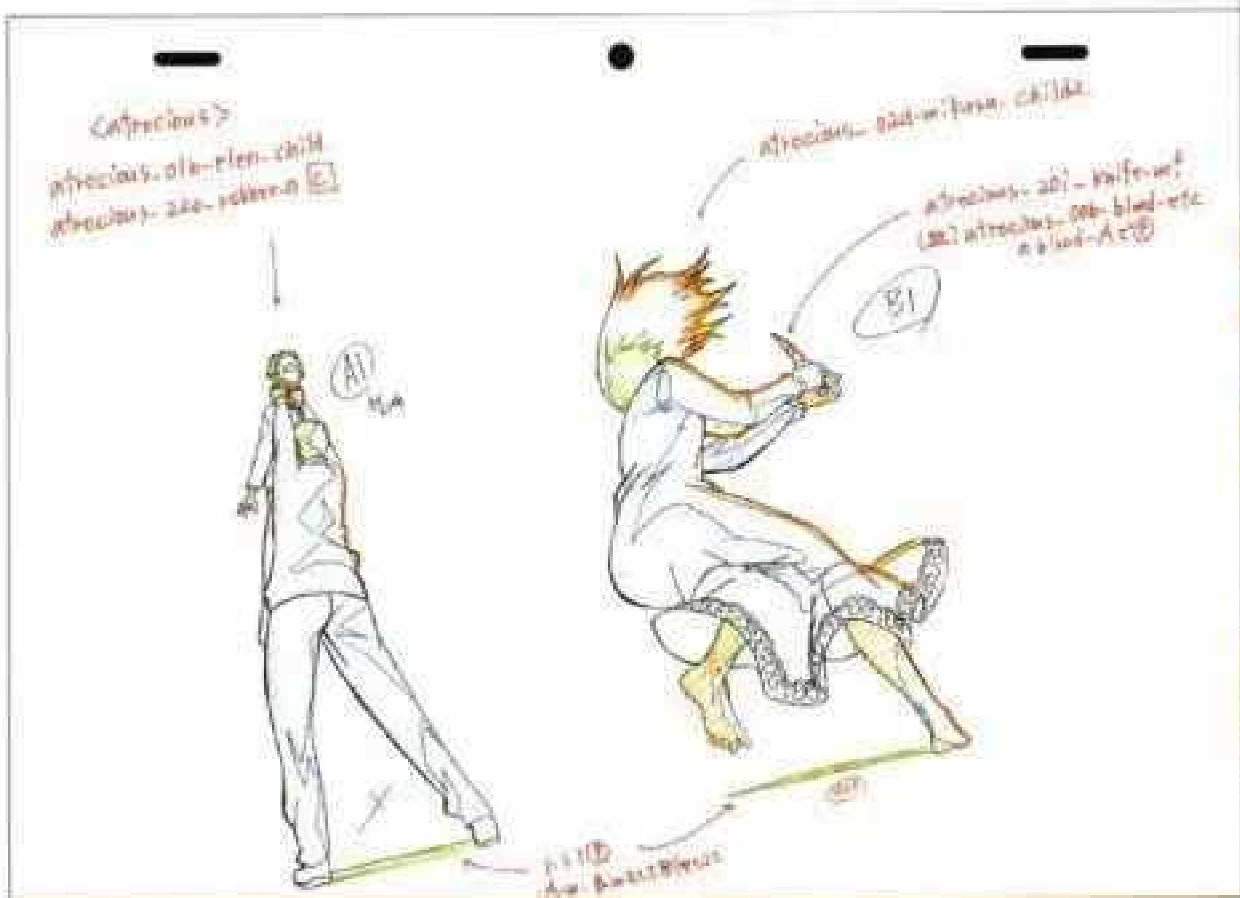

atrocious-01b-elen-child
エレン
A1
A9
END


A1
A5
A4
A6
A4.5

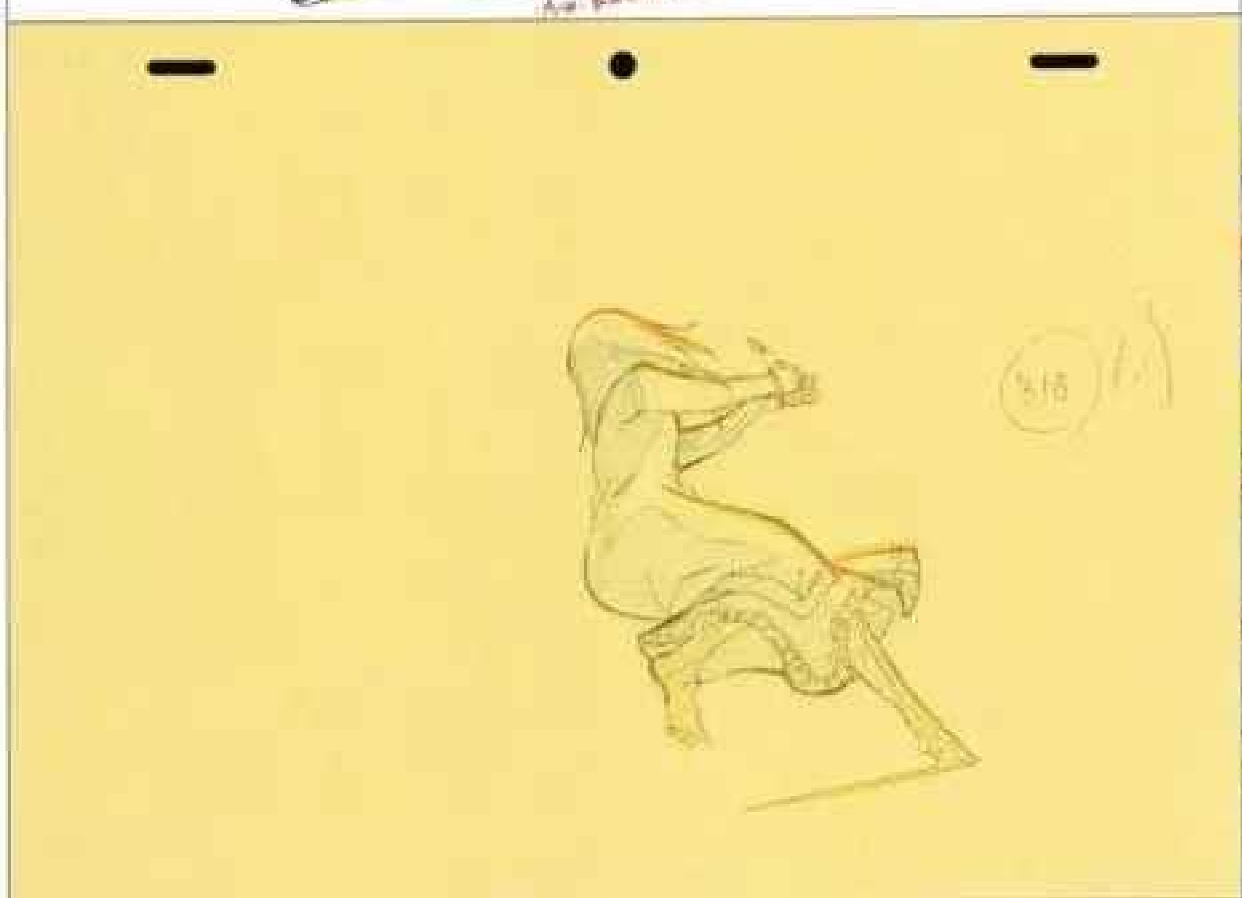


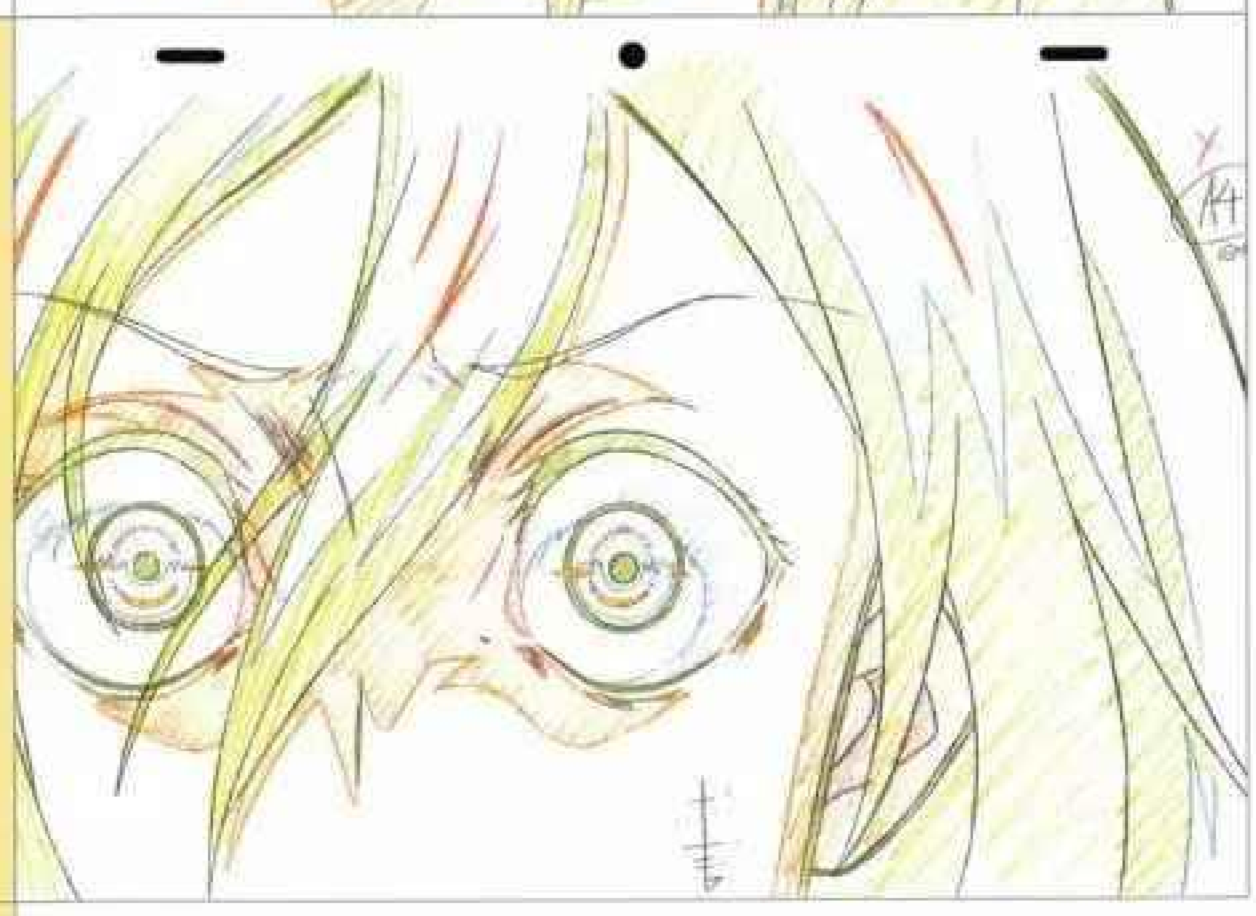


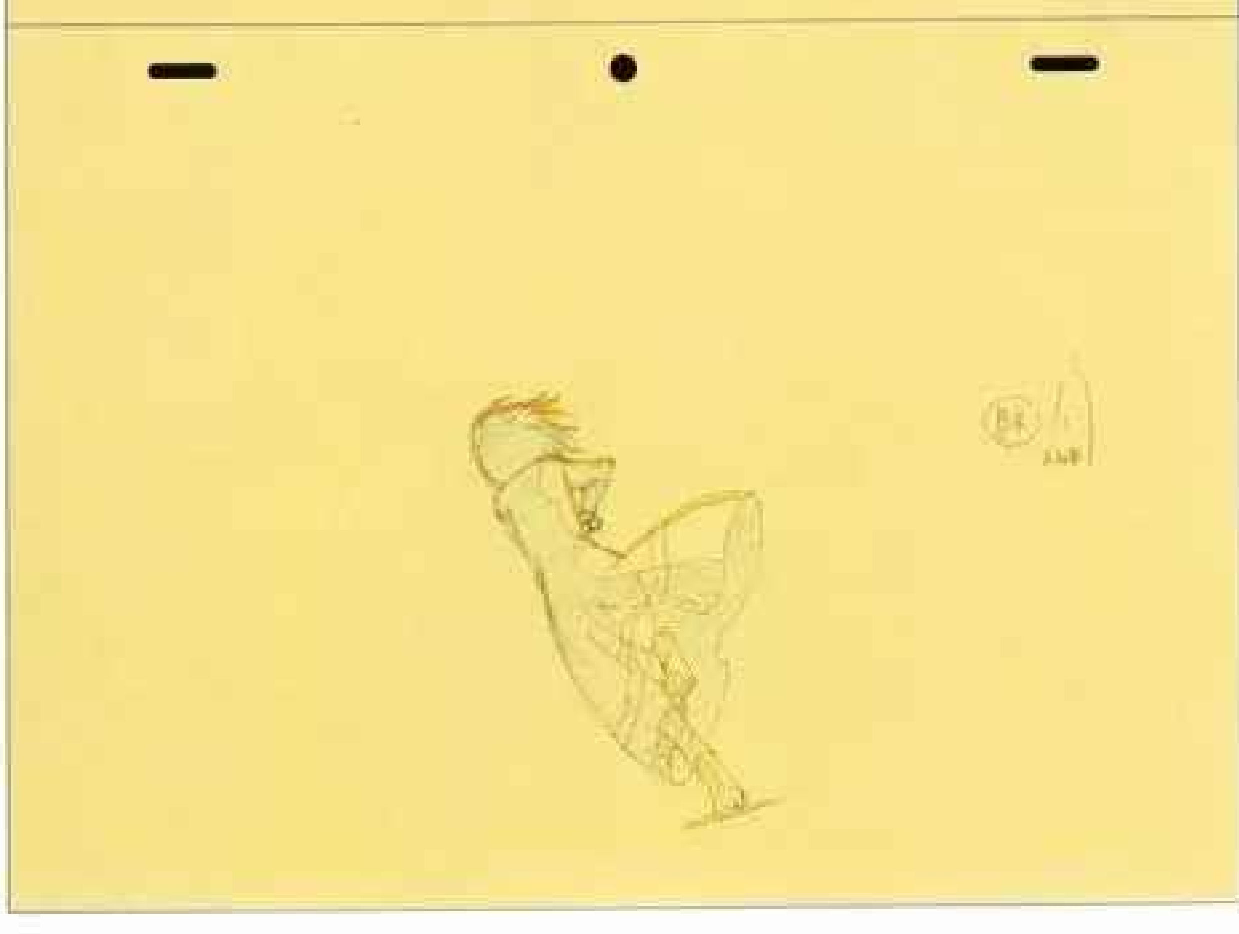

A1


A1
B1


A2

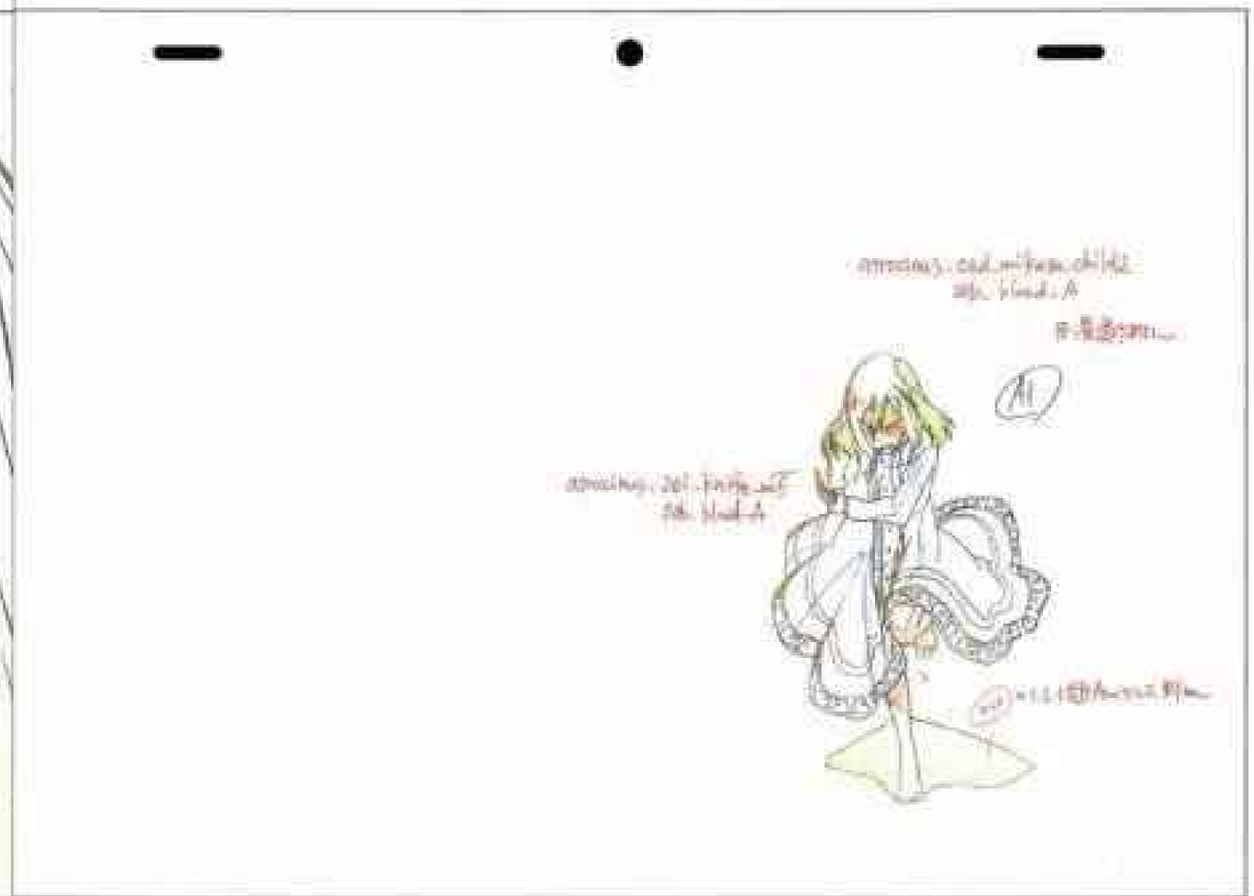







A6

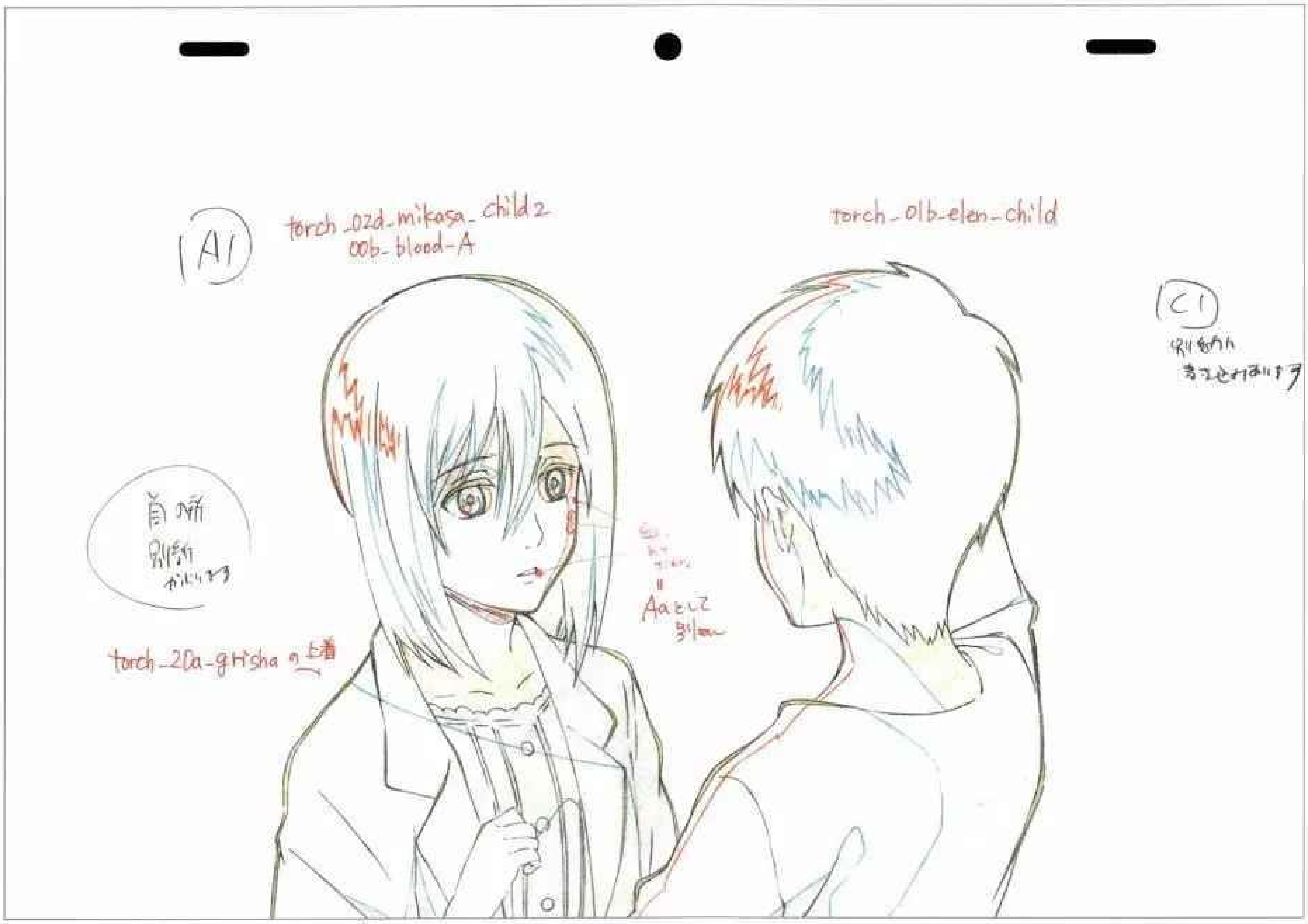

A9


A1


A10


A3


A4


A1
torch_02d-mikasa_child2
00b-blood-A
torch_01b-elen-child
C1
Aaとして
torch_20a-grisha の上着


<torch> 目眉にすけません.
torch-02d-mikasa-child2
マフラー
(赤いまる部分) 血です.
A1
グリシャの上着
(グリシャの上着) 肩にかけています.
torch_20a-grisha.

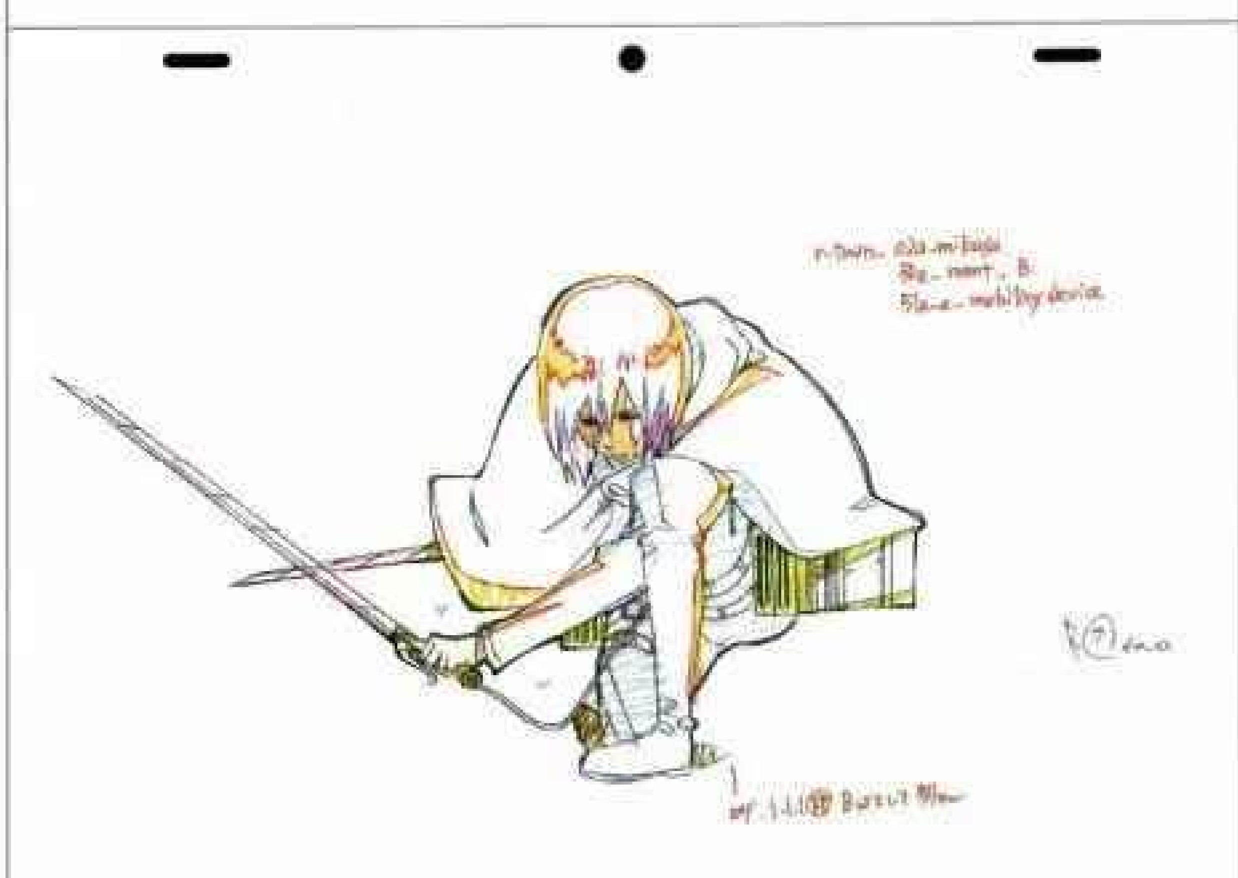

A3
グリシャの上着
ミカサの


A(3)e
修の修の修の修

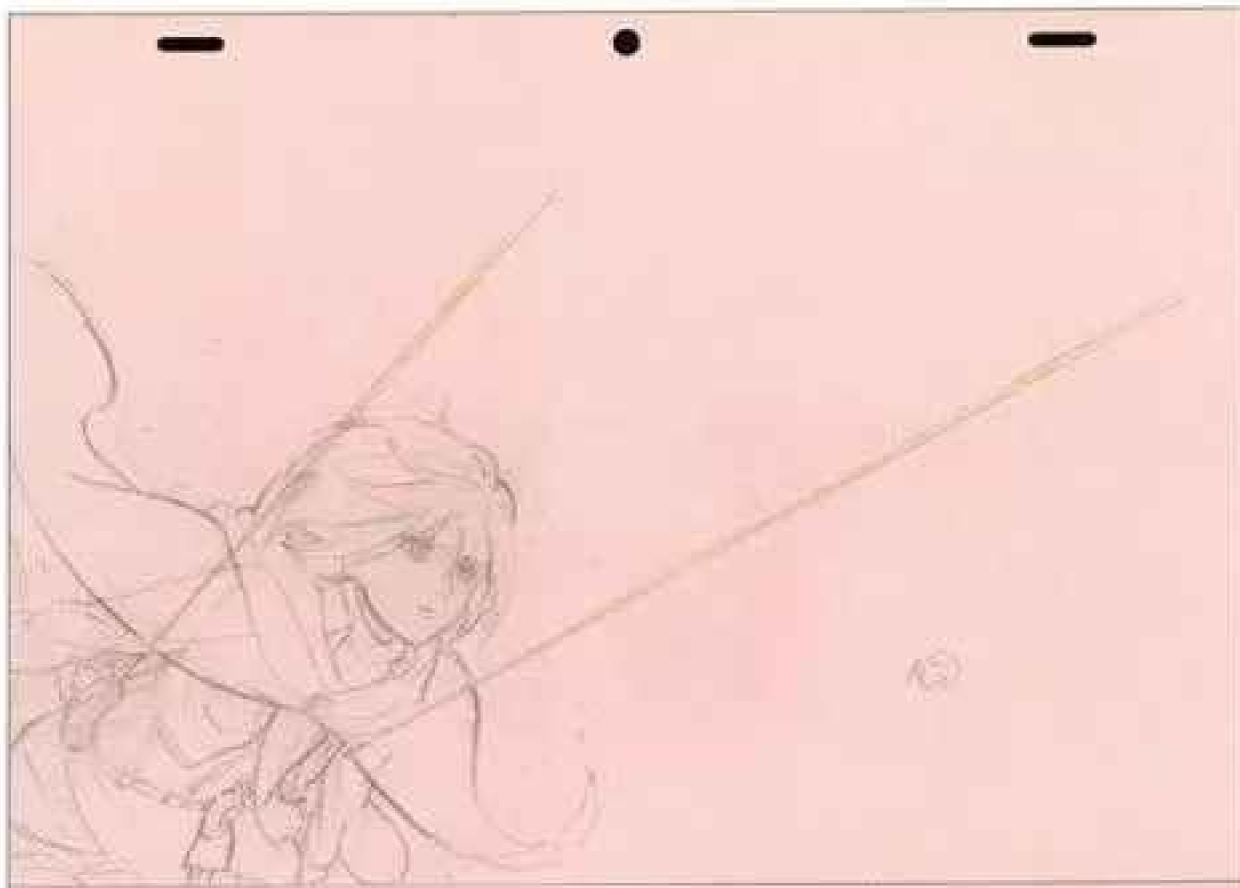

ジャケット
シャツ
B③

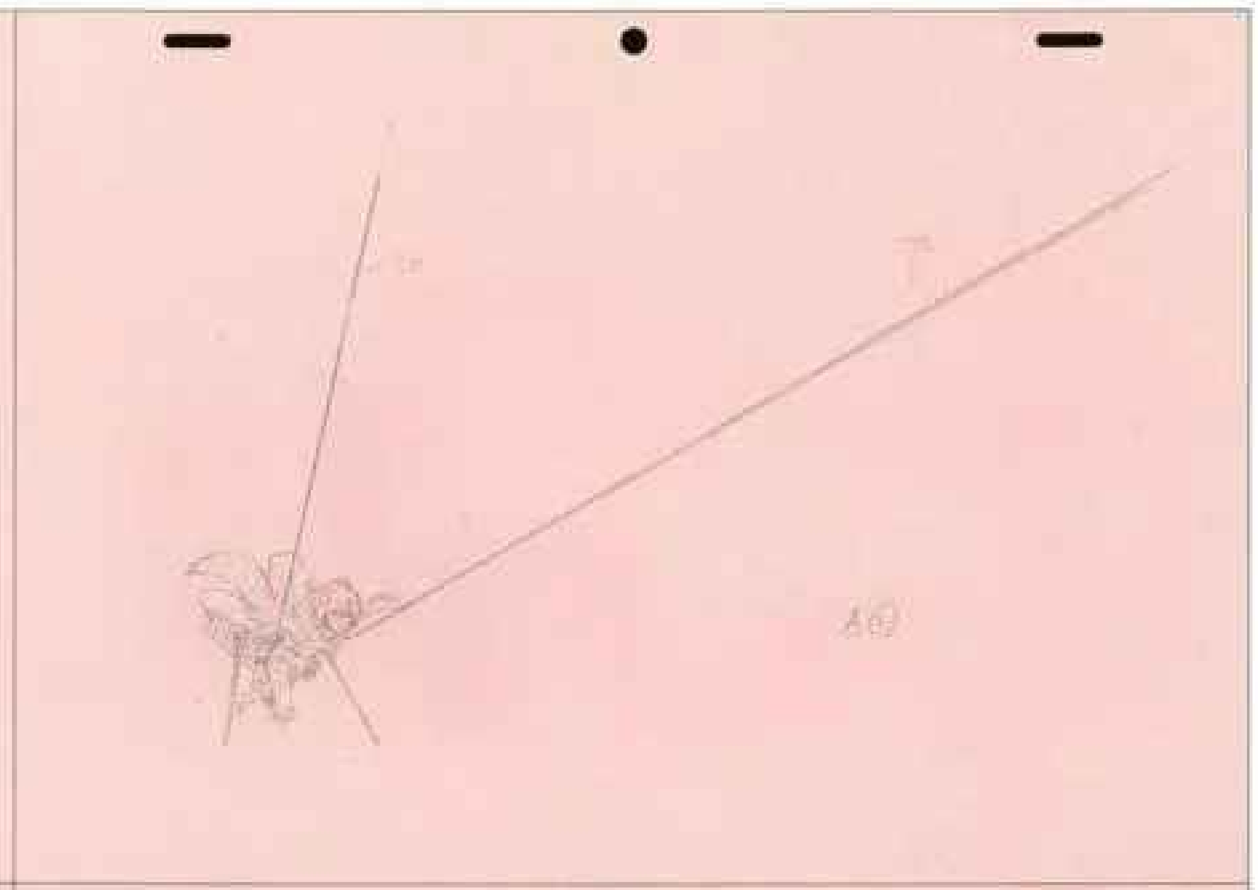




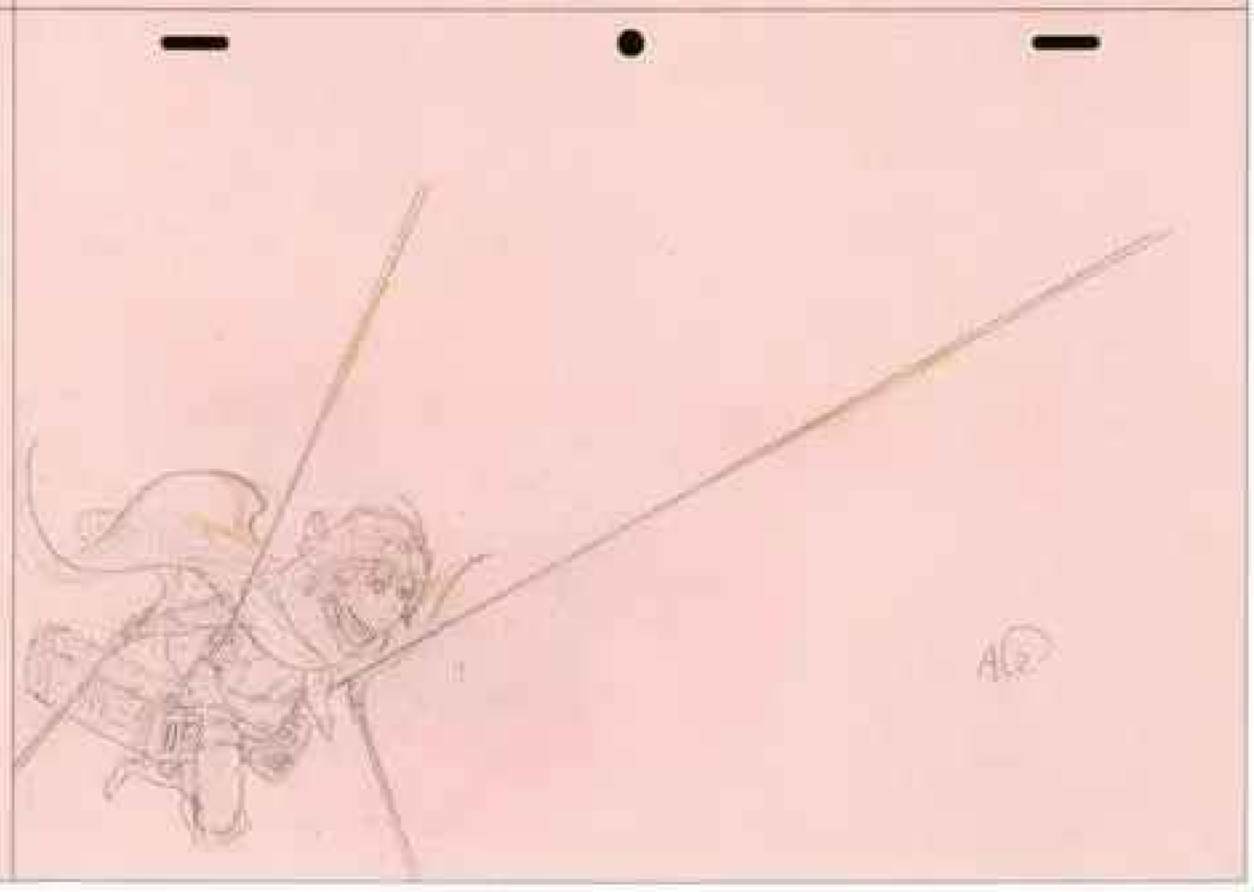














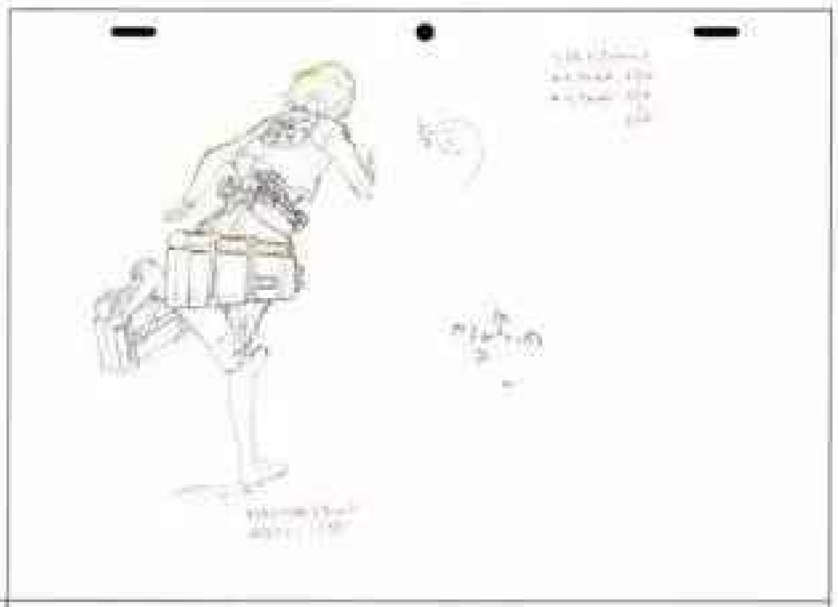




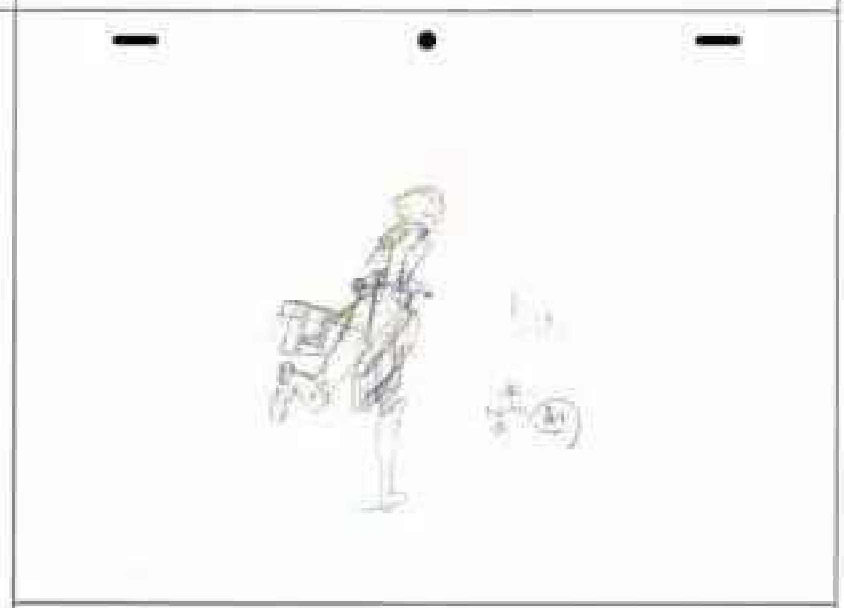


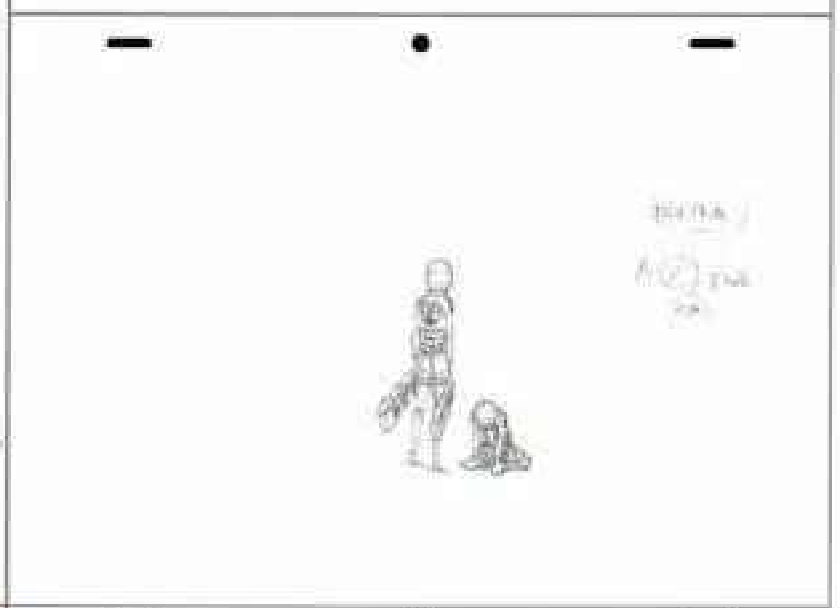
荒木哲郎コメント

7話は千葉崇明さん手塚響平さんという社内の精鋭作画監督コンビと、コンテ演出に自分のマッドハウスの後輩である新鋭の立川譲くん（「デスビリヤード」監督）という、盤石の布陣で臨んだ勝負回でした。演出面を立川くんに全面的にお任せしていたので、自分は何もしていないのですが、諫山さんと編集の川窪さんはこの回を最も褒めてくださったので、「そうでしょう」と自分の手柄にさせてもらいました。

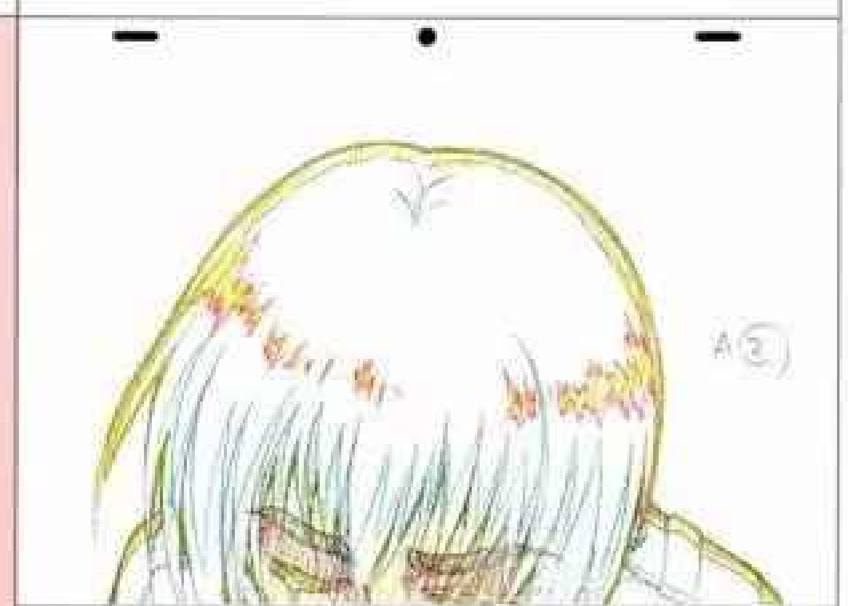












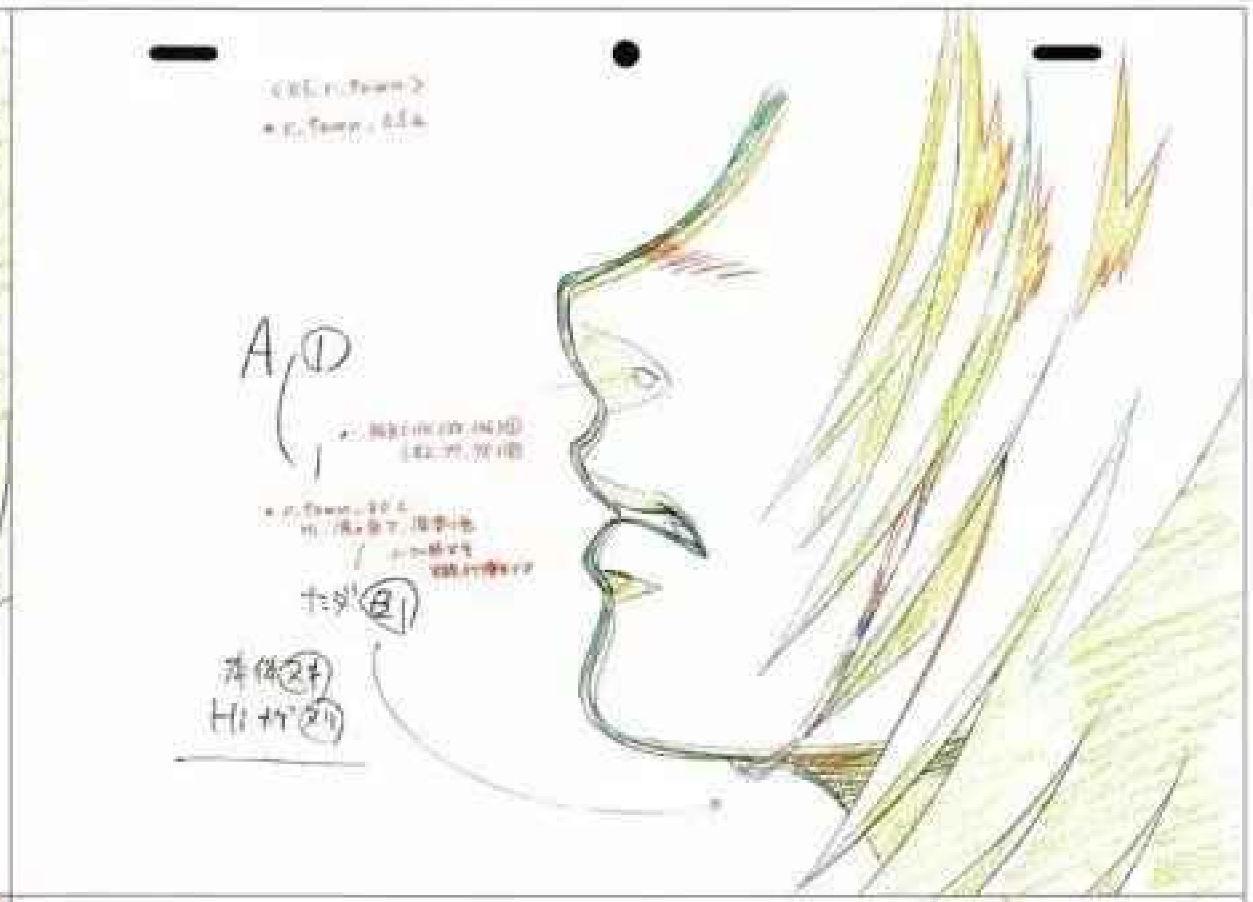




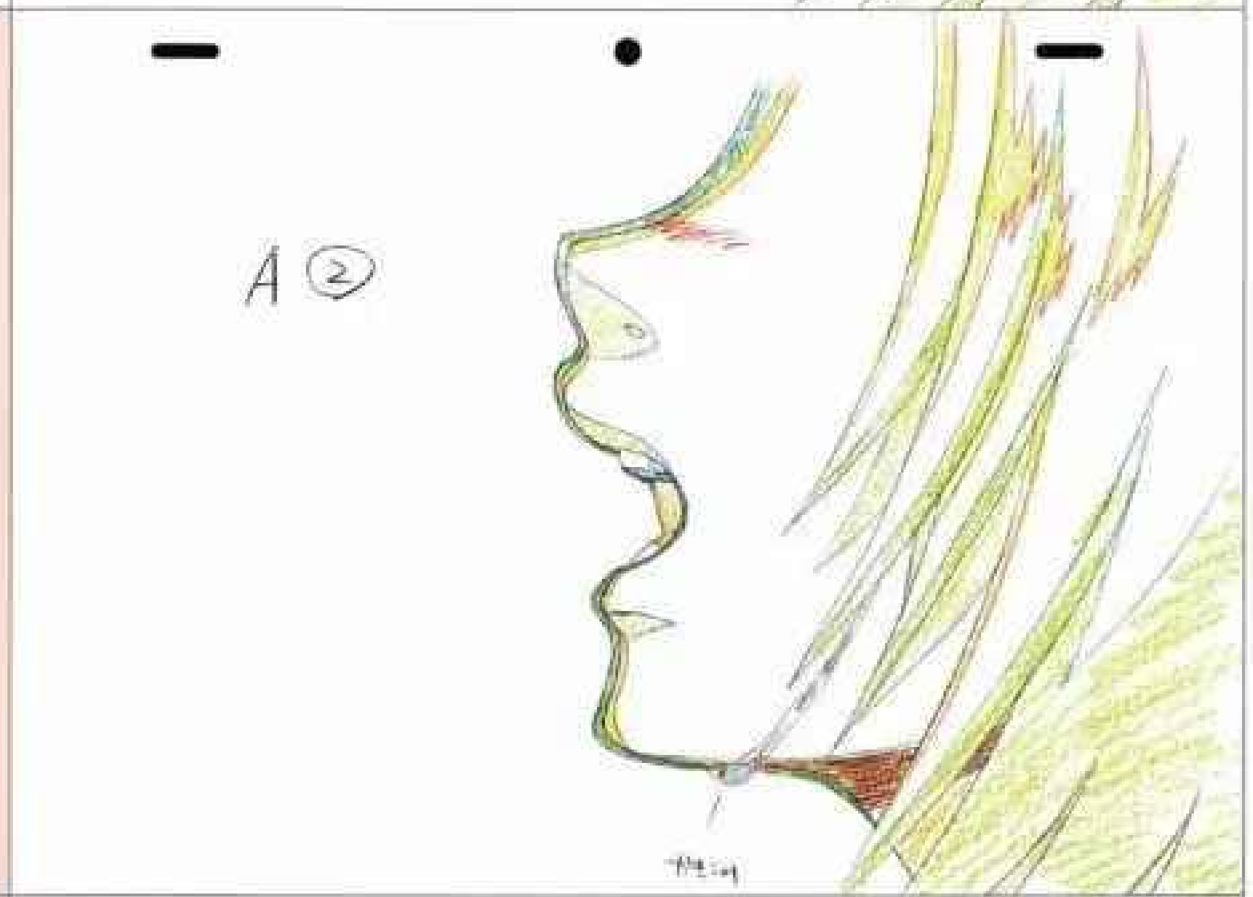
荒木哲郎コメント

ミカサにエレンの所在を問われ慟哭するアルミン。このあたりの原画は長谷川ひとみさん。情感のこもった、繊細で瑞々しいキャラクター作画が特長です。この回から参戦で、その後シリーズの柱の一人になってくれました。力感や迫力よりも、繊細な表情芝居が欲しいときは長谷川さん、という確固としたポジションを確立していました。

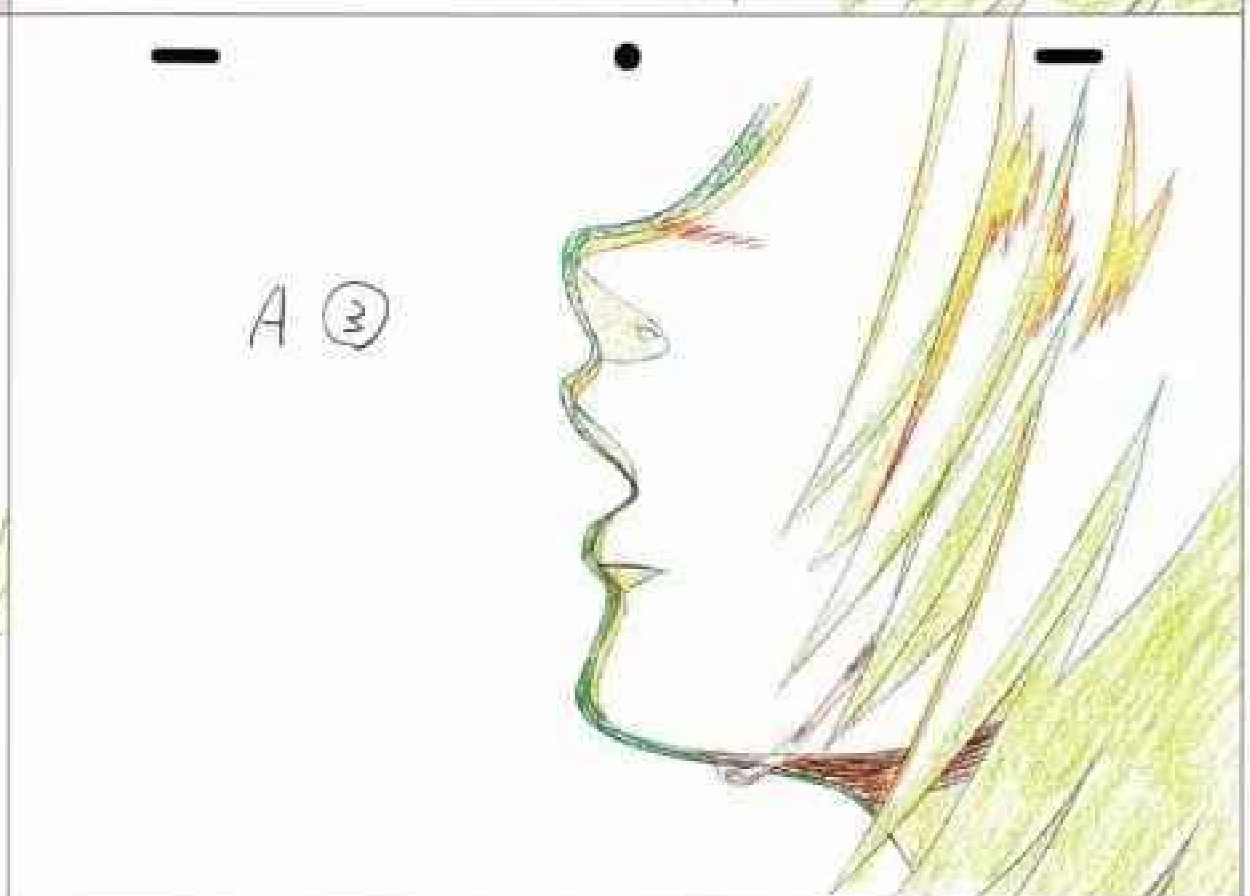

A ⑤

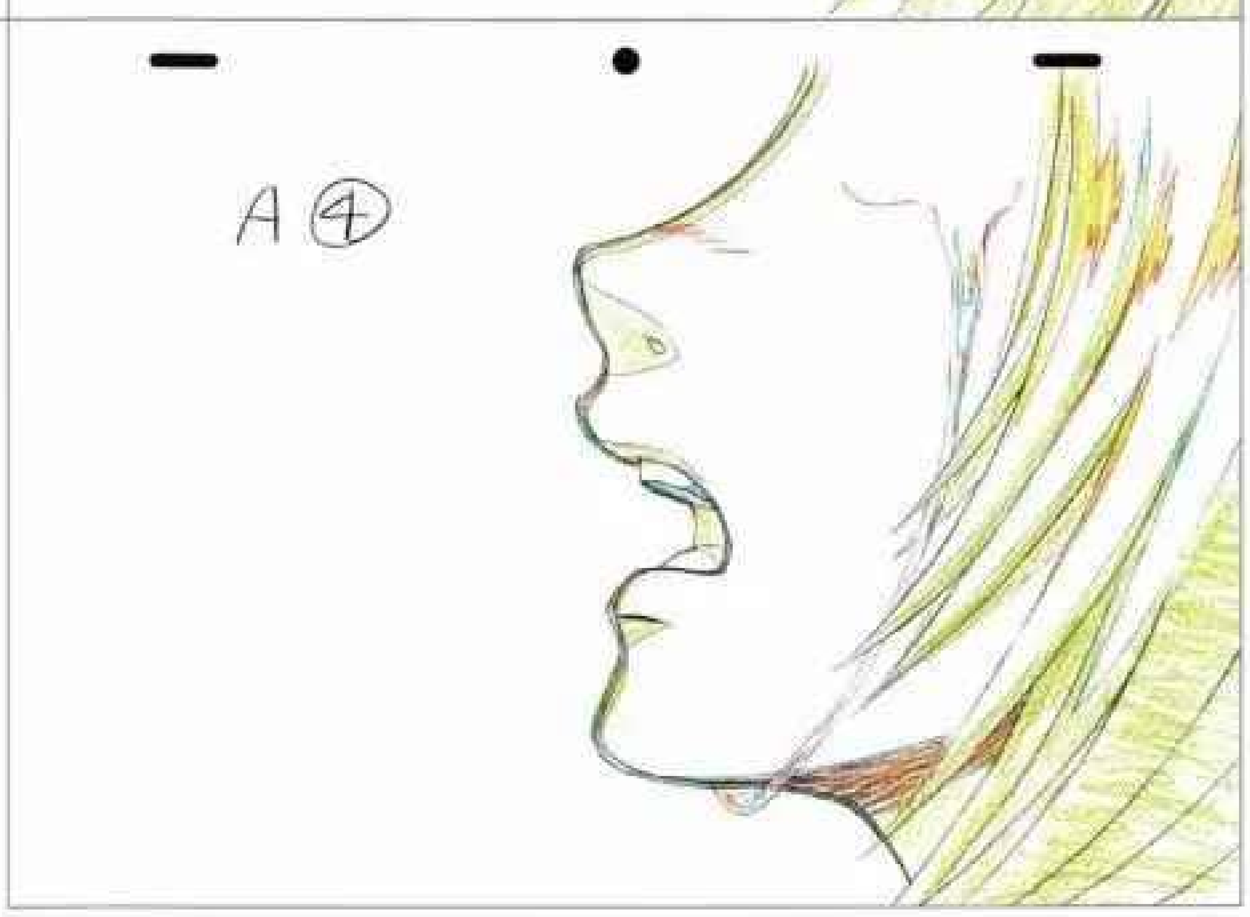

A ①

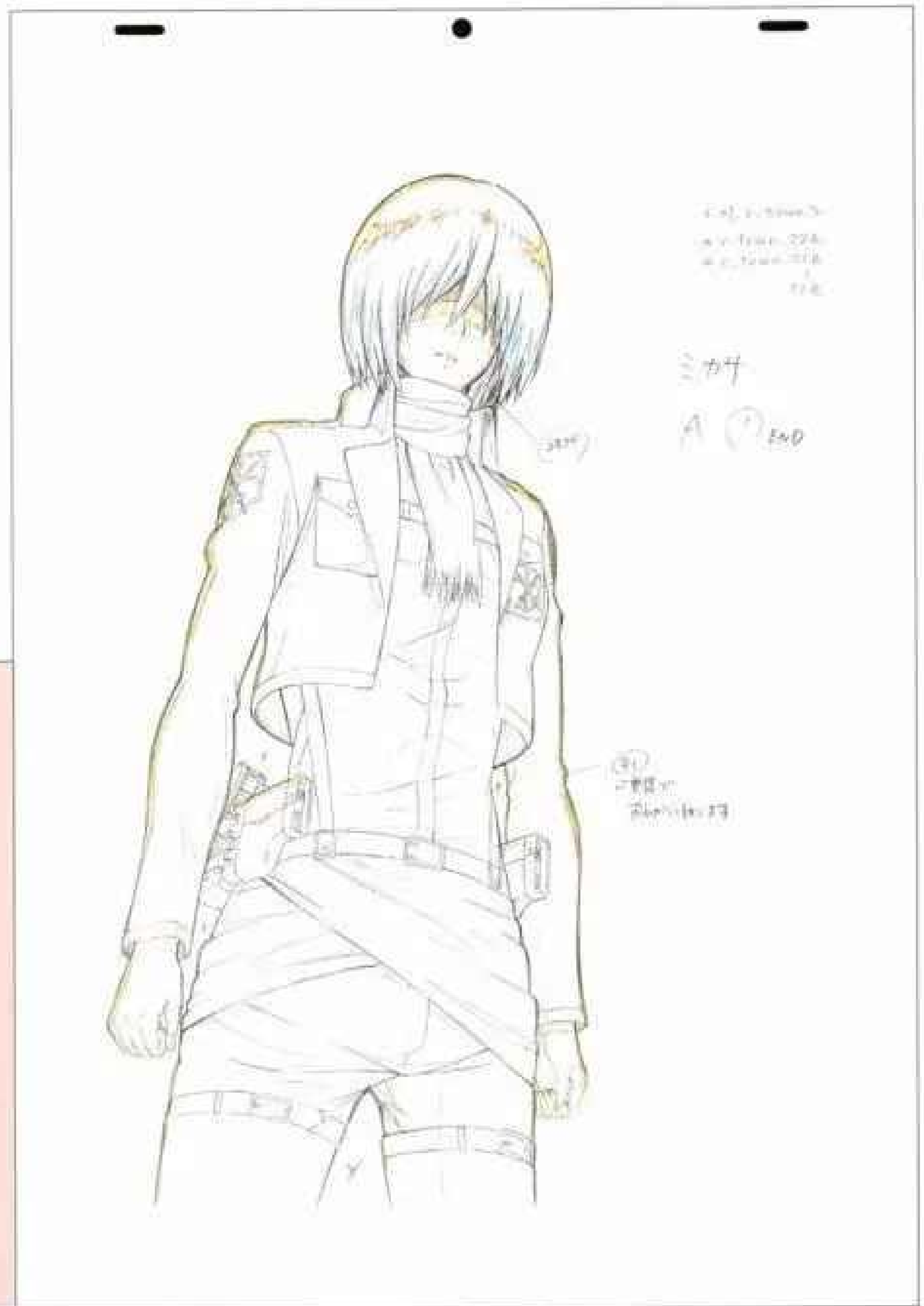


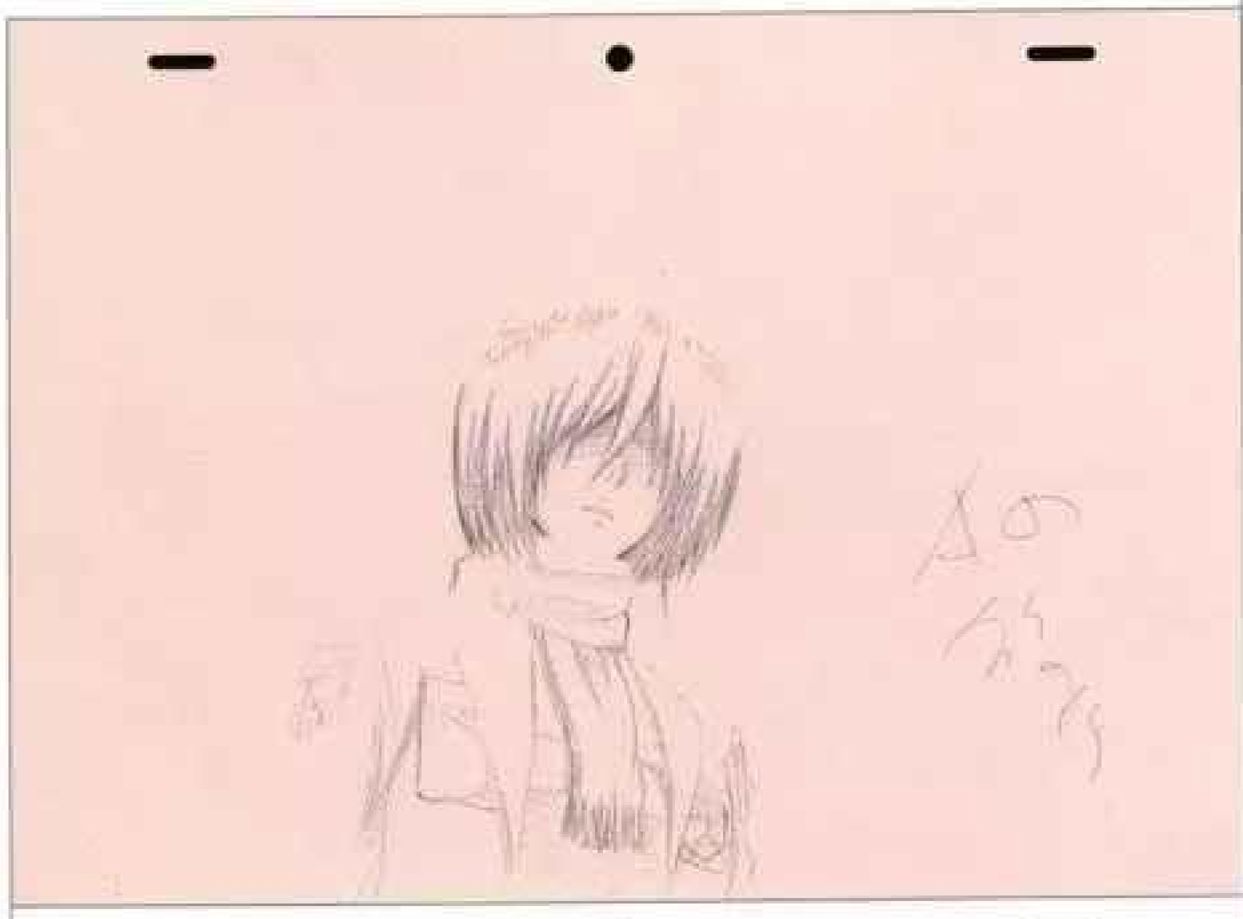

A ②

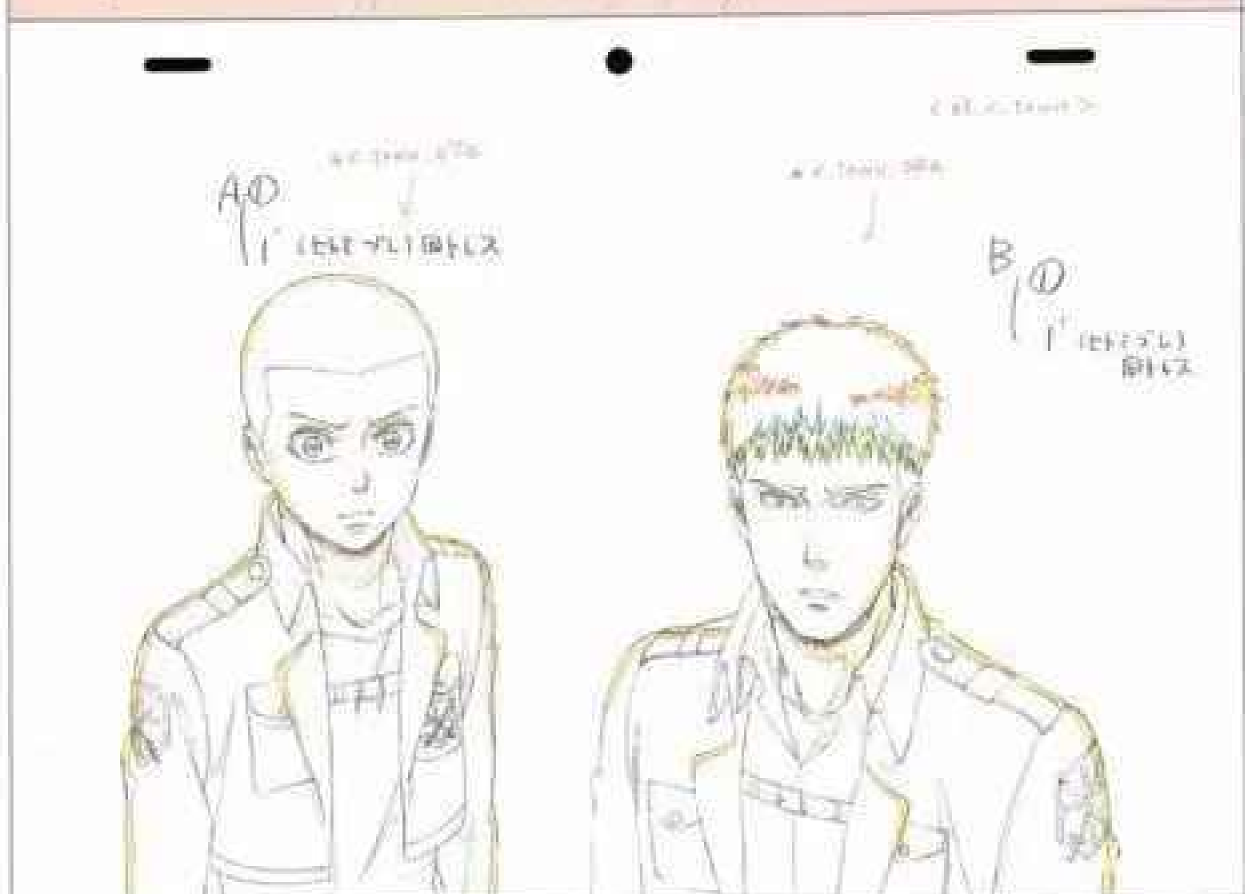


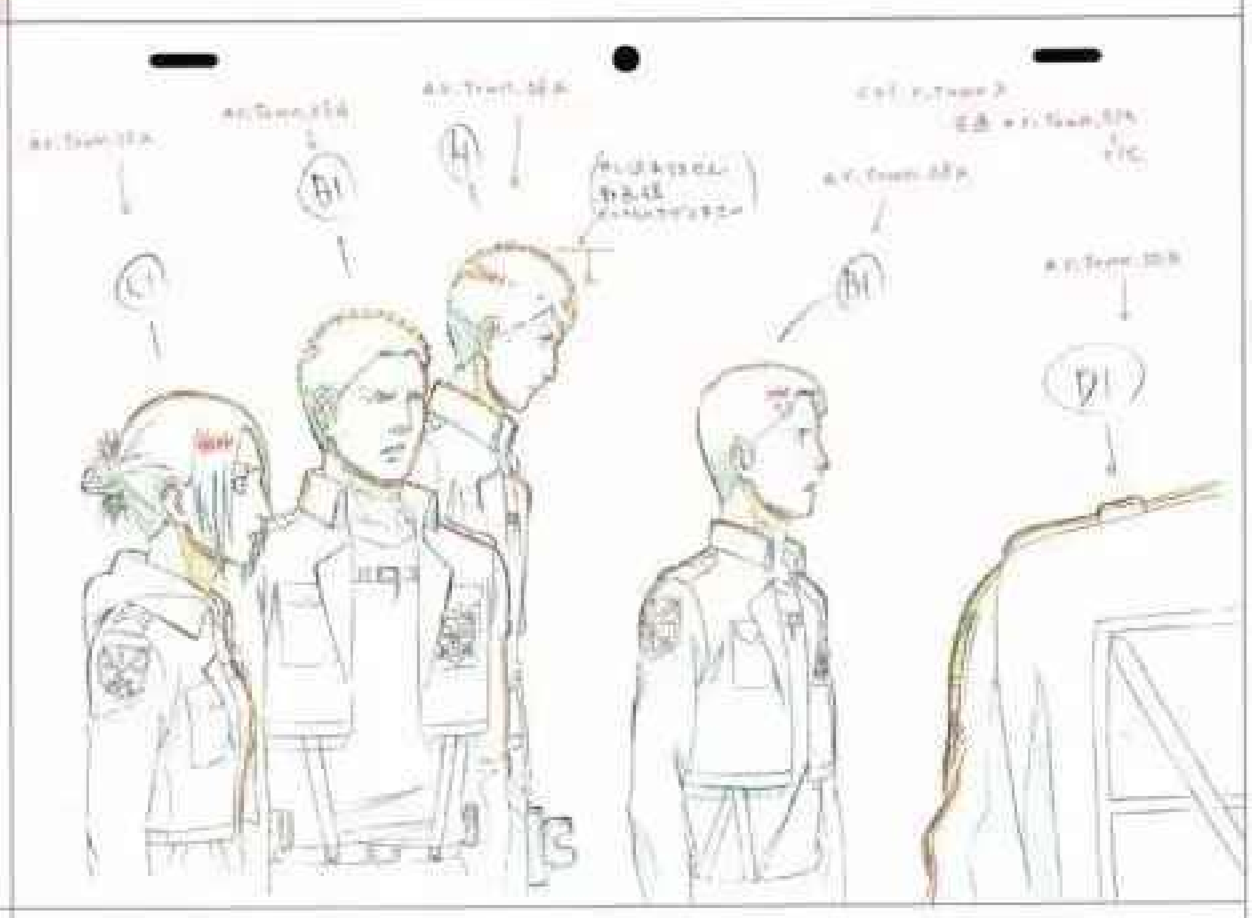

A ③

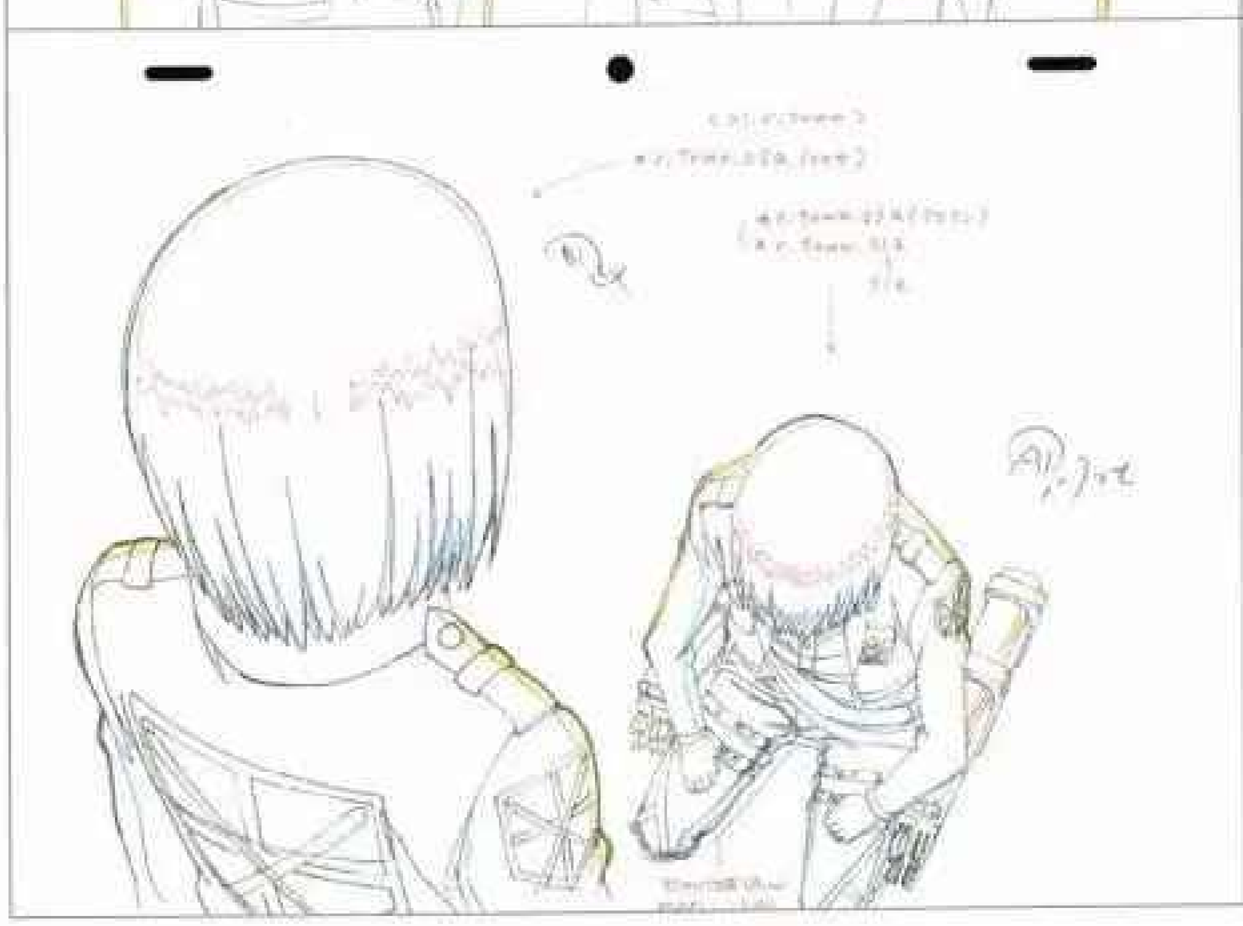

A ④

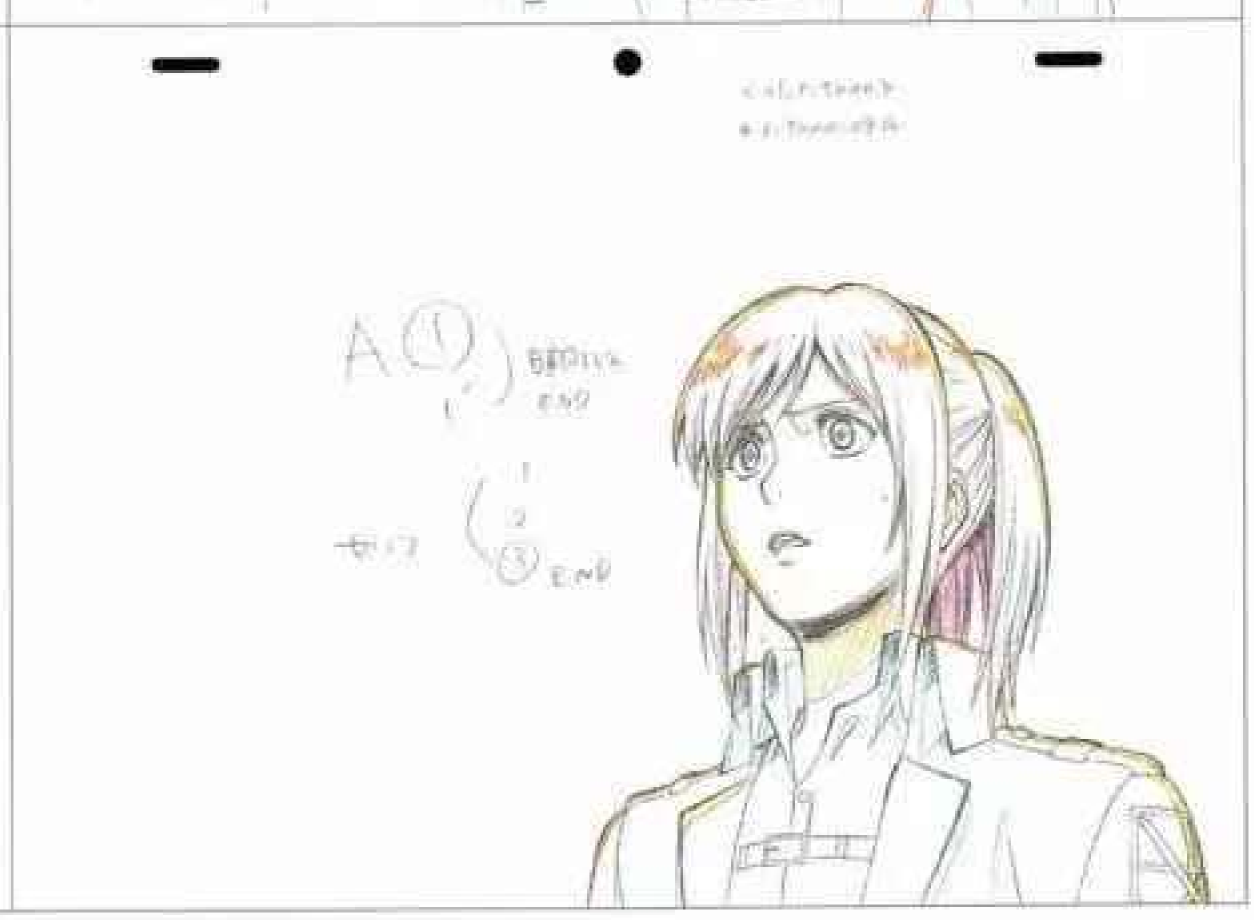

ミカサ
A ① END

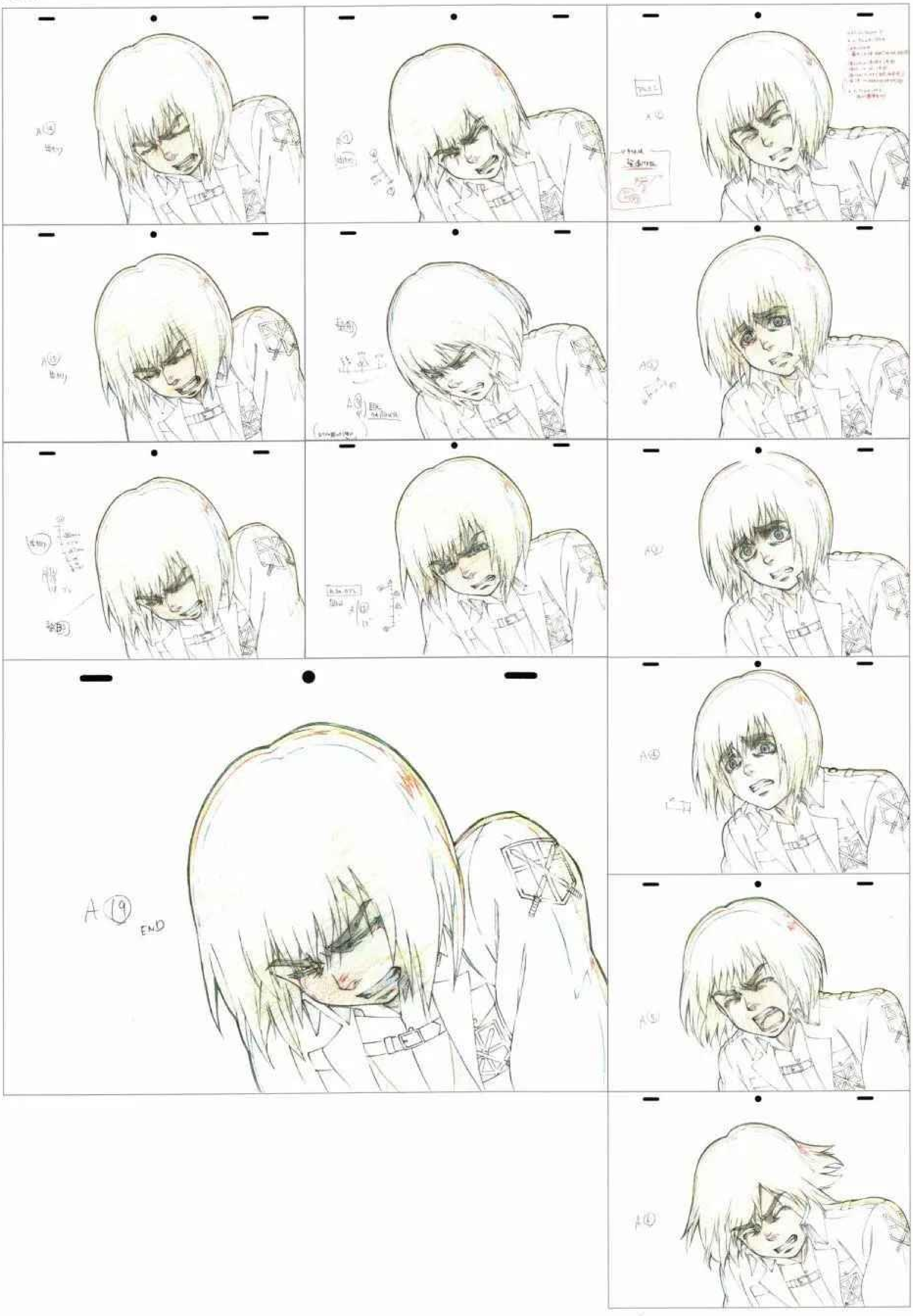


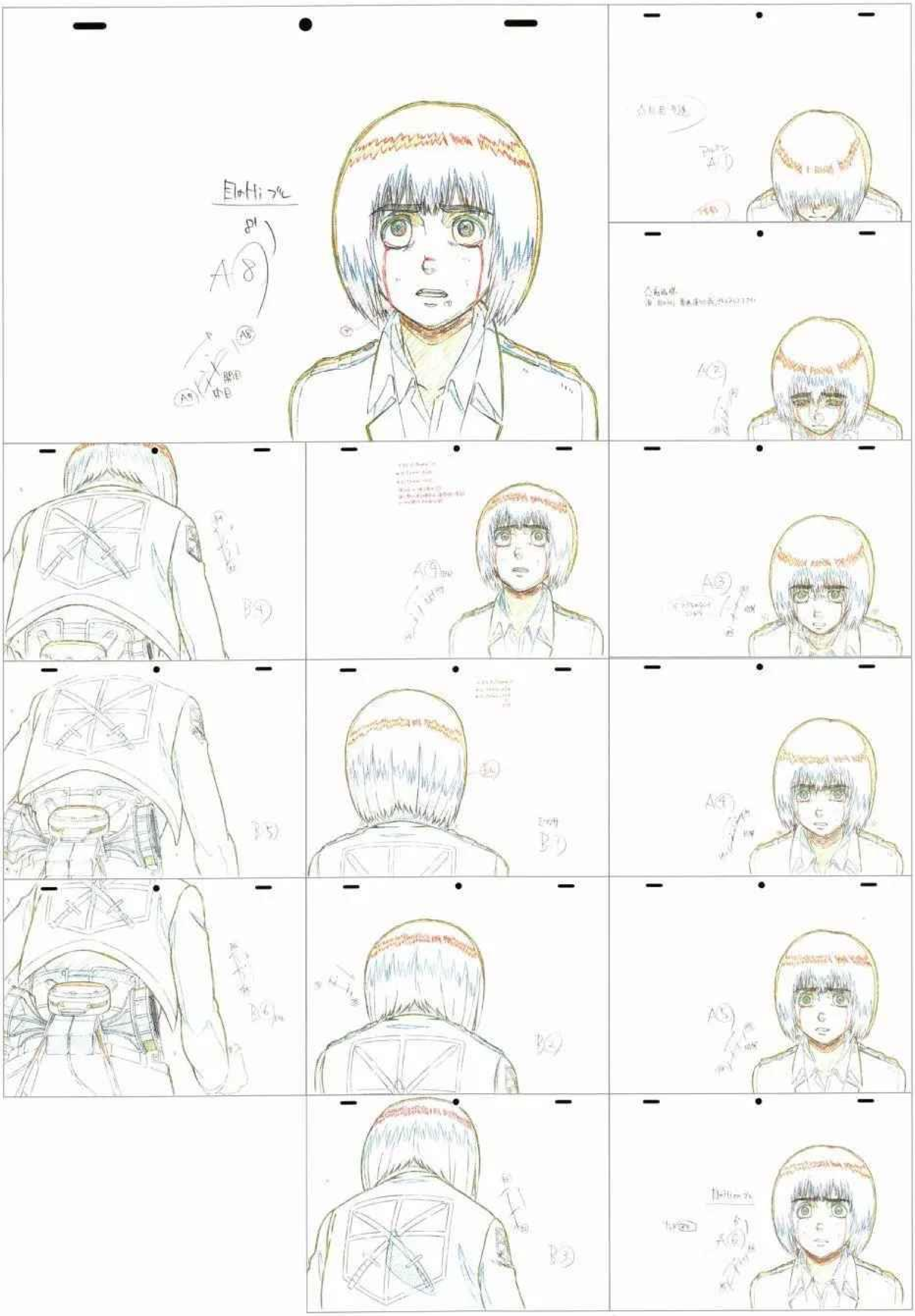




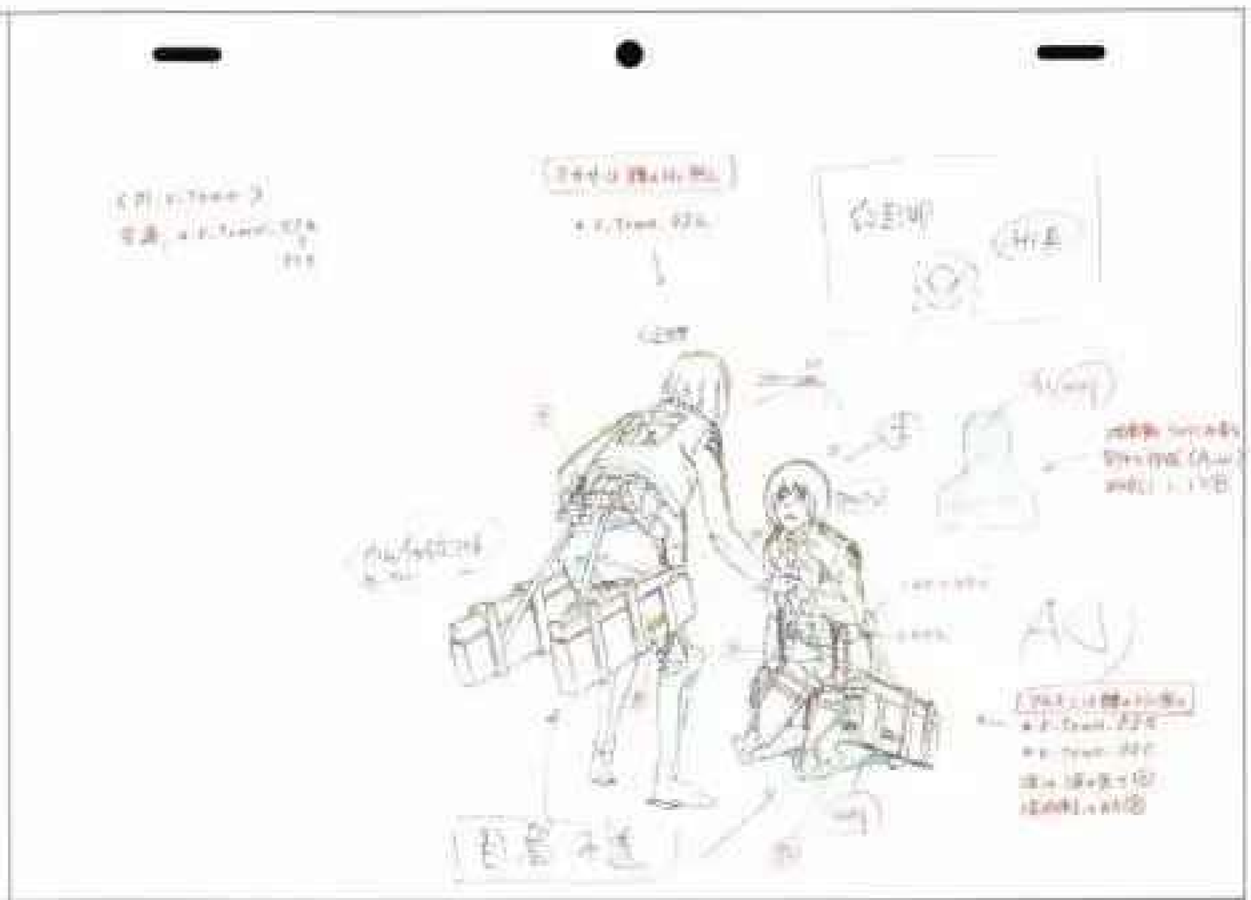



A ①
END


A⑲
END

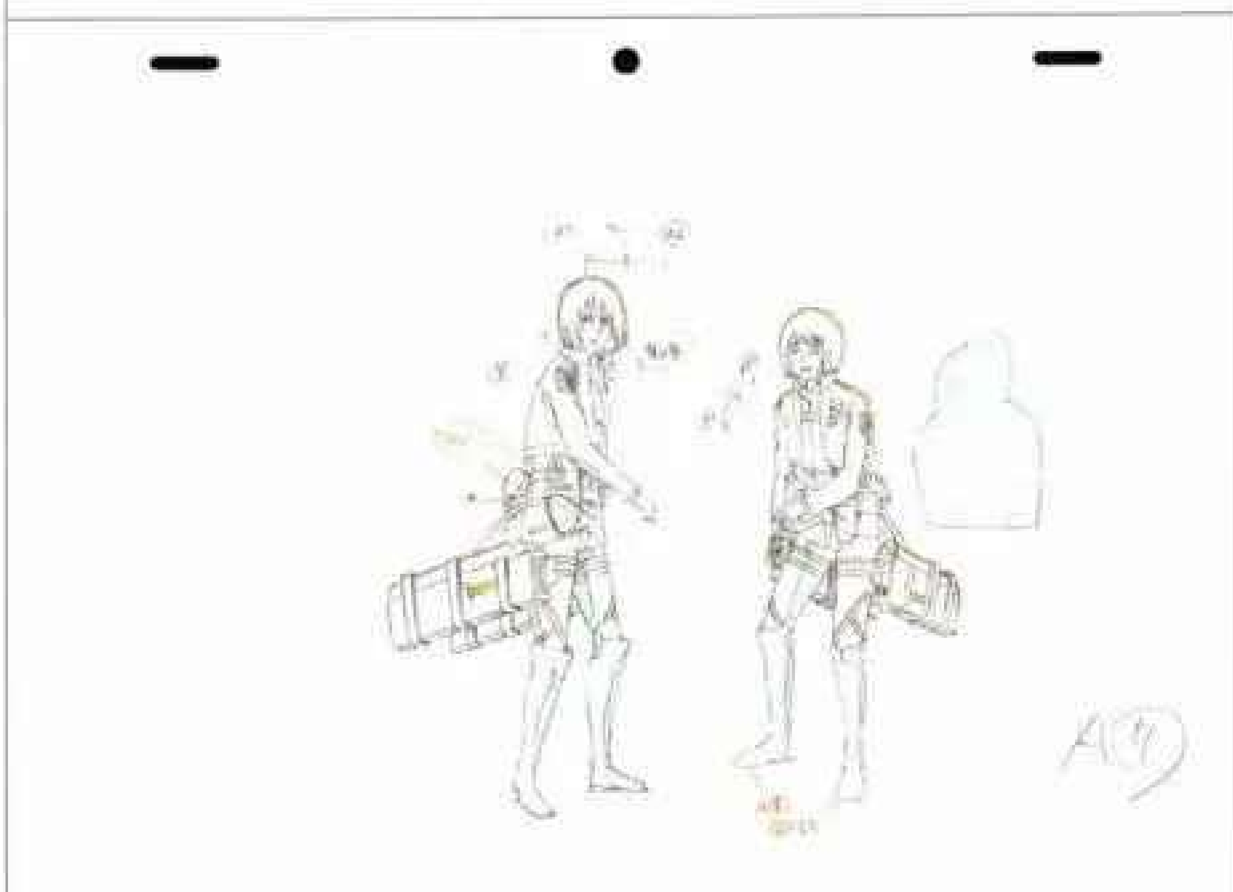












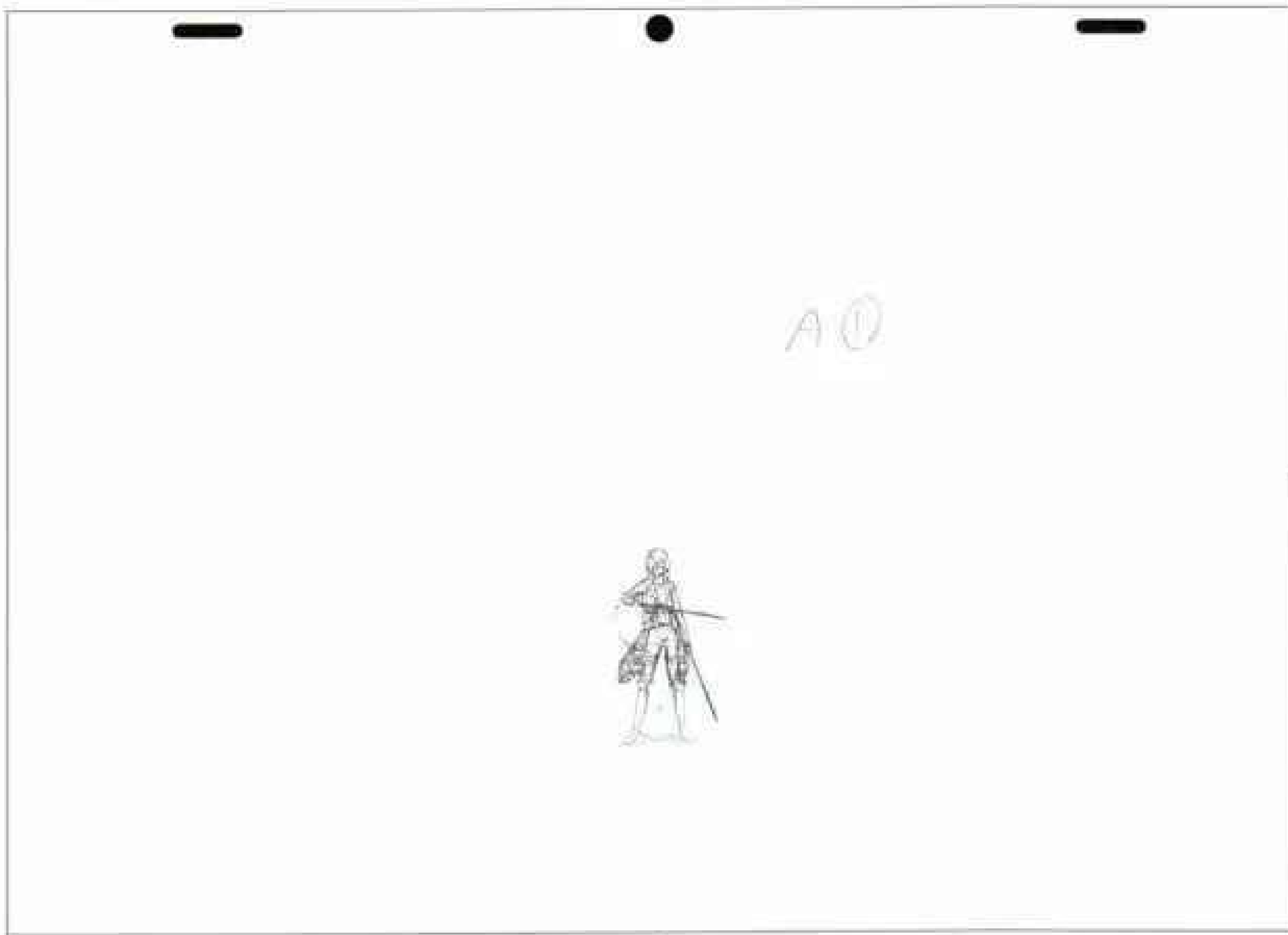


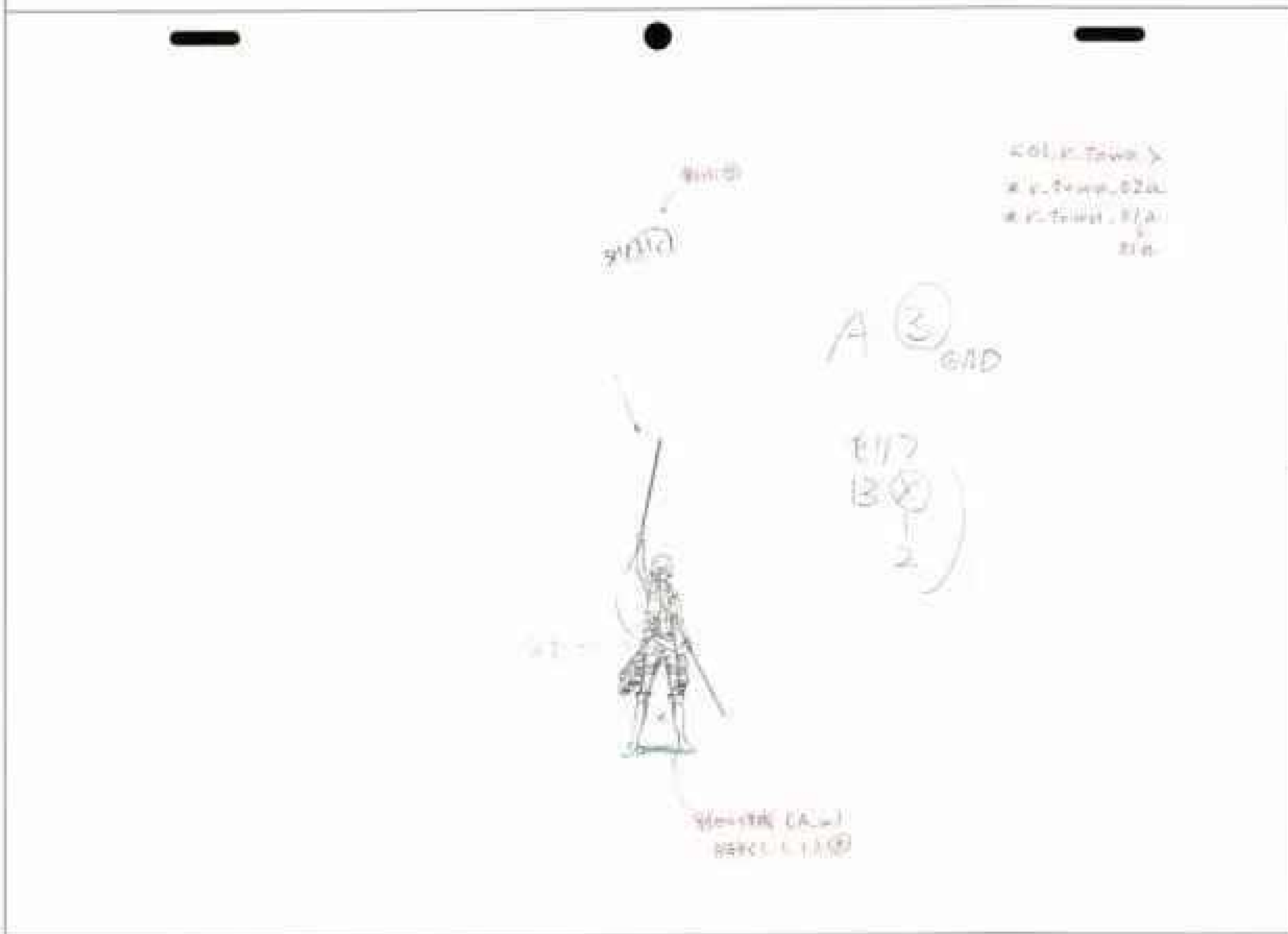


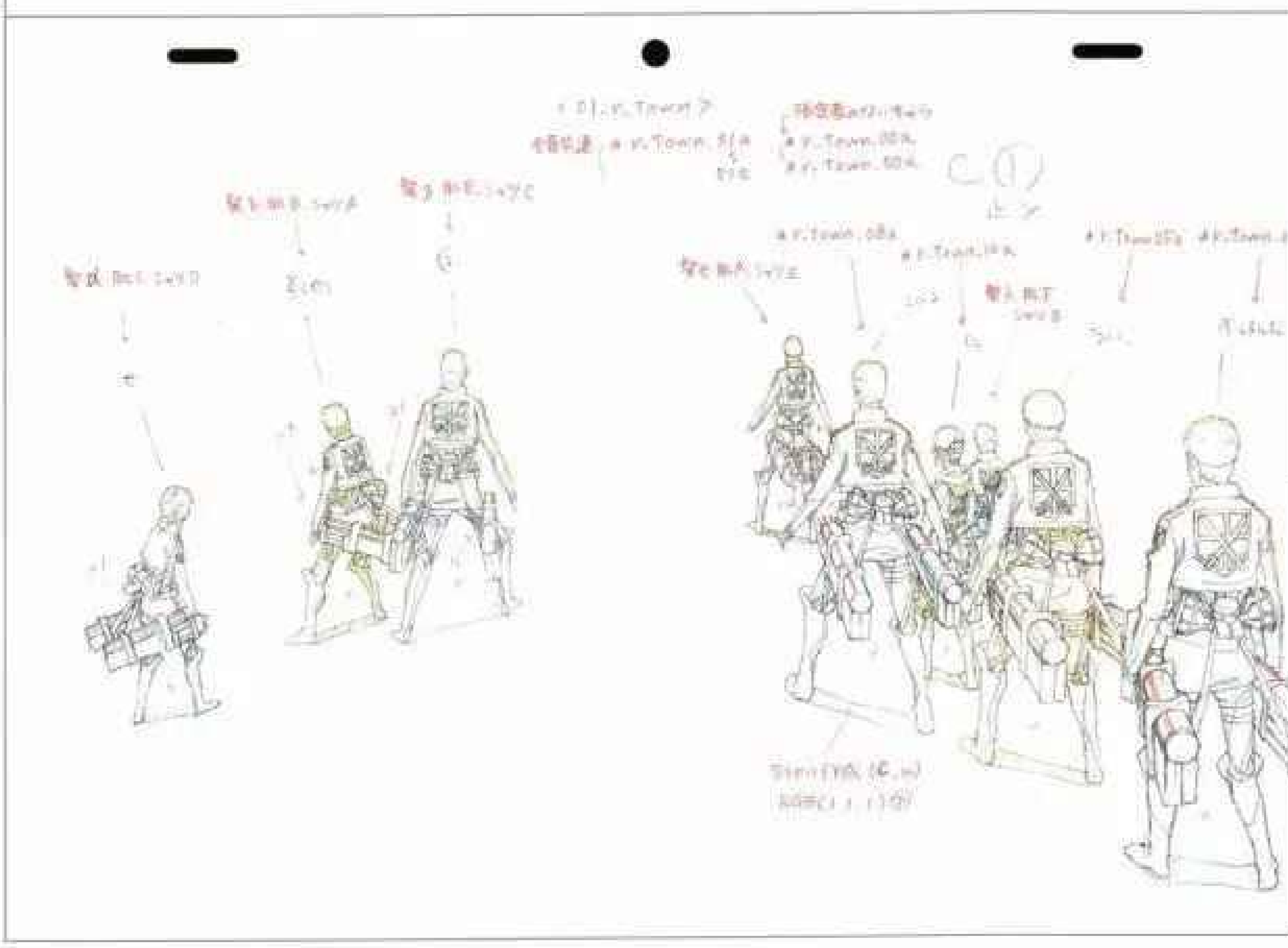


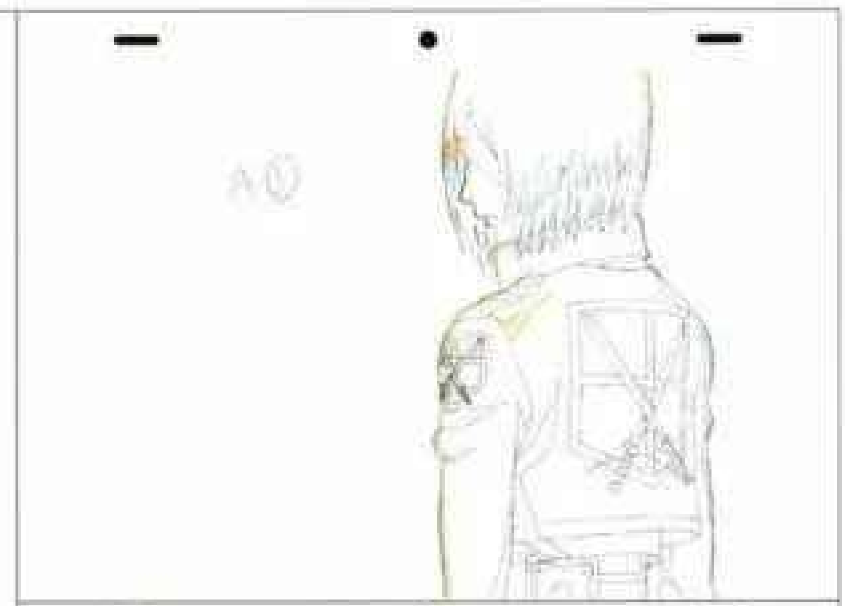
荒木哲郎コメント

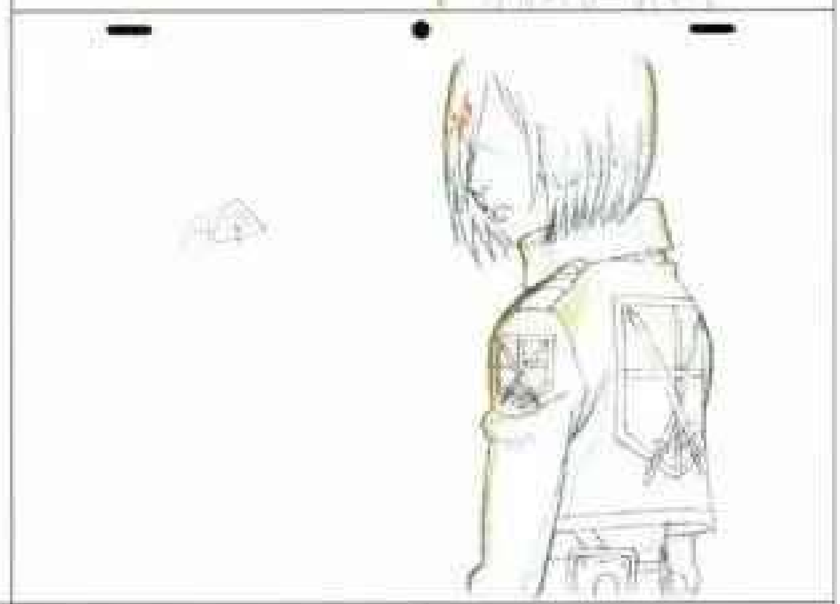
原画の脇に添えられた、動きのツメと軌道の指示が立川くんによるもの。これが的確かどうかで、動きの質は大いに変わります。
いい演出さんというのは、己のパッションを表現するために、画面内のあらゆる細かい事象をコントロールする技術をも持ち合わせているものなのです。


A①

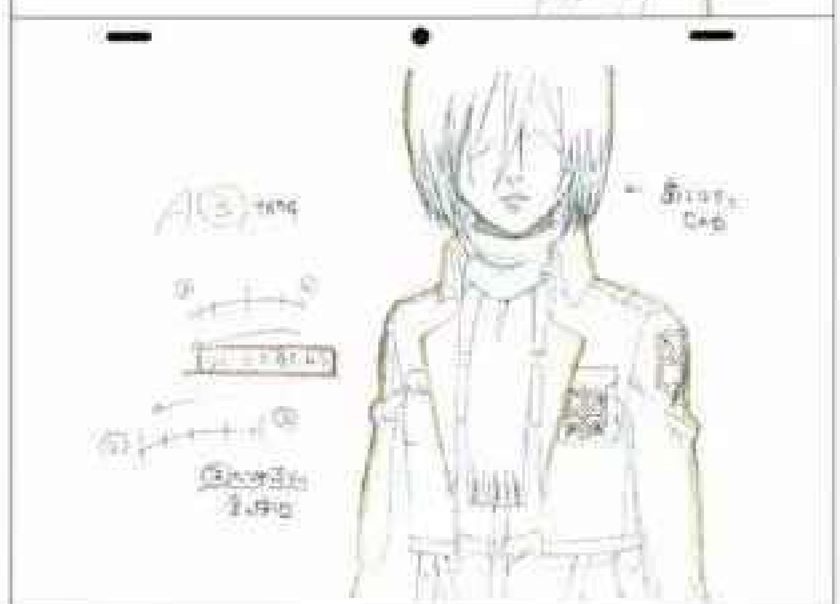

A②

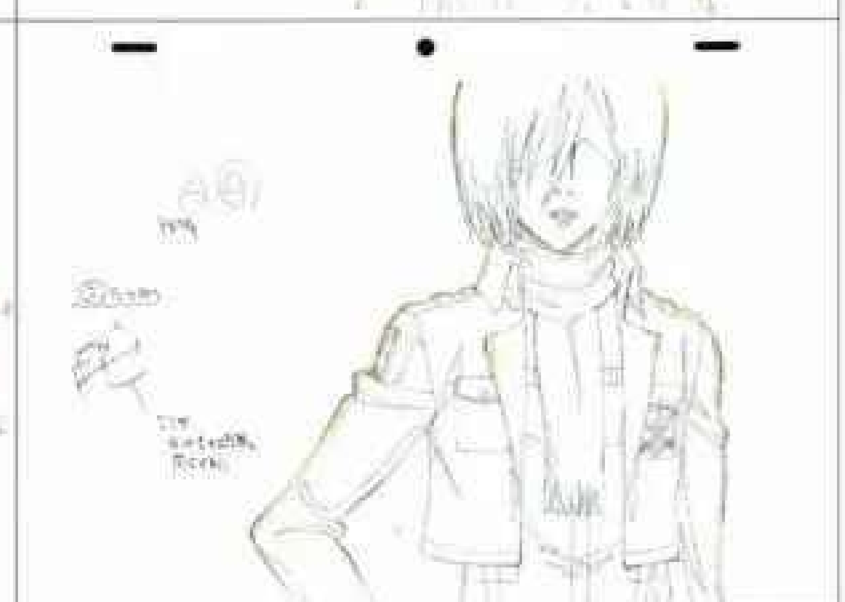

C①

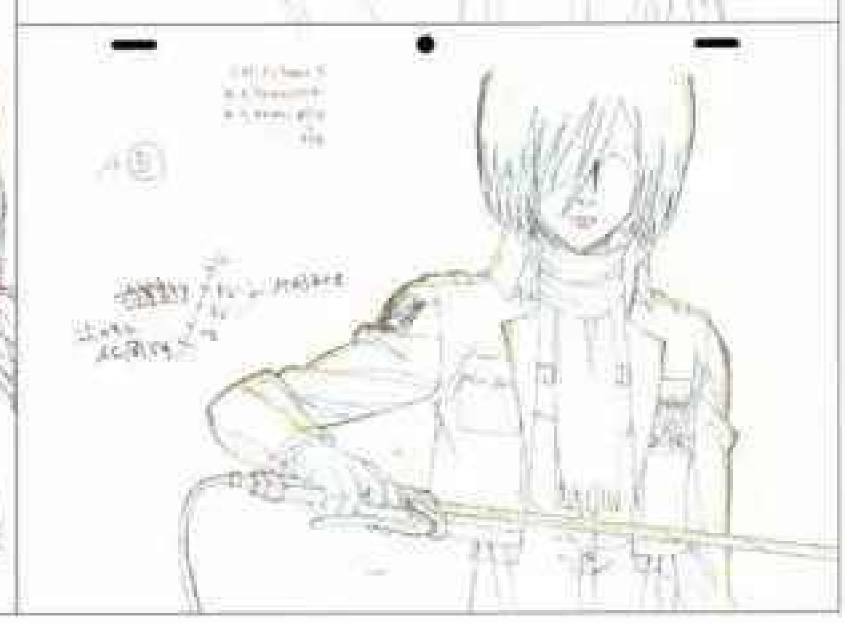


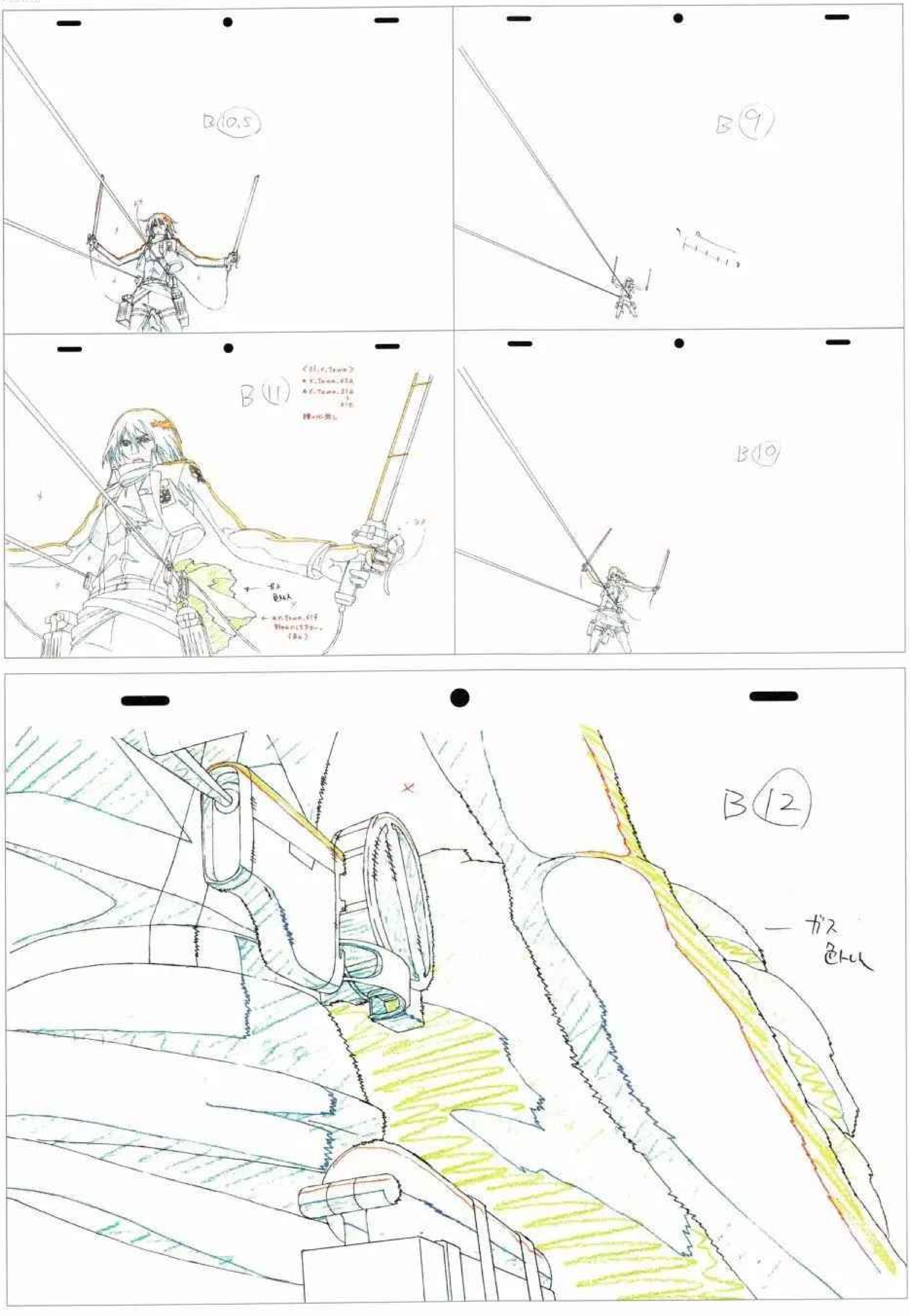




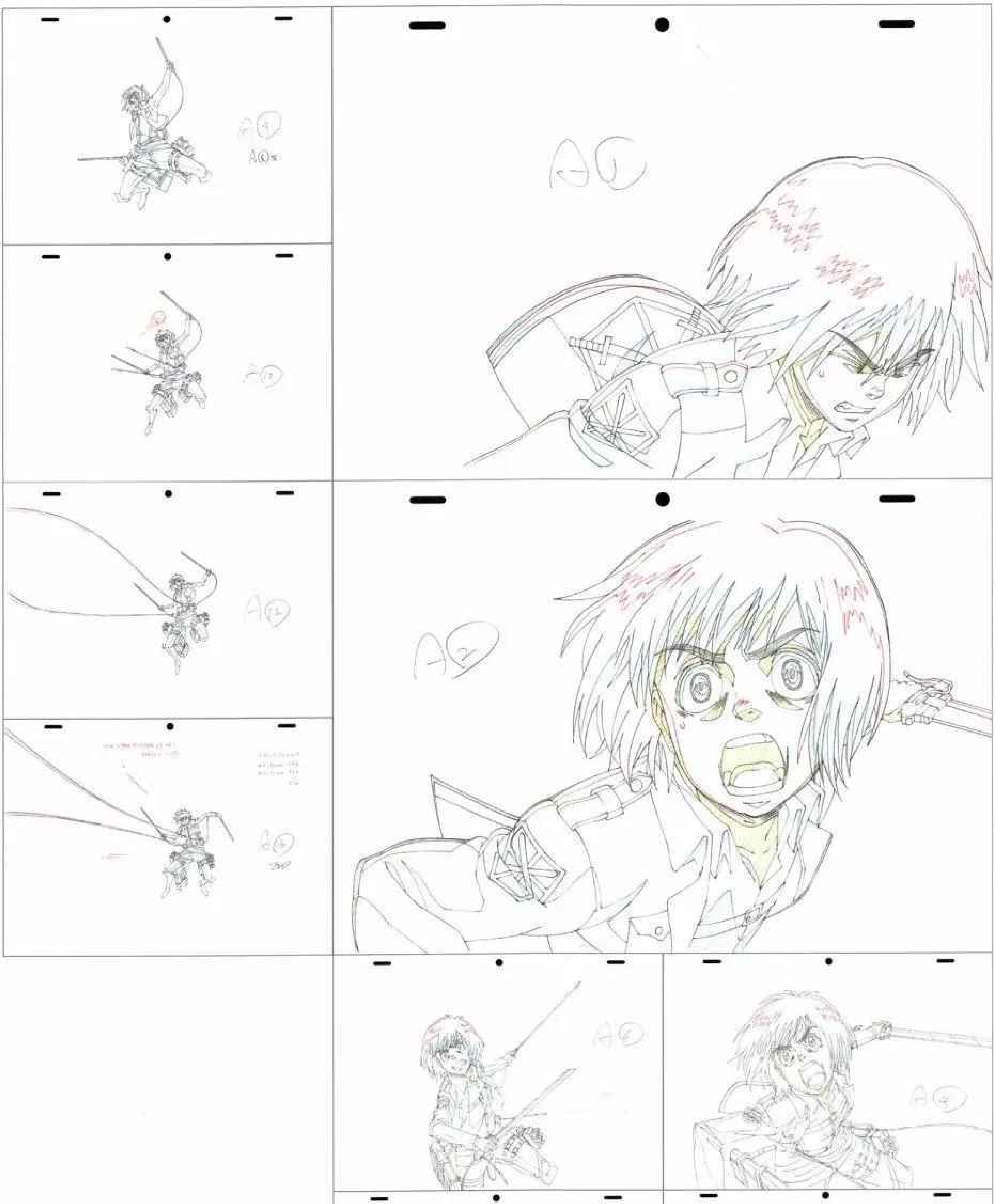


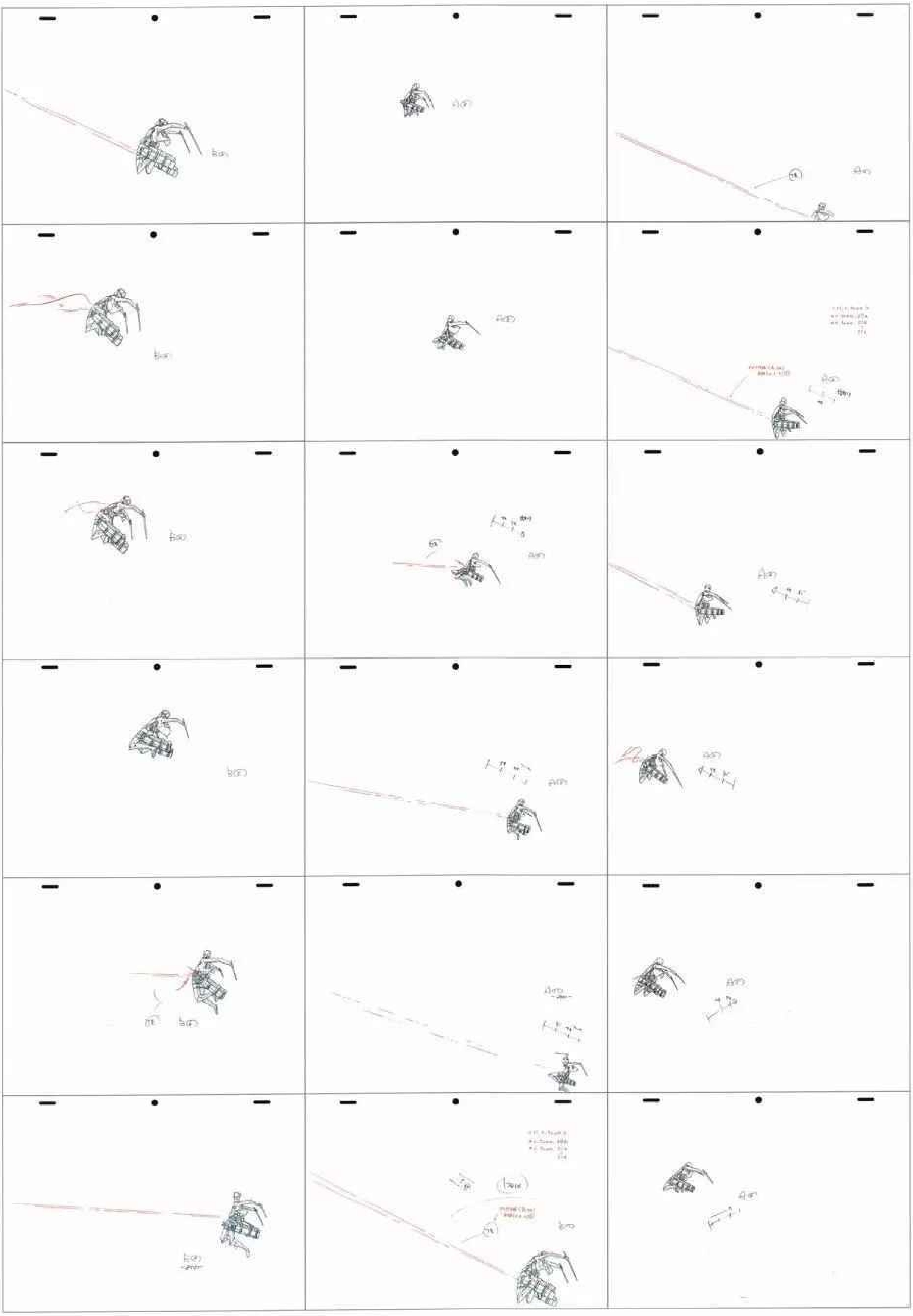


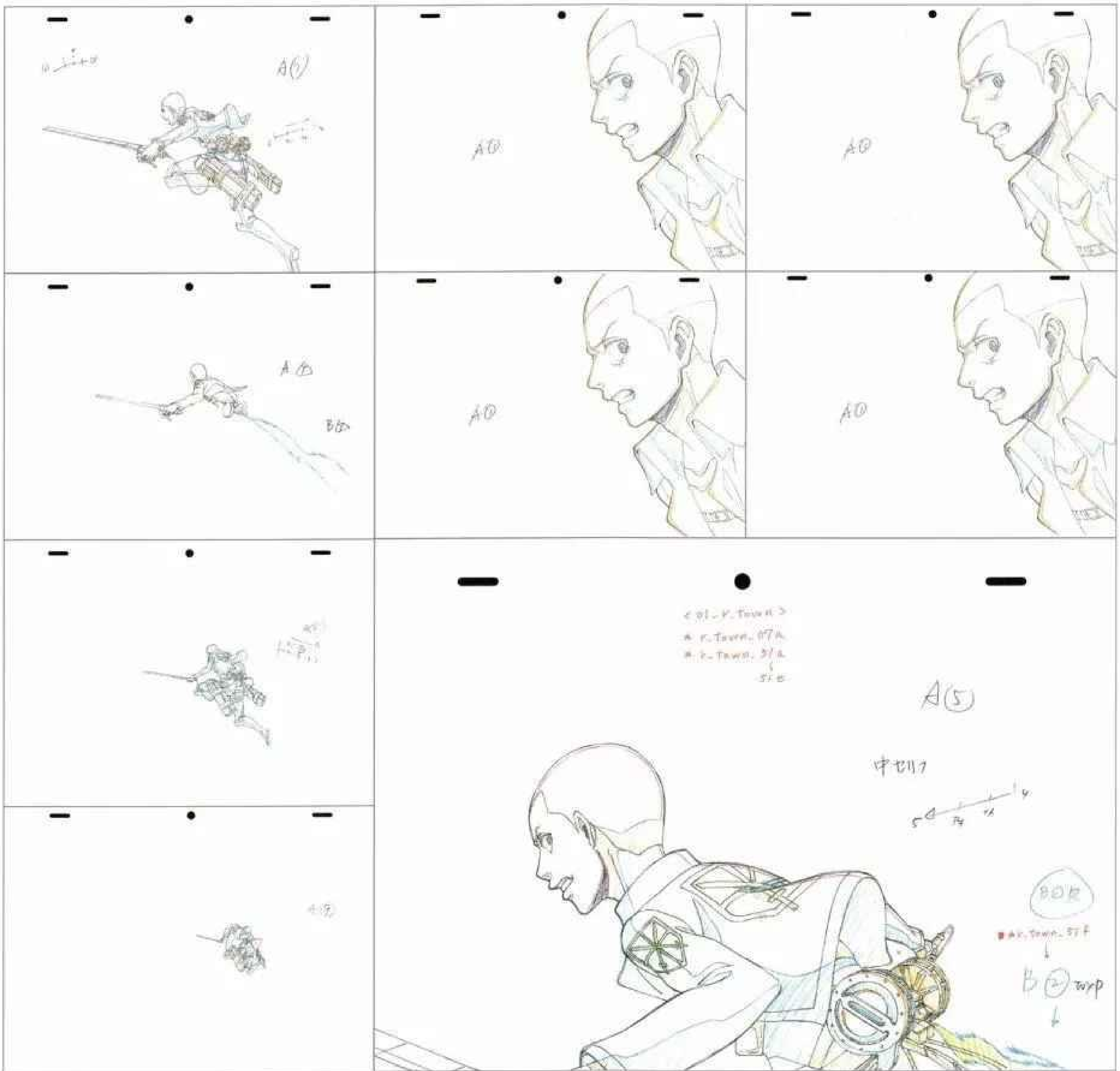



B 10.5
B 9
B 11
ガス 色トレス
B 10
B 12
ガス 色トレス





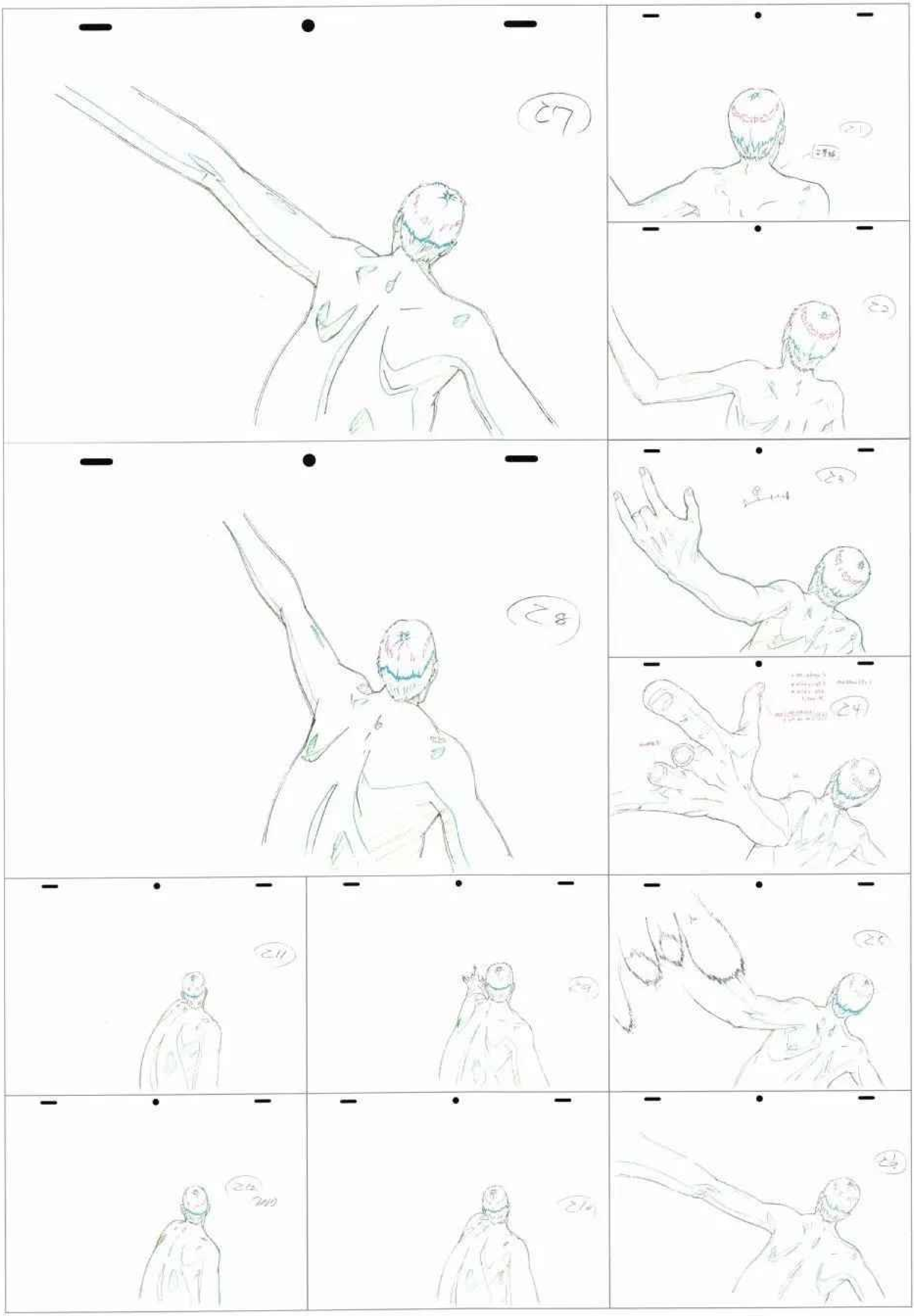




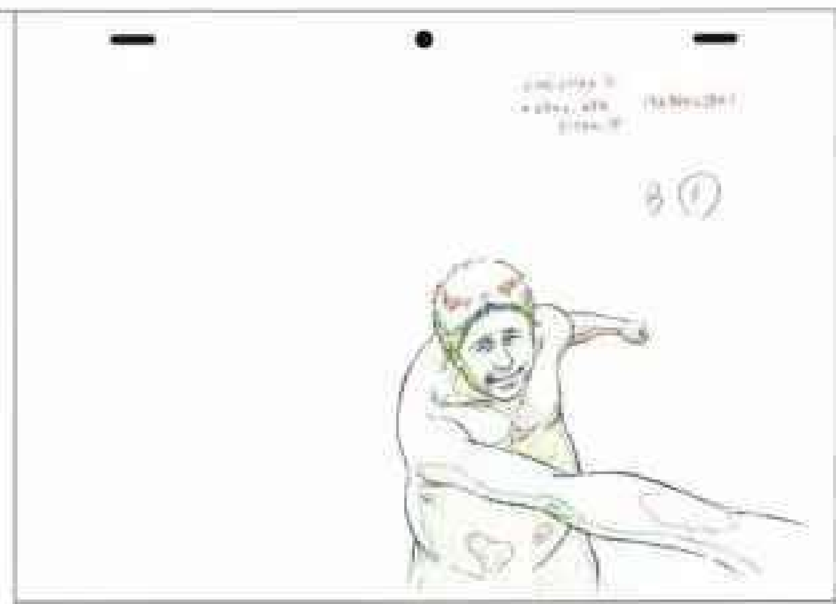


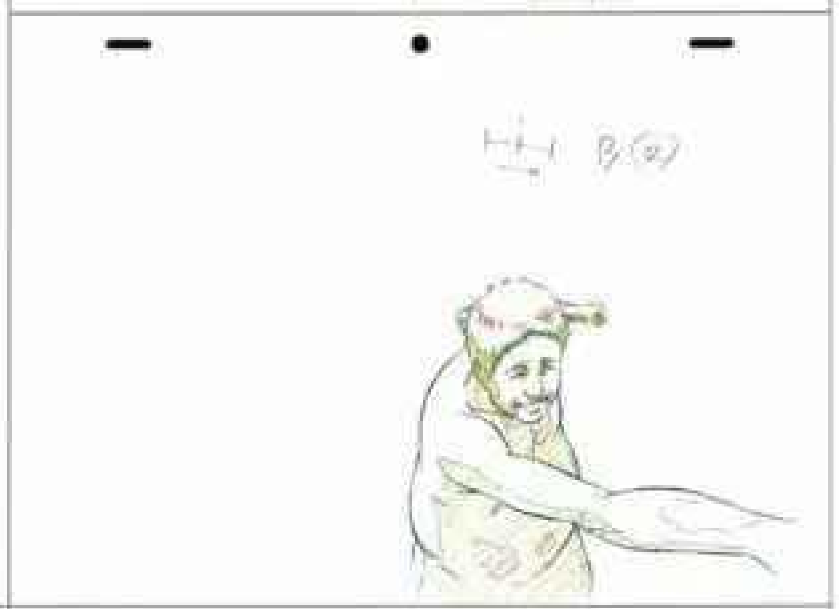
荒木哲郎コメント

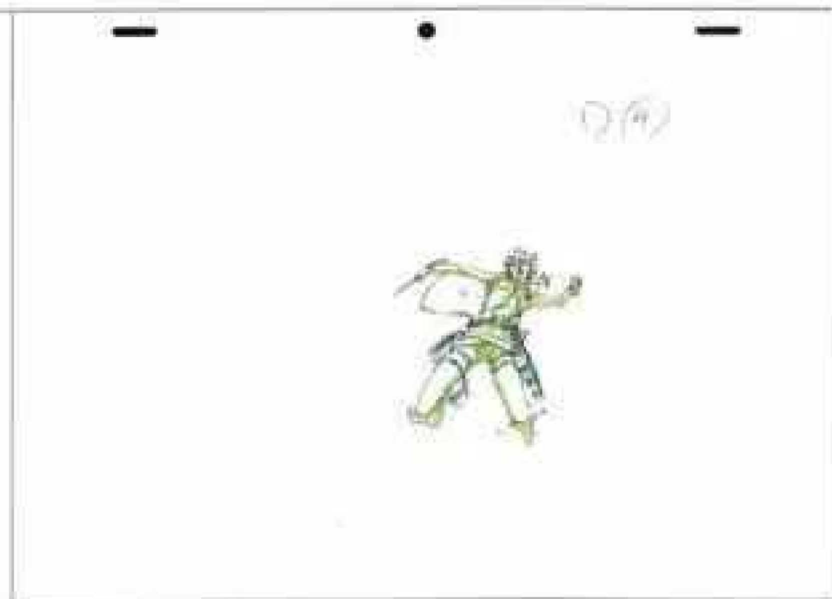
キャラの立体機動時、奥の建物を何段もスピードを変えて引き（密着引き、という技法）、場合によっては上下のスライドも加味してクレーン感をも加味する。ローカロリーな技法ながら効果は絶大で、自分もこれをお手本に、その後の話数で真似しました。

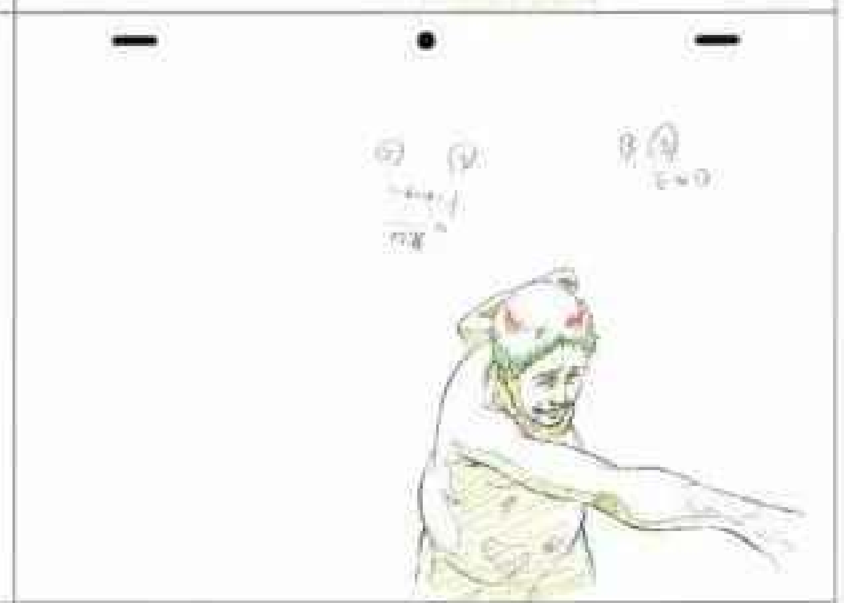


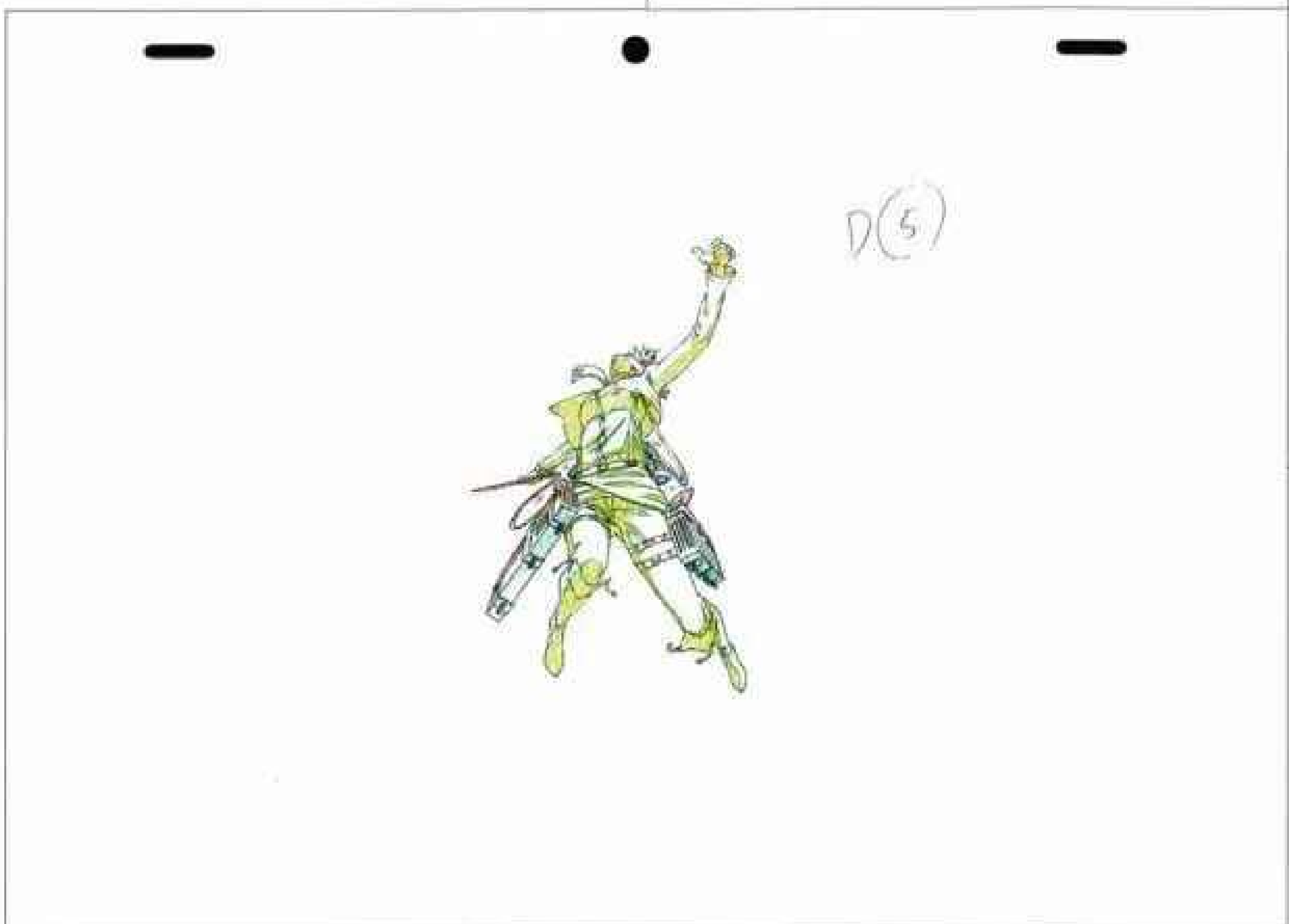




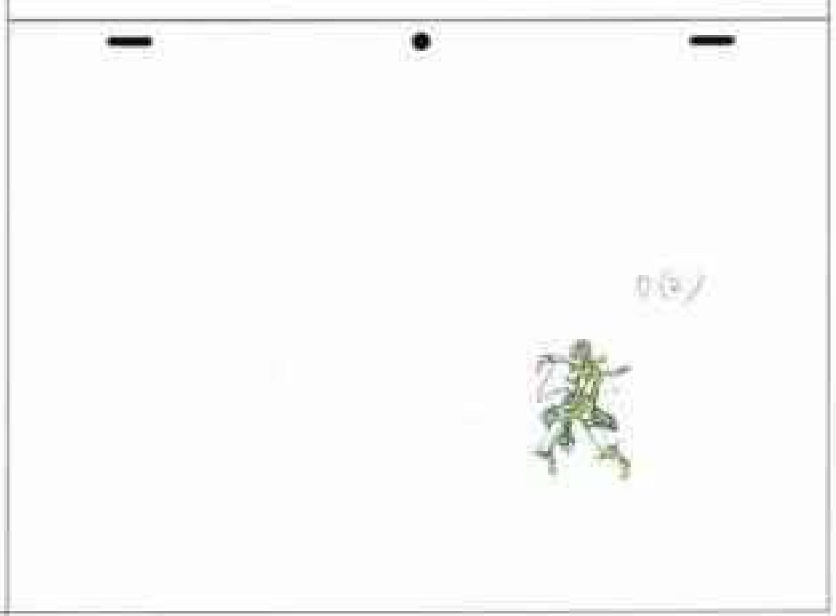






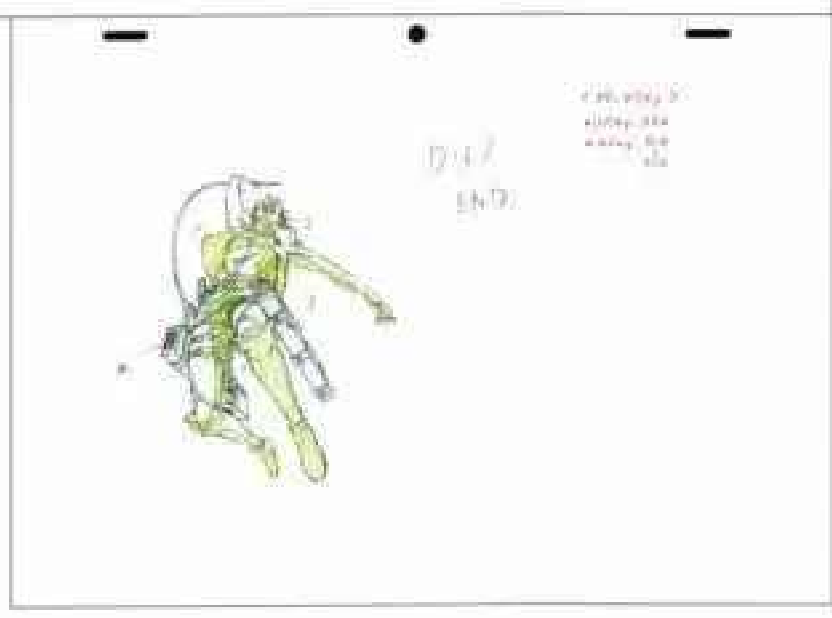


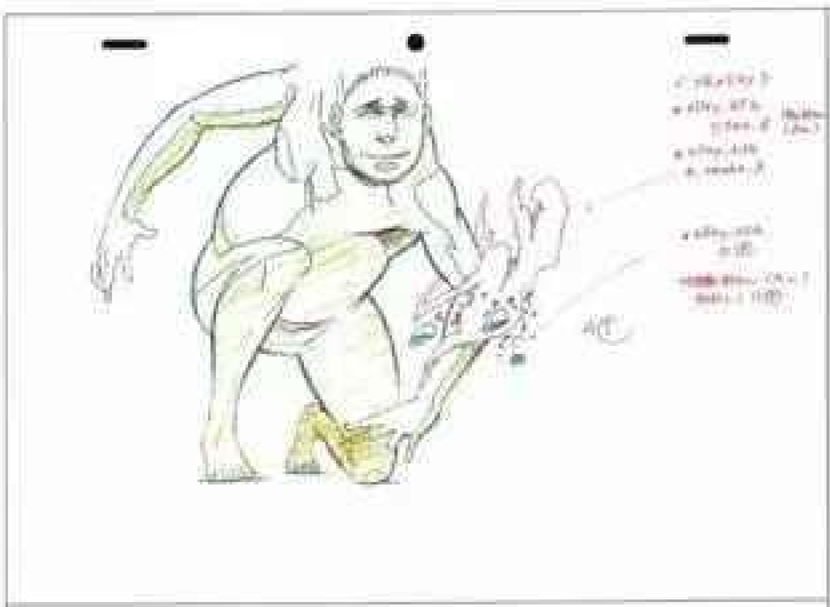




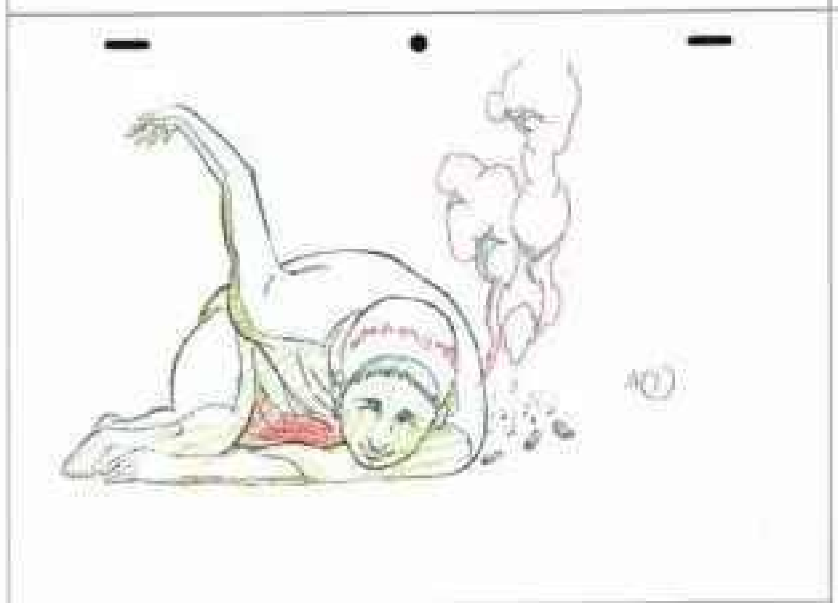
荒木哲郎コメント

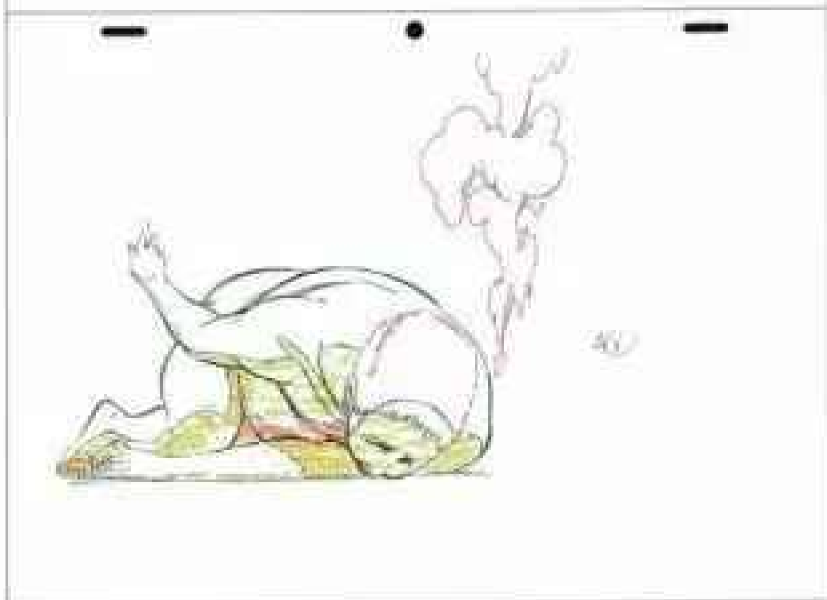
この辺のアクションは、巨人デザインの千葉さんによるものと思いますが、ステップを踏むミカサのタイミングがすごく気持ちいい、とずっと思っていました。直接言えばいいのですが。（今も見えるところにいるのに）

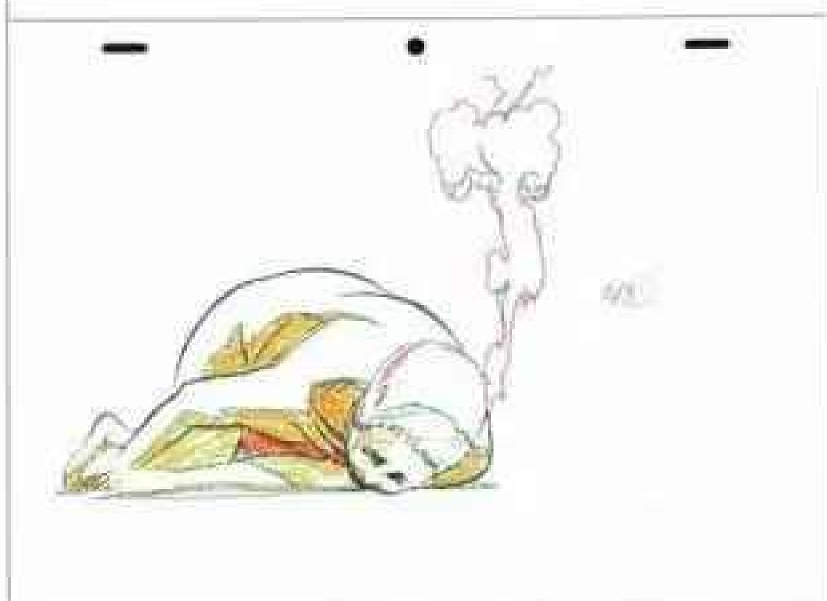


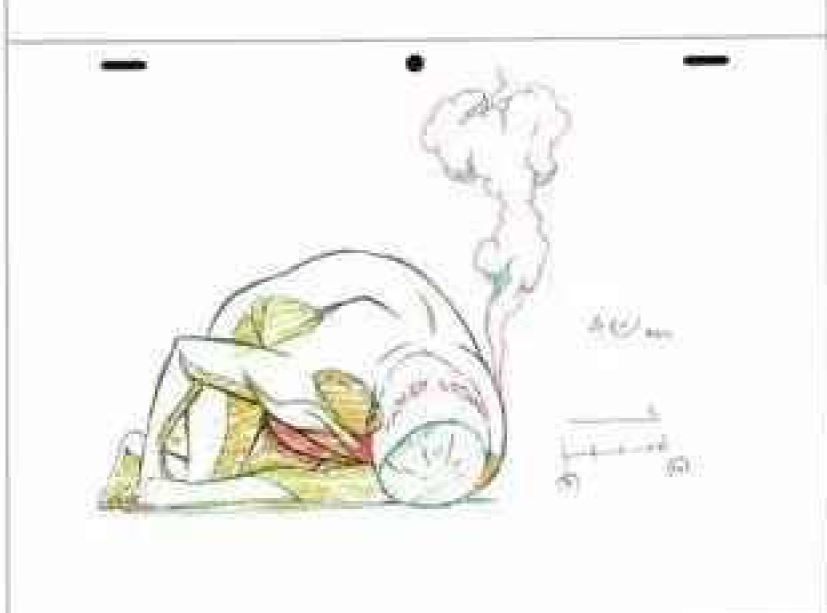


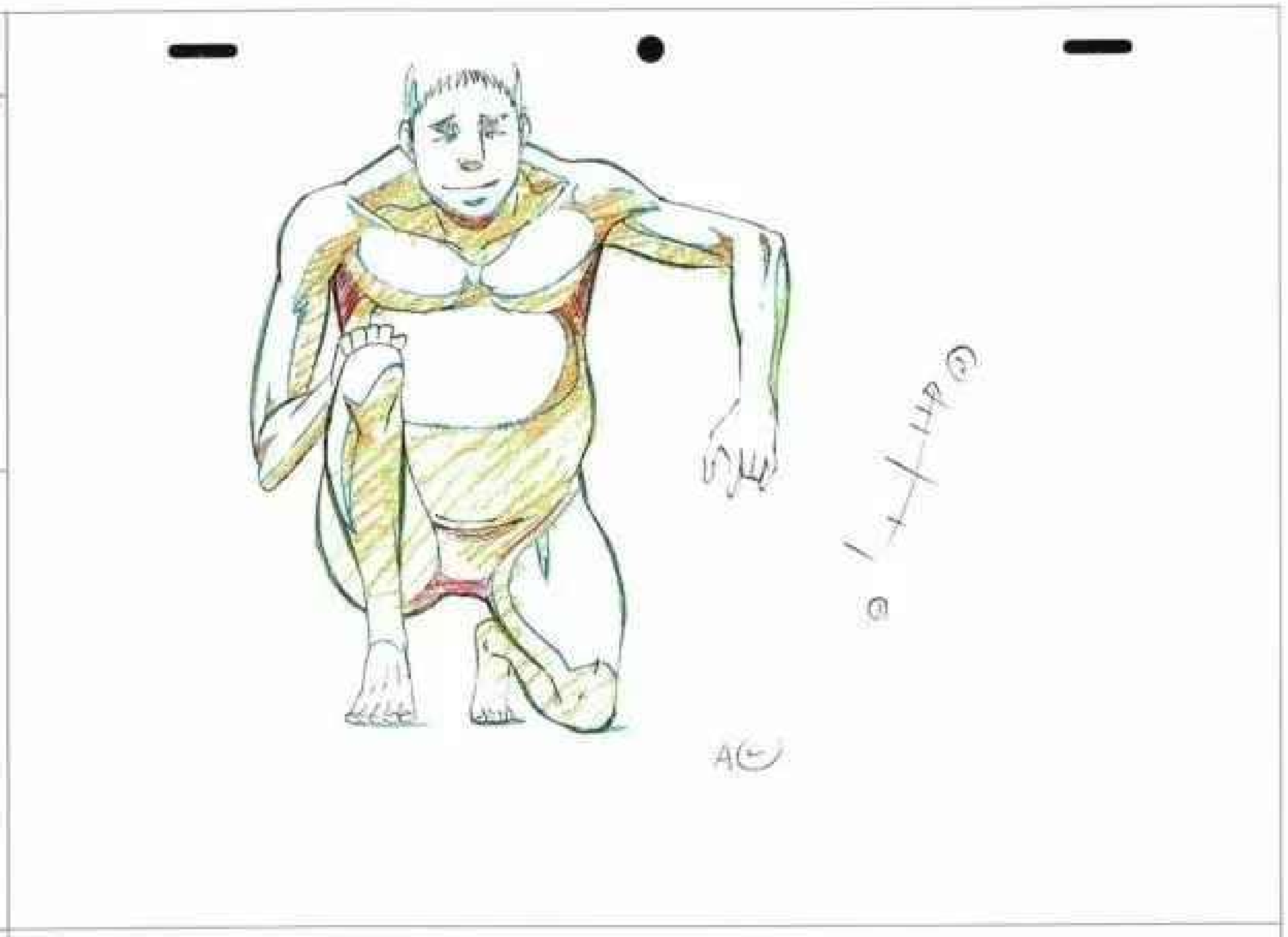


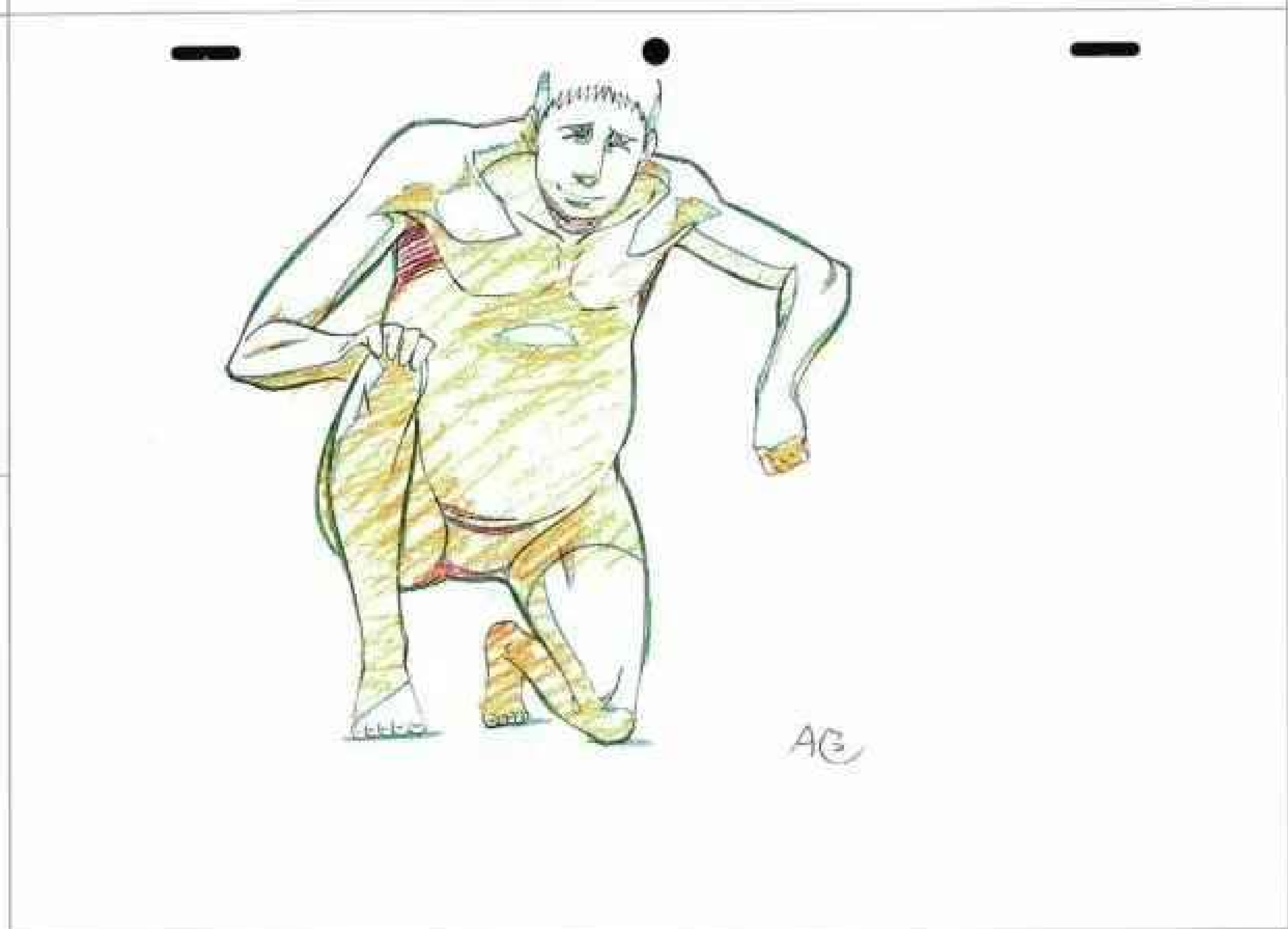


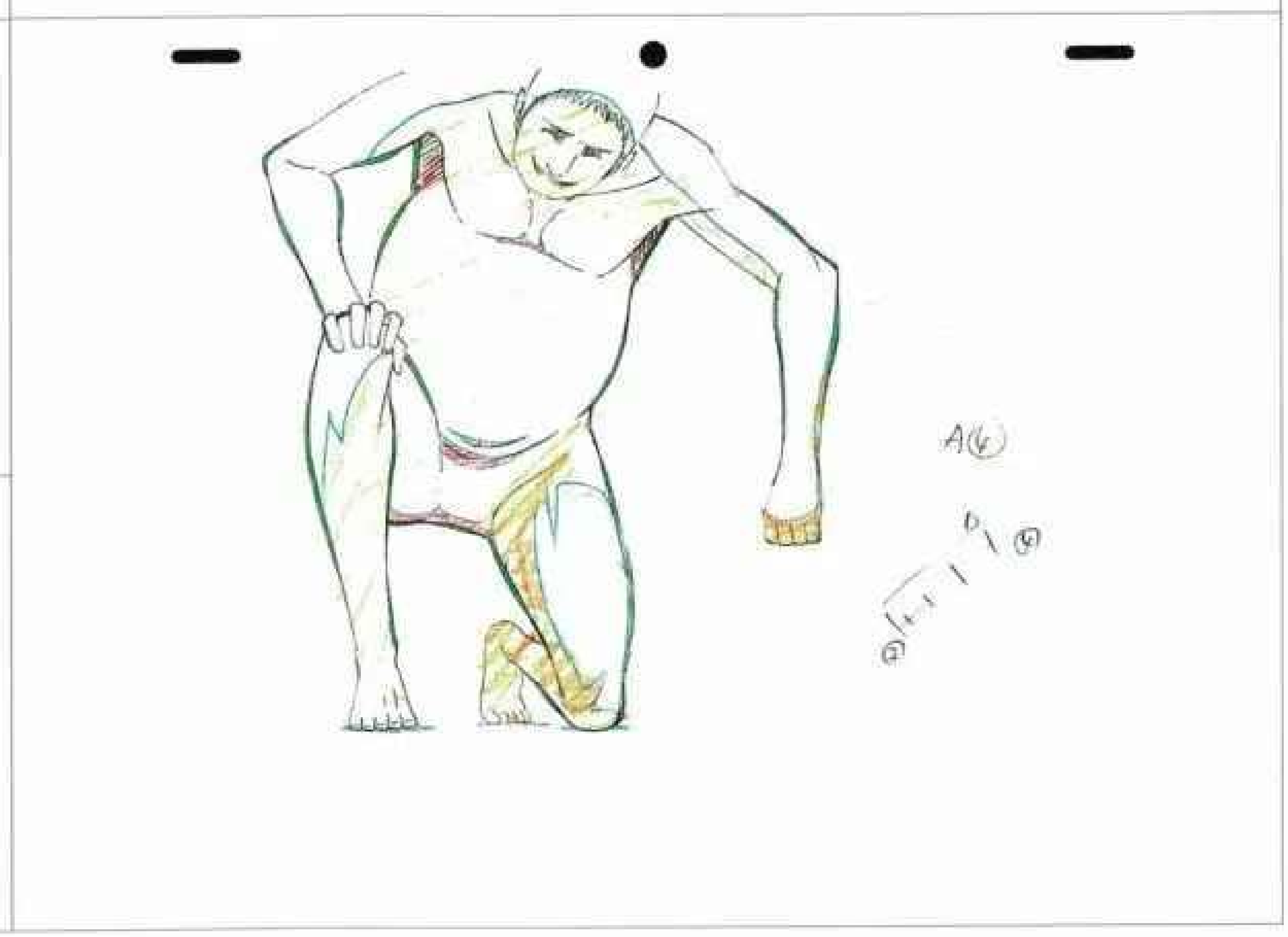


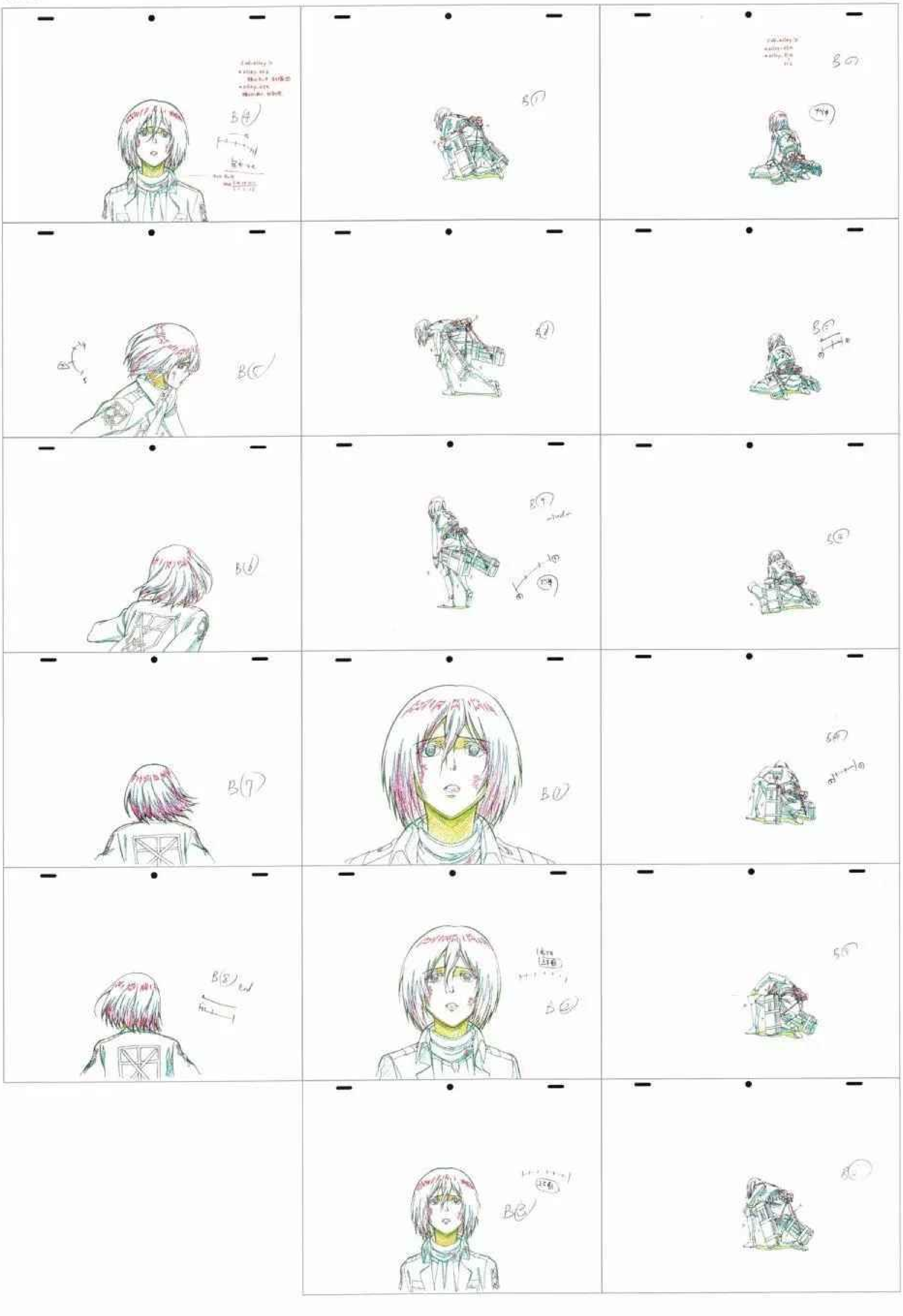


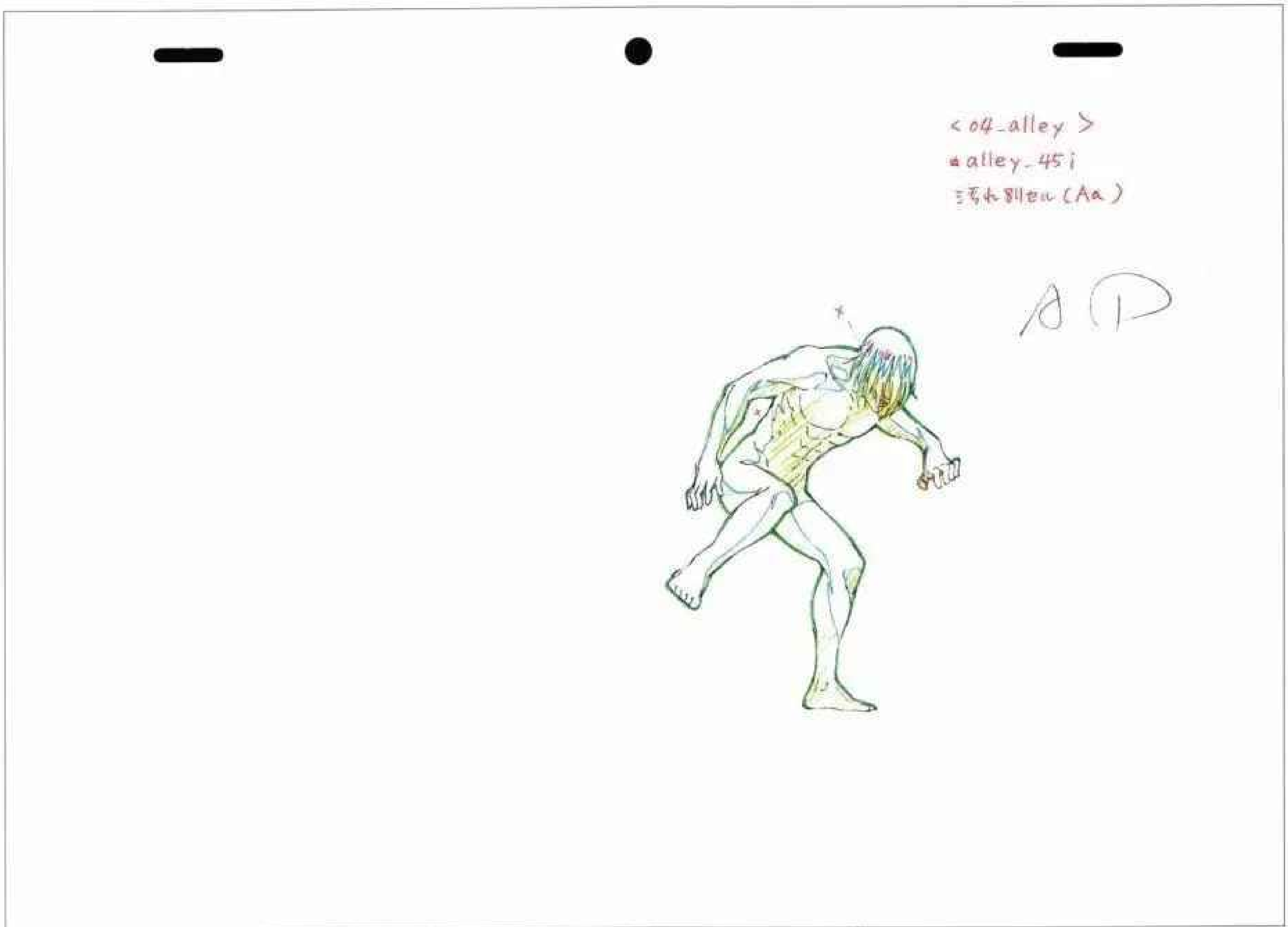


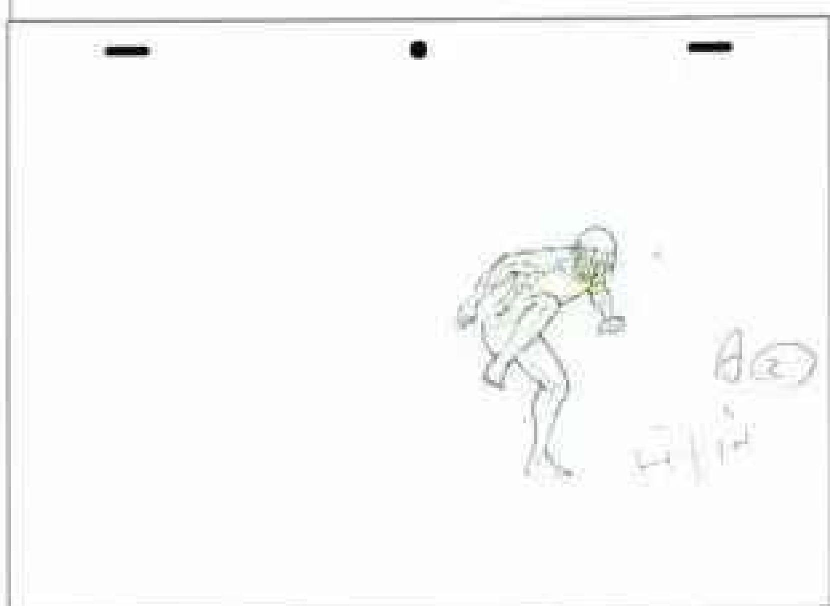


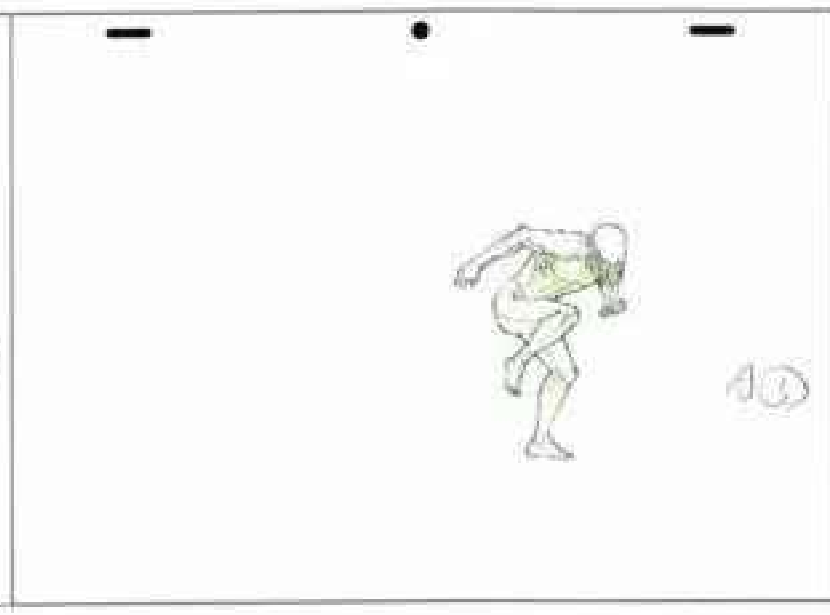


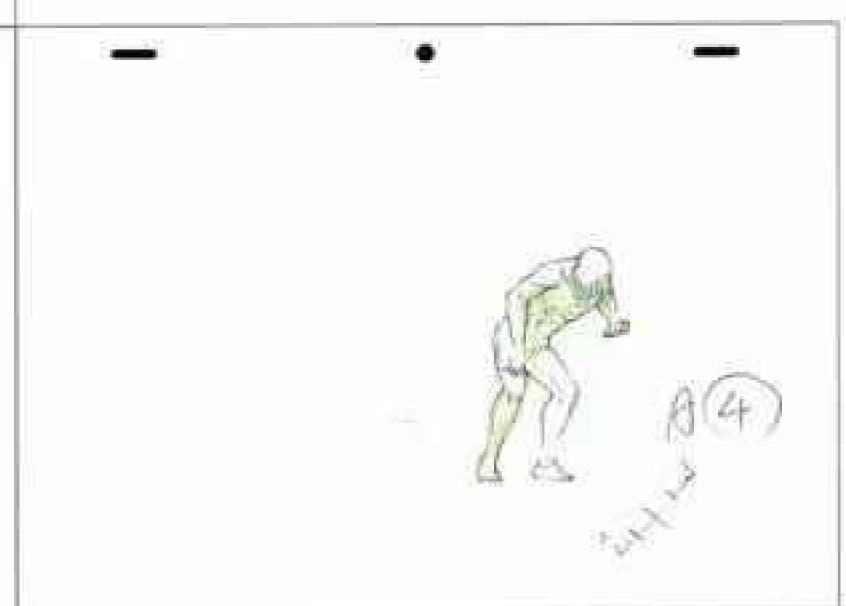


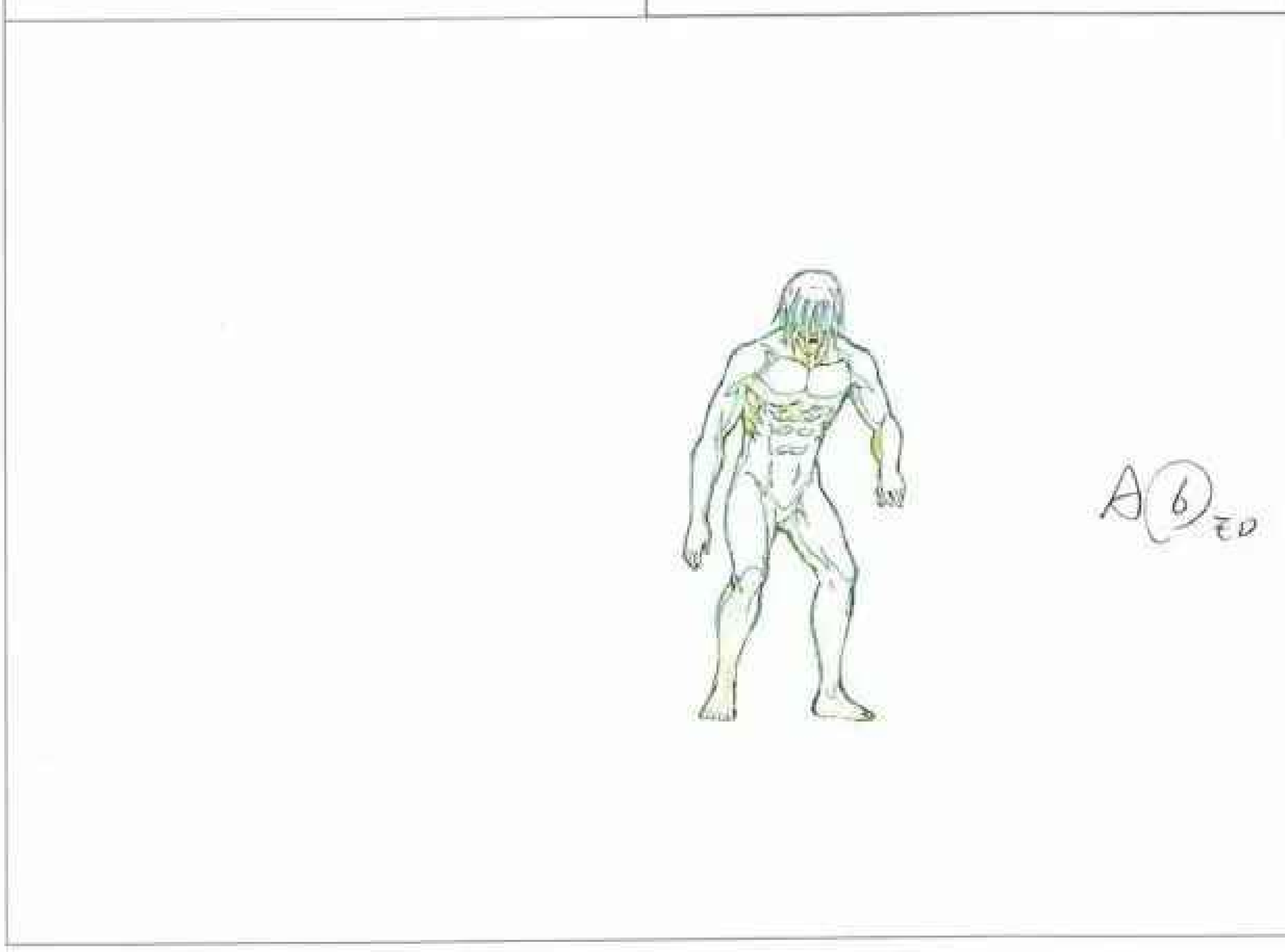


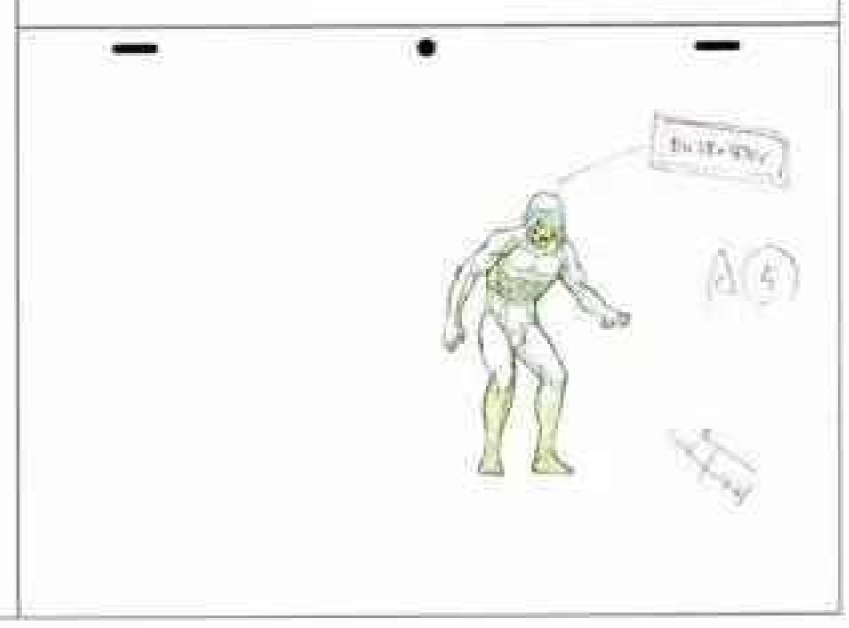

< 04_alley >
#alley_45i
汚れ別セル(Aa)
A 1

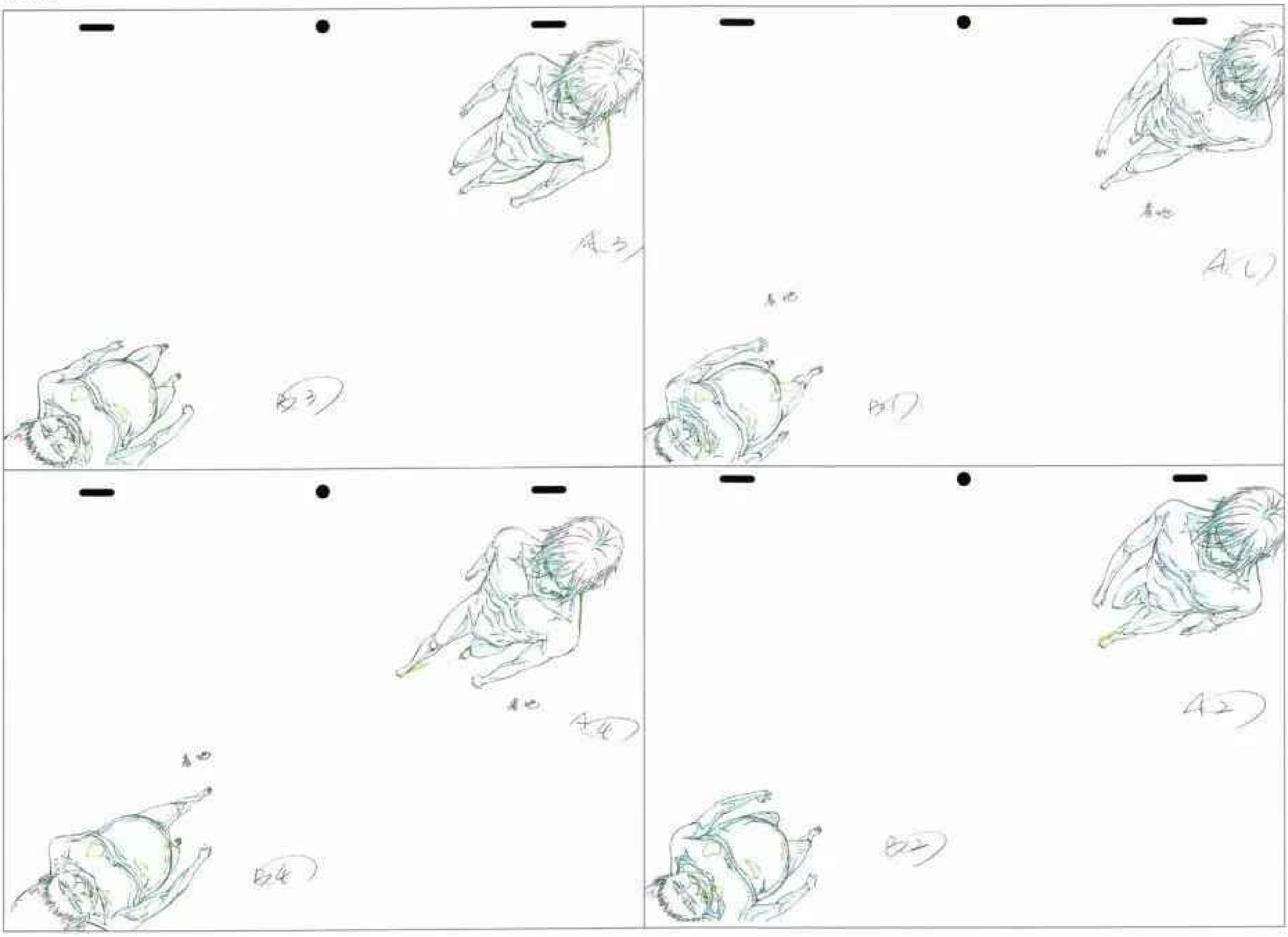


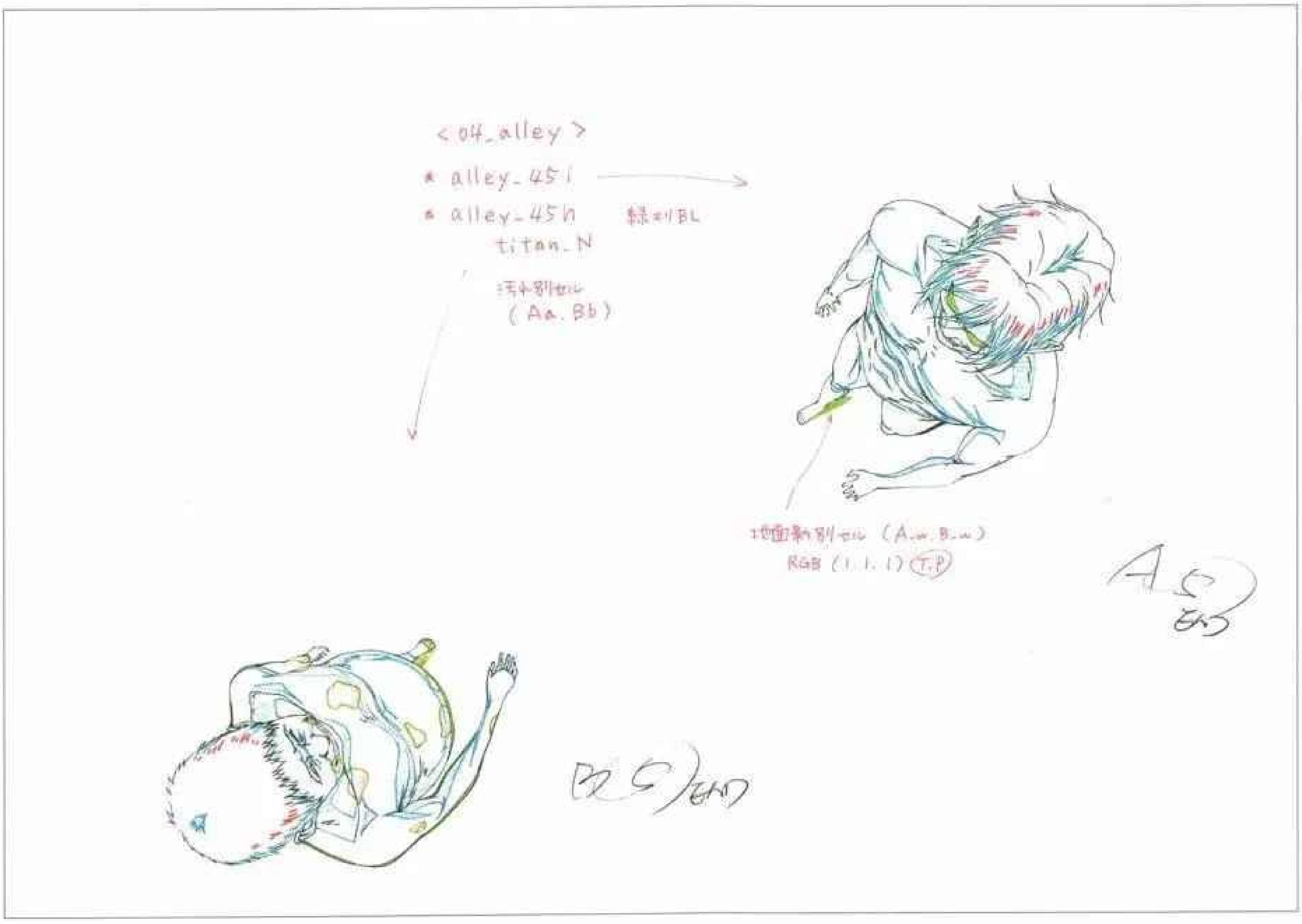






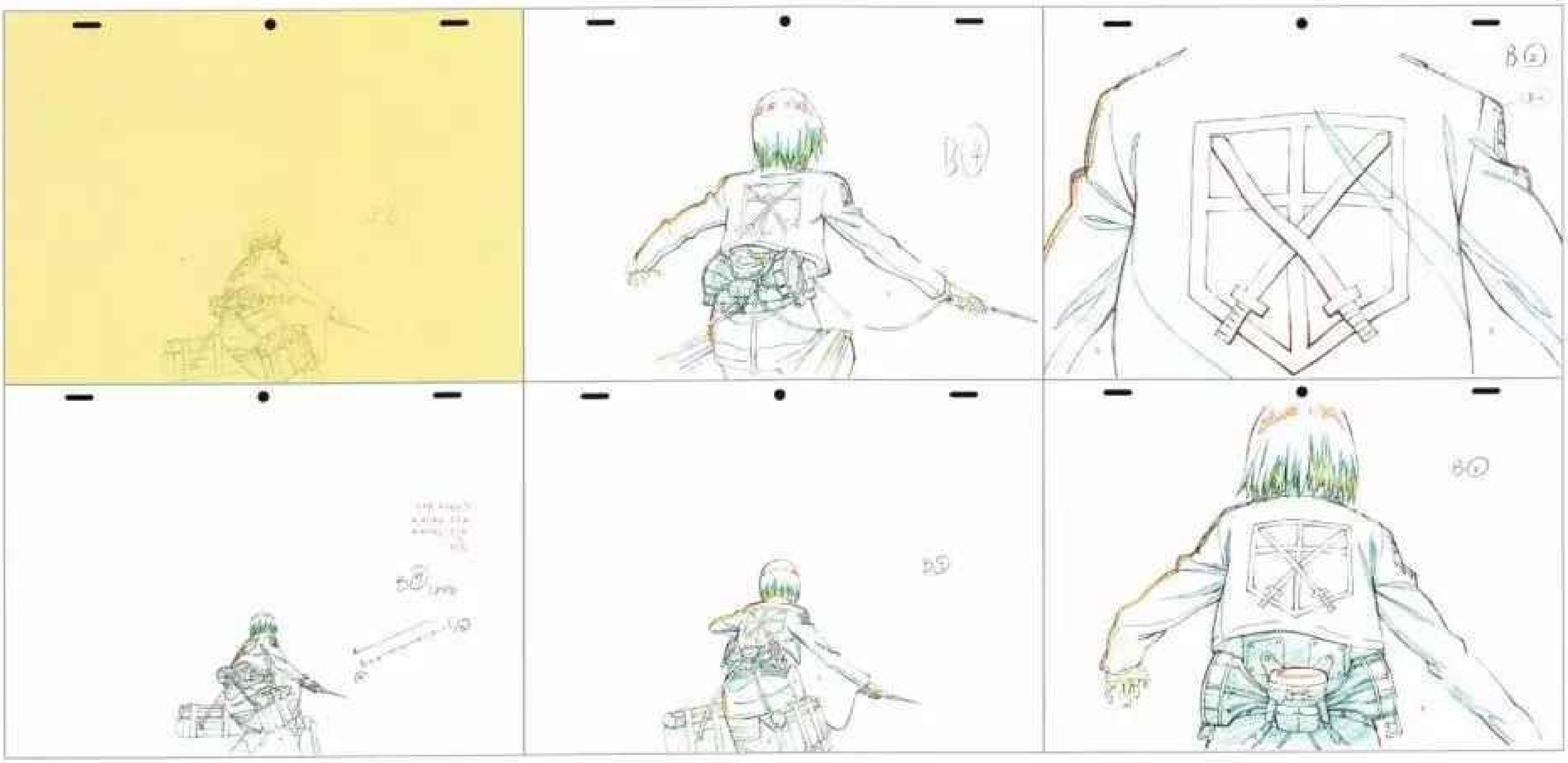


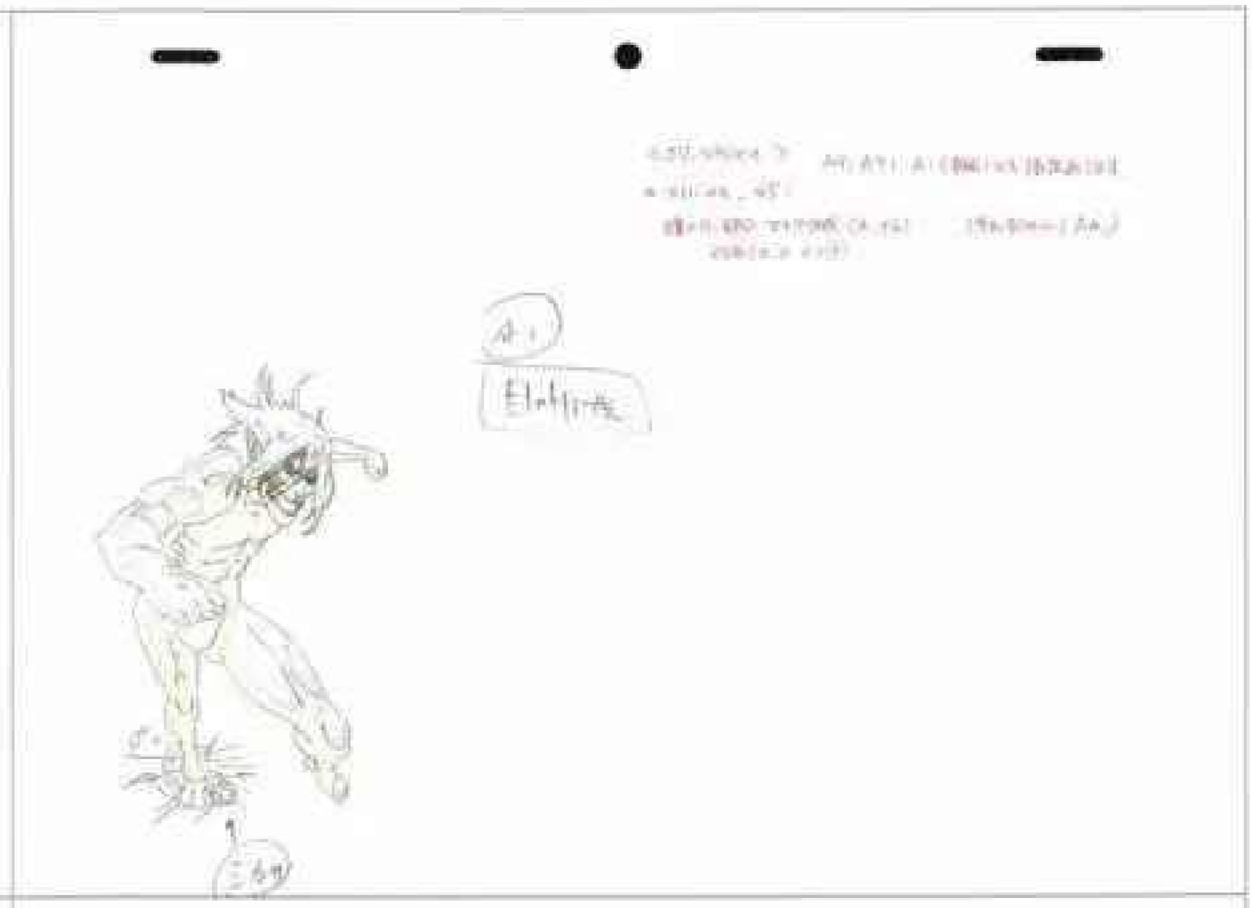
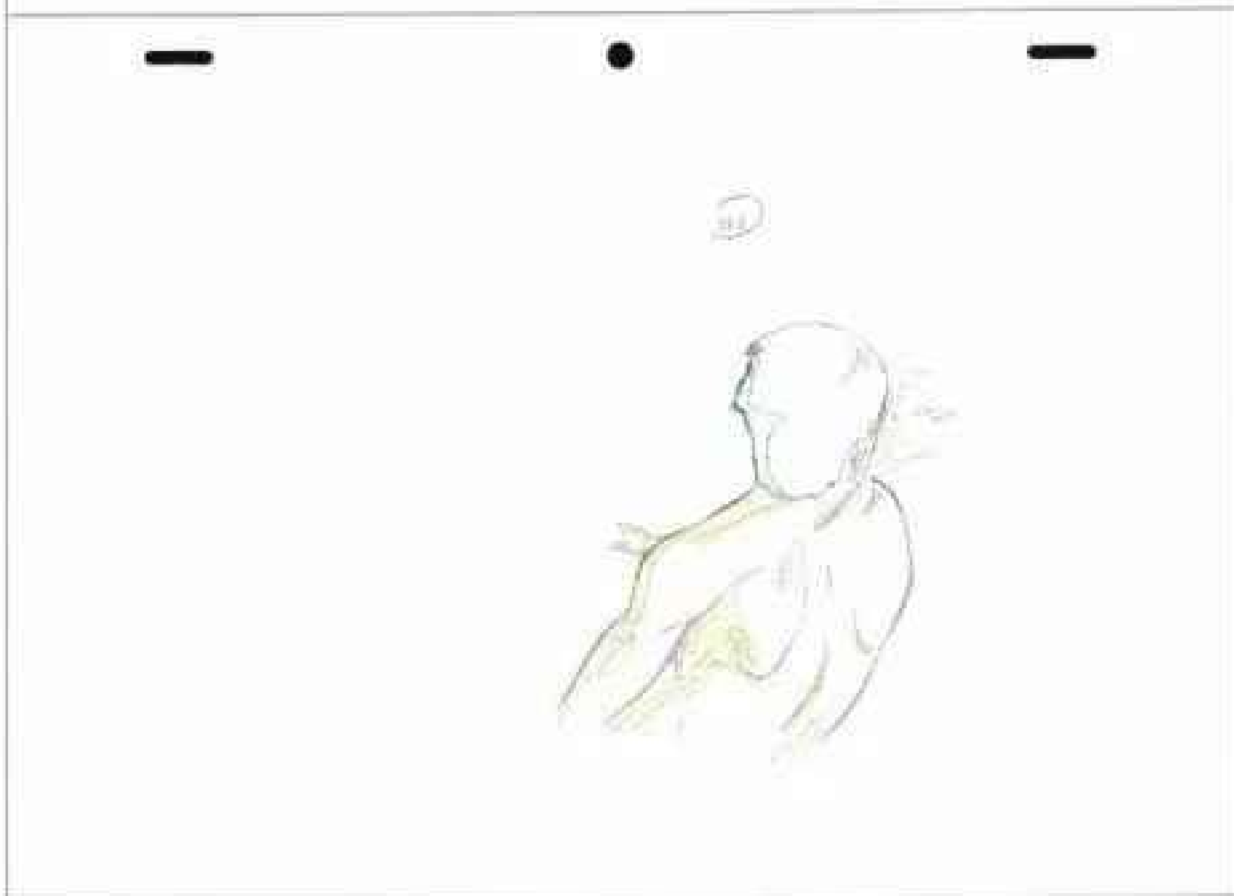
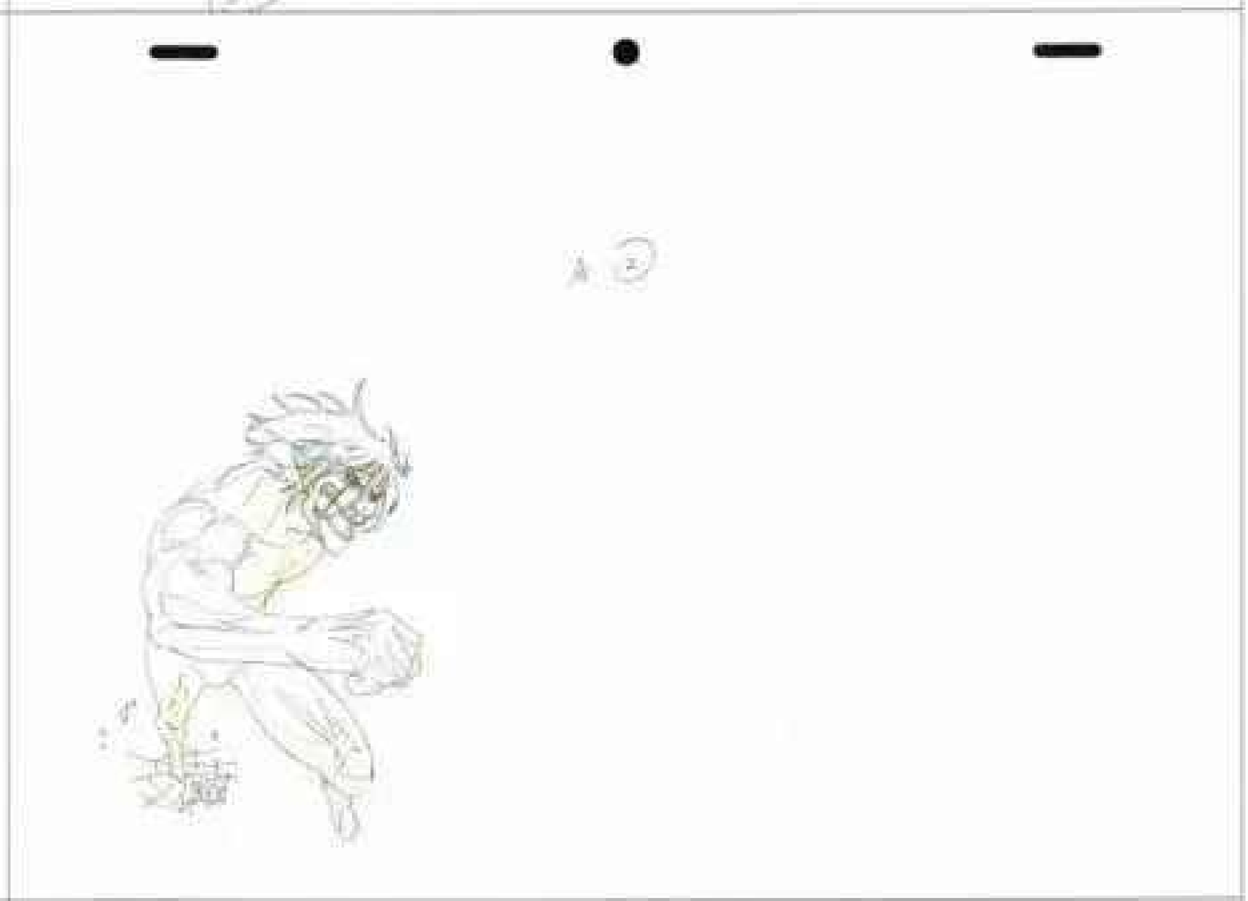
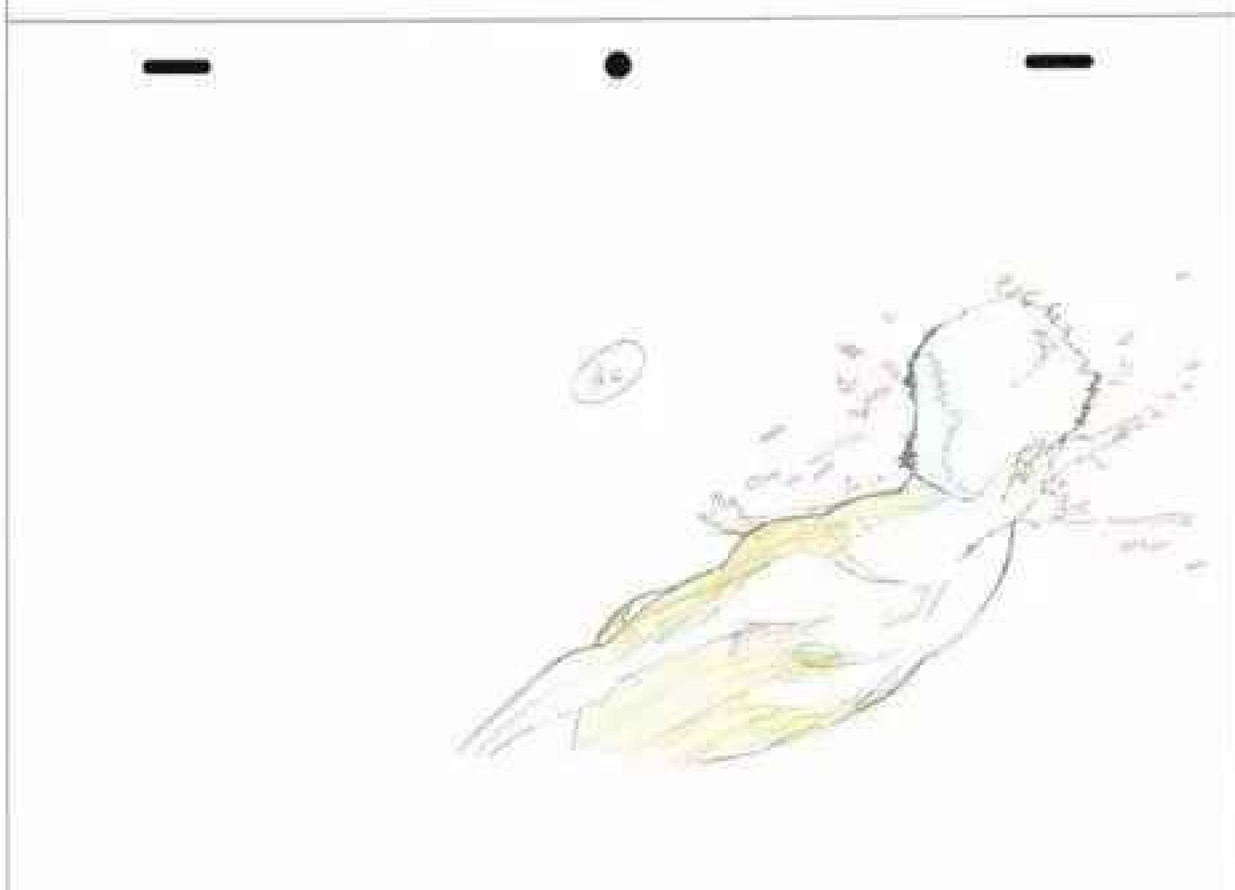


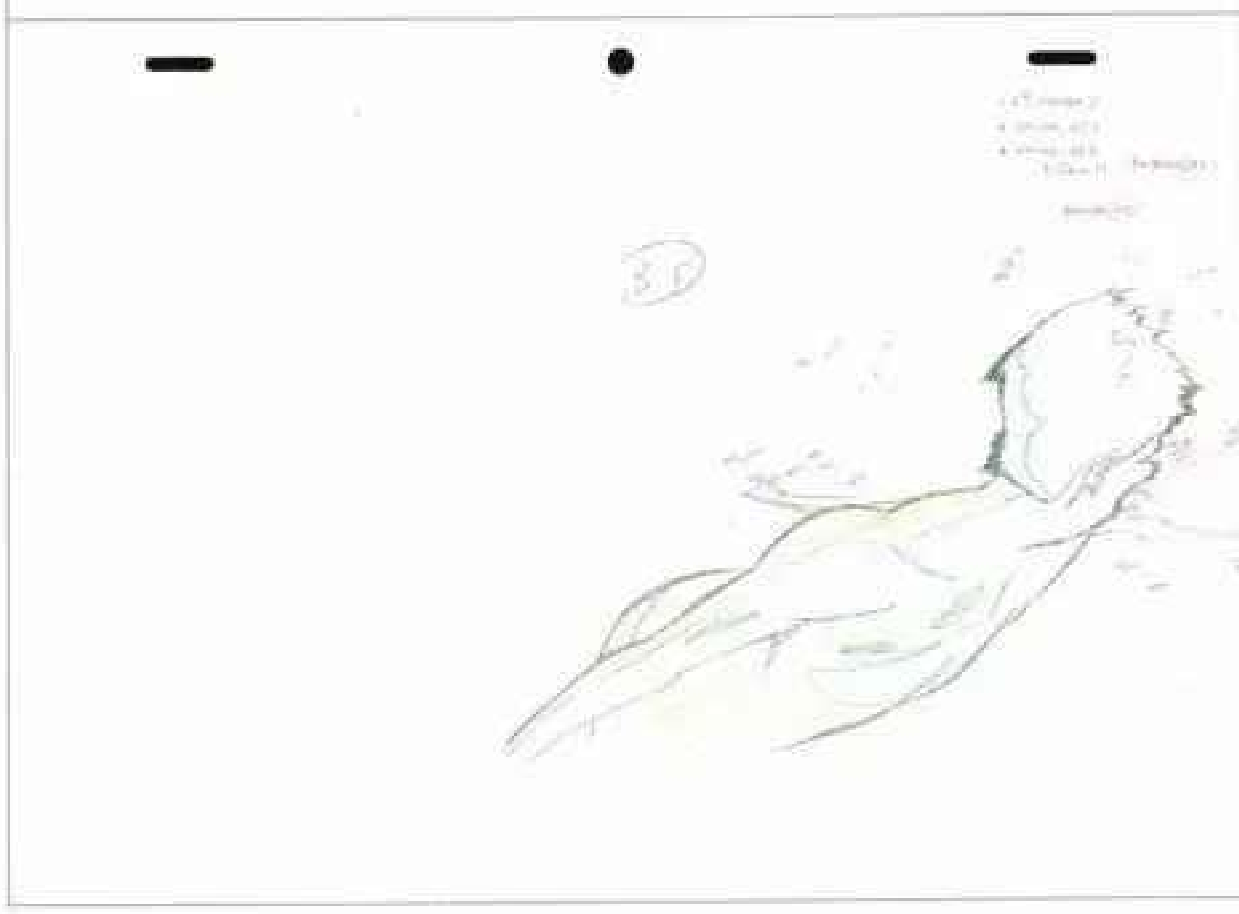
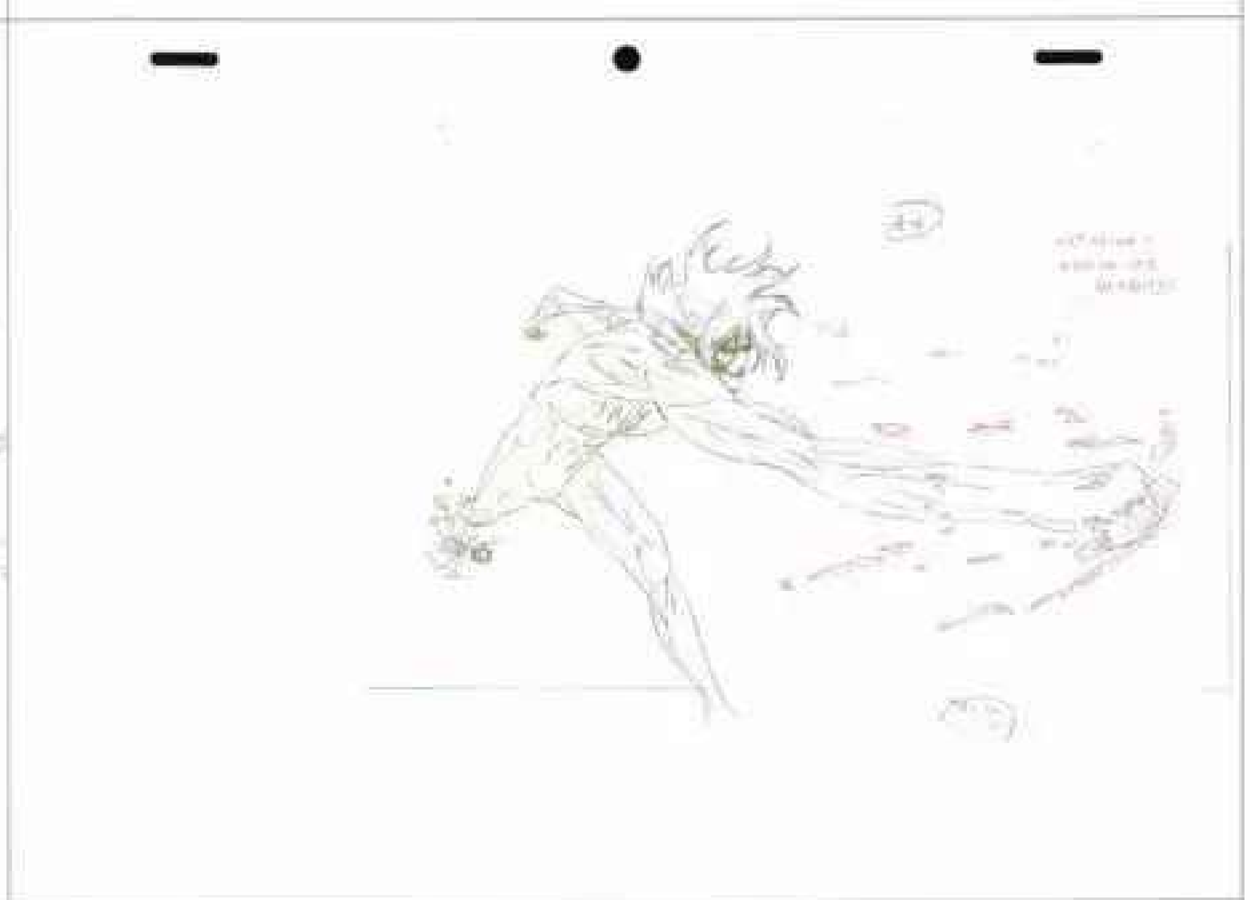


荒木哲郎コメント 巨人にパンチするその瞬間まで、エレン巨人はモブ巨人に「まぎれている」。
この演出は諫山さんの強いオーダーでもあり、自分たちも細心の注意を払いました。いい効果になったと思っています。

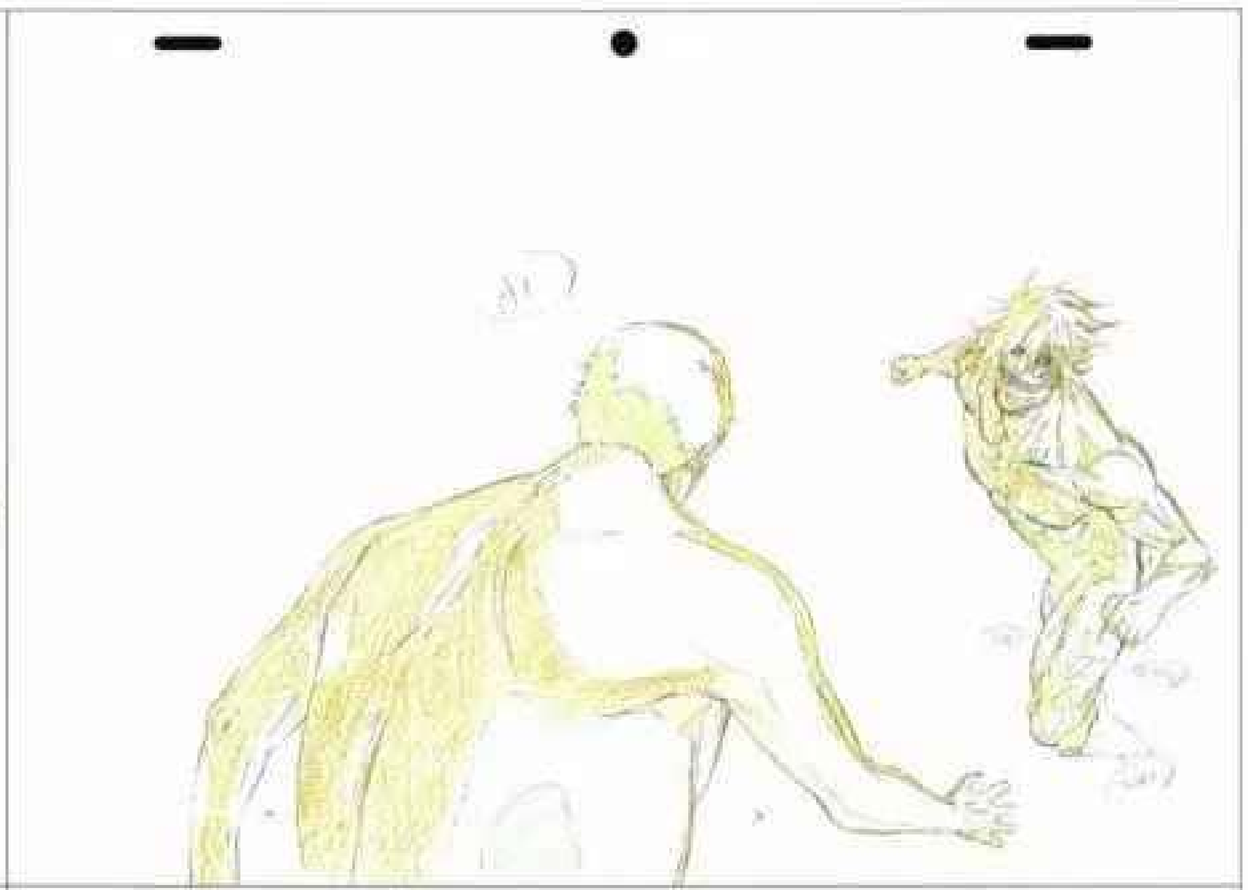


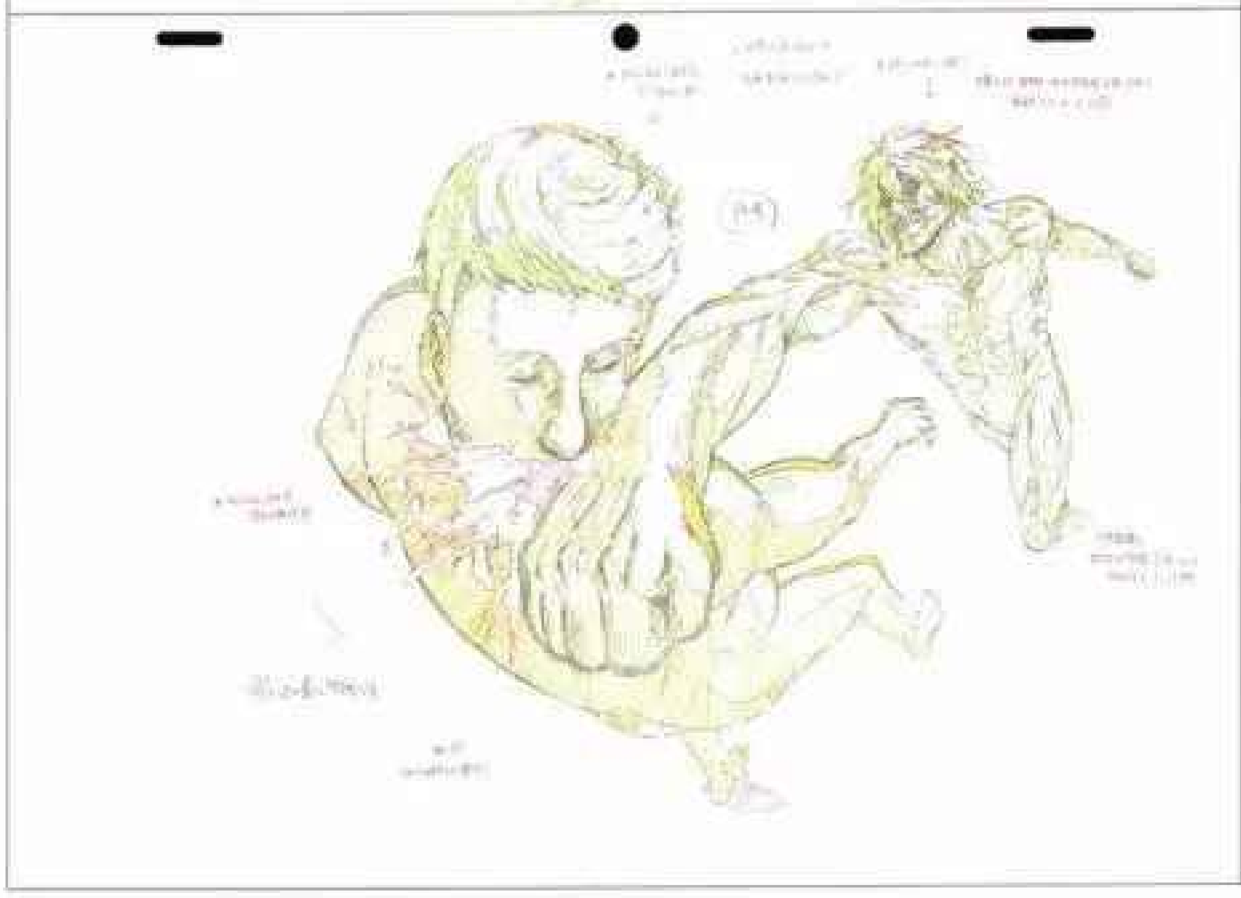












エレン巨人が巨人を殴る際の、一度モノクロのストップモーションになって、筋肉に赤い光が走る演出。
立川くんがやってみせたこれに、自分含む皆が「かっこいい！」と痺れ、その後いろんな話数でこの演出は登場することとなりました。

荒木哲郎コメント

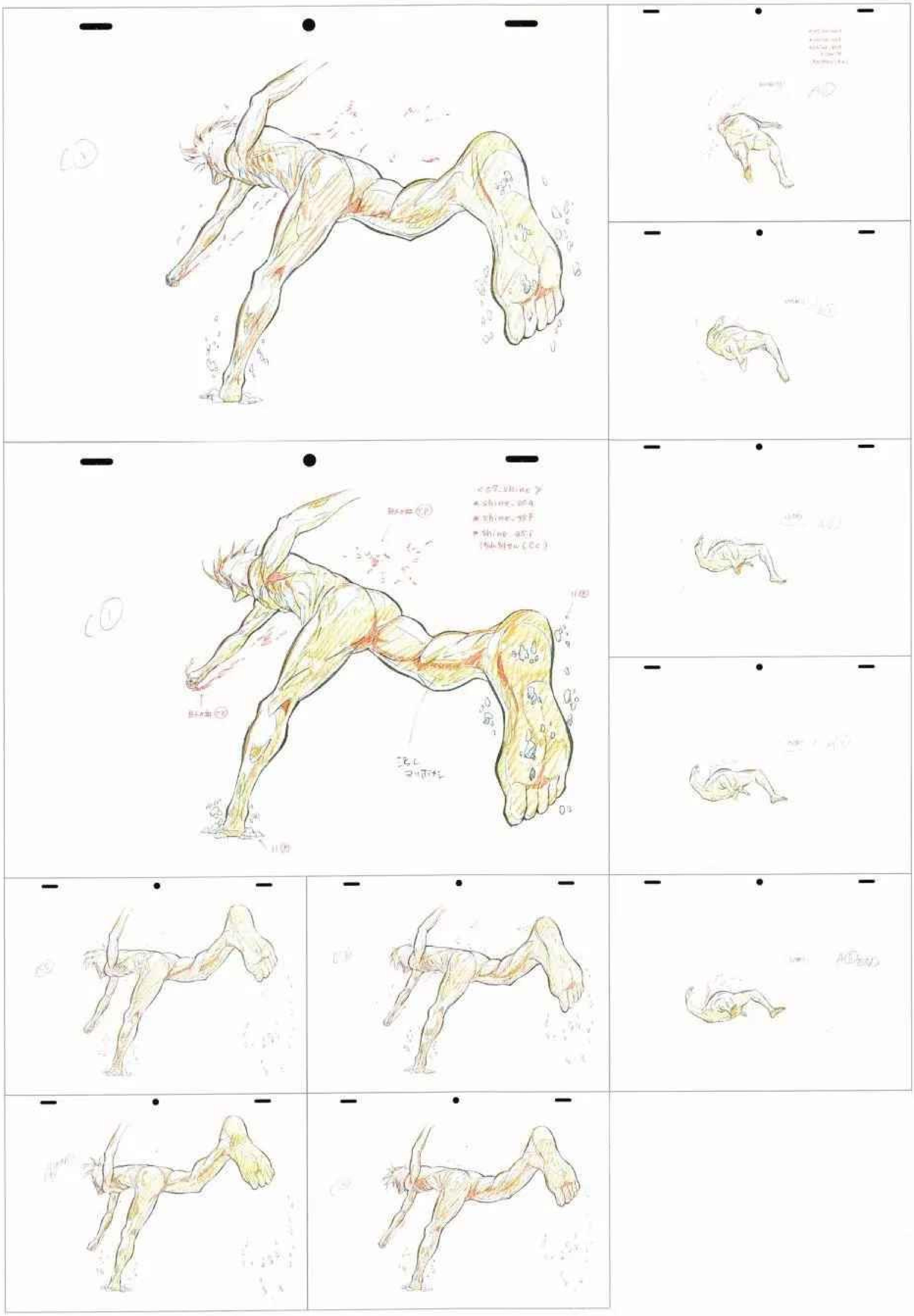

A6







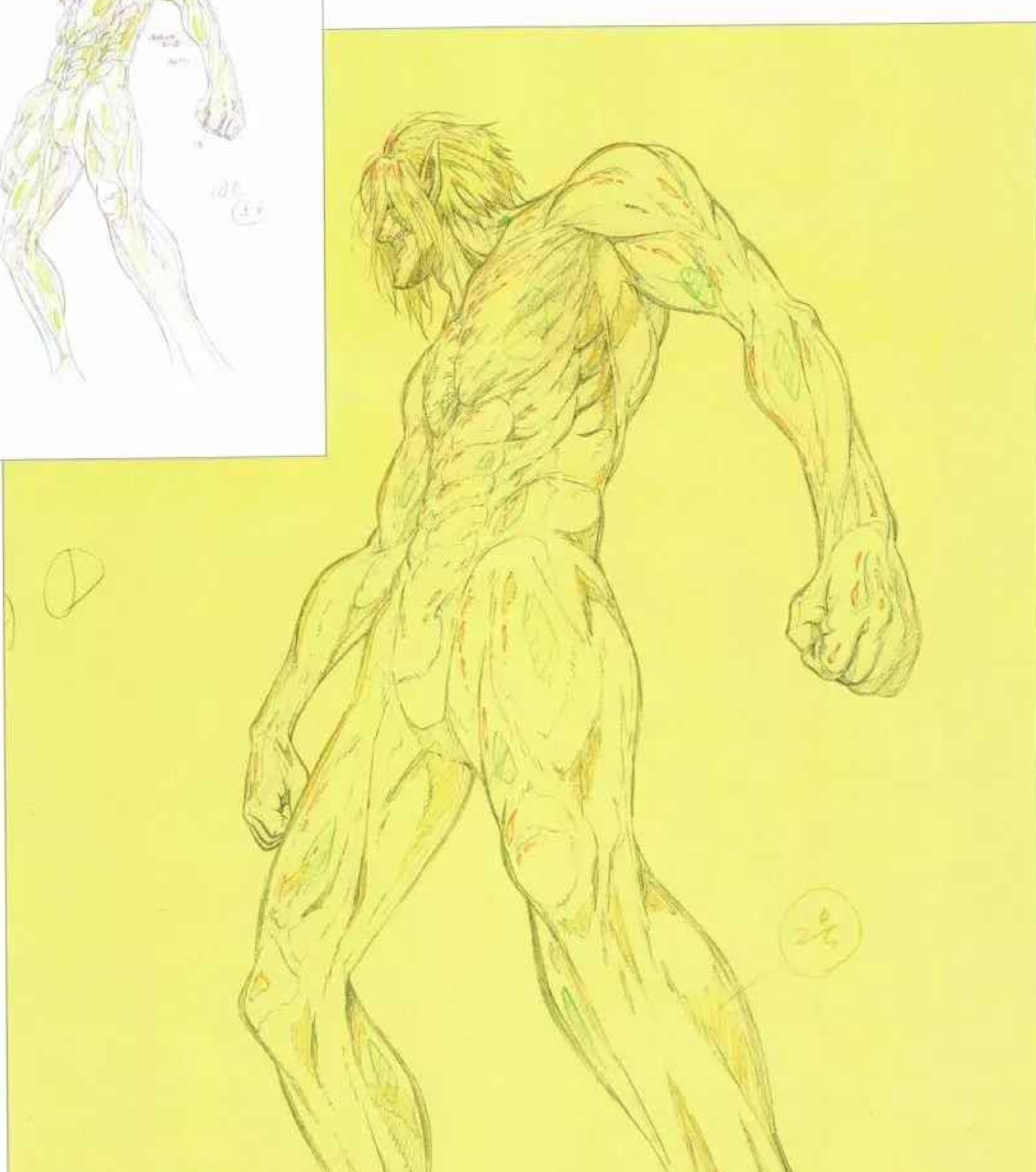






荒木哲郎コメント

エレン巨人、初の雄姿。初登場でしたので、描き方は手探りでしたが、早速最高の例を見せてもらえました。特に、立川くんの誘いで参加してくれた田中宏紀さんの、ディテールの省略の仕方、フォルムの取り方は衝撃的で、長く見本として作画さんに渡ることとなりました。



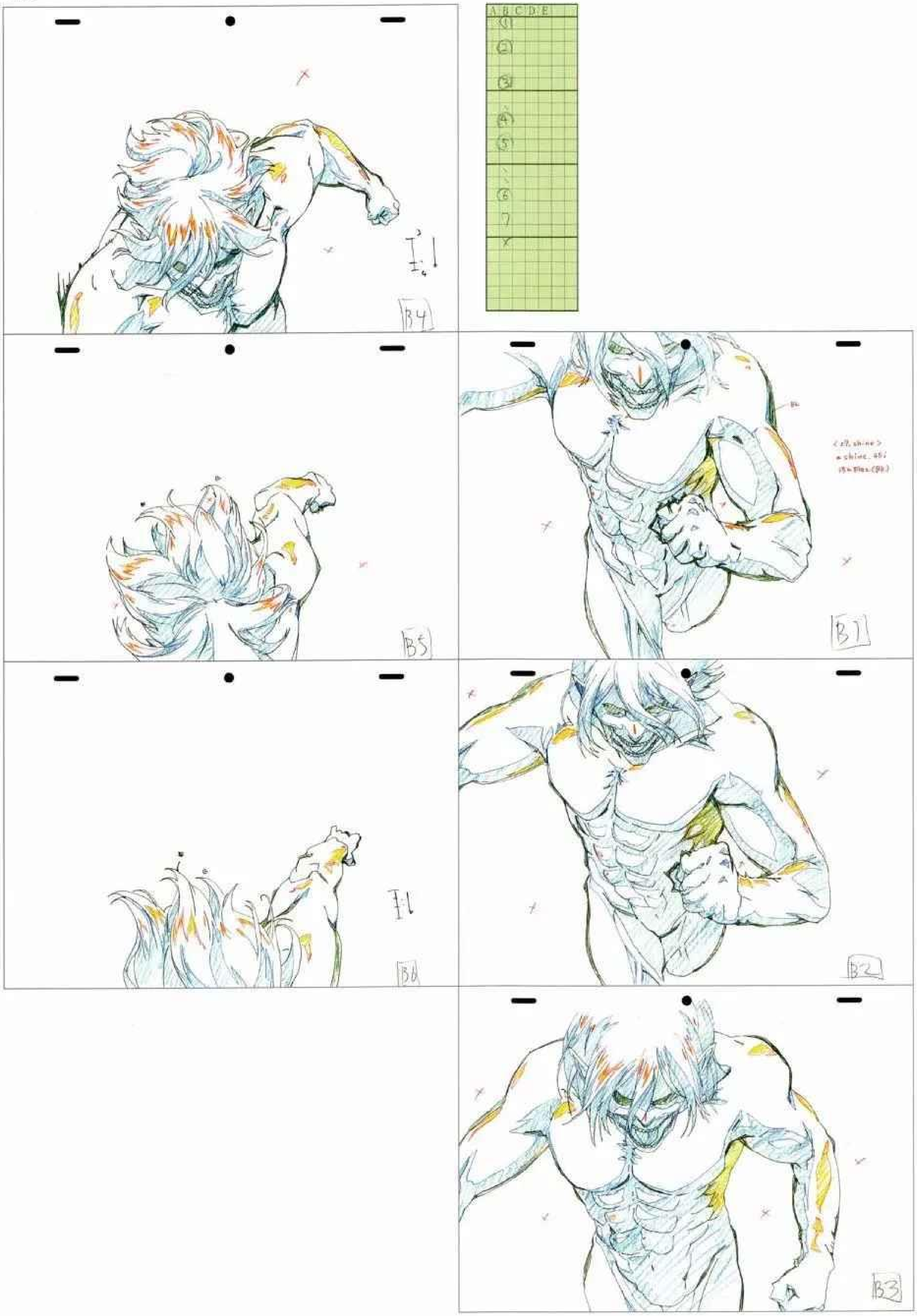

<07_shine>
*shine_45 i
RGB(40, 25, 19) P
口の中は2号 P
A1

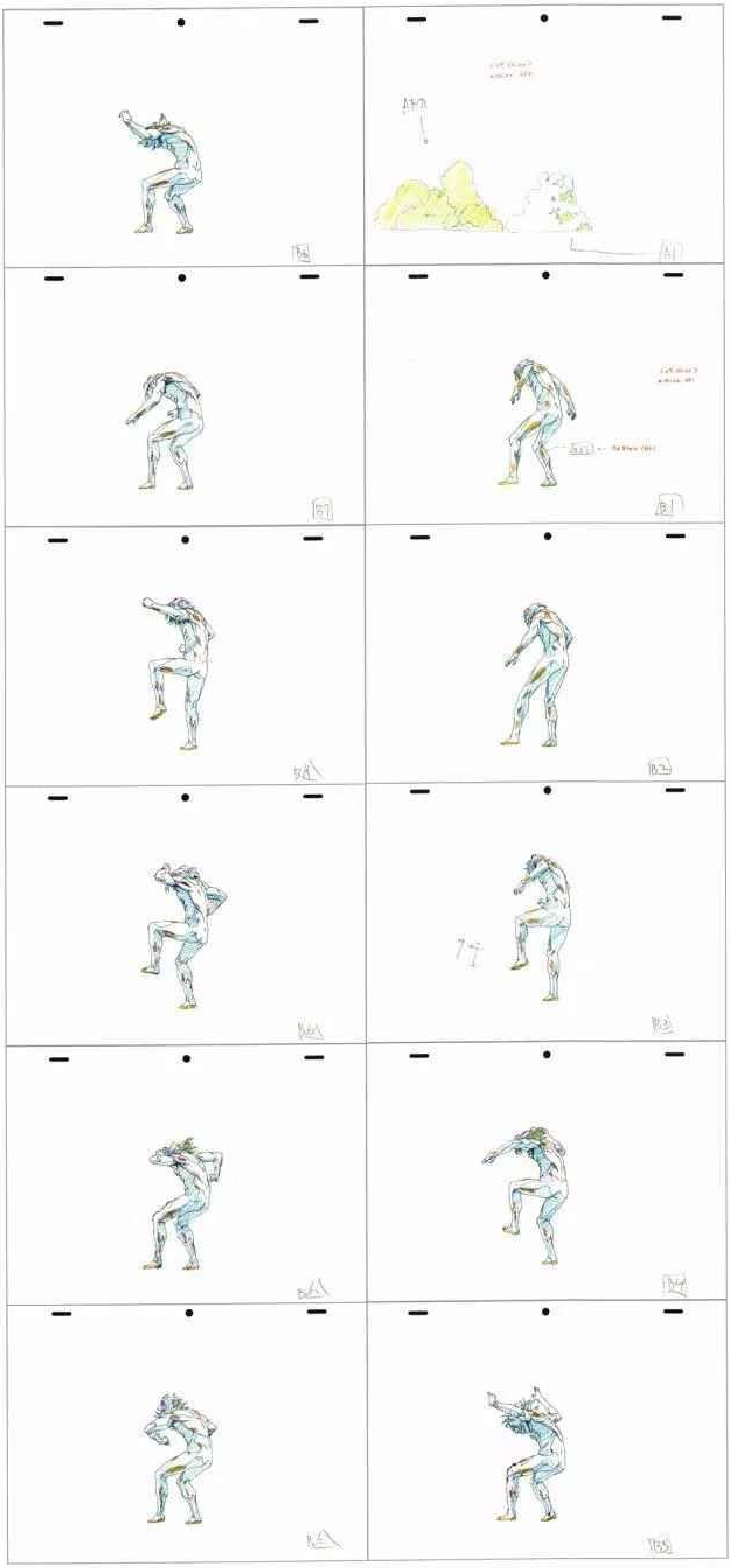

A4


A2


A5


A3

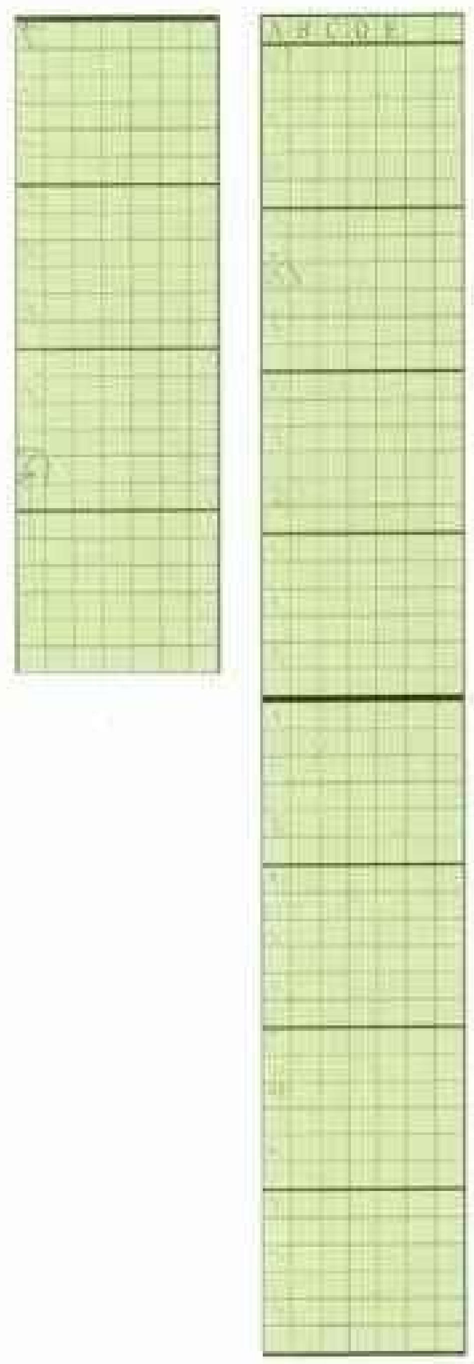

A B C D E
B4
B5
B7
B6
B2
B3





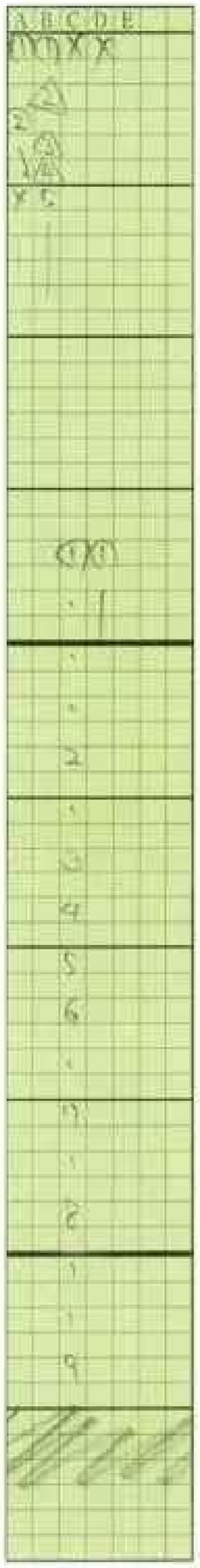

A4
A2
A5
A3

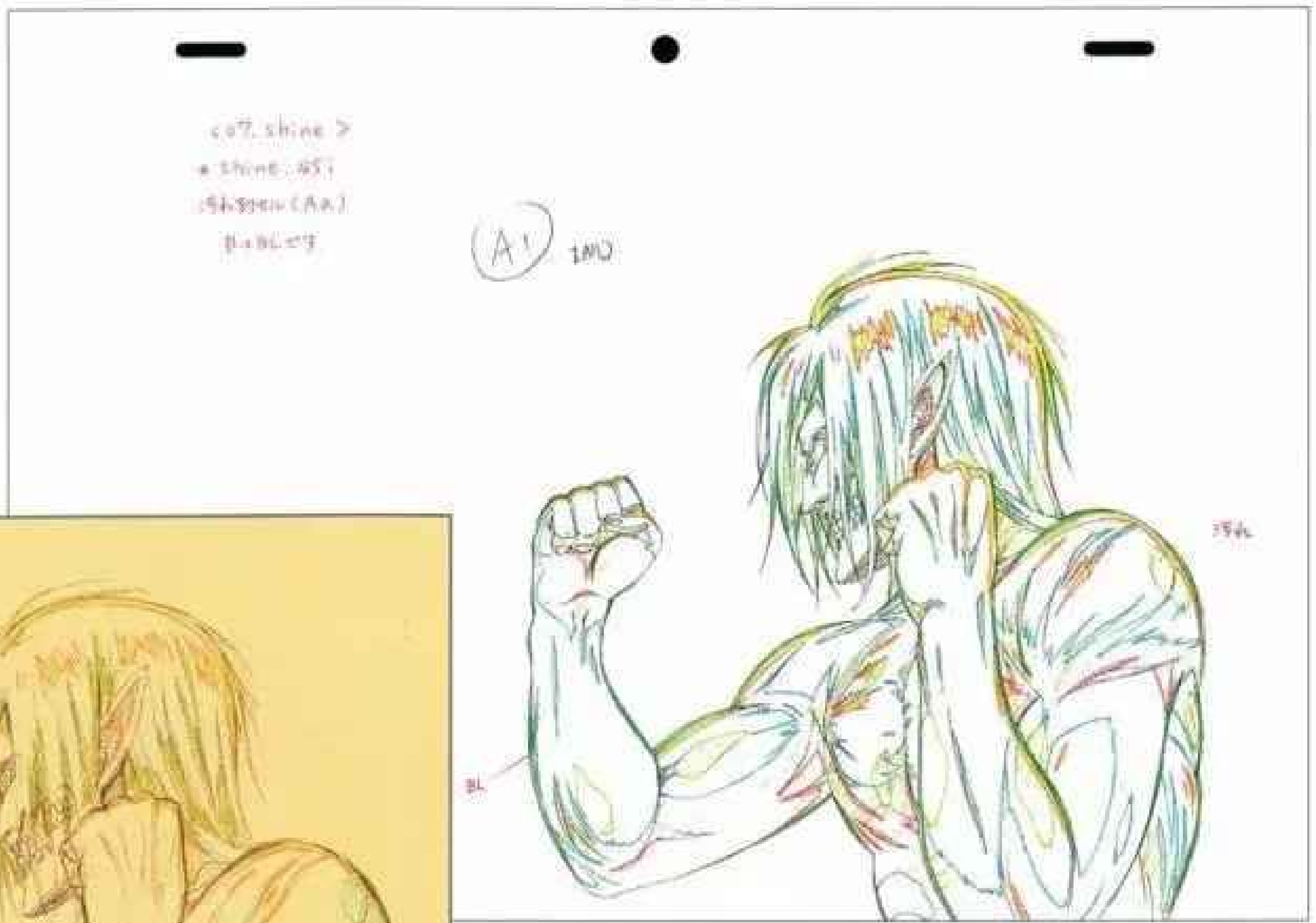

重要
丁寧に
A6
BL



白坊黑麑

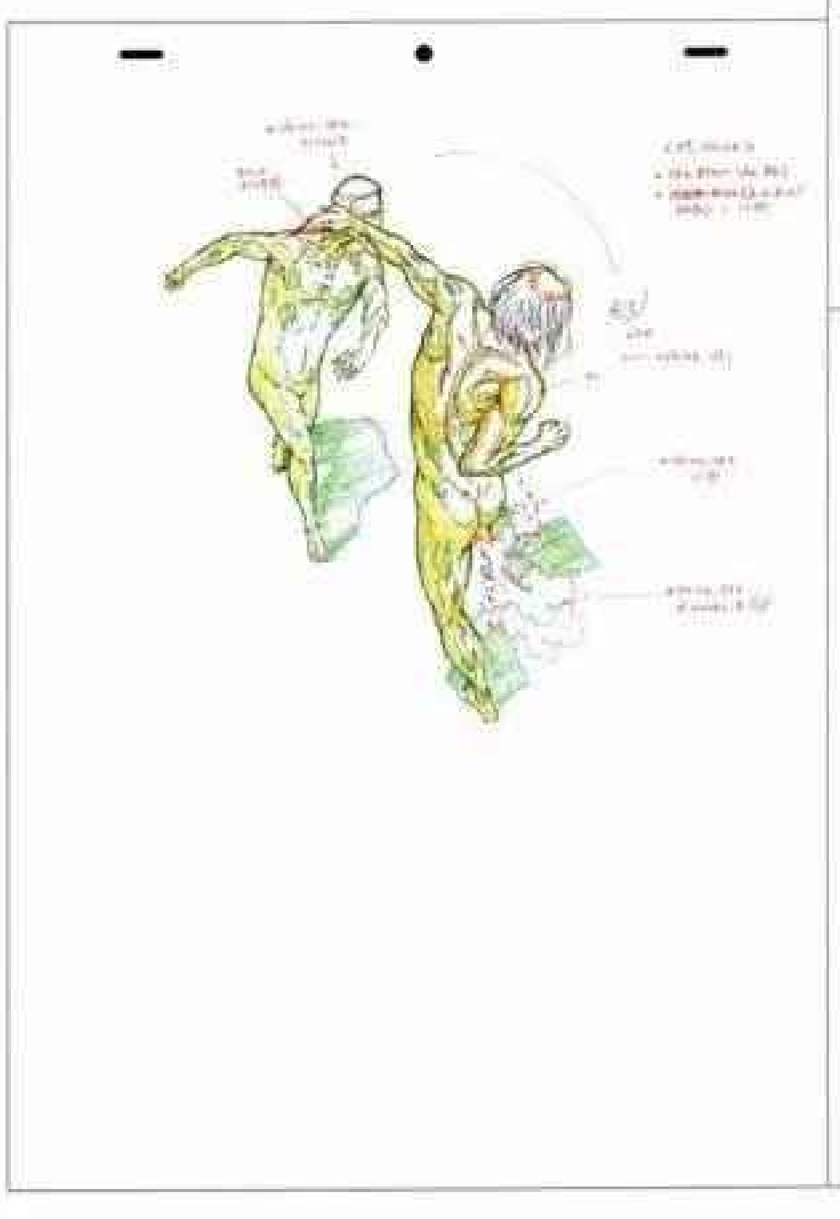
进击的巨人原画集 #4~#7



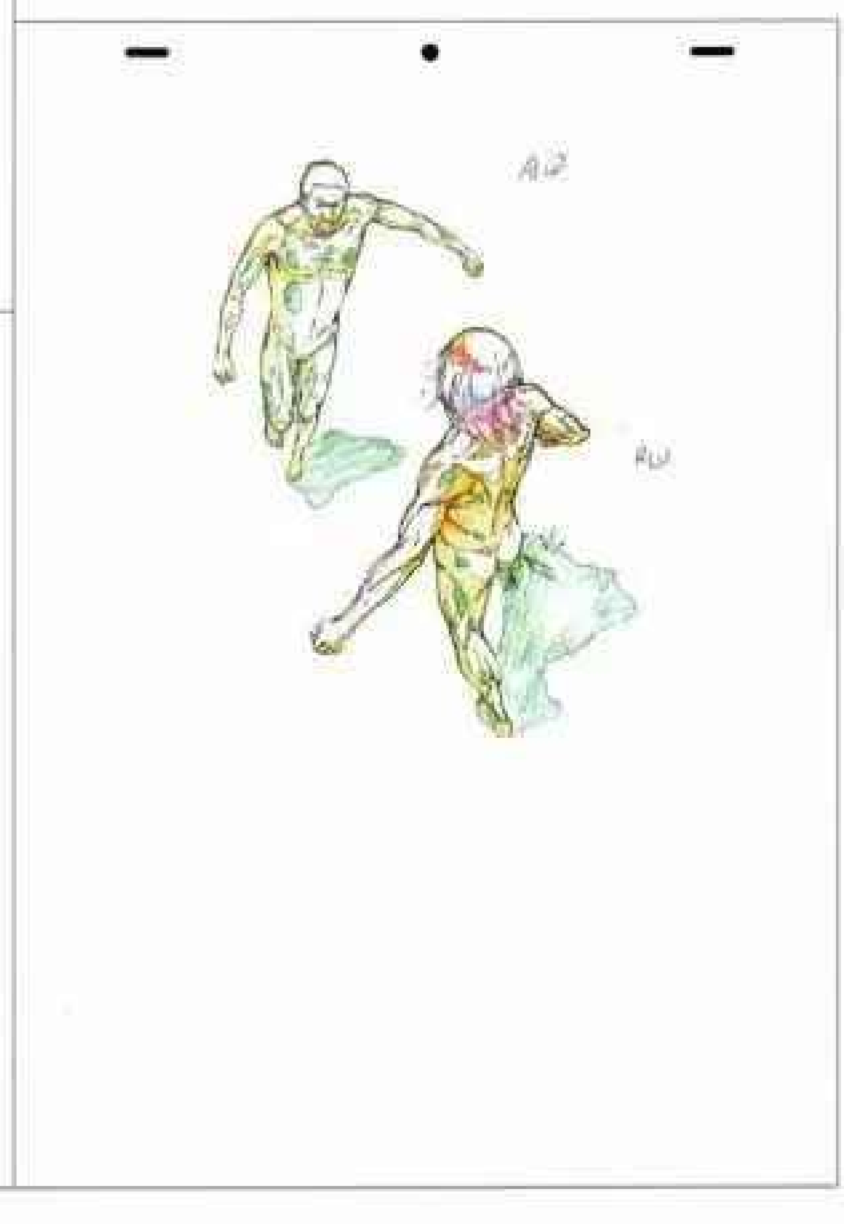


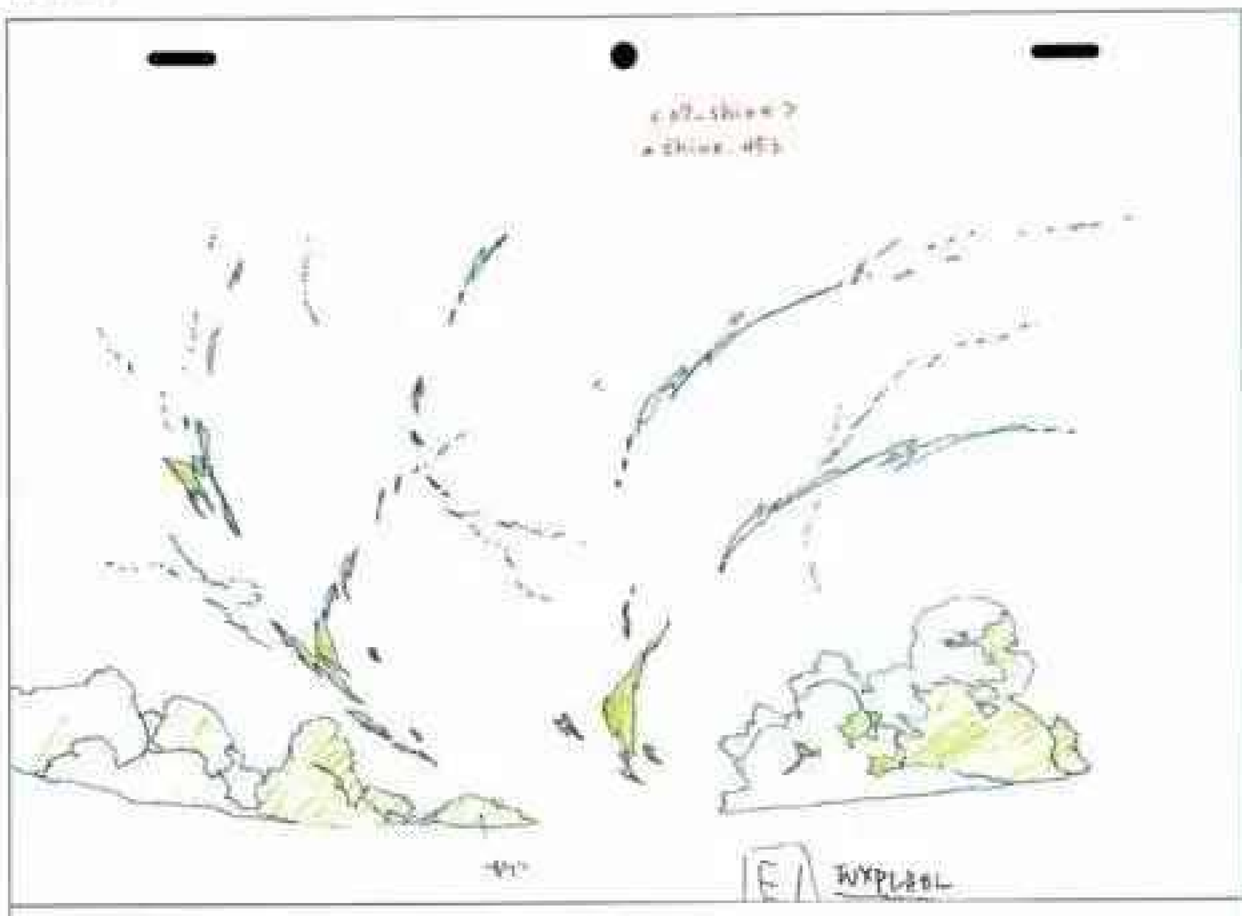


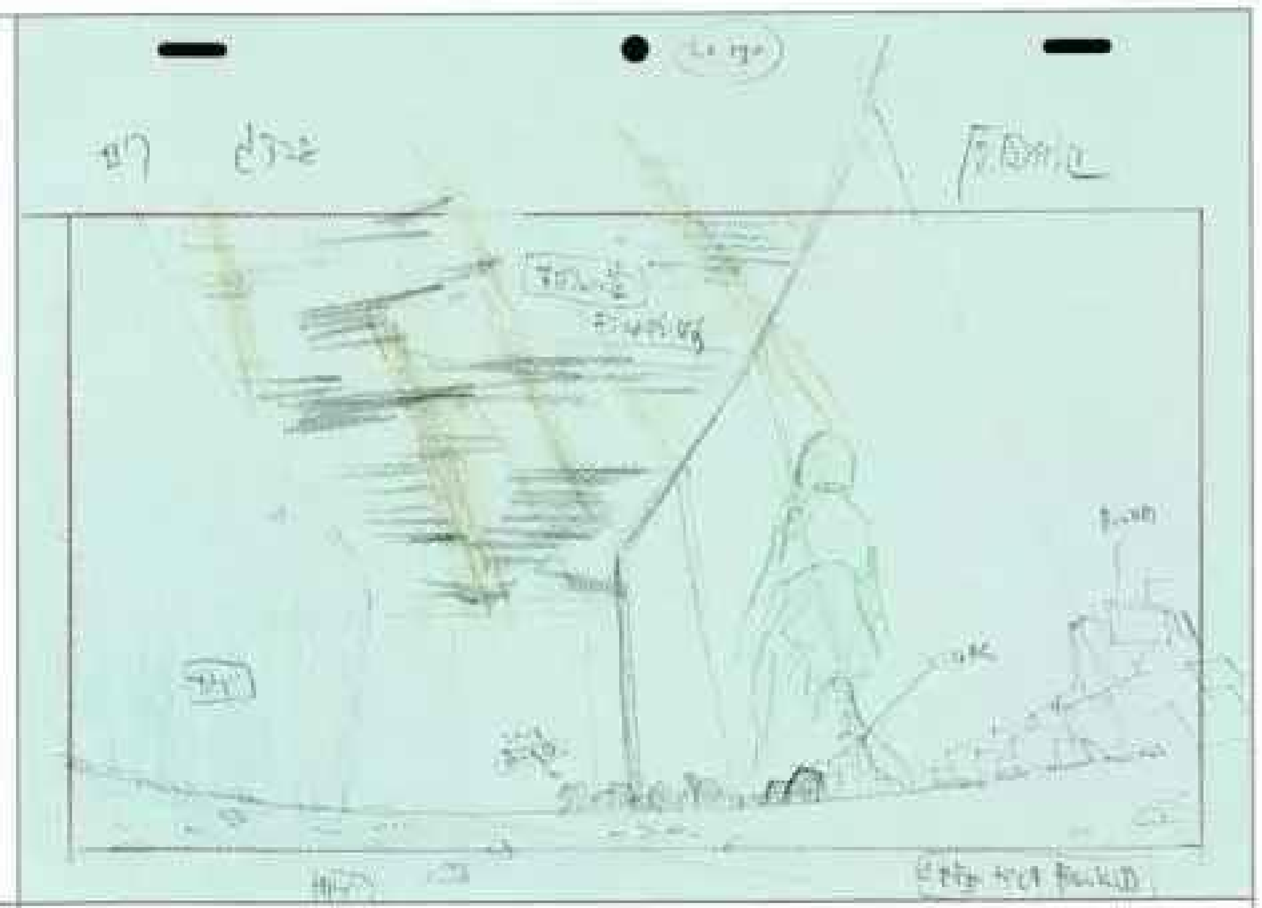




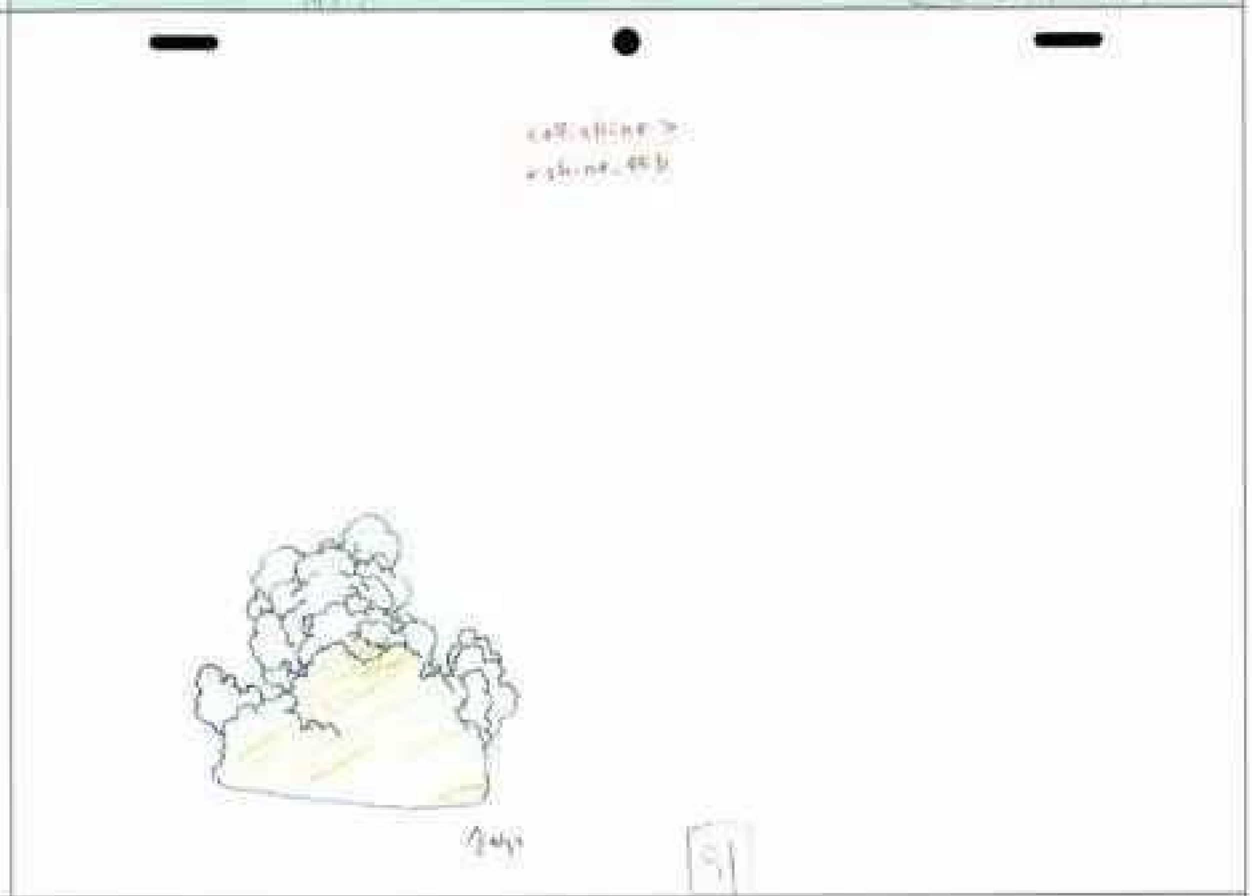
















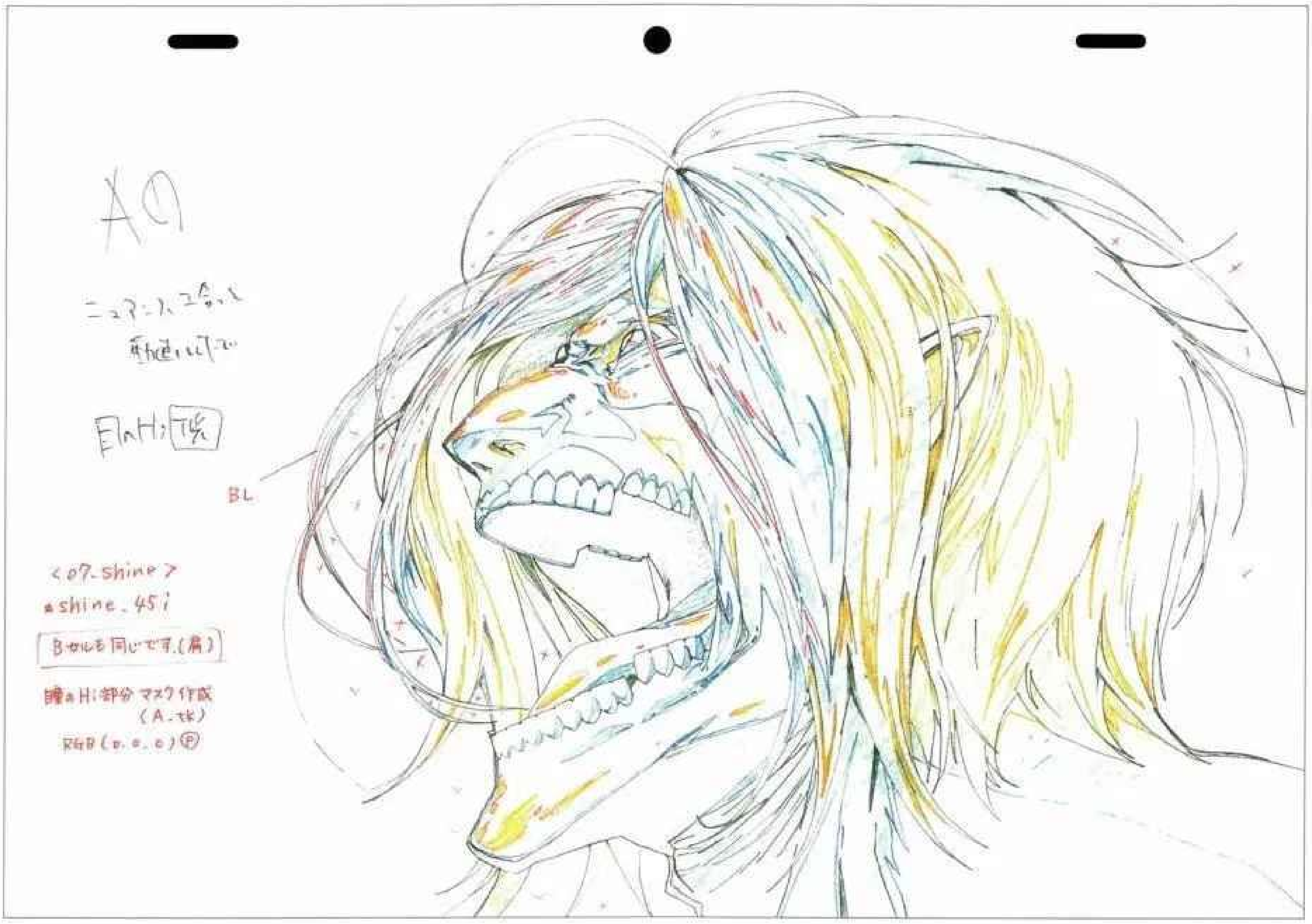


荒木哲郎コメント

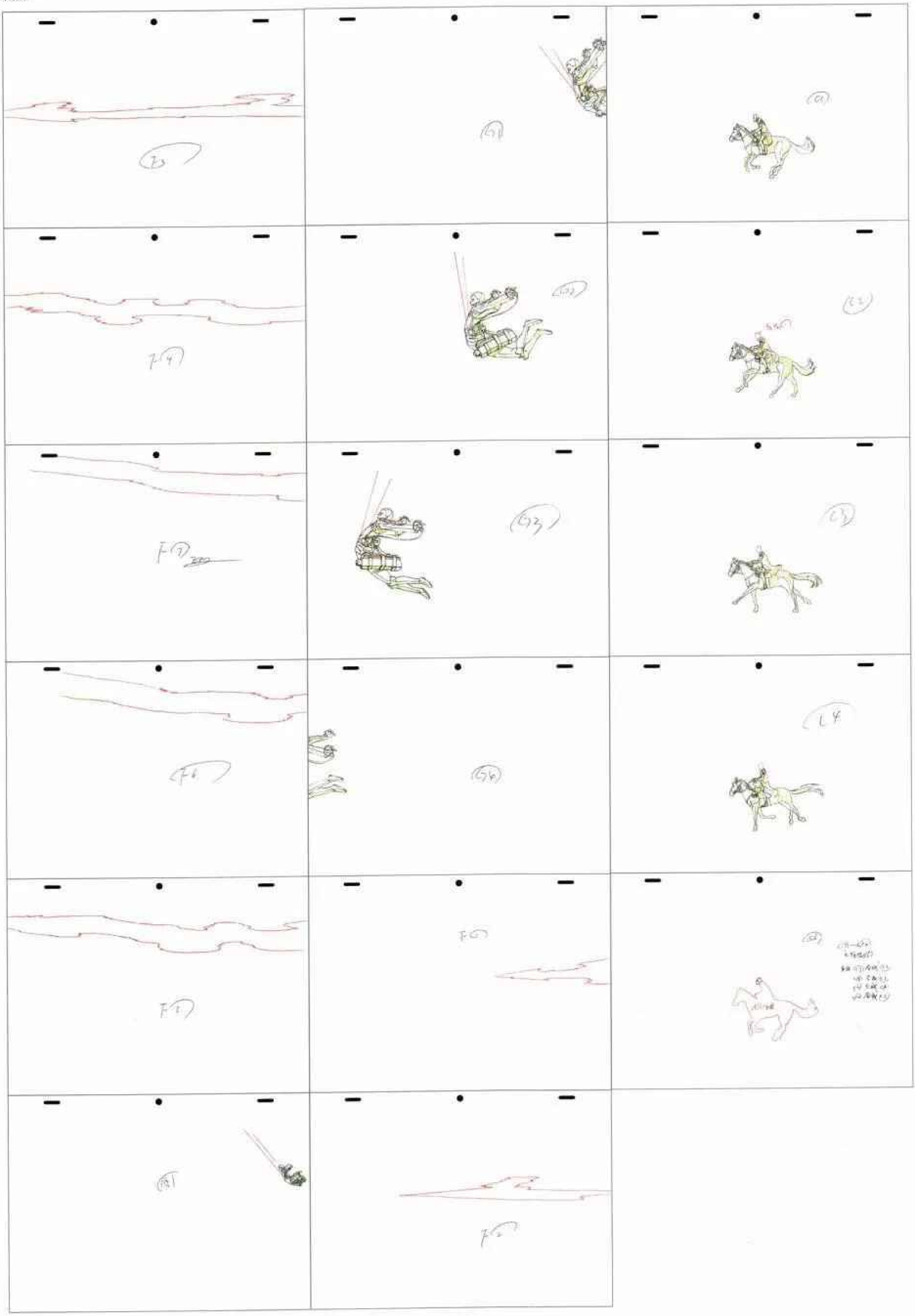
ラスト、エレン巨人の咆哮。この回で立川くんが「原画そのものの良さを出したい」と言ったのがキッカケで、提供バックに原画スキャンを用いるようになりました。このエレン巨人の原画が、そもそものキッカケを作ったのです。BDではなくなってしまっているので、オンエアを録画した方は、消さずに大切にとっておいてくださいね(笑)

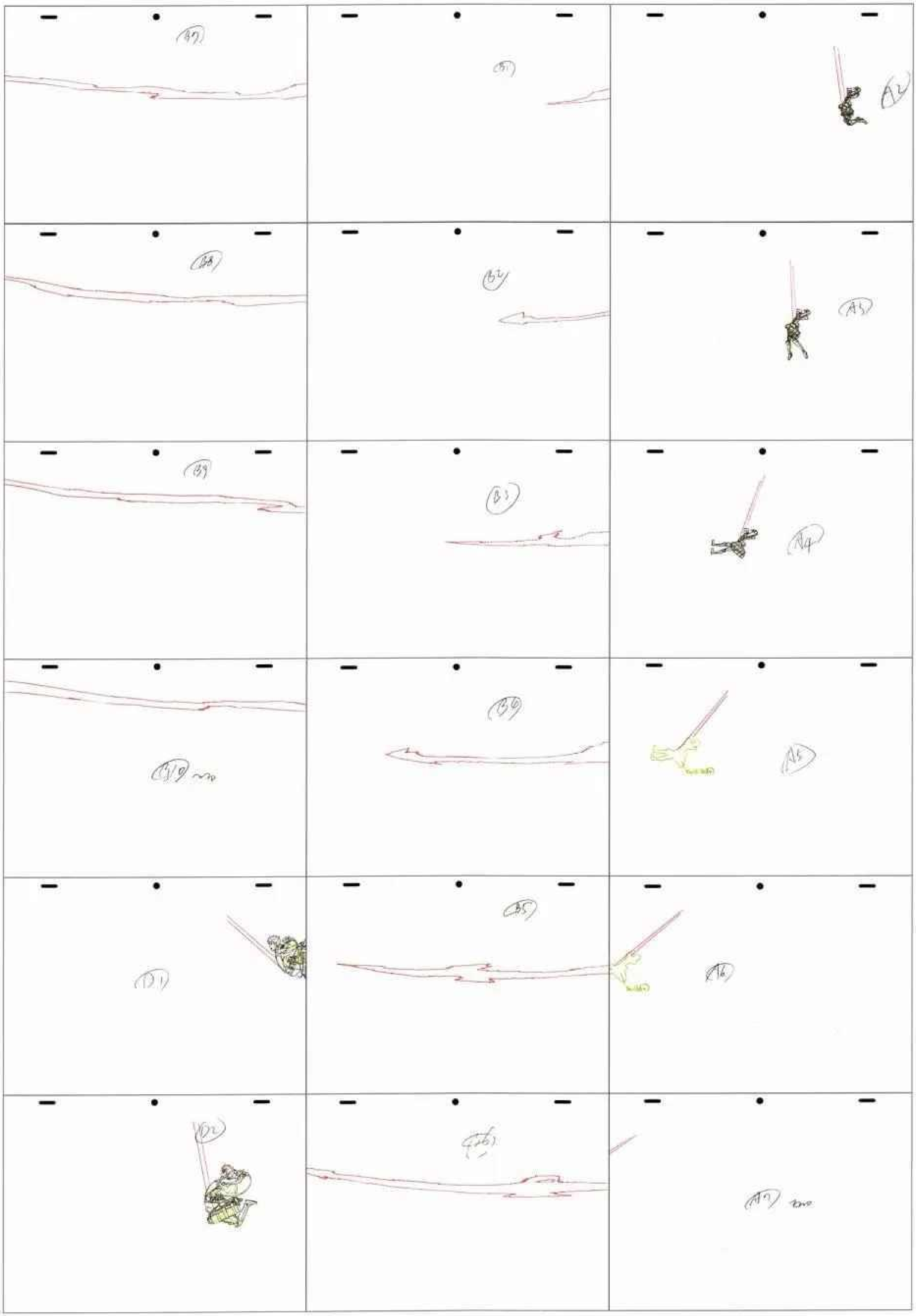
白坊 黑籠

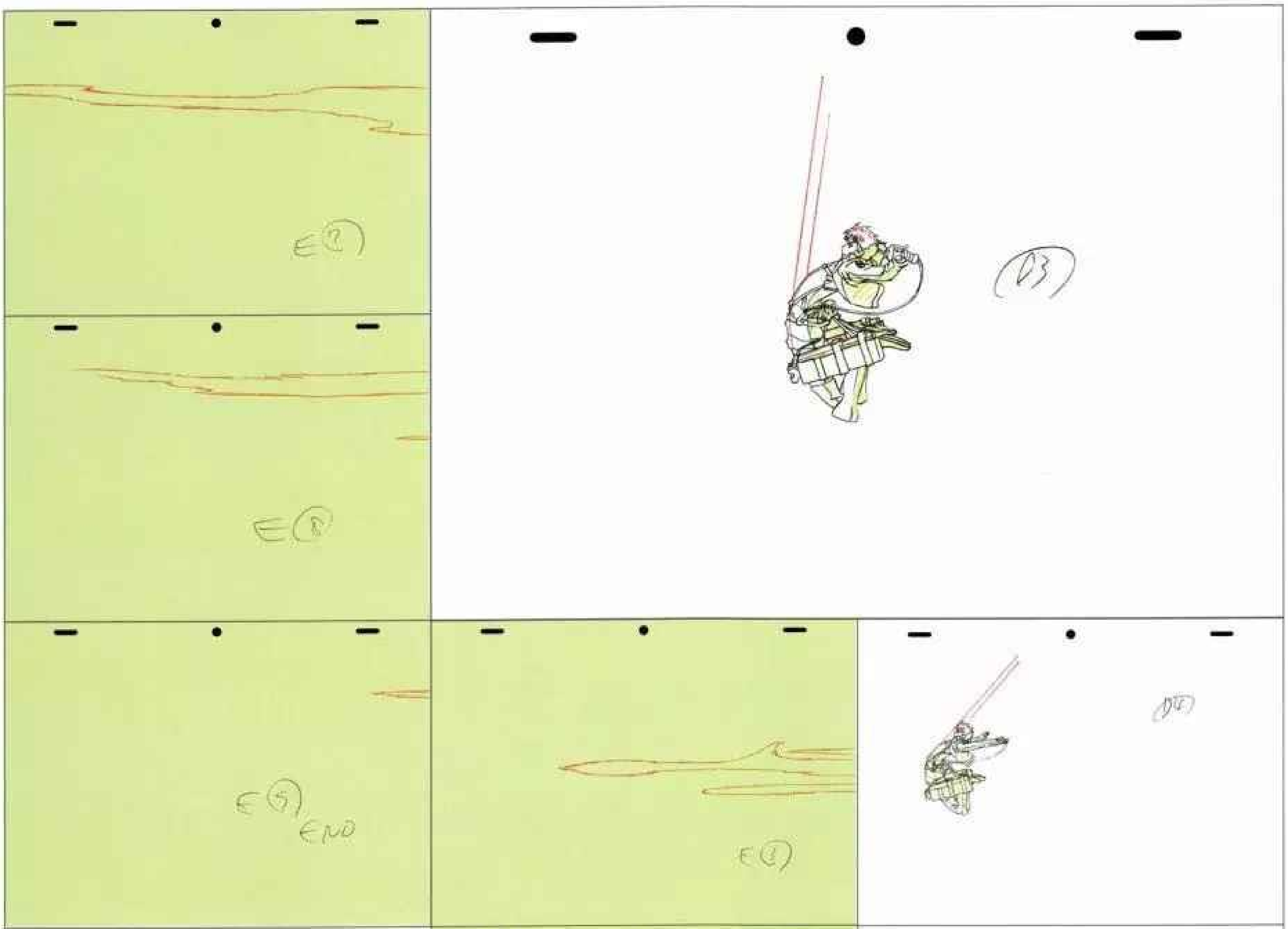
进击的巨人原画集 #4~#7

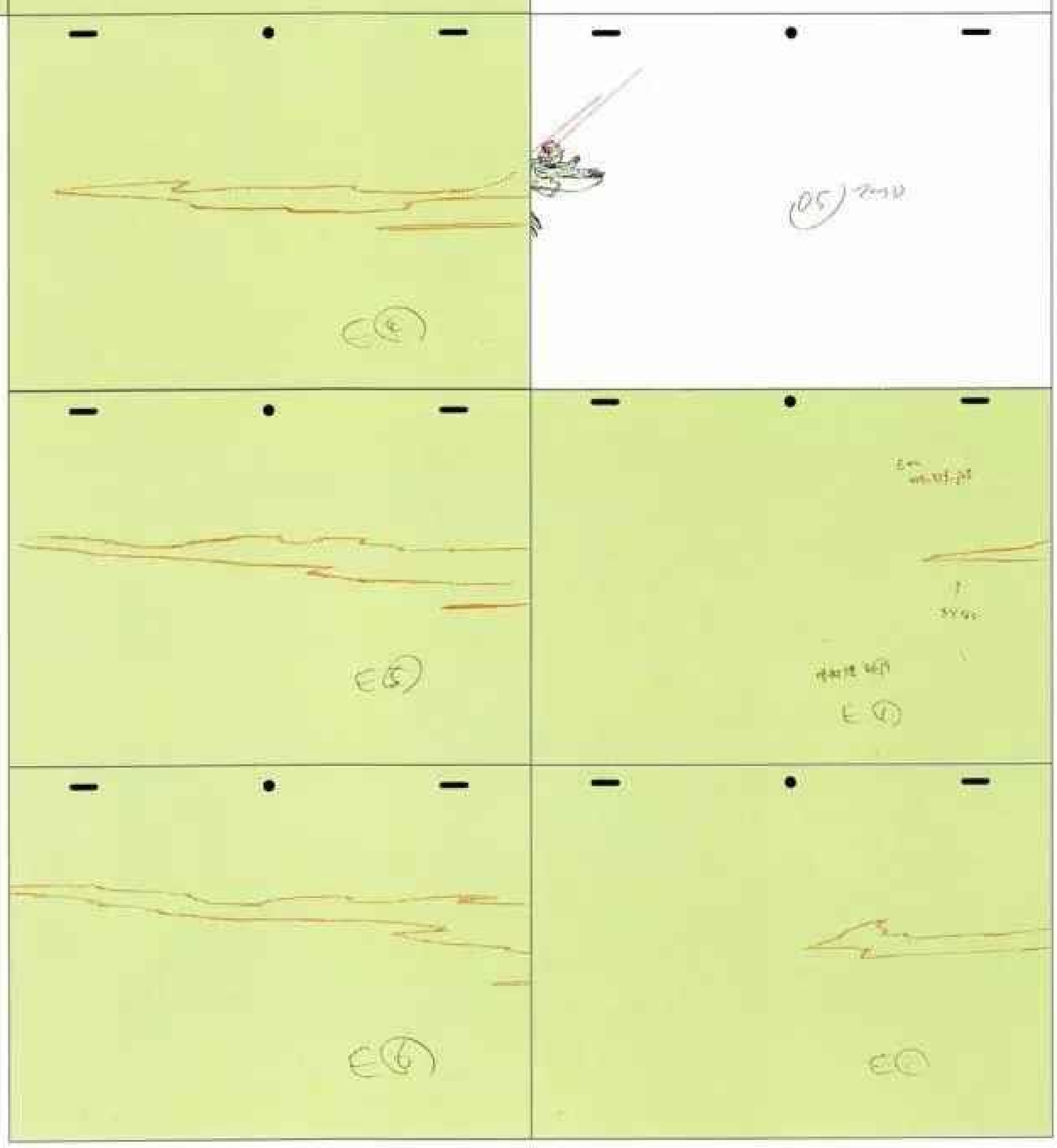








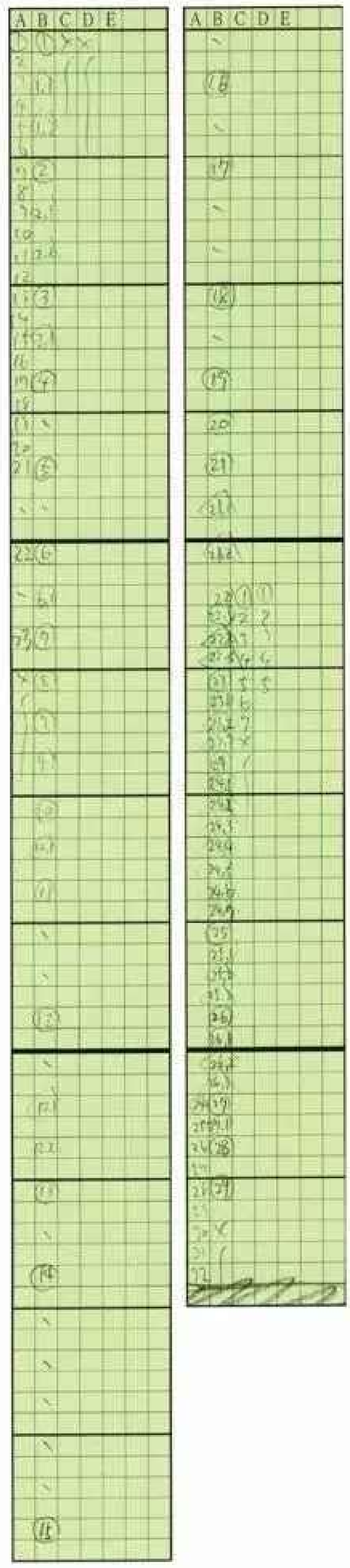


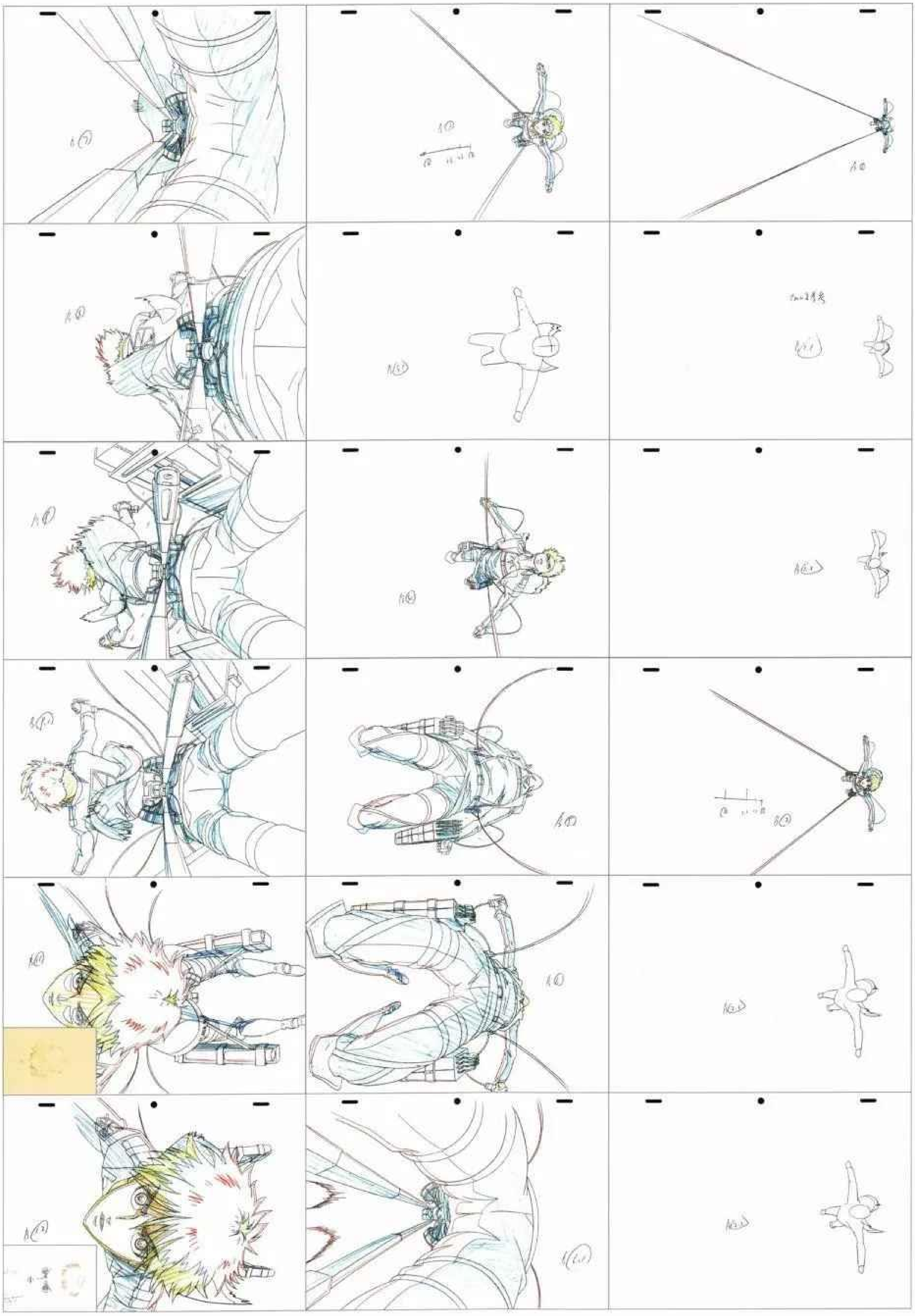


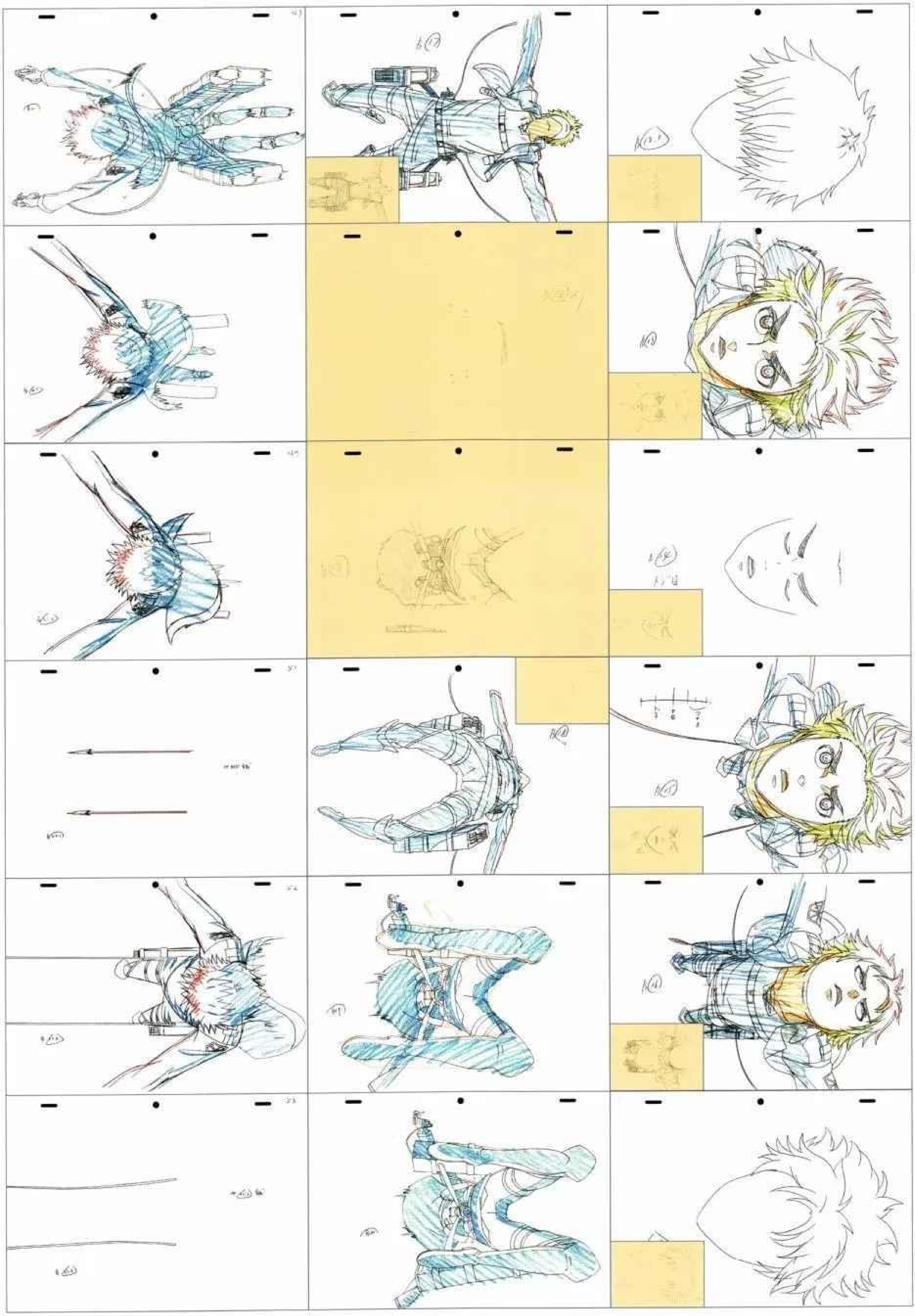
荒木哲郎コメント

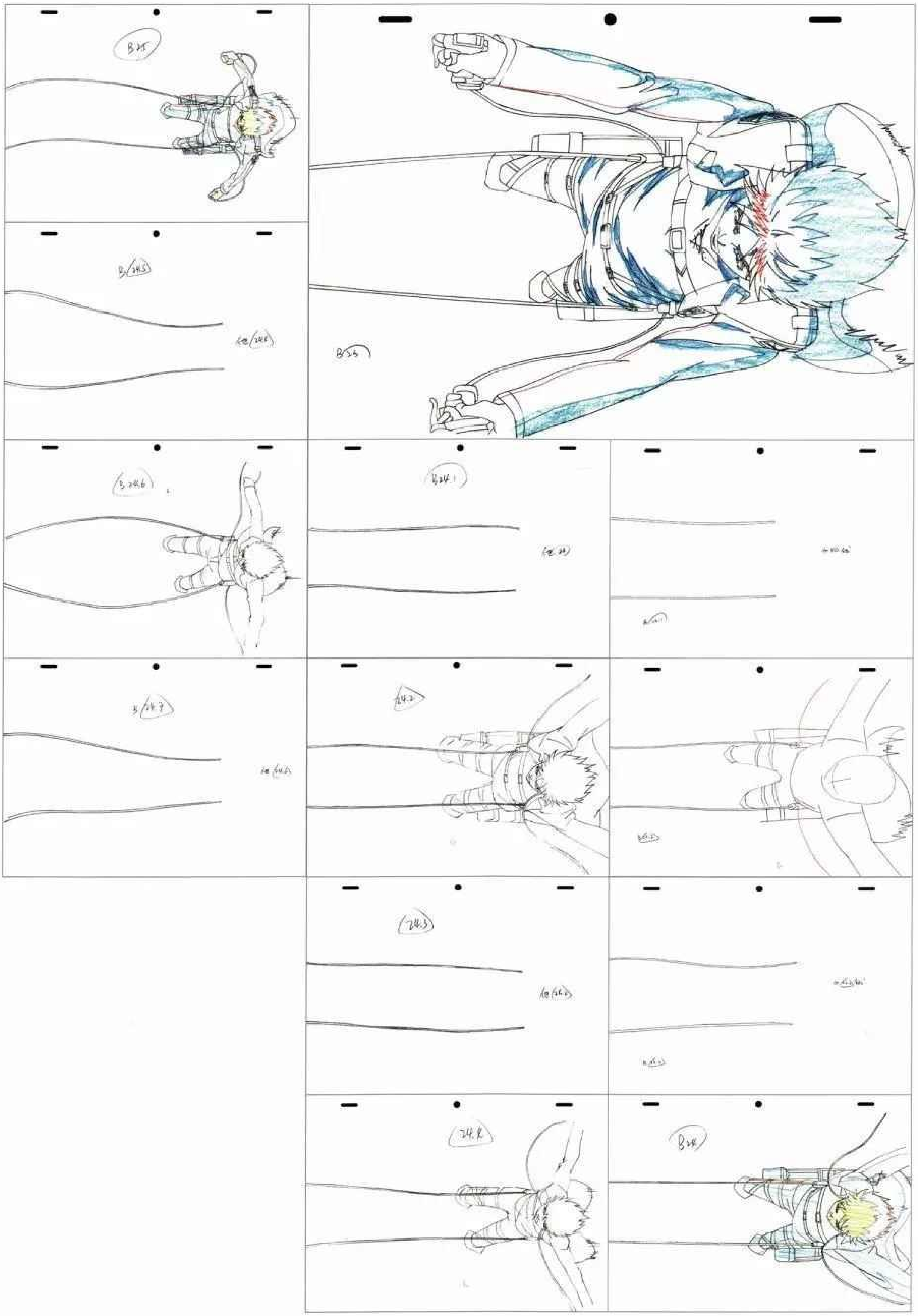
3話ラストの立体機動カット。1話冒頭以来登場していない立体機動をチラ見せすることで、「もうすぐですのでお楽しみに！」という効果を狙って入れました。3話自体が、動きの乏しい回ですので、最後にいい動きを、と今井くんにお願いしました。エレンの回る回数が、コンテのオーダーより1回転増えていたのが印象的でした。

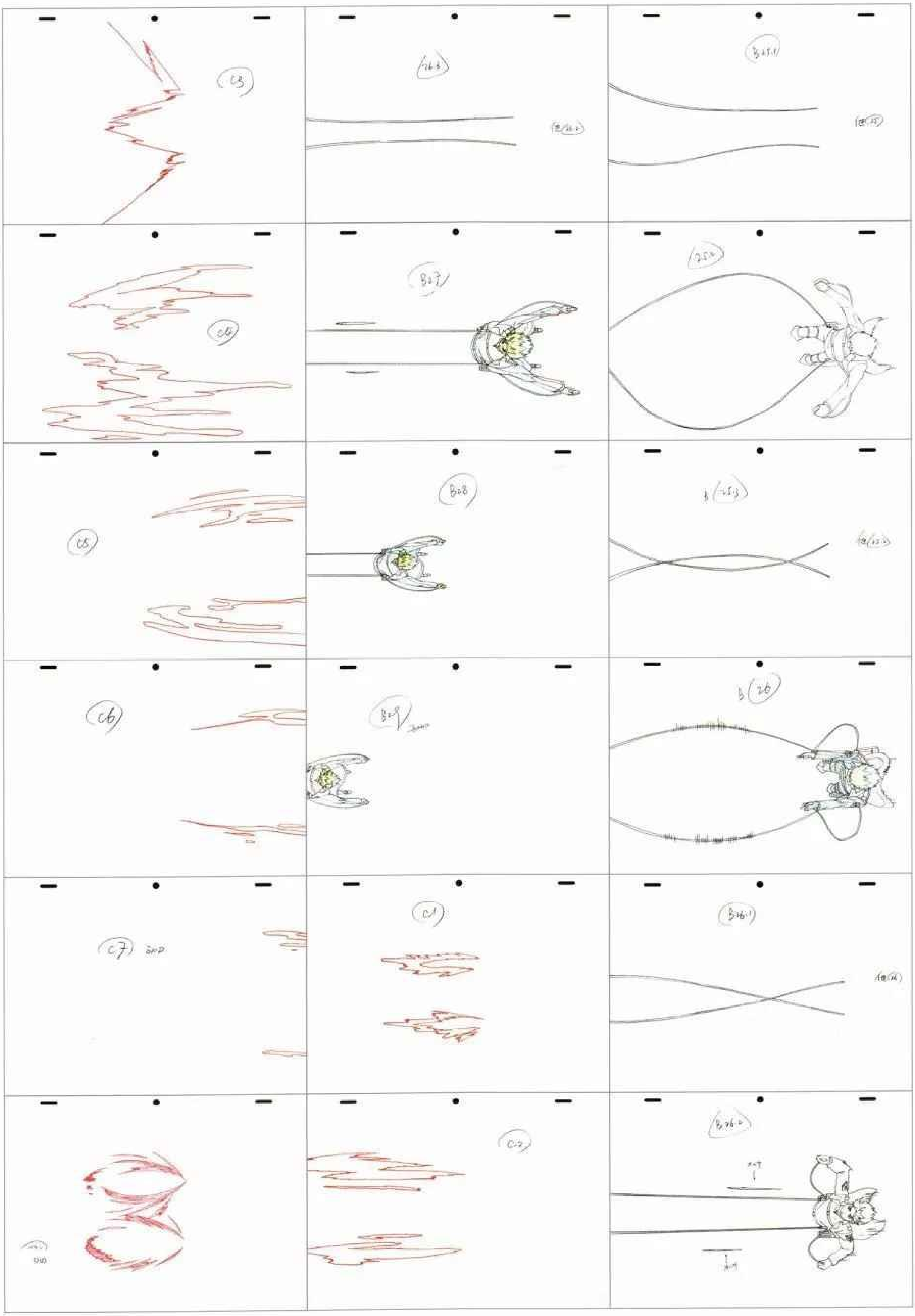


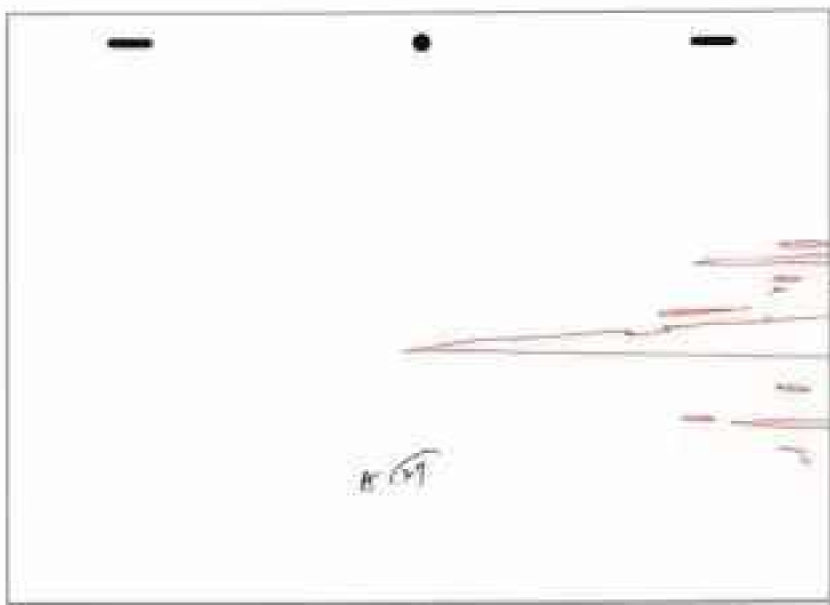


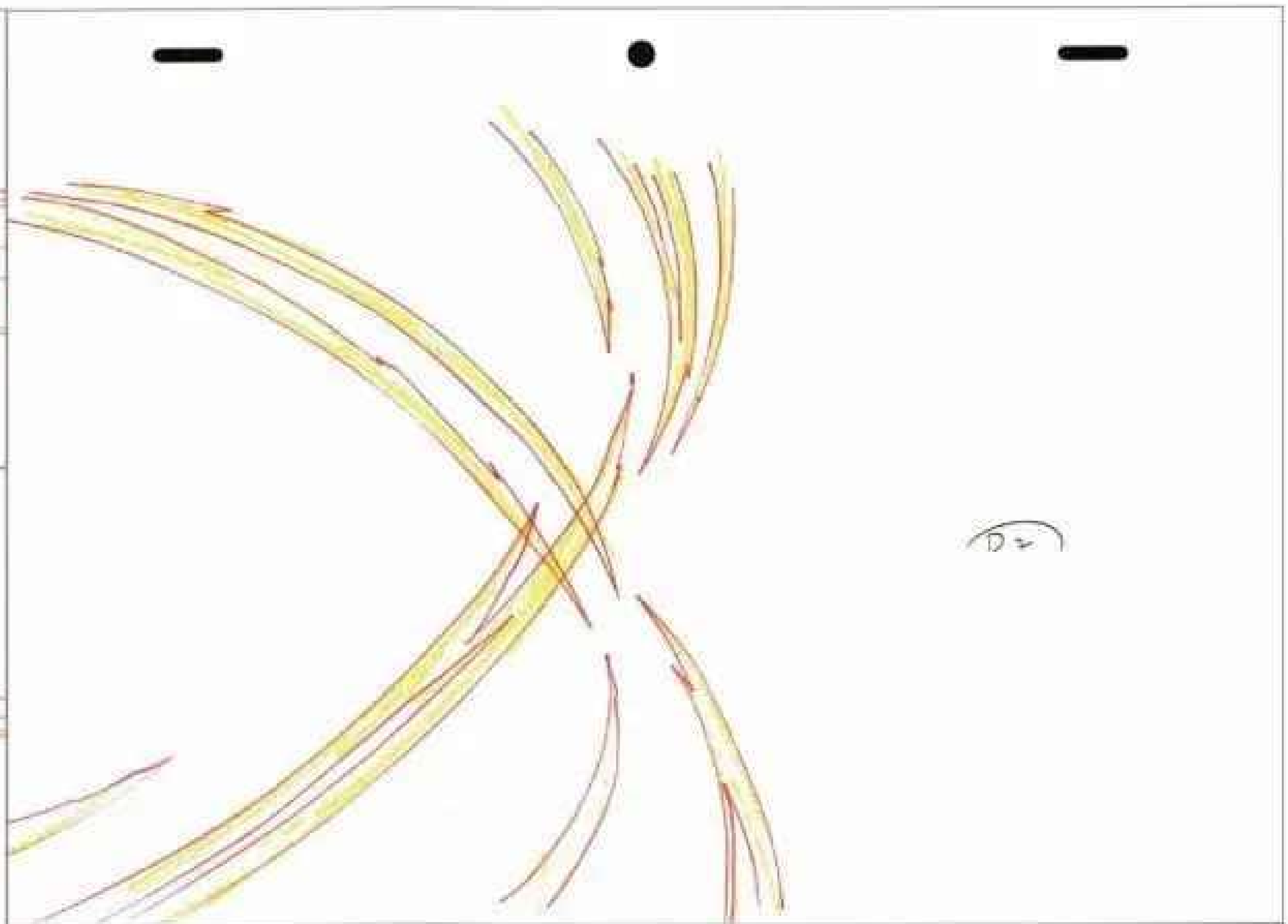


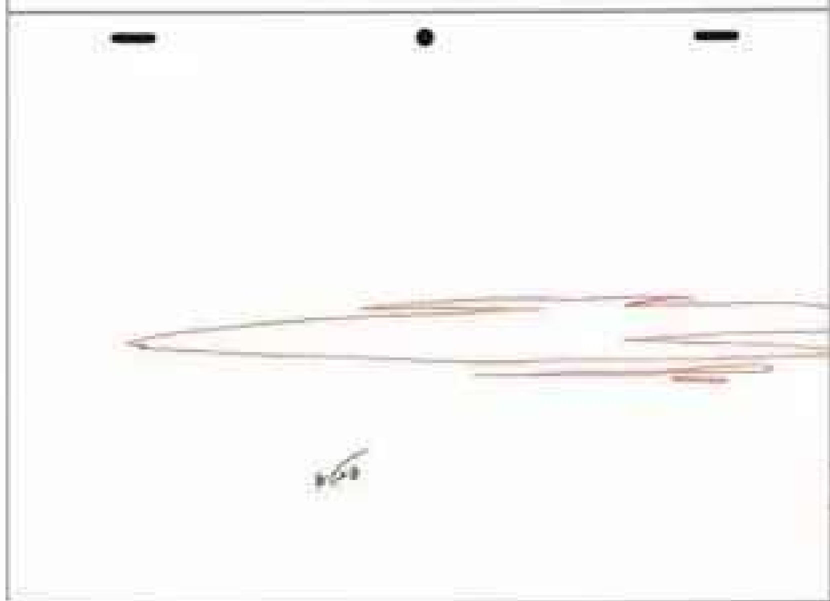


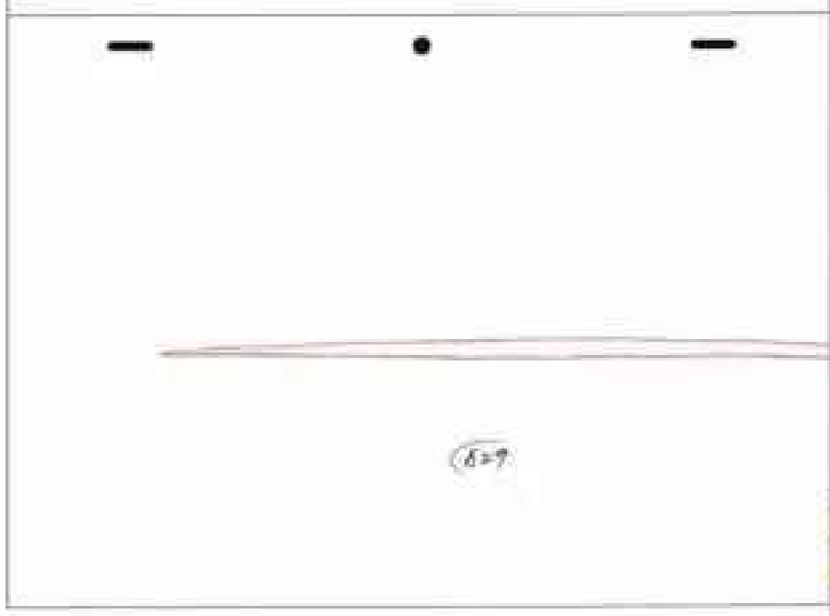


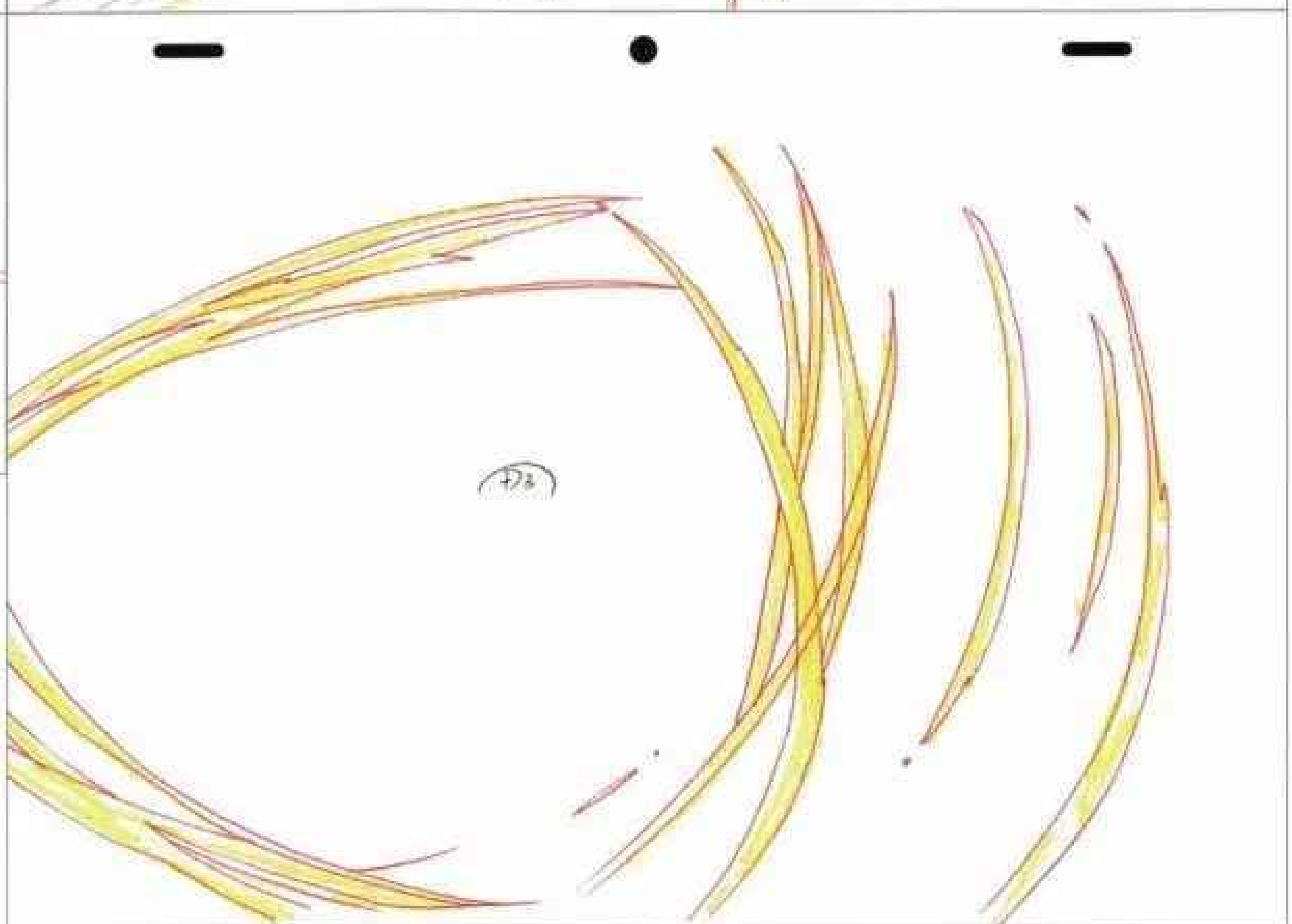




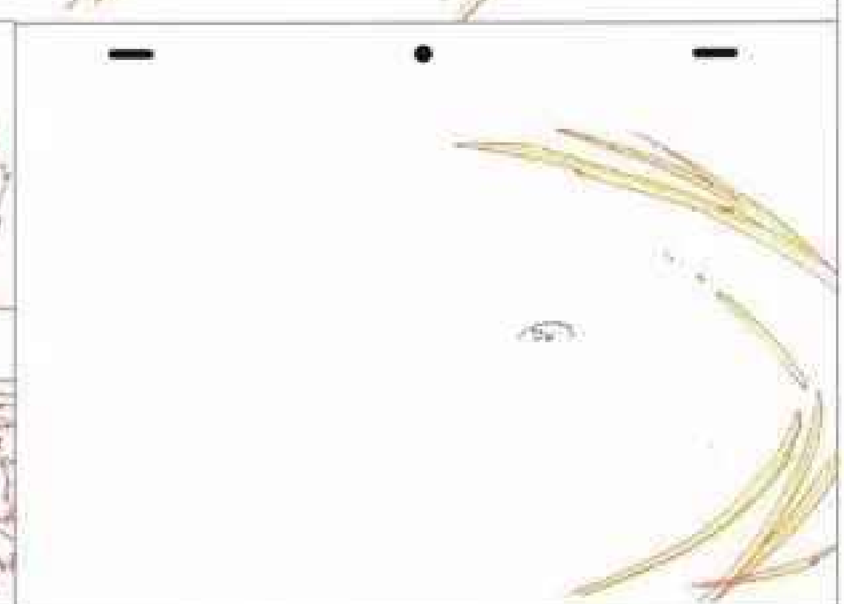


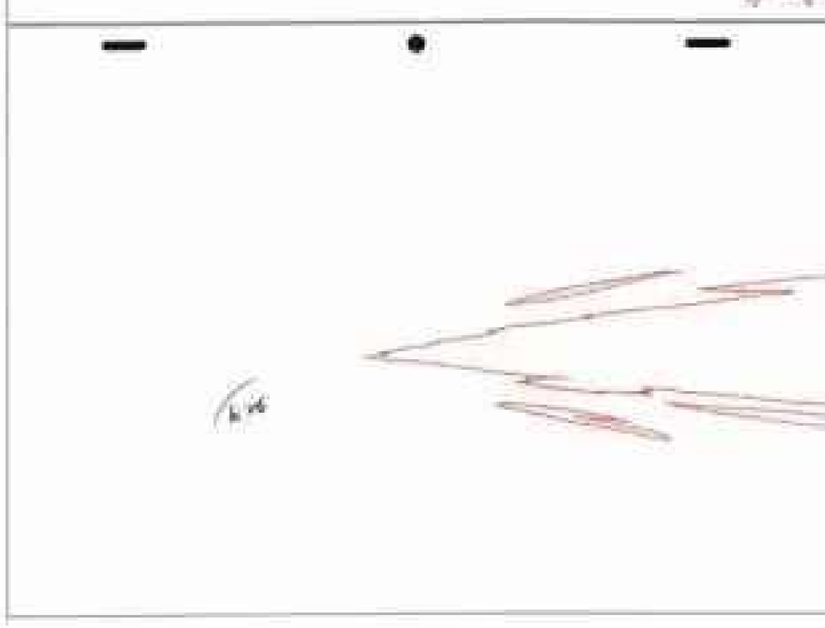


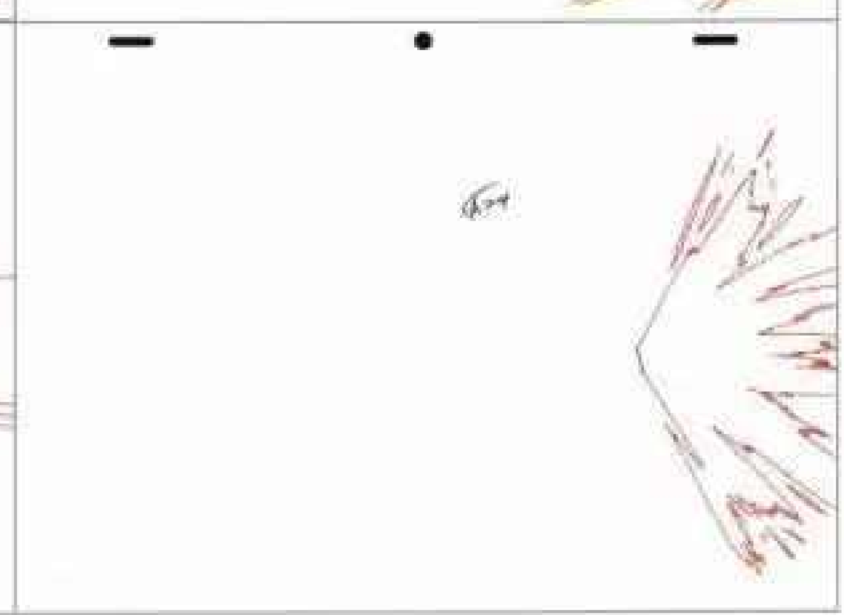


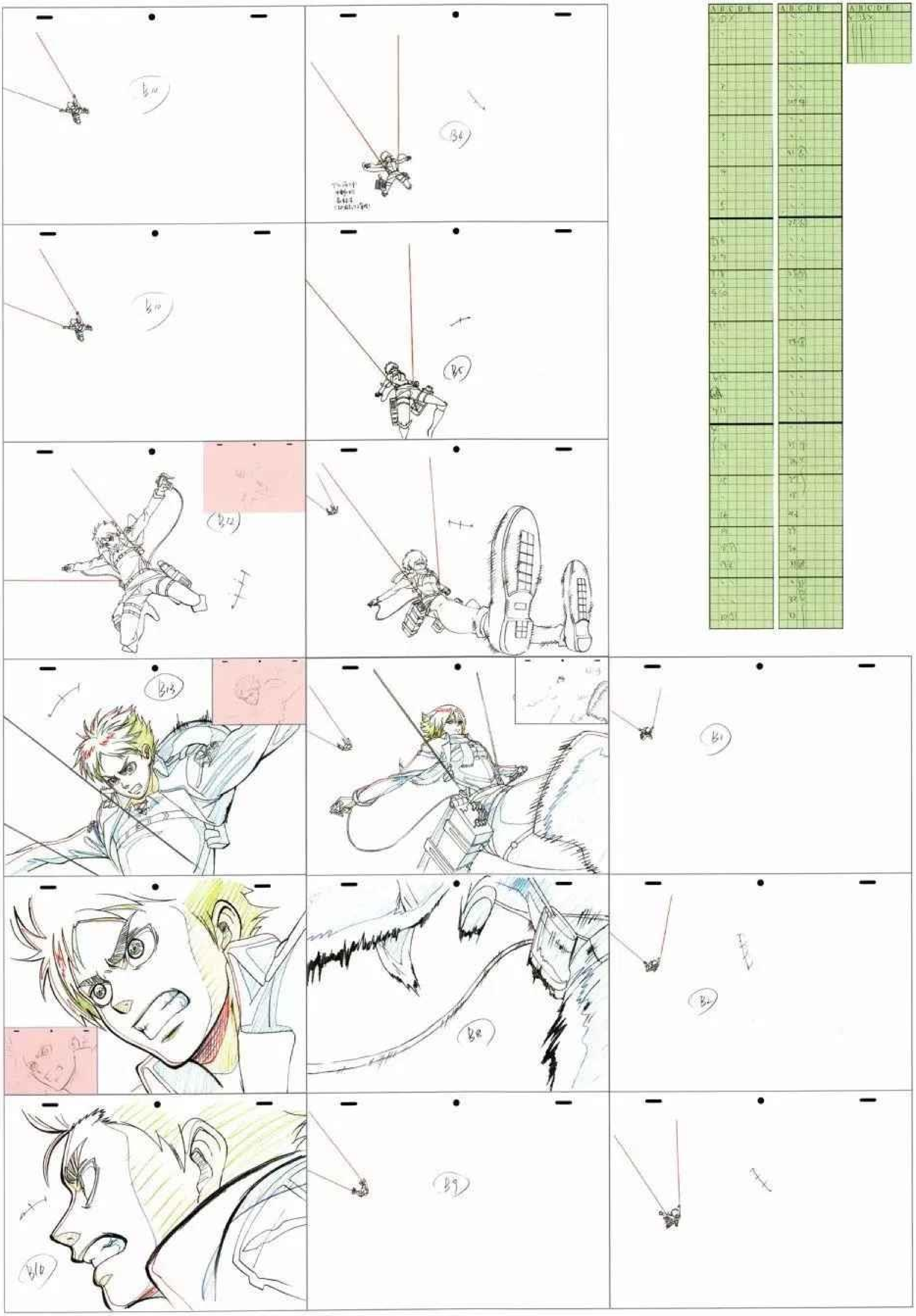


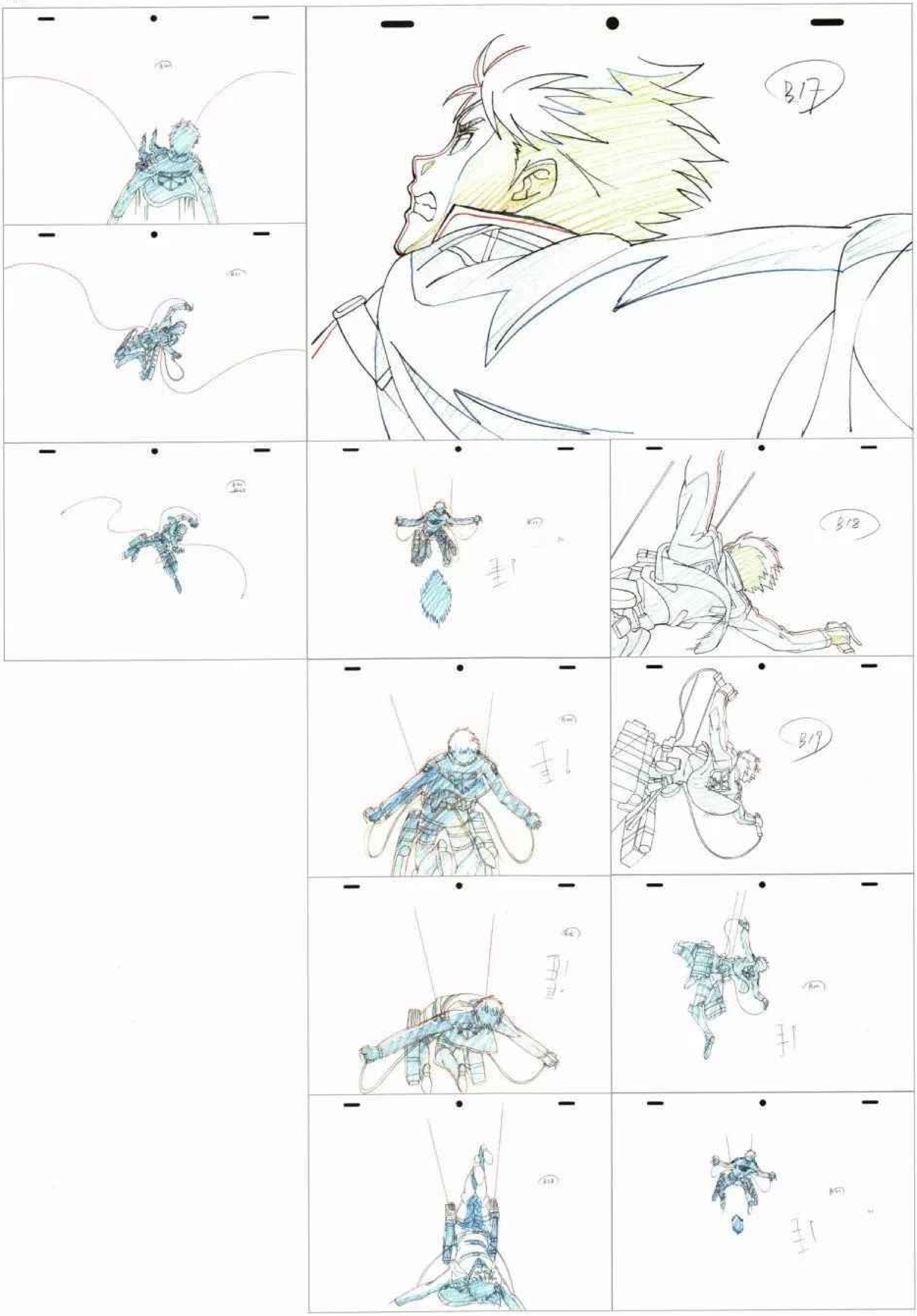











B17
B18
B17